OPERATION MANUAL

Mimaki

TextileJET

Tx400-1800B

取扱説明書

株式会社ミマキエンジニアリング

D202079-16

目　次

第 **1** 章　ご使用の前に

第 2 章　基本的な使い方

第 3 章　応用機能

第 4 章　お手入れ

第 5 章　困ったときは

第 6 章　付録

索　引

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI -A

テレビ / ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本機がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は「Tx400-1800B」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
「Tx400-1800B」は、布を対象とした「ダイレクトプリント用カラーインクジェットプリンタ」です。
本取扱説明書は、「Tx400-1800B」の、操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明しています。本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせたプリントにお役立てください。

取扱説明書について

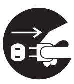
- 「Tx400-1800B」（以後本装置と称します）は、高速ヘッド移動など危険を伴う場合があります。本装置の取り扱いは、怪我や破損を防止するため、必ず本取扱説明書をよくご理解いただいてから操作してください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

使用上の警告と注意

警　告

分解 ・ 改造はしない

- 本機やインクカートリッジの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。

湿気の多い場所では使用しない

- 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

異常事態の発生

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

電源 ・ 電圧について

- 本機には高電圧が発生している部分があります。電気工事は、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- メンテナンス時は必ず主電源ブレーカーをオフにしてから行ってください。オンのままメンテナンスを行うと、感電する恐れがあります。
  また、装置によってはコンデンサの電荷放電時間に1分間必要な場合があります。主電源ブレーカーをオフしてから 3 分後に作業をするようにしてください。
- 本装置の主電源ブレーカーの投入作業は、本装置を熟知した人以外は行わないでください。
- 感電事故防止のため、必ず、接地工事を行ってください。
- 表示された電源仕様で使用してください。電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したコンセントに差し込んでください。接続しないと火災・感電の原因になります。

インクの取り扱いについて

- インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。

地張り剤塗り替え時のご注意

- 地張り剤塗り替え作業時は火気厳禁とし、ベルトヒータ・メインヒータは必ず OFF としてください。また、換気も必ず行ってください。

注　意

メディアの取り扱い

- ロールメディアは重いので、落とさないよう注意してください。足などの上に落とすと、ケガをする恐れがあります。

インクの取り扱い

- インクには毒性はありませんが、インクに直接ふれないようにしてください。誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。

タッチパネルの取り扱い

- タッチパネル上には絶対に物を置かないでください。物を置いたことにより意図しない動作が起こり、ケガをする恐れや装置の故障につながることがあります。

ご注意とお願い

⚠ 注　意
乾燥ヒーターをご利用ください
• 本機は高速でプリントを行うプリンタです。乾燥ヒーターをご利用にならないでそのままプリントすると、巻き取った布が裏移りで汚れてしまいます。

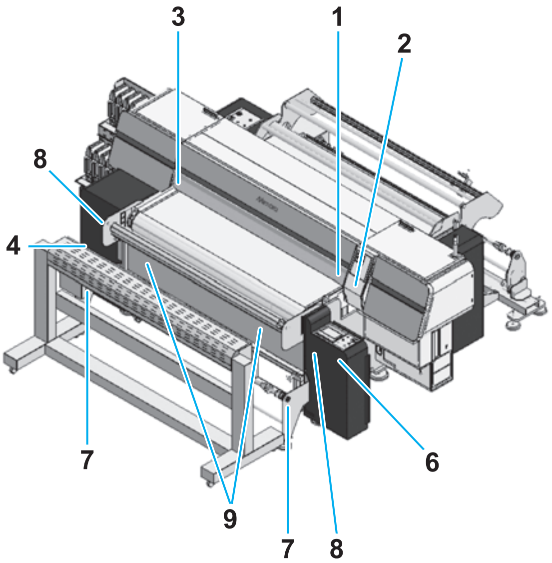
設置上のご注意

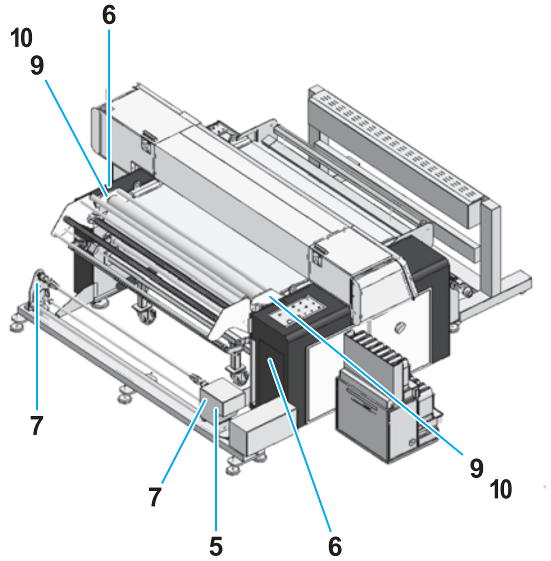
⚠ 注　意			
🚫	• 直射日光の当たる場所には置かない。	🚫	• 水平でない場所には置かない。
❗	• 次の環境下で使用すること。 使用環境：15 ～ 30° C (59 ～ 86°F) 35 ～ 65 % (Rh) *1	🚫	• 振動が発生する場所には置かない。
🚫	• エアコンなどの風が直接当たる場所には置かない。	🚫	• 火を使う場所には置かない。

*1.TP インク使用時は、40 ～ 65%(Rh)

警告ラベルについて

本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

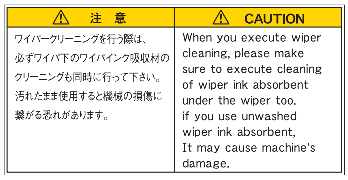




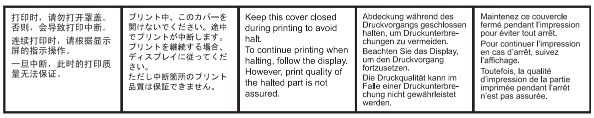
1: Order No. M901549



2: Order No. M907092



3: Order No. M906637



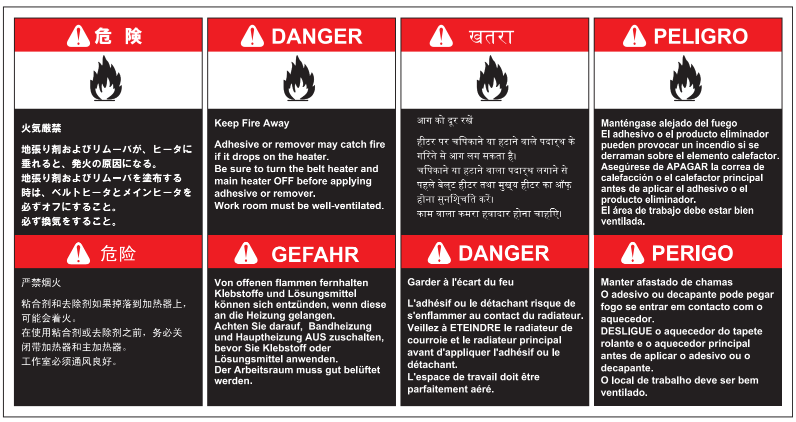
4: Order No. M907647



5: Order No. LSR-04



6: Order No. M908801



7: Order No. PA020-M



8: Order No. LSR-06



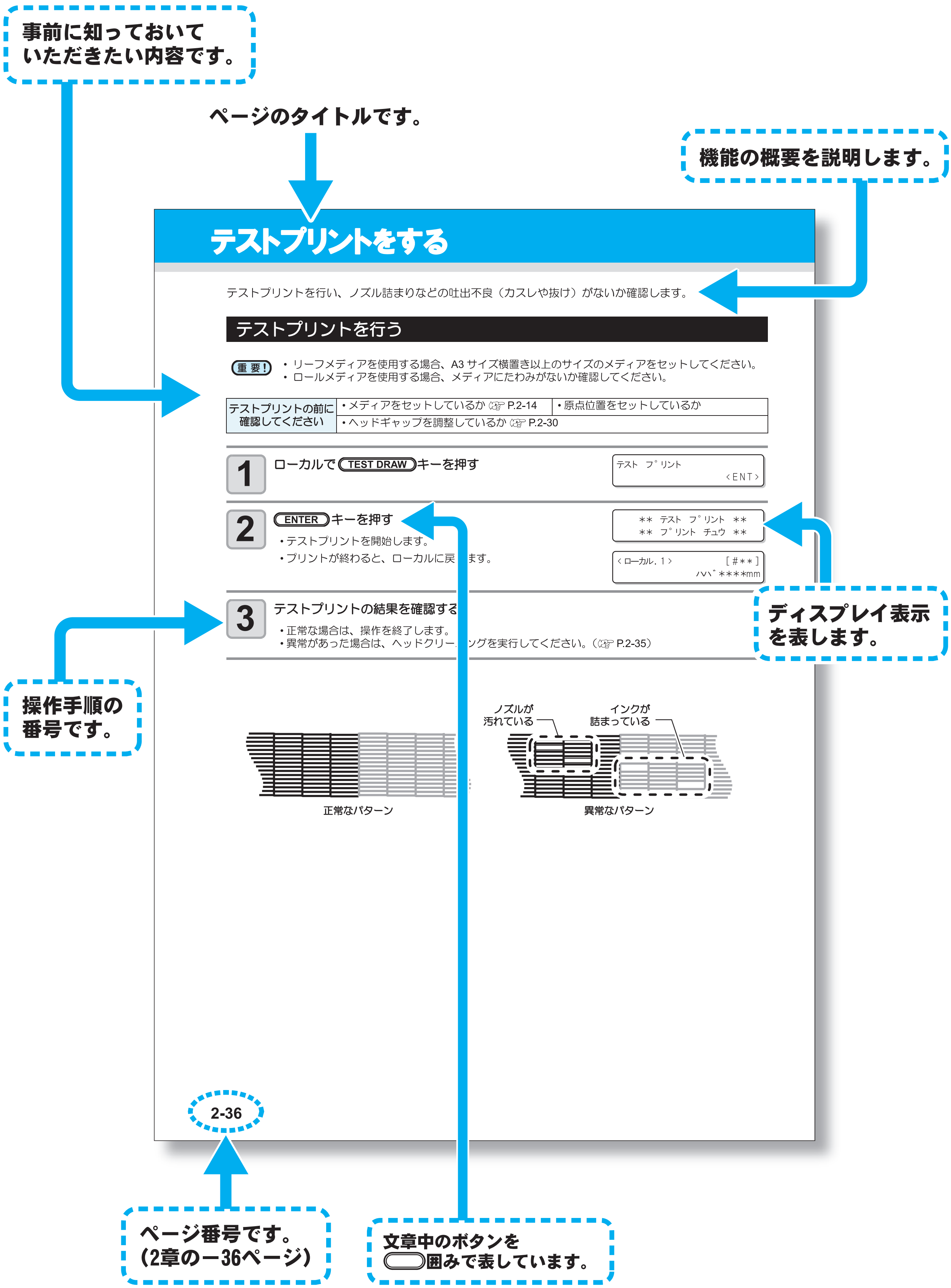
9: Order No. SF004-10E



10: Order No. SF022-10E



本書の読み方について



事前に知っておいていただきたい内容です。
ページのタイトルです。
機能の概要を説明します。
テストプリントをする
テストプリントを行い、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。
テストプリントを行う
重要！
・リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。
・ロールメディアを使用する場合、メディアにたわみがないか確認してください。
テストプリントの前に確認してください
・メディアをセットしているか P.2-14
・原点位置をセットしているか
・ヘッドギャップを調整しているか P.2-30
1
ローカルで TEST DRAW キーを押す
テスト プ゜リント ＜ENT＞
2
ENTER キーを押す
・テストプリントを開始します。
・プリントが終わると、ローカルに戻ります。
＊＊ テスト プ゜リント ＊＊
＊＊ プ゜リント チュウ ＊＊
＜ローカル．1＞ [＃＊＊] ハハ゛＊＊＊＊mm
3
テストプリントの結果を確認する
・正常な場合は、操作を終了します。
・異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（P.2-35）
ノズルが汚れている
インクが詰まっている
正常なパターン
異常なパターン
2-36
ディスプレイ表示を表します。
操作手順の番号です。
ページ番号です。（2章の－36ページ）
文章中のボタンを囲みで表しています。

第 1 章
ご使用の前に

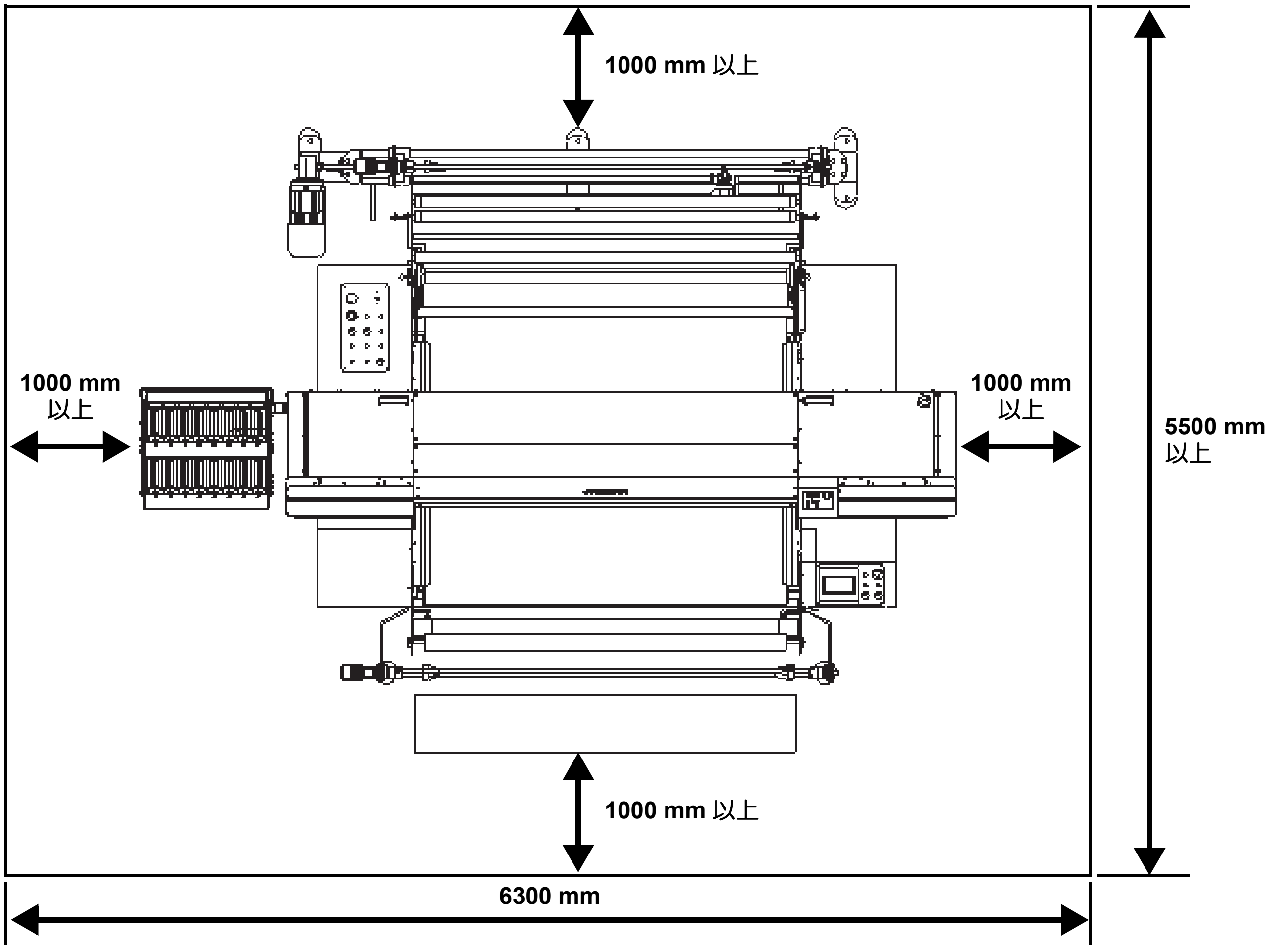
この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

横　　幅	奥行き	高　　さ	全体重量
4300 mm	3500 mm	1650 mm	2300 kg

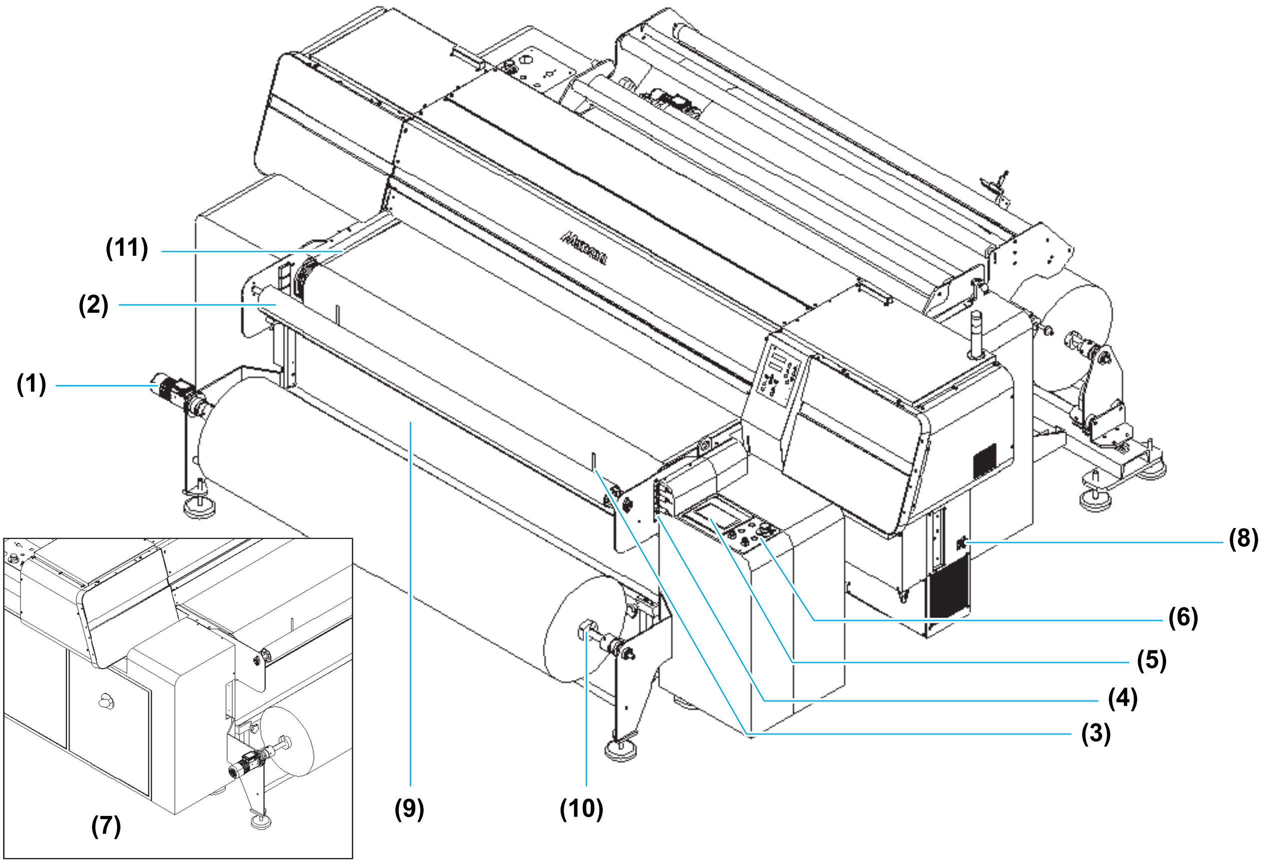


本装置の移動

重要！
- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
  お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。
  本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

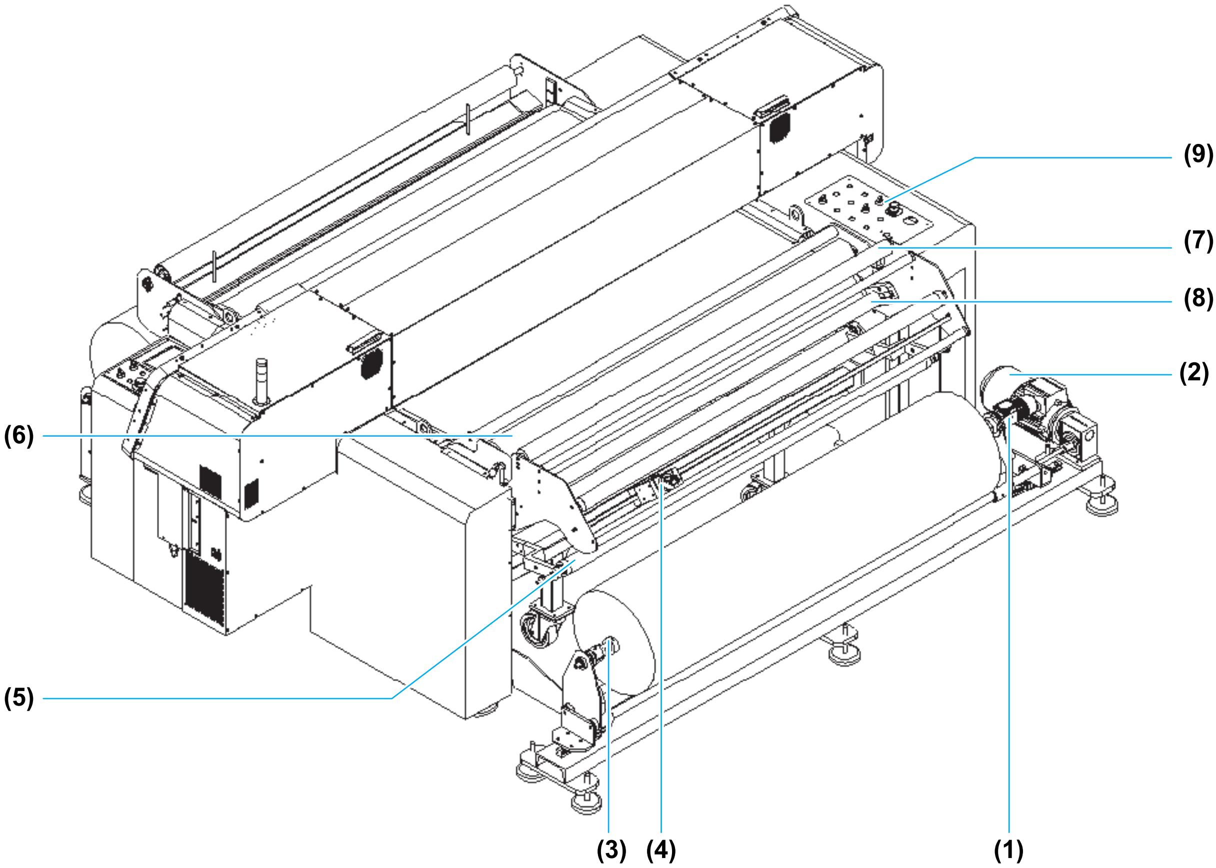
各部の名称とはたらきについて

装置前面 / 側面



	名　称	はたらき
(1)	巻取ユニット	プリントした布を巻き取る装置です。
(2)	引き剥がしローラ	布を搬送ベルトより引き剥がします。
(3)	布端ガイド	布の引き剥がし動作をより確実に行いたい時に使用します。
(4)	引き剥がしセンサ	布の引き剥がし位置を監視します。
(5)	操作タッチパネル	本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するパネルです。
(6)	操作パネル (前面)	巻取装置の手動 / 自動での操作、及び [Emergency] ボタン、[RESET ALARM] ボタンがあります。
(7)	メディア搬送システム側電源	Tx400-1800B の全ての電源スイッチです。
(8)	プリンタ側電源	プリンタの電源スイッチです、(7) のスイッチが ON でないと電源は入りません。
(9)	ベルト洗浄ユニット	ベルト表面に付着した、インク、糸くず等を水で洗浄します。
(10)	ロールホルダ	2 ～ 3 インチの紙管に対応しています。
(11)	ベルト端ガイド	搬送ベルトへの手などの巻き込まれ防止用の安全カバーです。

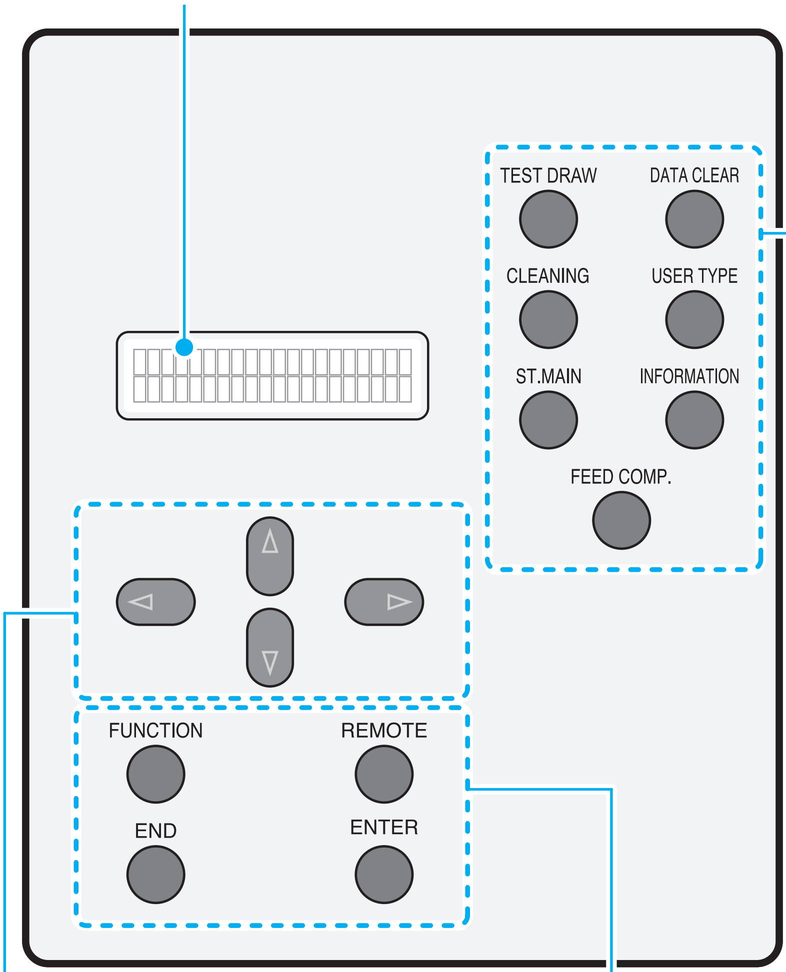
背面



	名　称	はたらき
(1)	繰出ユニット	プリント前のロールメディアを繰出す装置です。
(2)	センタリングモータ	巻きズレのあるメディアの蛇行を防止します。
(3)	ロールホルダ	2 ～ 3 インチの紙管に対応しています。
(4)	センタリングセンサ / メディアエンドセンサ	メディアの巻きズレを検出し、センタリング動作に変えます。 メディアエンドをセンサで検出します。
(5)	テンションバー	布に適正なテンションを掛け、繰出装置の動作を制御します。
(6)	加圧ローラ	圧力を掛け、搬送ベルトにメディアを貼付けます。
(7)	シワ取りローラ	布のシワを伸ばします。
(8)	布巻ローラ	搬送ベルト上に残った、水滴を吸い取ります。定期的に、巻いてある布の交換が必要です。
(9)	操作パネル (背面)	繰出装置、センタリングユニット、加圧ローラ等の手動 / 自動動作を行うことができます。メディアセット時に、前側操作パネルまで移動せずに操作が可能になります。

操作パネル

ディスプレイ
装置の状態や設定項目、エラー情報などを表示します。



TEST DRAW キー
テストプリントをするときに使用します。

DATA CLEAR キー
受信したデータを消去をするときに使用します。

CLEANING キー
ヘッドのクリーニングをするときに押します。

USER TYPE キー
ユーザタイプを変更するときに押します。

ST.MAIN キー
キャッピングステーションのメンテナンスを実行します。
メンテナンス機能の「ステーションメンテナンス」をダイレクトに起動することができます。

INFORMATION キー
メンテナンス機能の「マシンジョウホウ」をダイレクトに起動することができます。

FEED COMP. キー
現在選択中のユーザタイプに対して、メディア補正を行うときに押します。
メディアをセットする際には、補助メニューを表示します。

ジョグキー
各種設定をするときや、カーソルを移動するときに使用します。

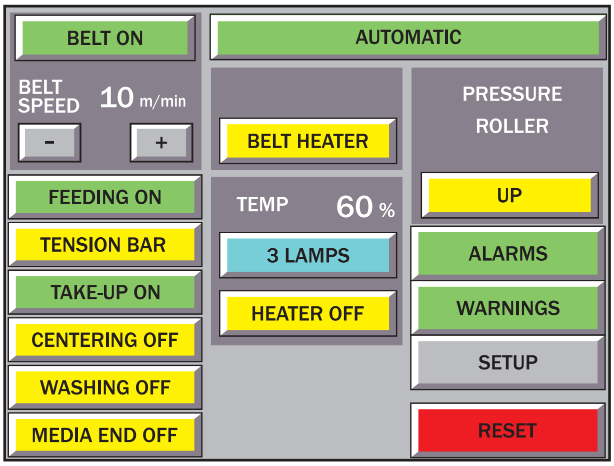
FUNCTION キー
各種設定をするときに使用します。

END キー
設定を終了するときや、動作を中断するときに押します。

REMOTE キー
< ローカル > と < リモート > を切り替えるときに押します。

ENTER キー
設定や動作を確定するときに押します。

操作タッチパネル



各ボタンは、その状態と意味によって色分けされています。

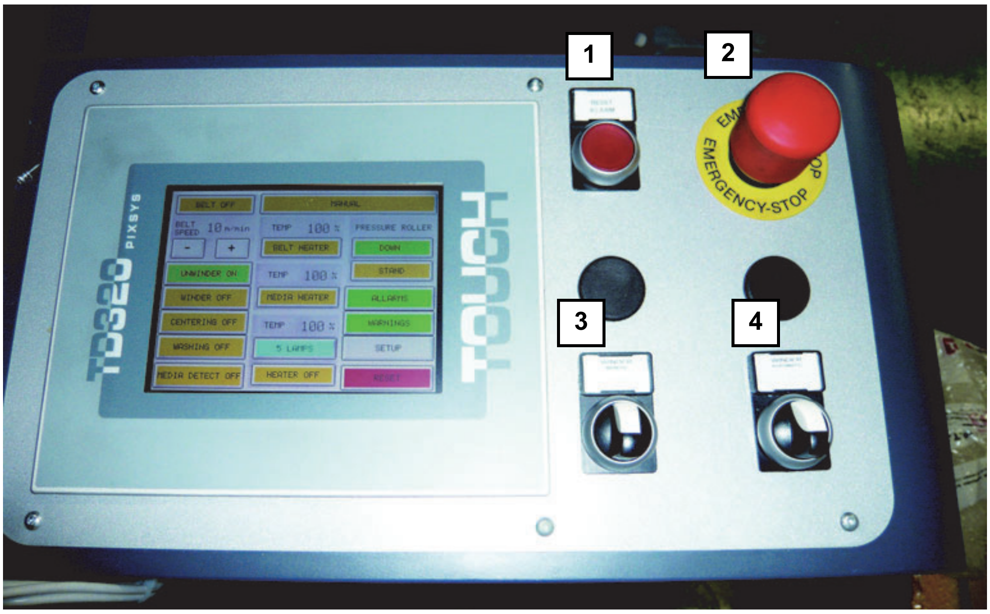
黄色	機能が無効になっている、またはスタンバイ状態であることを意味します。
緑色	機能が有効になっている、または動作状態であることを意味します。
赤色	RESET ボタン以外は、エラー状態であることを意味します。
青色	2 つの状態を表すボタンであることを意味します。
灰色	装置の動作に影響を与えるボタンであることを意味します。

機能

各機能は、対応するボタンを押して、有効と無効を切り替えます。

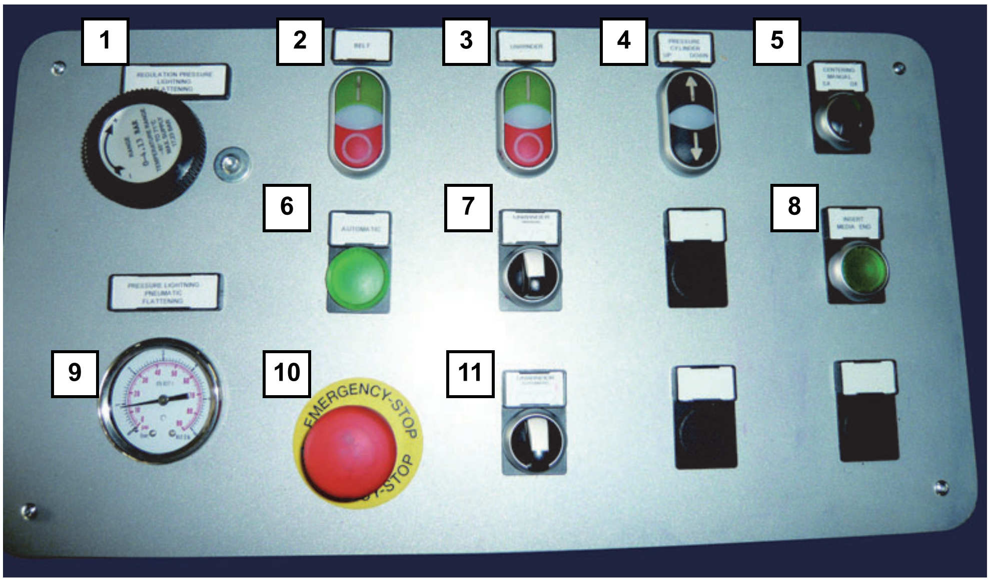
MANUAL/AUTOMATIC	本機の動作モード（MANUAL モード /AUTOMATIC モード）を切り替えます。ボタンが AUTOMATIC” モードの時、プリント動作に連動して動作します。
BELT ON/OFF	搬送ベルトのオン / オフ状態を切り替えます。オンの状態である時、ベルトが動きます。MANUAL モードの場合は、オンである間装置手前に動き続けます。AUTOMATIC モードでオンの場合、印刷動作・JOG 動作に連動して動作します。
FEEDING ON/OFF TAKE-UP ON/OFF	繰出 / 巻取装置を有効 / 無効にします。この機能がオンの状態である時、必要時にメディアを送り出す / 巻き取ることができます。AUTOMATIC モードで BELT オンに設定した場合は、自動的にオンとなります。
TENSION BAR	テンションバーによる、メディアエンド検出を有効 / 無効にします。この機能がオンの状態である時、テンションバーが下がった状態が設定した時間を経過すると、メディアエンドの状態になります。
CENTERING ON/OFF	メディアセンタリングユニットを有効 / 無効にします。この機能がオンであれば、送り・印刷作業時にセンタリングユニットがメディア位置を調整します。
WASHING ON/OFF	洗浄ユニットを有効 / 無効にします。この機能がオンである時、洗浄ユニットがベルトを洗浄します。
MEDIA END ON/OFF	メディア検出センサーを有効 / 無効にします。この機能がオンの状態である時、メディア検出センサーがメディアエンドを確認します。
BELT HEATER	ベルトヒータを有効 / 無効にします。この機能がオンの状態である時、ベルトヒータがベルトを乾燥させます。地張り剤の塗り替え作業時は、必ず OFF にしてください。
3LAMPS/5LAMPS	本機の前部に位置するメインヒータにおいて、いくつのランプが有効か決めます。このボタンを押すことで、動作中のランプの数を示し、その状態が変わります。
HEATER ON/OFF	本機の前部に位置するメインヒータを有効 / 無効にします。この機能がオンの状態である時、印刷中メディア検出センサーがメディアエンドを確認します。地張り剤の塗り替え作業時は、必ず OFF にしてください。
PRESSURE ROLLER UP/DOWN	加圧ロールバーを上げ下げします。この機能が DOWN の状態である時、加圧ローラはメディアと接しています。

操作パネル (メディア搬送システム前面)



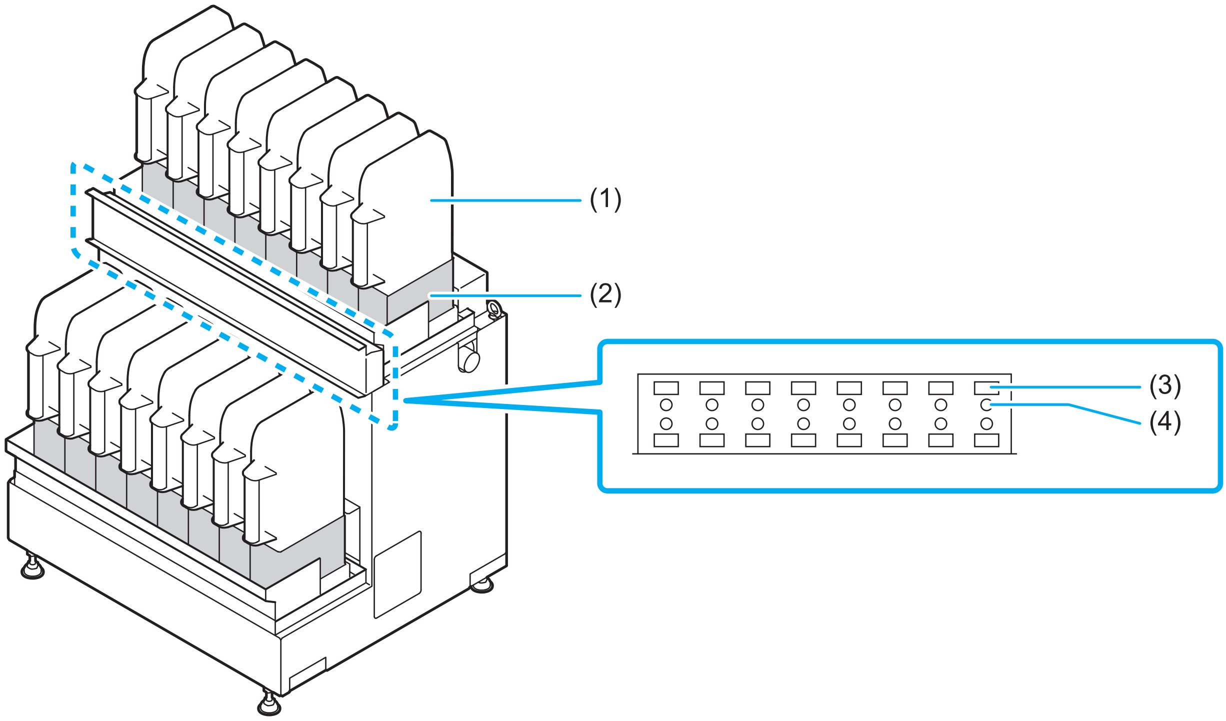
	名　称	はたらき
(1)	[RESET ALARM] ボタン	このボタンが赤色に点灯している場合は、何らかの異常によりマシンが警告状態です。エラー状態を解除するには、[Emergency] ボタン（ボタン 2）を元に戻してからこのボタンを押します。
(2)	[Emergency] ボタン	動作中の本機 を即時停止します。
(3)	[TAKE-UP MANUAL] レバー	レバーの方向に合わせて巻き取りモータの回転方向が変わります。
(4)	[TAKE-UP AUTOMATIC] レバー	AUTOMATIC モードで BELT オンに設定している場合の巻取装置のメディア回転方向を決めます。メディアの回転方向に応じて左か右に回します。

操作パネル (メディア搬送システム背面)



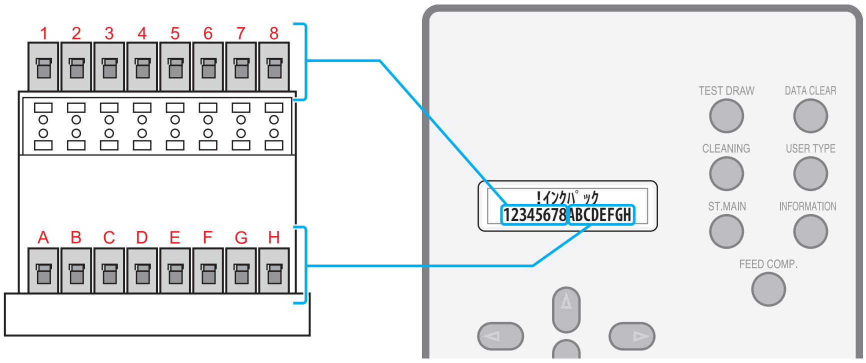
	名　称	はたらき
(1)	調整ダイヤル	加圧ローラの圧力を調整します。
(2)	[BELT] ボタン	“I” を押すとベルトが動き、“O” を押すと停止します。
(3)	[FEEDING] ボタン	“I” を押すとメディアを繰り出し、“O” を押すと停止します。
(4)	[PRESSURE CYLINDER] UP(↑)/DOWN(↓) スイッチ	UP(↑) を押すとローラが上がり、DOWN(↓) を押すとローラが下がります。
(5)	[CENTERING MANUAL] レバー	左か右に回してメディアの位置を手動で調節します。AUTOMATIC モードではレバーを操作しても調節できません。MANUAL モード時に位置を調節してから AUTOMATIC モードに変更してください。
(6)	[AUTOMATIC] ランプ	AUTOMATIC モードになると、緑色に点灯します。
(7)	[FEEDING MANUAL] レバー	レバーの方向に合わせて巻き取りモータの回転方向が変わります。
(8)	[MEDIA END] スイッチ	押して緑色が点灯すると、メディアエンドの検出が有効になります。
(9)	エアー圧力計	加圧ローラの圧力を表示します。
(10)	[Emergency] ボタン	動作中の本機 を即時停止します。
(11)	[FEEDING AUTOMATIC] レバー	AUTOMATIC モードで BELT オンに設定している場合の繰出装置のメディア回転方向を決めます。メディアの回転方向に応じて左か右に回します。

インク供給ユニット



	名　称	はたらき
(1)	2L エコケース	専用のインクパックをセットします。
(2)	インクパックスロット	各色のインクパックの入ったエコケースをセットします。
(3)	インク IC スロット	インクパックに付属しているインク IC をセットします。
(4)	インクスロットランプ	インクパックの状態を表します。

- ディスプレイに表示されるスロット番号は、下図のスロットに対応しています。

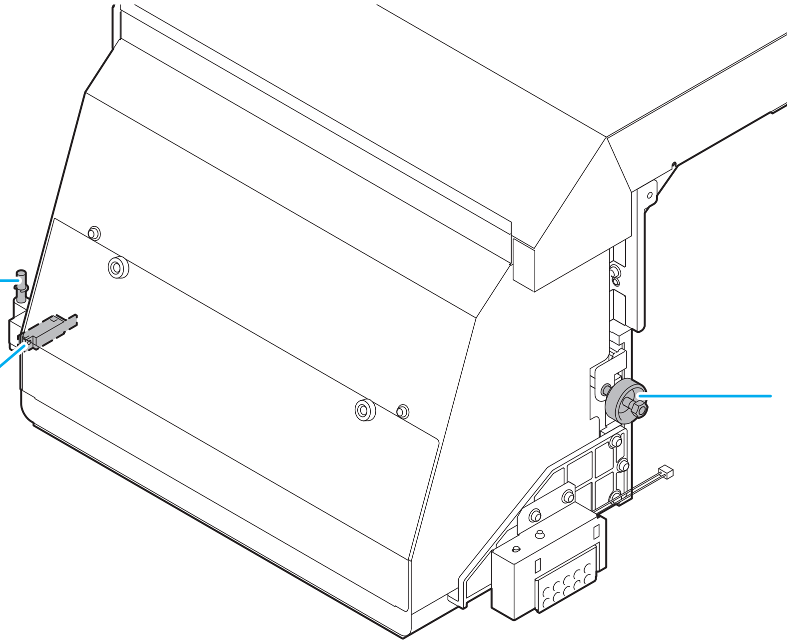


カバー内部の名称とはたらきについて

フロントカバーやメンテナンスカバーR の内部には、プリント時に使用するキャリッジやキャッピングステーションなどがあります。カバーの内側の機構について説明します。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドや、メディア幅検出用のセンサーなどがあります。また、多様なメディア厚に合わせてヘッドの高さを調整をするための高さ調整ネジが付いています。
キャリッジはプリントやメディア検出時に動きます。
キャッピングステーション内部のメンテナンス作業をする場合は、ステーションメンテを実行してキャリッジを移動します。（☞ P.4-3）



注意
- 高さ調整をせずにプリントを開始すると、メディアの破損のみならず本装置まで破損する恐れがあります。

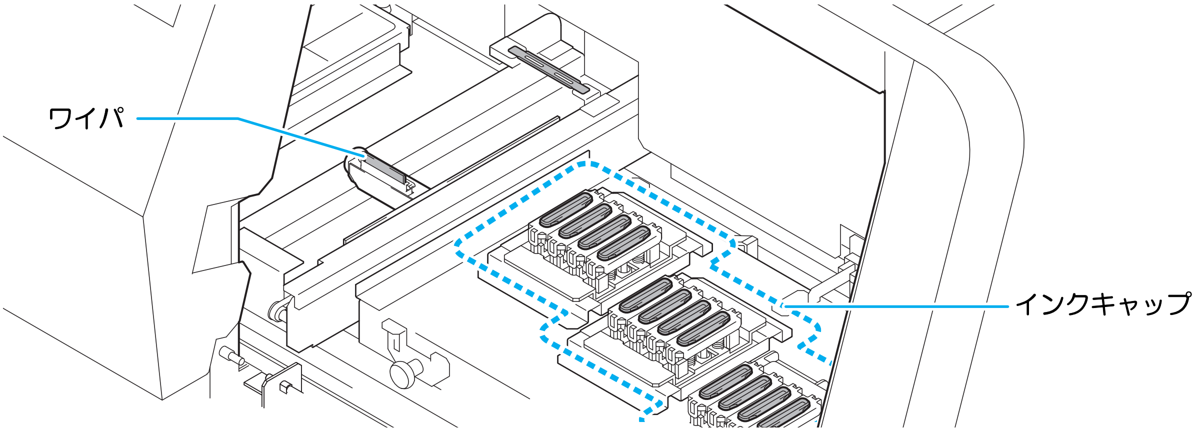
重要！
- メディアをセットしプリントを開始する際は、ヘッドの高さ調整を必ず行ってください。
（☞ P.2-32）

キャッピングステーション

キャッピングステーションはインクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成しています。

インクキャップ ：インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパ ：ヘッドのクリーニングに使用します。

重要！
- キャッピングステーションの拭き掃除（ホコリ、繊維クズ）はこまめに行ってください。
- インクキャップは定期的にクリーニングし、付着したインクを取り除いてください。インクが付着したまま長期間放置すると、凝固したインクにより吐出不良が発生します。

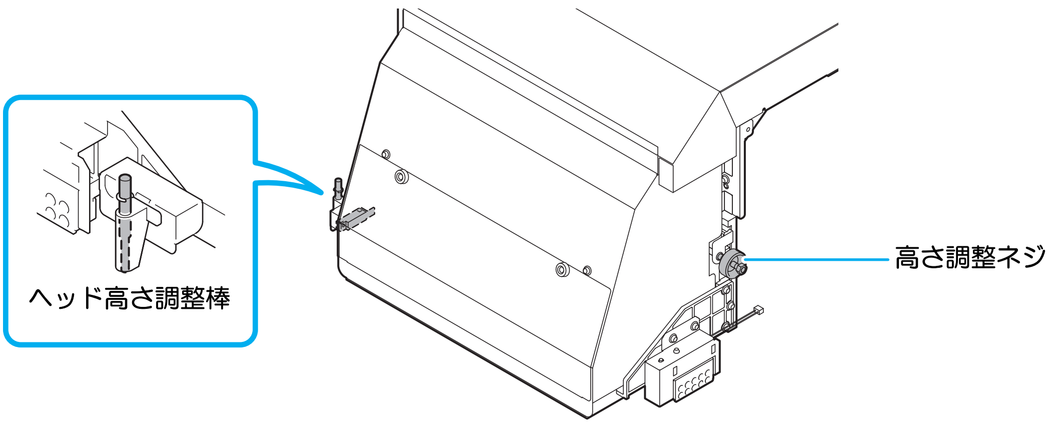


ヘッド高さ調整棒と高さ調整ネジ

布をセットした後、布の厚みに合わせてヘッドの高さを調整します。(☞ P.2-32)

注意
- 布をセットした後は、必ずヘッドの高さ調整を行ってください。高さ調整をしないでプリントなどの動作をすると、ヘッドが布にぶつかり、ヘッド破損の原因となります。

重要！
- ヘッド高さは 3mm 以下にしてお使いになることをおすすめします。3mm 以上にして使用した場合、プリント画像のボヤケやプリント経過での色味の変化・インクミストによるノズル抜けなどが起こる可能性があります。
- ヘッド高さを 3mm 以上で使用したことによるプリント品質について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

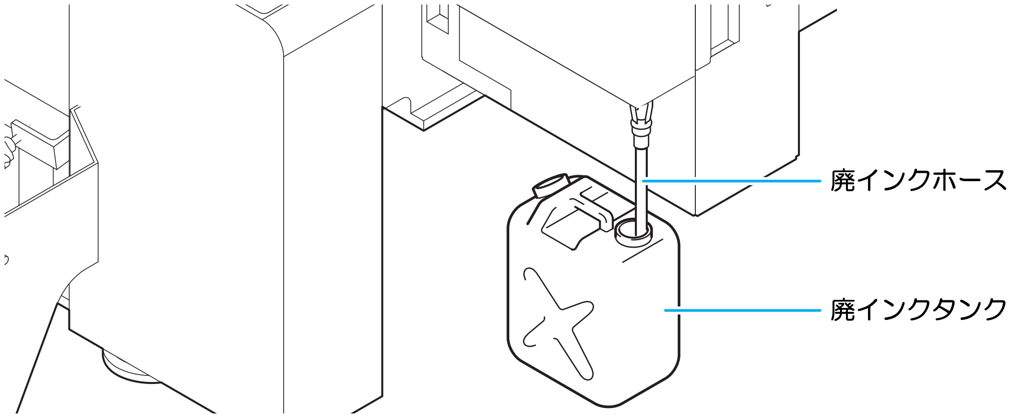


1 ご使用の前に

廃インクタンクについて

ヘッドクリーニングなどで使用したインクや洗浄液は廃インクタンクにたまります。
廃インクタンクに廃インクホースの先端を差し込んでください。

重要!
- 廃インクが漏れないようにお気を付けください。
- 廃インクタンクが倒れないようにお気をつけください。

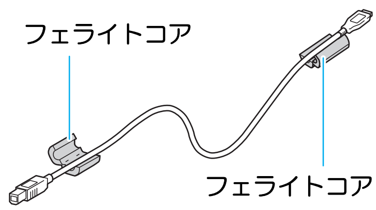


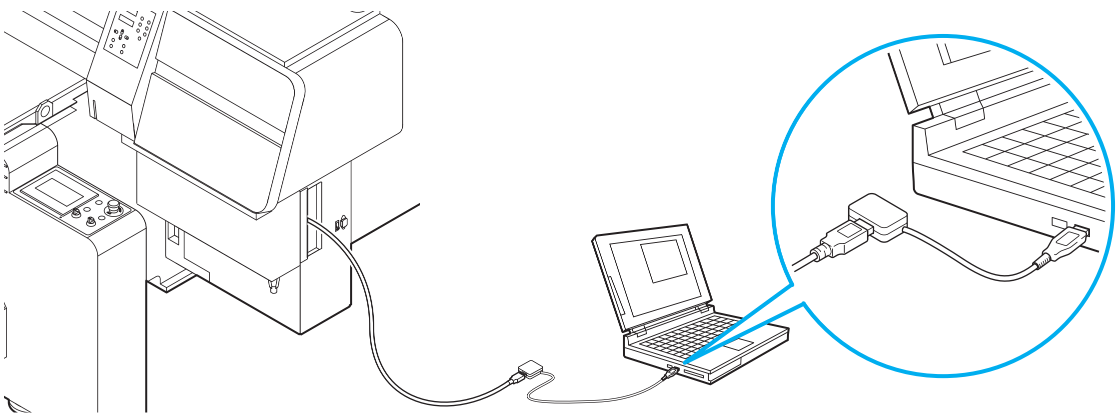
USB 出力ドライバーをインストールする

本装置とホストコンピュータをUSB2.0インターフェイスで接続する場合、ホストコンピュータにUSB2.0出力ドライバーをインストールする必要があります。

- インストールの方法について、添付の CD-ROM の内容に従ってください。

注意
- あらかじめ USB インターフェイスケーブルに付属のフェライトコアを取り付けてください。(右図参照)
- USB2.0 インターフェイスケーブルを接続するときは、本機の電源スイッチをオフにしてください。
- ご使用のアプリケーションが USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがホストコンピューターについていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。





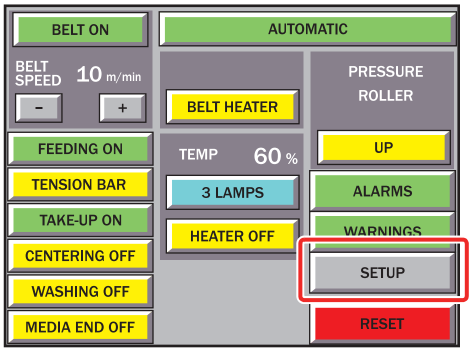
メディア搬送システムのセットアップ

セットアップでは次の項目を設定できます。
操作タッチパネル上の [SETUP] を押して設定してください。

- 操作タッチパネルに表示される言語の設定
- 通常設定
- 詳細設定

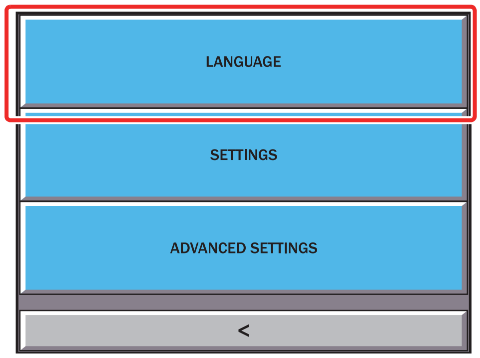
言語の設定

1 操作タッチパネルの **[SETUP]** を押す



2 **[LANGUAGE]** を押す

- キャンセルする場合は [<] を押してください。



3 表示する言語を選択する

- 言語の種類　: English、Italian
- キャンセルする場合は [<] を押してください。

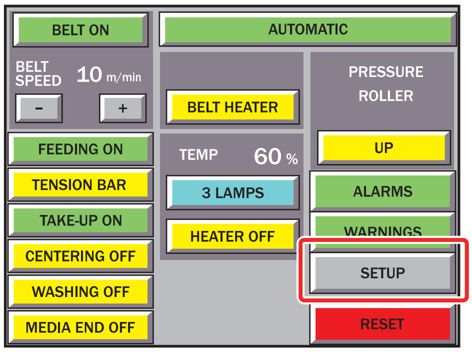


通常設定

通常設定では、下記の 5 項目を設定できます。

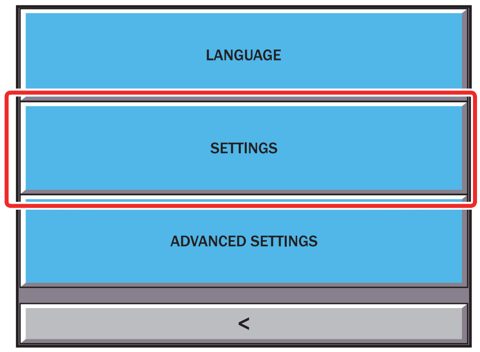
タブ名	項目名	概要
HEATER	MAIN HEATER (default : 40%)	メインヒータ温度を設定します。この値は動作パーセンテージで示されます。メインヒータは、印刷後すぐに、メディアの表側を乾燥します。
Washing Unit	WATER VALVE (default : 60s)	送水バルブのタイミングを設定します。送水バルブはある一定の時間で 1 回、開き (一つ目のパラメーターは “Open Every” です) 、一定時間開き続けます (二つ目のパラメーターは “Remains Open For” です)。両パラメーターとも、秒で表示されます。
	WASHING UNIT (default : 30s)	洗浄ユニットのタイミングを設定します。つまり、ベルトが休止してから一定時間後、洗浄ユニットが下がり、停止します。このパラメーターは秒で示されます。
PRESSURE ROLLER	DETACH AFTER	加圧ローラの上がるタイミングを設定します。操作タッチパネルで DOWN にした後、ベルトが停止してから、加圧ローラが上がるまでの時間を設定します。この設定は秒で示されます。
TENSION BAR	MEDIA END DETECTION	テンションバーが下がってから、メディアエンドと判定するまでの時間 (TIME FOR DETECTION) を秒で設定します。

1 操作タッチパネルの **[SETUP]** を押す



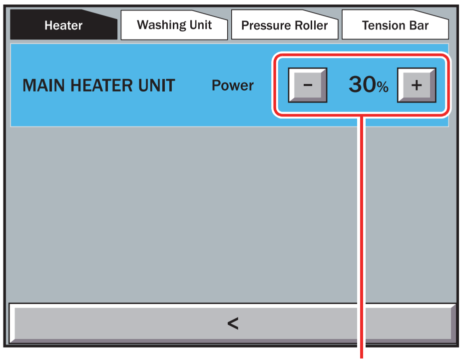
2 **[SETTINGS]** を押す

• キャンセルする場合は [<] を押してください。



3 設定する項目を選択し、[＋][－] を押して設定する

- キャンセルする場合は [<] を押してください。



設定を行う項目の [＋][－] を押す

4 [<] を押して、初期画面に戻る

カバーの開閉について

重 要!

- プリント中はフロントカバーやメンテナンスカバー L/R を開けないでください。
  プリント中にフロントカバーまたはメンテナンスカバー L/R を開けると、安全のためキャリッジを停止し、本装置のプリント動作が止まります。
  この場合、次の操作手順で本装置およびコンピュータを再起動してください。
- プリントしないときも必ずフロントカバーとメンテナンスカバー L/R は閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。
- メンテナンスカバー L/R はステーションメンテの際以外は、開けないでください。

プリント中にフロントカバーやメンテナンスカバー L/R を開けると

プリント中にフロントカバーやメンテナンスカバー L/R を開けると、ディスプレイにエラーを表示し、プリントができなくなります。以下の手順に従って、エラーを解除してください。

```
! メンテカハ゛ー
カハ゛ー ヲ シメテクタ゛サイ
```

1 コンピュータからのデータ送信を停止する

- コンピュータから画像データの送信を中止できない場合は、コンピュータの電源を入れ直して、再起動してください。

2 カバーを閉め、ENTER キーを押す

```
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
*********-----------
```

電源ケーブルについて

以下の仕様のコンセントに、電源ケーブルを接続してください。

電　圧	AC380-420V ± 10%
周波数	50/60Hz ± 1Hz
容　量	36A 以上

重 要!

- 100V 系の電源コンセントは、使用できません。

警 告

- 本装置の設置は、お客様が行うことはできません。電気工事業者にお任せください。
- 本体への電源供給は、以下の電気工事が必要となります。工事は電気工事業者に依頼してください。
  ブレーカーへのソケット工事
  C 種接地工事 (特別第 3 種接地工事)
- コンセントは必ず本装置の近くにあるようにしてください。また、容易に取り外しが可能な場所に置いてください。
- 本装置の電気工事は、感電防止のため電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- 誤配線をしないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。
- 電源ケーブルは、アース処理されたコンセントに接続してください。
  感電および本装置が破損する恐れがあります。
- 電源ブレーカーが、突入電流 50A・0.01 秒以上に対応したコンセントをお使いください。

メディアについて

使用可能なメディアについて

本機で使用できるメディアの仕様は以下のとおりです。

最大幅	1860mm
最小幅	210mm
最大プリント幅	1850mm
厚さ	7mm 以下
ロール外径	φ400mm
ロール重量	44kg 以下
ロール内径	2 ～ 3 インチ
プリント面	外巻き / 内巻き不問
巻き取り方向	外巻き / 内巻き不問
巻き終わり処理	弱固定
セット位置	センター基準

注意

- メディア搬送システムの右側にはメディアを正確に送るためのベルトエンコーダユニットが取り付けられています。メディア搬送システムの右端から 25mm の位置にはメディアがかからないように注意してください。
- ベルトエンコーダユニットの上にメディアがかかった状態でプリントをすると、正確にメディアを送れなくなり、プリント品質に悪影響を及ぼします。特に幅の広いメディア (幅が 1800mm 以上のメディア) をお使いになる場合はご注意ください。

使用可能な布と取り扱いについて

ここでは、使用可能な布の取り扱い方法や注意事項などを説明します。
内容をよく理解し、布の種類や特性に応じて使用してください。

注意

- 弊社推奨の前処理をした布をご使用ください。
- 布のセット時は、必ずヘッドの高さを調整してください。布やヘッドを破損する恐れがあります。
- 左右端がカールした布は使用しないでください。ヘッドノズル面と接触し、吐出不良の原因になります。
- 布の左右端が中央に比べて著しく弛んでいる布は使用しないでください。地張り部で折れてシワとなり、ヘッドノズル面と接触する原因になります。
- 厚みがあり堅い布は無人運転できません。デニム地のような布を使用する場合は、定期的にスキュー (斜行) チェックを行ってください。スキューを始めると、布自体の自己復旧作用が働きません。放置すると搬送ベルト左右端までスキューが進み、布が詰まる原因となります。
- 布の左右端に毛羽のある布は、布端ガイドを使用できません。毛羽部分で引き剥がしセンサーが反応して、布を正確に送れなくなります。

使用制限のあるメディアについて

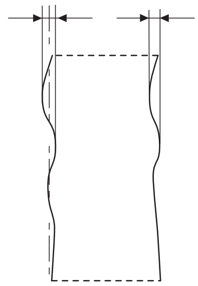
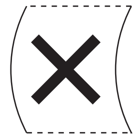
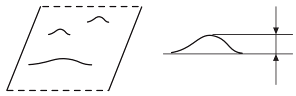
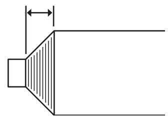
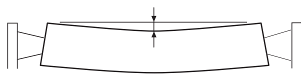
下記のようなメディアは、プリンタ側での補正が困難な素材です。
使用する場合は、任意のテストデータによるプリントを行い、使用可能かどうかを判断してください。

- 伸縮性の大きい素材 （ストレッチ材、 縦方向に伸縮するニット等）
- 印字によって濡れると、 伸び縮みの度合いが大きい素材
- 幅のバラツキが大きい素材
- 平坦面に広げた時、 部分的にシワ、 タルミが発生している素材、 全体に曲がっている素材
- ロール状態でのメディア幅端面の巻きズレが大きい素材
- 使用している紙管の強度が不足し、 繰出し装置に取り付けた時、 たわんでいるもの

重 要！

- 上記以外のメディアを使用する場合も、必ず任意のテストデータによるプリントを行ってください。プリント結果を確認してから、使用が可能か判断してください。

プリントできる布の条件

項　目	条　件	備　考
幅バラツキ	片側側面で ±5mm 以下	
広げた時の湾曲	一方向曲がり不可	
平坦面に広げたときのシワ (弛み) 高さ	2mm 以下	
ロールエッジのズレ	±15mm、 反物 (幅 500mm 以下) は ±2mm	
ロール内径	2 ～ 3 インチ	
紙管強度	セット時のロール曲がり 5mm 以下 (紙管肉厚 5mm 以上)	
布端からの紙管露出長	20mm 以上	
紙管との固定	テープ 3 点以下または弱接着	
ロール外径	φ400mm 以下	
ロール重量	44kg 以下	
プリント面	外巻き / 内巻き不問	
巻きシワ	不可	

インクについて

インクの種類

本装置では以下の 4 種類の捺染用インクが使用可能です。

酸性染料インク	羊毛・絹などの動物系繊維やナイロンなどに適しています。(予定)
反応染料インク	綿・レーヨンなどの他に、羊毛・絹などの繊維にも適しています。
昇華染料インク	ポリエステル・アクリルなどの繊維に適しています。
分散染料インク	ポリエステル・アクリルなどの繊維に適しています。(予定)
捺染顔料インク	綿にご使用ください。後処理は熱プレスで定着できます。

重要!
- いずれのインクを使用する場合も、プリントする布には弊社推奨の前処理・後処理を行ってください。
- 捺染顔料インクは、湿度 40 ～ 60%の環境でご使用ください。

インクの取り扱いについて

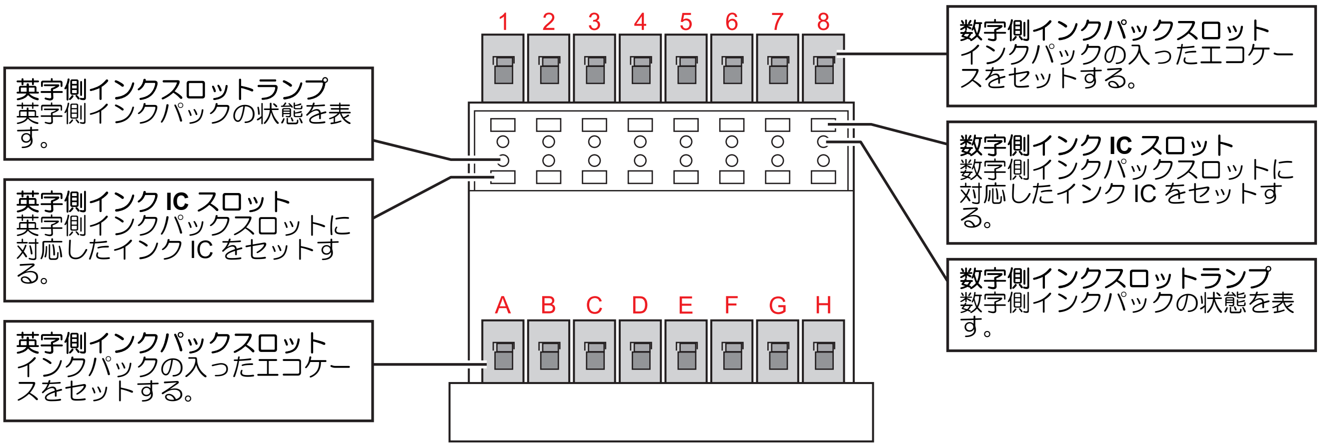
注意
- インクは、ミマキエンジニアリング純正品をご使用ください。ミマキ純正のインク以外を使用して発生したトラブルについては、保証期間内であっても有償修理となります。
- 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- インクパックのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- インク IC の基板接点部分を、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障原因となります。
- 使用済みのインクパックは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

重要!
- インクパックを強く振らないでください。強く振ったり、たたいたり、振り回したりすると、インクパックからインクがもれることがあります。
- インクパックは、取付直前に開封してください。また、インクパックを開封してから 6 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものはプリント品質が低下します。
- インクは冷暗所で保存してください。
- 空になったインクパックは、使用している地域の条例に従って処分してください。
- インクパックに記載してある有効期限を過ぎた場合、そのインクを使用しないでください。
- 捺染顔料インクは、乾きやすいので、乾燥していると、ノズル抜け、曲がりが発生しやすくなります。低湿の状態でご使用の場合は、「プリント前クリーニングの設定」（P.3-15）を ON にし、「プリント中クリーニングの設定」（P.3-16）で、長さを 3m 以下に設定することをお勧めします。

- 各インクステーションにセットしたエコケースの色配置を間違えないように付属のタックタイトルを相対するインクステーションのカバー部に貼ってください。

インク供給ユニットについて

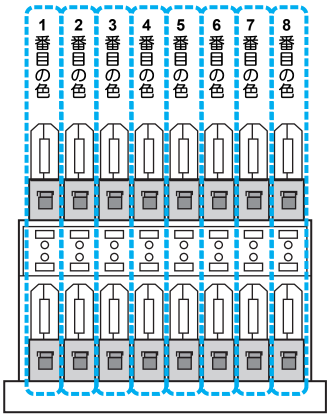
上段のスロットを「数字側スロット」と呼び、下段のスロットを「英字側スロット」と呼びます。



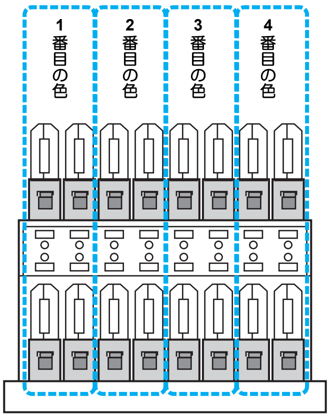
8 色 /4 色でのインクパックのセット

下表で示すスロットの組み合わせには、必ず同じ色のインクパックをセットしてください。

同じ色をセットするスロット		
8 色		4 色
1、A	5、E	1、2、A、B
2、B	6、F	3、4、C、D
3、C	7、G	5、6、E、F
4、D	8、H	7、8、G、H



8 色の場合



4 色の場合

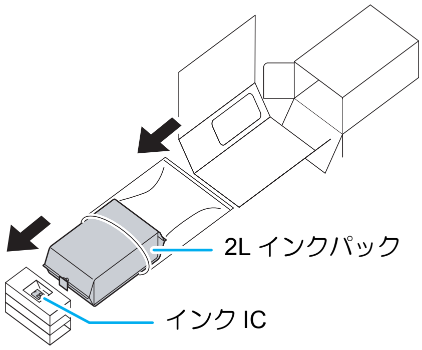
インクスロットランプについて

ランプの状態	内　　容
消灯	正常な状態
点灯	該当スロットでエラーが発生しているため、インク供給が出来ない状態

インクをセットする

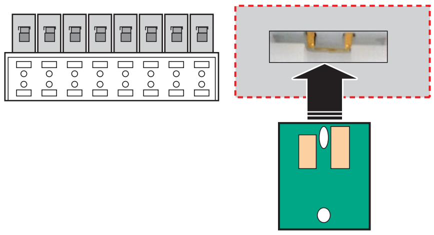
1 **2L インクパックを用意する**

・2L インクパックとインク IC を梱包箱から取り出します。



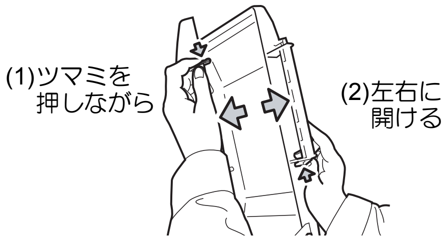
2 **インク IC をインクスロットへセットする**

・インクICは金属が付いている方を上にして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障やインク IC 破損の原因となります。
・インク IC の金属部分には触れないでください。静電気によるインク IC 破損や、汚れ・傷による IC 読み取り不良の原因となります。

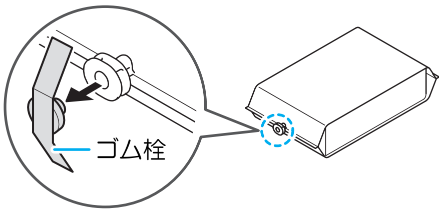


3 **2L インクパックを 2L エコケースに入れる**

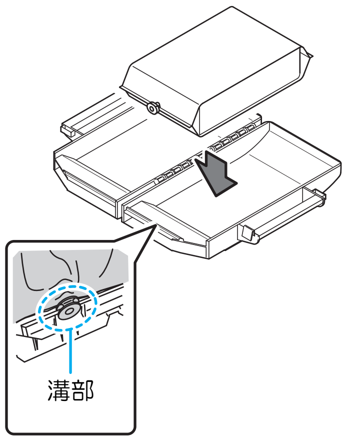
(1) 図のようにして、 2L エコケースを開ける



(2) 2L インクパックのコネクタ部に着いているシールを剥がす

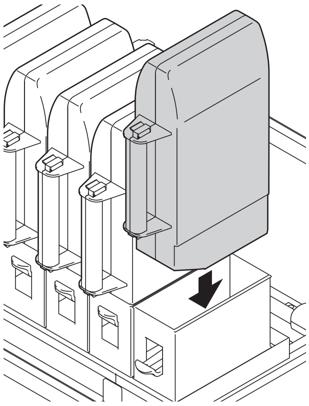


(3) コネクタ部を下にして 2L インクパックを入れ、 2L エコケースを閉じる



(4) エコケースに付属の銘板を貼り付ける

4 2L エコケースを台座に取り付ける

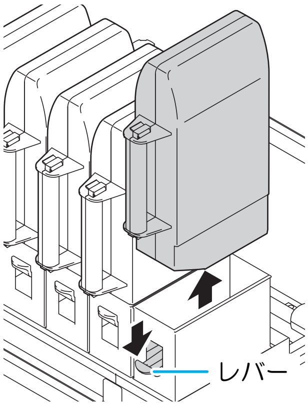


重 要!

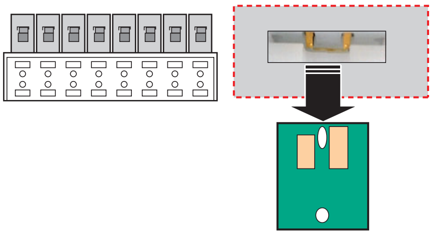
- 同じ梱包箱から取り出したインクパックとインク IC は、必ず同じスロットへセットしてください。異なるスロットにセットすると、インクが使用できない場合があります。
- エコケースは垂直にセットしてください。
（傾いた状態でセットすると、コネクタが破損し、インク漏れの原因となる）

インクパックを交換する

1 レバーを押し下げ、2L エコケースを取り外す



2 2L エコケースを取り出したスロットのインク IC を取り外す



3 2L エコケースを開け、インクパックを交換する

- 使用済みのインクパックは、手順 2 で取り外したインク IC と一緒にしておいてください。(新しいインクパックのインク IC と混同させないため）

4 新しいインクICをインクスロットにセットし、手順3で交換した2Lエコケースを台座に取り付ける

重 要!

- 使用済みのインクパックは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 使いかけのインクパックを交換するときは、次のようにしてください。
インク残量の管理ができなくなります。
(1) 2L エコケースから使いかけのインクパックを取り出す
(2) エコケースを取り出したスロットのインク IC を取り外す
(3) 使いかけのインクパックと一緒にインク IC を保管する
(4) 再度使用するときは、インクパックをセットし、一緒に保管したインク IC をスロットに差し込む

ディスプレイの言語表示を切り替える

お買い上げ時のディスプレイ表示言語は英語になっています。
各種キー操作の前に、必要に応じて次の手順で日本語に切り替えてご使用ください。

1	ローカルモードで、(FUNCTION) キーを押す	FUNCTION SETUP <ENT>
2	(▲)(▼) を押して、**[DISPLAY]** を選択する	FUNCTION DISPLAY <ENT>
3	(ENTER) キーを押す	DISPLAY ENGLISH <ENT>
4	(▲)(▼) を押して、**[JAPANESE]** を選択する • 設定値 ：[ENGLISH], [JAPANESE], [PORTUGUESE],[ITALIANO], [ESPANOL], [FRANCAIS],[DEUTSCH],[TURKCE]	DISPLAY JAPANESE <ENT>
5	(ENTER) キーを押す	
6	終了するとき、(END) キーを数回押す	

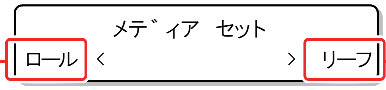
メニューモードについて

本装置には 4 つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

メディア選択画面

メディアを検出する前のモードです。(REMOTE)/(TEST DRAW) キー以外のキーが有効です。

メディア選択中の画面表示



(◀) キーでロールメディアの検出を開始 (☞ P.2-34)

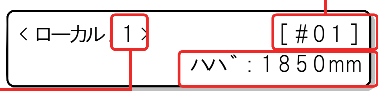
(▶) キーでリーフメディアの検出を開始 (☞ P.2-34)

ローカル

ローカルは、準備状態のモードです。

- 全てのキーが有効です。
- コンピュータから、 データを受信できます。 ただし、 プリントは行いません。

ローカル表示



装置認識のためのマシン名称 (☞ P.3-27)

メディア幅

現在のユーザータイプを表示 (☞)

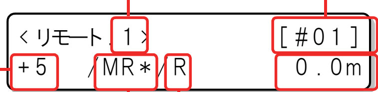
ファンクション

ローカル時に、(FUNCTION) キーを押すとファンクションモードになります。
各ファンクション機能を設定します。

リモート

受信したデータをプリントします。プリント中に(REMOTE)キーを押すと、一時停止します。

リモート表示



現在のユーザータイプを表示 (☞)

装置認識のためのマシン名称 (☞ P.3-27)

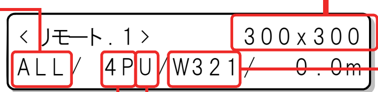
プリント中のメディア補正値 (☞ P.2-39)

プリントしたメディアの長さ (☞ P.2-38)

モアレ軽減で設定したパターン (☞ P.3-23)

ノズルリカバリ情報 (☞ P.4-38)
ノズルリカバリ設定時に表示 (R: 可能、UR: 不可能)

プリント中の表示



解像度：300/450/600/900/1200

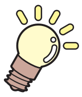
使用ヘッド
ALL : 全てのヘッド
AB- : A ラインと B ライン
-BC : B ラインと C ライン
A-- : A ライン
-B- : B ライン
--C : C ライン

ドロップサイズ
W321, W421, W432,
W531, W543

スキャン方向
U: 単方向 B: 双方向

分割数 (P: パス　H: 倍速)
1P,2P,3P,4P,6P,8P,12P,16P,24P,32P 4H,6H,8H,12H,16H,24H,32H

第２章
基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

ユーザタイプについて

お使いになるメディアに合わせたプリント条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したとき、タイプを変更するだけで最適のプリント条件を設定できます。

ユーザタイプに登録できる設定内容

ユーザタイプ（1 ～ 4）への登録方法は、P.3-2 を参照してください。

設定項目	参照ページ	設定項目	参照ページ
メディア補正	P.3-4	リフレッシュ	P.3-24
メディア送り	P.3-6	ミリ / インチ	
プリント品質	P.3-11	オートクリーニング	P.3-15
重ね塗り	P.3-24	カラーパターン	P.3-21
乾燥時間	P.3-22	モアレ軽減	P.3-23
優先順位	P.3-14		

登録したユーザタイプを使用する

1 ローカル表示のとき、(USER TYPE) キーを押す

＜ローカル．1＞　[＃＊＊]
ハハ゛＊＊＊＊mm

2 (▲)(▼)を押して、ユーザタイプ（**1** ～ **4**）を選ぶ

- (USER TYPE) キーを押しても選べます。

ユーサ゛タイフ゜　ヘンコウ
タイフ゜（1）－＞　＜2＞　＜ENT＞

3 (ENTER) キーを押す

＜ローカル．2＞　[＃＊＊]
ハハ゛：＊＊＊＊mm

選択したユーザタイプの番号

(USER TYPE) を使わないでユーザタイプを選ぶには

(USER TYPE) キーを押さなくても、(FUNCTION) キーを使ってユーザタイプを選ぶことができます。

(FUNCTION) を押して [セッテイ] を選ぶ → (ENTER) を押す → (▲)(▼) を押して ユーザタイプ（**1** ～ **4**）を選ぶ → (ENTER) を押す

作業の流れ

電源を入れる

P.2-4「電源を入れる/切る」を参照してください。

↓

メディアをセットする

P.2-14「メディアをセットする」を参照してください。

↓

ユーザタイプを選ぶ

P.2-2「登録したユーザタイプを使用する」を参照してください。

↓

テストプリントをする

P.2-36「テストプリントをする」を参照してください。

↓

プリントをする

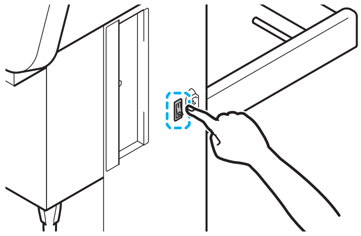
P.2-38「データをプリントする」を参照してください。

電源を入れる

1 接続してあるコンピュータなどの電源をオンにする

2 プリンタ側の電源を入れる

- 電源スイッチを [I] 側に倒します。



3 メディア搬送システム側の電源を入れる



- 電源レバースイッチを [ON] 側に回すと、電源がオンになります。
- 電源をオンにするときは。フロントカバーを閉じておいてください。フロントカバーが開いていると、電源をオンにしても動作しません。
- [BOOT] を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

```
BOOT
```

```
Tx400-1800          V*.**
```

- [シバラクオマチクダサイ] を表示します。

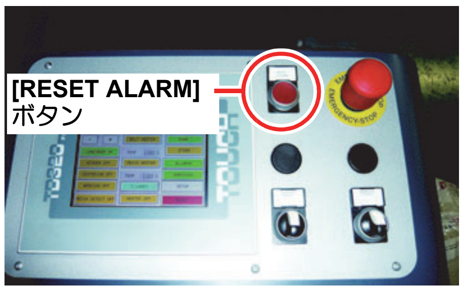
```
      シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
***-----------------
```

- メディア選択画面になります。

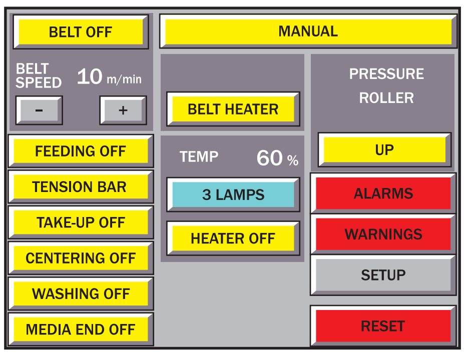
```
        メテ゛ィア セット
ロール <              > リーフ
```

4 メディア搬送システム側の電源をオンにする

- 操作パネル(正面)の [RESET ALARM] ボタンを押します。

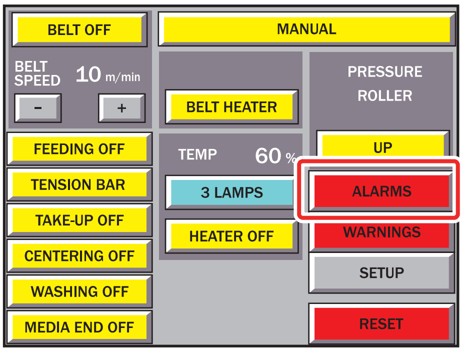


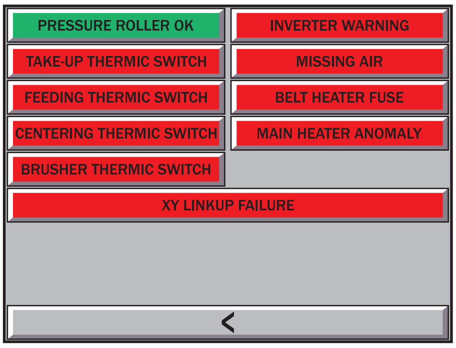
- [RESET ALARM] ボタンを押すと、操作タッチパネルが表示され、ビープ音が鳴りますが、異常ではありません。



5 アラームのリセットを行う

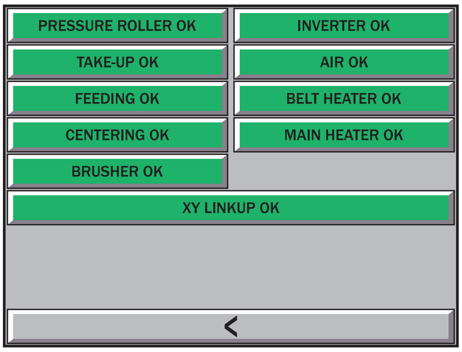
- 操作タッチパネルの [ALARMS]（赤色表示）を押すとアラームセクションが表示されます。



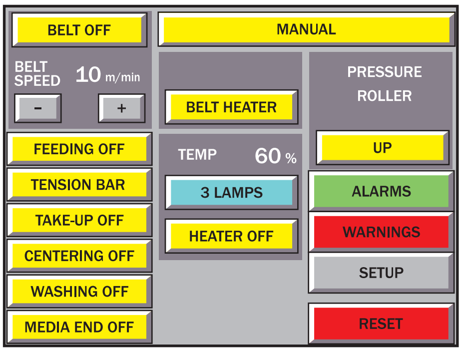


- 11種類のアラームセクションボタン全てを押して、アラームをリセットします。（リセットされると緑色表示に変わります）

重 要！
- アラームセクションボタンを押しても緑色に変わらない部分はエラーが発生しています。エラー内容を確認してください。

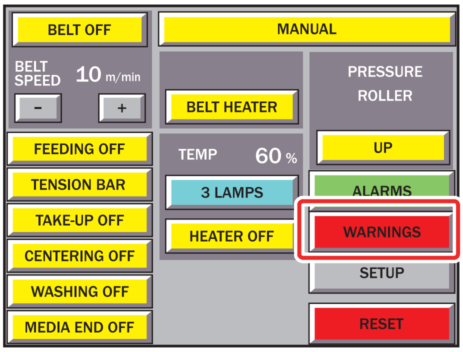


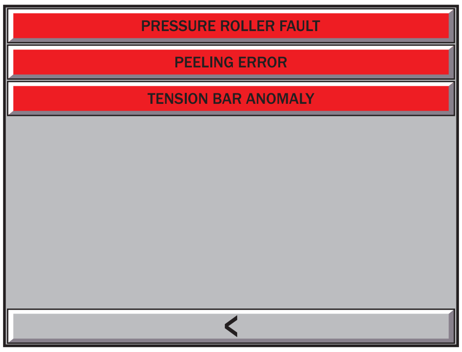
- [<] を押して初期画面に戻ります。



6 ワーニングのリセットを行う

- 操作タッチパネルの [WARNINGS]（赤色表示）を押すとワーニングセクションが表示されます。

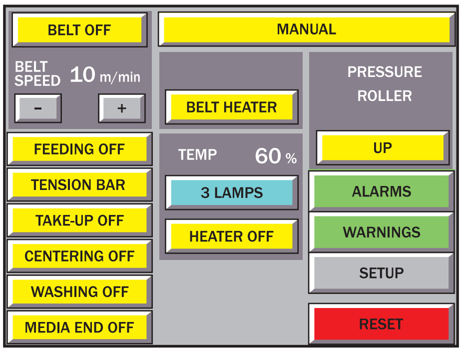




- 4 種類のワーニングセクションボタン全てを押して、ワーニングをリセットします。（リセットされると緑色表示に変わります）



- [<] を押して初期画面に戻ります。



電源を切る

電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、 また、 未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。 （P.5-13 「エラーメッセージ」）

注 意

本装置の電源は、極力切らないでください。

- ヘッドノズル面でインクが固着し、ノズル詰まりの改善が困難な状態になってしまいます。
やむをえず、電源を切る合は、P.4-8「ヘッドノズルの洗浄」手順 1 ～ 8 までの操作をして、キャップ内に洗浄液を満たしてから電源を切ってください。
- 本装置の制御の特性上、12 時間以上電源を切った状態にすると、キャップをした状態であっても、次第にヘッドノズル面よりインクが出てきてしまう恐れがあります。
ノズルからインクが出てきてしまった場合、同じヘッド内で隣り合うノズルとの間で、インクの色が混ざり合ってしまうことがあります。
ノズル内でインクが混ざり合ってしまうと、ヘッド内の再充填が必要となり、多くのインクを捨ててしまうことになります。
長期間使用しない場合でも、できる限り電源を切らないでください。

重 要 !

- プリント中に電源をオフすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとインクのボタ落ちの原因になります。
- キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、インクのボタ落ちを防ぎます。

1 接続してあるコンピュータなどの電源をオフにする

2 メディア搬送システム側の電源を切る

- 電源レバースイッチを [OFF] 側に回すと、電源がオフになります。
- メディア搬送側の電源を切ることで、プリンタ側の電源も切ることができます。

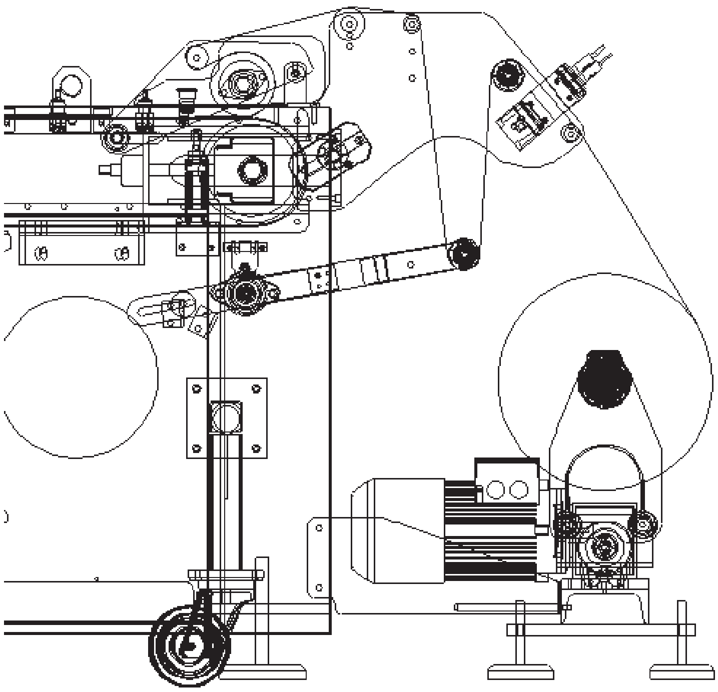


自動機能

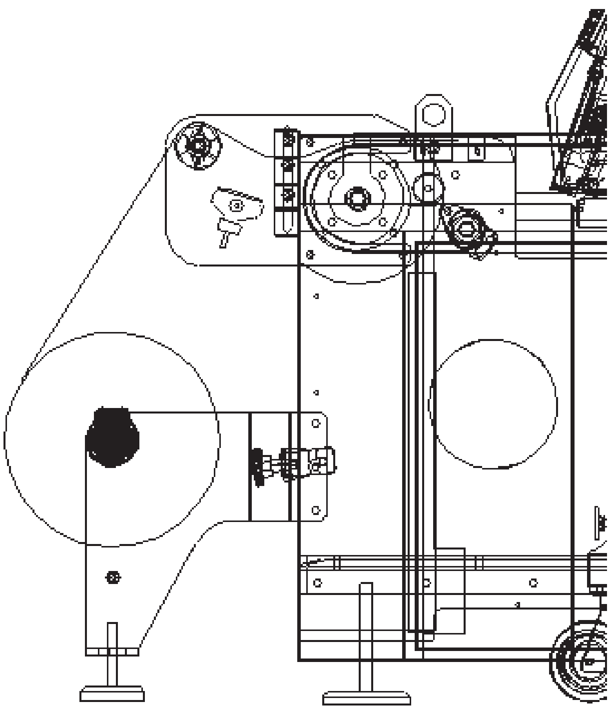
自動機能中、本装置はインクジェットプリンタから直接コマンドを受け付けます。搬送ベルトと本装置の各コンポーネントはプリンタによって制御されます。
搬送システムにはセンタリングユニットがあるため、メディアは初期位置のまま中央にセットされます。また、プリント中のメディアの繰り出しは、2 つのセンサが付いたテンションバーの動作によって制御されます。

注意

- 自動機能中は本装置に触らないようにしてください。加圧ローラが自動的に下がるなどして指などを挟み、怪我をする恐れがあります。



引き剥がしローラのすぐ後ろに配置された引き剥がしセンサ（START）でメディアが検出されるまで、巻き取りユニットはアイドル状態です。検出されると、引き剥がしセンサ（STOP）が反応するまで巻き取りユニットがメディアを巻き取ります。この工程がプリントプロセスの最後まで繰り返されます。



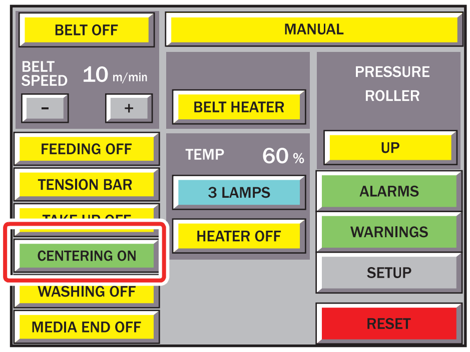
センタリングユニット、ベルトヒータ、ベルト洗浄ユニット、外部ヒータなど、本装置に用意されている補助デバイスには、メディアの種類に応じてオン / オフを切り替えることができるものもあります。

センタリングユニットのオン / オフを切り替える

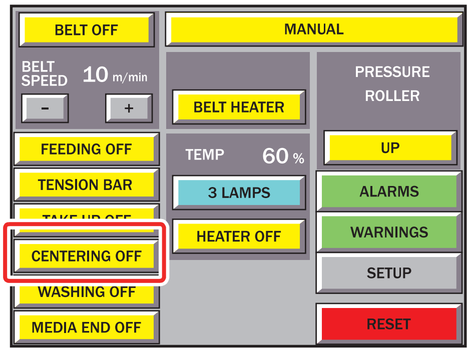
センタリングユニットを使用すると、プリント中、メディアをまっすぐに保つことができます。しかし、メディアの巻かれ方によっては、このセンタリング動作のためにメディアが折り重なってしまう場合があります。

1 操作タッチパネルの[CENTERING ON/OFF]を押して切り替える

- オンにする場合　：緑色に点灯



- オフにする場合　：黄色に点灯

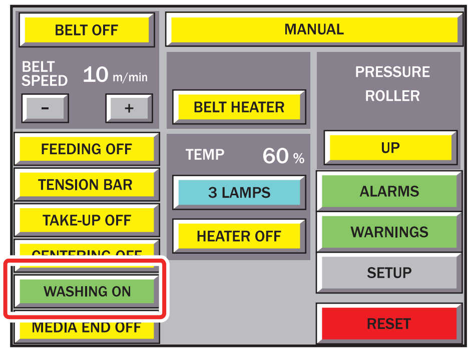


ベルト洗浄ユニットのオン / オフを切り替える

ベルト洗浄ユニットを使用すると、搬送ベルト上にある裏抜けしたインクを拭き取ることができます。

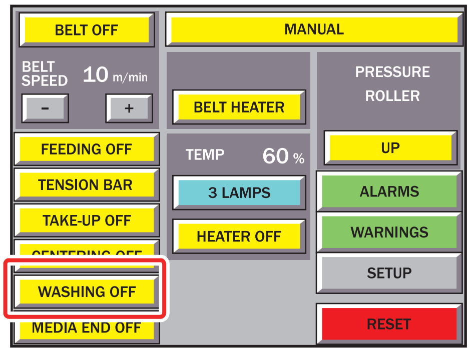
1 操作タッチパネルの**[WASHING ON/OFF]** を押して切り替える

• オンにする場合　：緑色に点灯



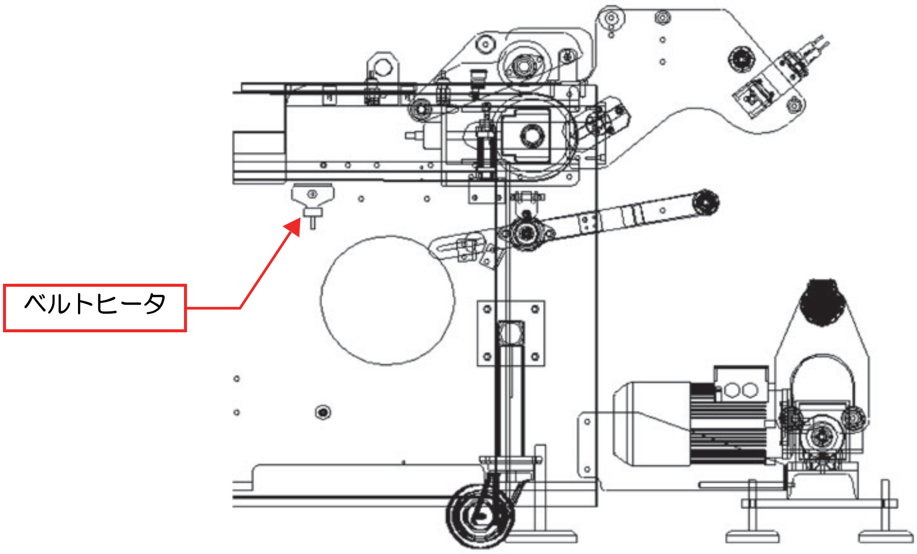
重 要！ • ベルト洗浄ユニットは搬送ベルトが動作中のみオンになります。操作タッチパネル上でオンになっていても搬送ベルトが動作していない場合は動作しません。

• オフにする場合　：黄色に点灯



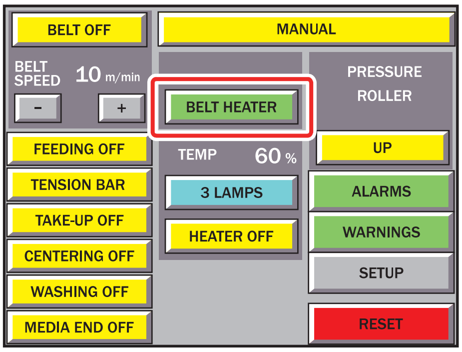
ベルトヒータのオン / オフを切り替える

ベルトヒータを使用すると、搬送ベルトの粘着性と乾燥を維持することができます。



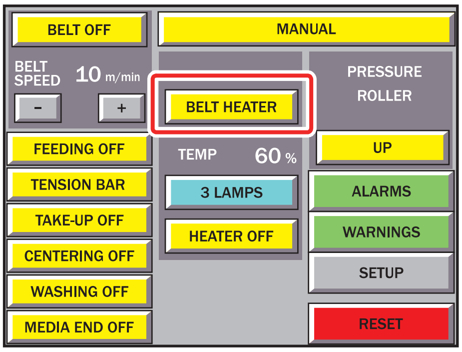
1 操作タッチパネルの [BELT HEATER] を押して切り替える

・オンにする場合 ：緑色に点灯



重 要！
- ベルトヒータの温度設定はセットアップの通常設定 (☞ P.1-14) を参照してください。
- 地張り剤の塗り替え作業時は、必ず OFF にしてください。

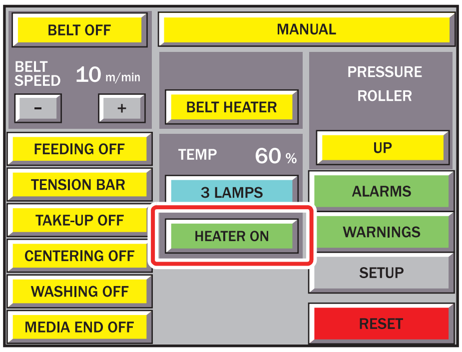
・オフにする場合 ：黄色に点灯



メインヒータのオン / オフを切り替える

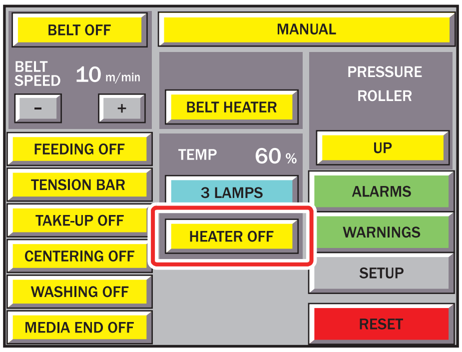
1 操作タッチパネルの**[HEATER ON/OFF]**を押して切り替える

・オンにする場合　：緑色に点灯



重要！
- メインヒータの温度設定はセットアップの通常設定 (☞ P.1-14) を参照してください。
- 地張り剤の塗り替え作業時は、必ず OFF にしてください。

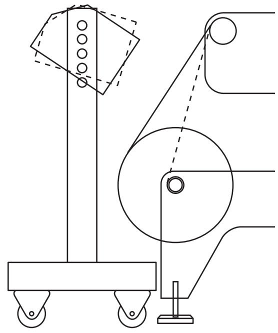
・オフにする場合　：黄色に点灯

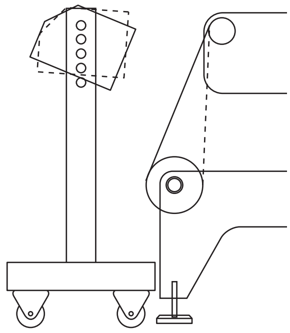


メインヒータの角度を調整する

メインヒータを使用する場合は、プリント後のメディアを正常に乾燥させるためにメディアの角度に合わせてヒータの角度を調整してください。

重要!
- メインヒータを使用するときは、フリーローラから巻取装置までのメディア面に平行になるようにしてください。
- メディア面の角度は、巻取方法（内巻き / 外巻き）や巻き取ったメディア量によって変化します。


巻取量による角度の変化


内巻き / 外巻きによる角度の変化

1 メインヒータ側面の六角ボルトを、付属のモンキーレンチを使用して緩める



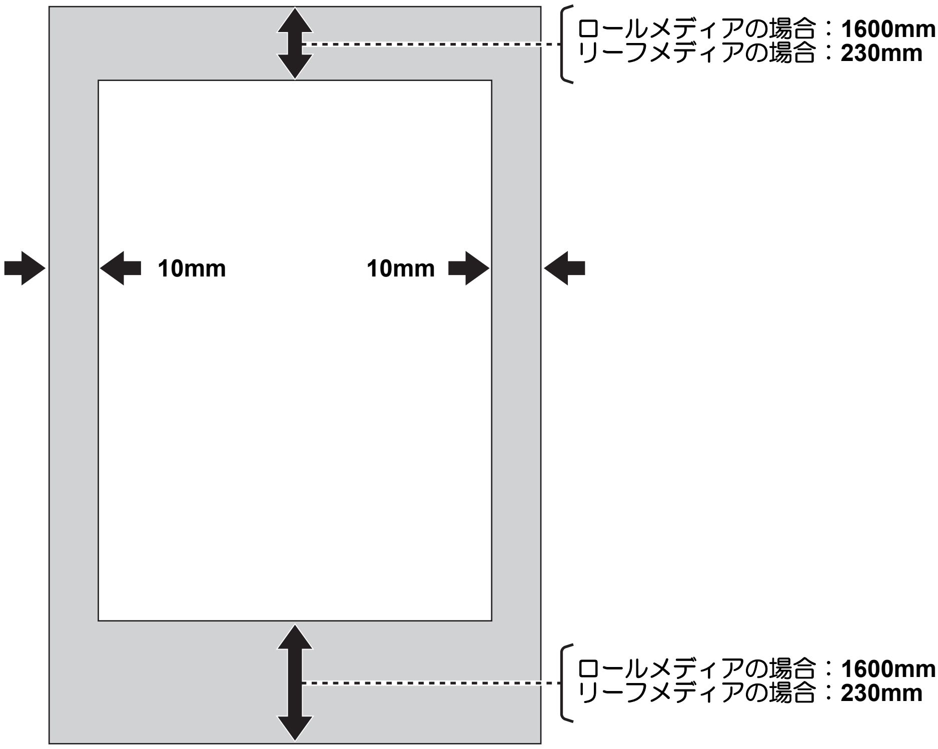
2 ヒータの角度を調整し、六角ボルトを締める

重要!
- メインヒータの角度調整は、必ず 2 人以上で行ってください。



最大プリントエリアについて

下図の白部が最大プリントエリアとなります。
それ以外のプリントできない範囲が、マージンとなります。



- 布の前後端のマージンは、導布の使用により小さくすることもできます。

使用できるメディアについては、P.1-18「使用可能なメディアについて」を参照してください。

メディアセットに関する注意事項

- ロールメディアセット用のロールシャフトは、シャフト自体だけでも 8 ～ 10Kg の重量があります。セットするときは、メディアやロールシャフトを足などに落とさないように注意してください。重みで怪我をすることがあります。
- ロールメディアをロールシャフトに取り付けると、かなり重くなりますので、取り付け・取り外しは、2 人以上で作業してください。

メディアセットの概要

メディアをセットするときは、作業性の面から 2 人以上の人員で作業を行うことをお勧めします。



- 加圧ローラは、重量ロールであるため、メディアセット中のローラ落下による挟まれには十分ご注意ください。

布巻きローラを取り付ける (☞ P.2-18)
メディア汚れ防止のため、 布巻きローラの準備をしてください。

↓

メディアを繰り出す (☞ P.2-20)
メディアをセットし、 巻取装置側へ繰り出します。

↓

メディアを巻き取る (☞ P.2-26)
メディアを紙管に固定し、 巻き取ります。

↓

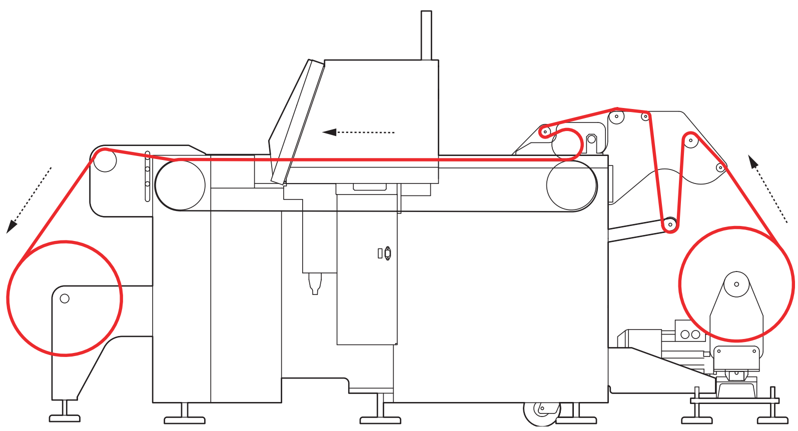
ヘッド高さを調整する (☞ P.2-32)
P.2-32 「ヘッド高さを調整する」 を参照してください。

↓

メディアを検出する (☞ P.2-34)
P.2-34 「メディアを検出する」 を参照してください。

メディア経路について

本機に布メディアをセットするときの経路は右図のようになります。
メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。



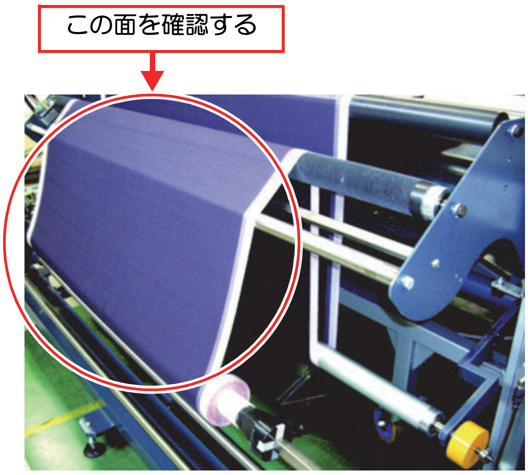
テンションバーのウェイト調整

メディアには、天然素材、合成繊維など素材の違うものから、織物、編物など製造方法の違うものなど、様々な種類があります。また、同じメディアでも前処理行程の違いなどから、伸縮性の特性が変化します。このような様々なメディアを、そのメディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、テンションバーウェイトを調整する必要があります。

●ウェイト調整の目安

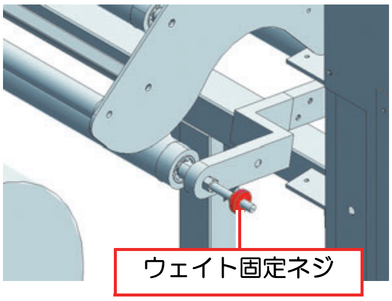
メディアに合った適正なテンションが掛かっているかを以下の現象を参考にして確認してください。
適正なテンションが掛かっていない場合には、カウンターウェイトの枚数を調整する必要があります。

<table>
<tr><th>ウェイト</th><th>メディア表面</th><th>フィード時の状態</th></tr>
<tr><td>不足している</td><td colspan="2">部分的なたるみが発生し、メディアの表面が平面になっていない。</td></tr>
<tr><td>適正</td><td colspan="2">平面を維持している。</td></tr>
<tr><td>多すぎる</td><td>メディア表面にシワが入る。</td><td>テンションバーが上がらない、または、紙管がスリップする。</td></tr>
</table>



● カウンターウェイトの取り付け方

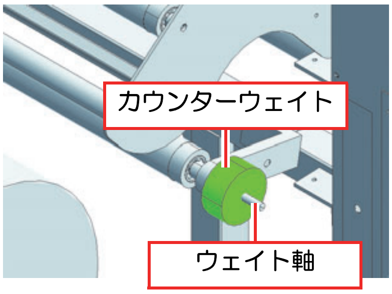
1 ウェイト固定ネジを取り外す



2 浮動テンションバーのウェイト軸に、付属のカウンターウェイトを差し込む

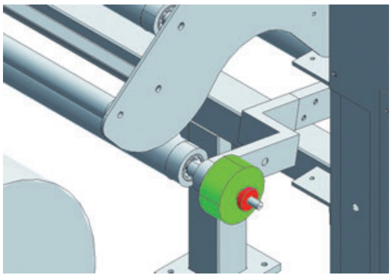
- 本機には、重さ 2000g • 1300g • 600g • 300g • 100g のカウンターウェイトを各ひとつずつ付属しています。

重要！
- 必ず左右のカウンターウェイトの重量が同じになるように取り付けてください。左右の重量が異なると、搬送不良の原因になります。



3 ウェイト固定ネジを取り付ける

- 取り付けたカウンターウェイトが落ちないよう、必ずウェイト固定ネジを取り付けてください。



- カウンターウェイトを取り付けた後はテストプリントを行い、メディアに合った適正なテンションになっているか確認してください。

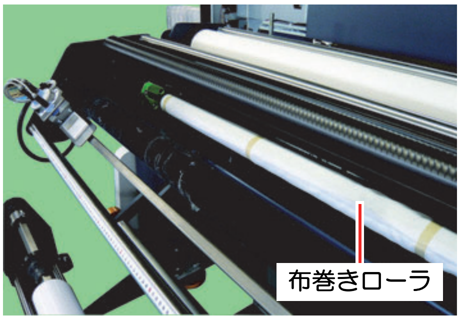
布巻きローラを取り付ける

ベルト洗浄後に、洗浄ユニットのワイパーで除去しきれなかった水滴が残る場合があります。
その水滴が、ベルト表面まで伝わると、プリント前のメディアを汚してしまう恐れがあります。
布巻きローラを取り付けておけば、ベルトに付着した水滴を取り除くことができます。

重要!
- 出荷時には、布巻きローラに布は巻かれていません。以下のサイズの吸水性の良い布をご用意ください。
  素材　：素材綿天竺、綿ブロード等（吸水性の良い素材）
  サイズ：195cm X 100cm

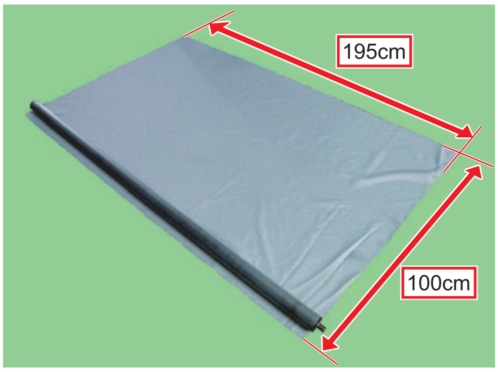
1 布巻きローラを取り外す

- 布巻きローラは、本体背面、搬送ベルトのローラ付近にあります。



2 布巻きローラに布を巻きつける

(1) 右図のように布とローラを合わせる



(2) 布とローラを粘着テープで固定する

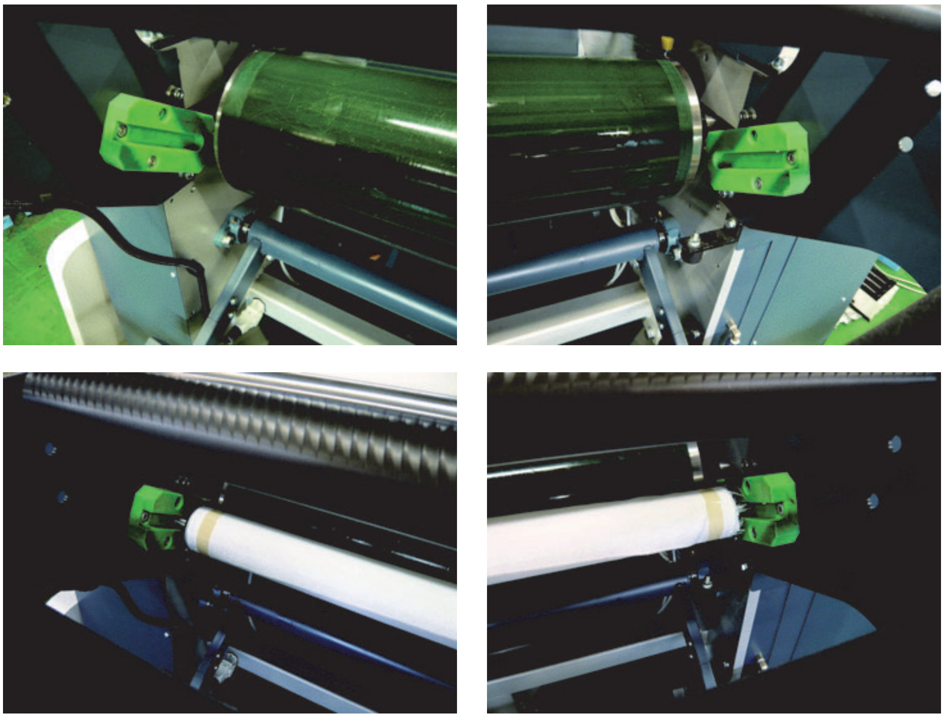


(3) 布をローラに巻き付け、粘着テープで固定する



3 布を巻いた布巻きローラを取り付ける

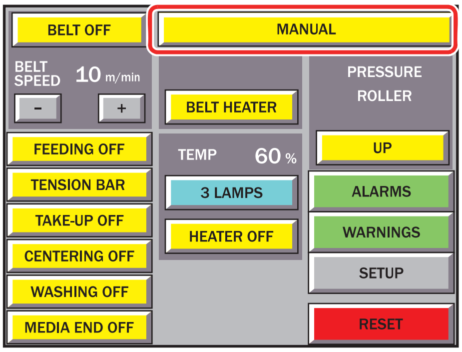
- 本体背面の搬送ベルトローラ付近の樹脂ブロックの溝に合わせて布巻きローラを取り付けてください。



4 搬送ベルトを回転させて、スムーズに布巻きローラが回転することを確認する

メディアを繰り出す

1 操作タッチパネルの **[AUTOMATIC]** を押して **[MANUAL]** にする



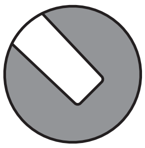
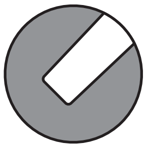
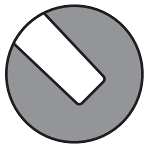
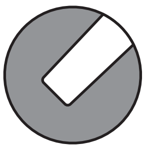
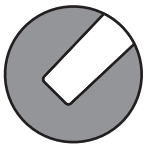
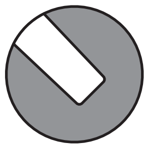
2 背面コントロールパネルの**[FEEDING MANUAL]**レバーと **[FEEDING AUTOMATIC]** レバーを操作して、繰出装置の回転方向を選択する

- [FEEDING MANUAL] レバーは [FEEDING AUTOMATIC] レバーの向きによって、回転方向が決まります。
- [FEEDING AUTOMATIC] レバーはプリント面が内巻きか外巻きかで向きが決まります。詳しくは、下の表をご参照ください。

[FEEDING MANUAL] レバー

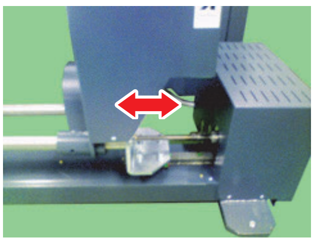


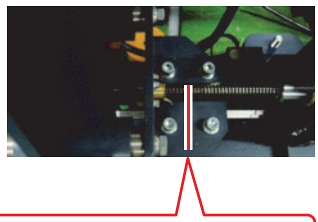
[FEEDING AUTOMATIC] レバー

プリント面	**[FEEDING AUTOMATIC]** レバー	**[FEEDING MANUAL]** レバー	
外巻き	反時計方向に回す 	メディアを繰り出す時  時計方向に回す	メディアを巻き取る時  反時計方向に回す
内巻き	時計方向に回す 	メディアを繰り出す時  時計方向に回す	メディアを巻き取る時  反時計方向に回す

3 センタリングユニットをセンタリング範囲のほぼ中央になるように、背面コントロールパネルの **[CENTERING MANUAL]** レバーを回転させ調節する



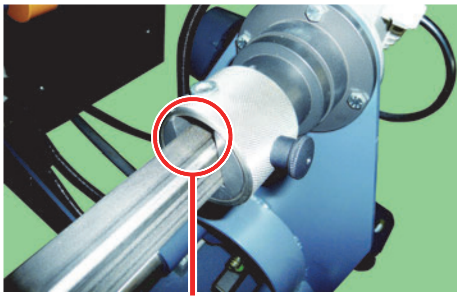




センタリングユニットが両端の緑シールの中央に来るように調節

4 メディアをロールシャフトにセットする

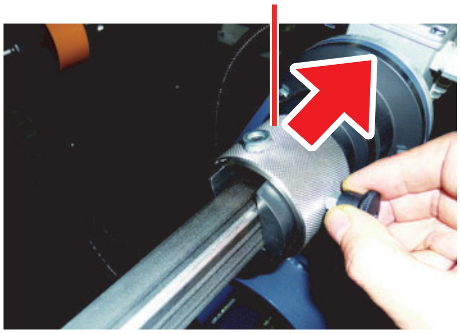
(1) ロールシャフトを回転させ、ロールシャフト挿入口を上に向ける



(2) ツマミネジを緩め、シャフト固定カラーを移動させる

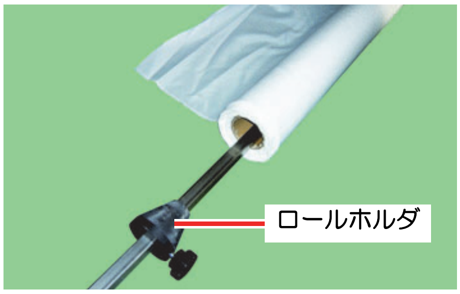


- シャフト固定カラーを移動させる前に、必ず、ロールシャフト挿入口が上を向いていることをご確認ください。ロールシャフト挿入口が下を向いている状態でシャフト固定カラーを移動させると、ロールシャフトが落下して危険です。



(3) ロールシャフトを取り外す

(4) メディアをロールシャフトに通し、ロールホルダで固定する
- •ロールホルダセット後、メディアを手で回し、ロールホルダと紙管の間でスリップしないことを確認してください。
- •プリント中どうしてもスリップしてしまう場合は、ロールホルダと紙管をテープで固定してください。



(5) ロールシャフトを繰出装置にセットする

(6) シャフト固定カラーを元の位置に戻す

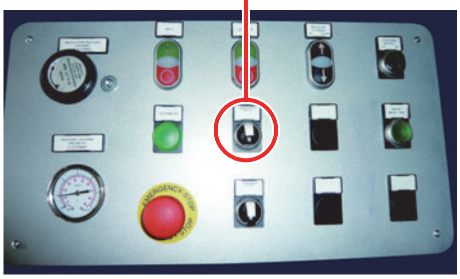




- シャフト固定カラーは必ず確実に固定してください。固定せずに繰出装置を回転させると、ロールシャフトが脱落し、大変危険です。

5 背面コントロールパネルの[FEEDING MANUAL]レバーを回し、メディアの繰り出しを行う

- 約 3m 程度繰り出してください。

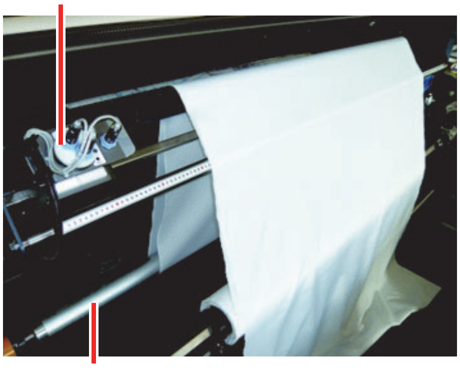


2

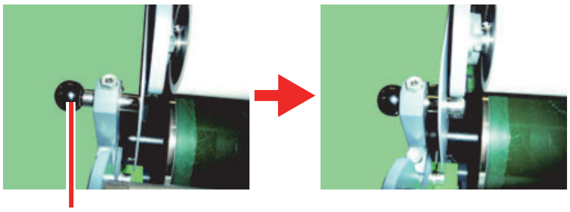
基本的な使い方

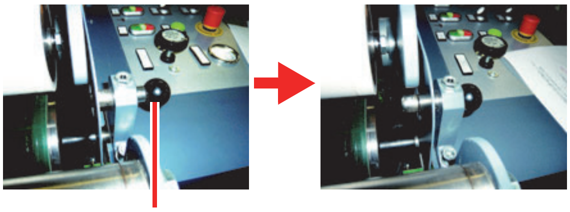
6 メディアをセンタリングユニットセンサーと浮動テンションバーに通す

- 幅 1000mm 以下のメディアでは、センター基準でメディアをセットしたときに、センタリングセンサーユニットの左右移動の調整範囲を超えてしまう場合があります。その場合は、センタリングセンサの調整範囲内になるようにメディアのセット位置を調整してください。



7 加圧ローラ両端の落下防止ピンを押し込む

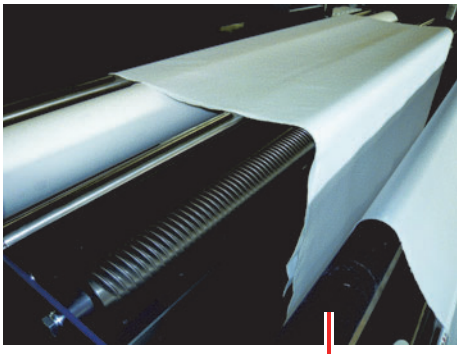


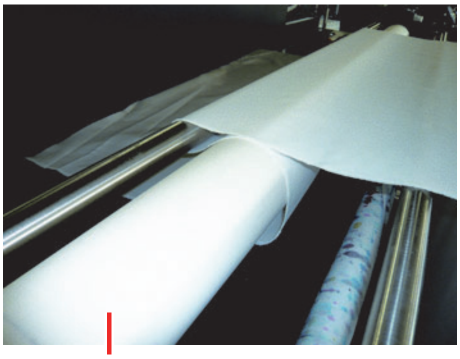


注意

- 不意の加圧ローラ落下による怪我を防止するために、必ず、落下防止ピンを押し込んでおいてください。
- 落下防止ピンは、確実に出切った状態となっていることを確認してください。ピンが出切っていない状態では、加圧ローラの落下を防止できません。

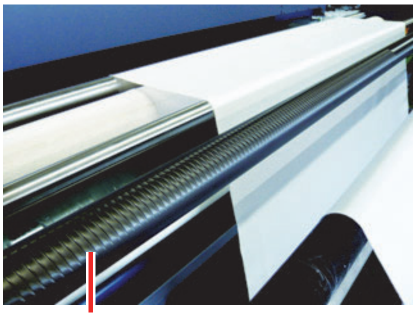
8 加圧ローラ上側の折り返しバーにメディアを通した後、加圧ローラにメディアを巻きつける





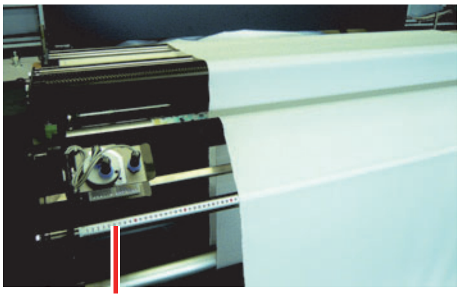
重要!

- シワ取りロールバーはセンター基準でメディアをセットした場合に機能します。
- 右端基準でメディアをセットした場合、シワ取りロールバーは機能しません。この場合は、シワ取りロールバーを使用しないでください。



9 メディアロール端、センタリングセンサ、テンションバー、加圧ローラ間でメディアが斜めにセットされていないか確認する

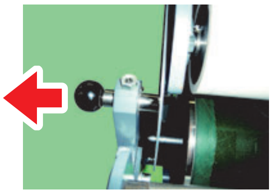
重 要！
- 最大幅（1860mm）のメディアをセットする場合は、ベルトエンコーダにかからない位置にメディアをセットしてください。ベルトエンコーダにメディアが挟まれると、正常にプリントできなくなってしまいます。

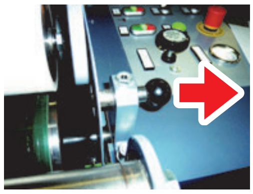


装置の後方から見て、メディアがまっすぐにセットされていることを確認する

- メディアが斜めにセットされている場合は、ずれている箇所のメディアを左右にずらし調節してください。
- メディアをずらしにくい場合は、テンションバーを軽く持ち上げ、テンションを緩めると作業がしやすくなります。
- 最大幅（1860mm）のメディアをセットした場合は、ベルトエンコーダへの干渉も含め、注意が必要です。メディアをずらすだけでは、修正しきれない場合がありますので、センタリング位置の調整、等を行い、メディアの斜めセットをできるだけ防止してください。

10 落下防止ピンを戻す





11 [PRESSURE CYLINDER] DOWN(↓) スイッチを押し、加圧ローラを下げる

- 調整ダイヤルを回転させて、加圧ローラの圧力を調整します。(下表参照)
- 調整の部の下にあるエアー圧力計を確認し、使用するメディアに合わせて圧力を調整してください。
- 使用するメディア種、前処理、地張り剤の状態により圧力の調整が必要となりますが、目安として、ストレッチ系素材は圧力を軽く、非ストレッチ系素材は圧力を重くしてください。
- プリント開始後には、併せて本体巻取り側の布の引き剥がし状態を確認して、圧力の微調整を行ってください。

調整ダイヤル　PRESSURE CYLINDER



エアー圧力計

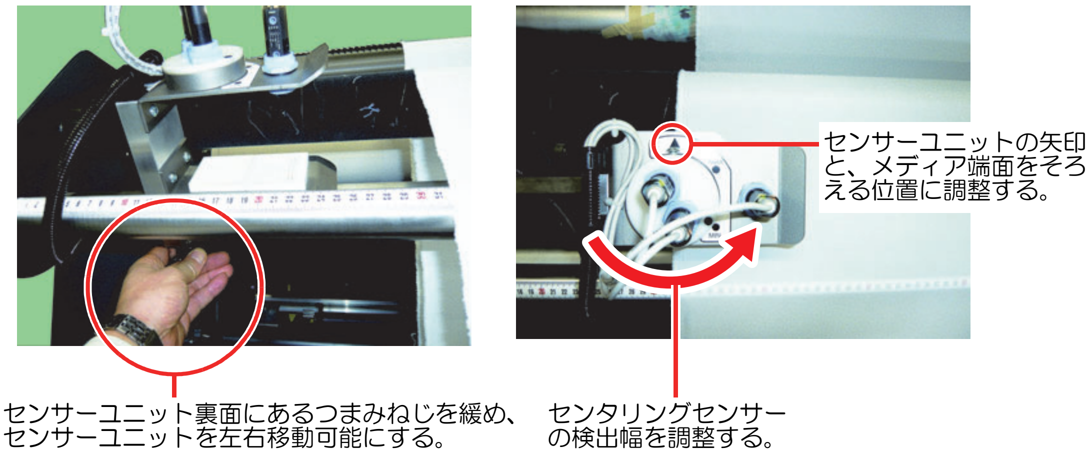
調整ダイヤルの回転方向	加圧ローラ	エアー圧力計表示
時計方向	軽くなる	エアー圧が上がる
反時計方向	重くなる	エアー圧が下がる

注 意
- 加圧ローラは重量ローラです。
- 加圧ローラを下げる時は、加圧ローラ近くに作業者がいないか確認してから行ってください。
- 加圧ローラに手等を挟まれると怪我の恐れがあり、大変危険です。

12 センタリングセンサーの位置を調整する

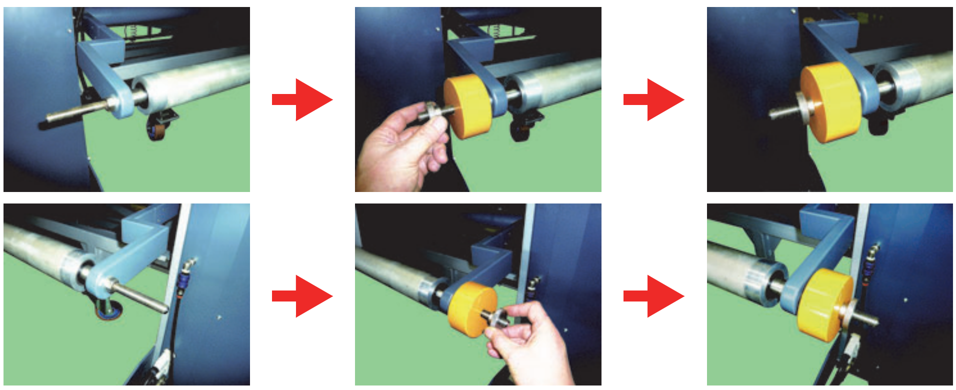
- センタリングセンサユニットを回転させて、センタリング検出幅を調整します。
  最大： 約 30mm のメディアズレを許容します。
  最小： 約 10mm のメディアズレを許容します。
- 最大値から最小値の間で任意の位置に調整して使用してください。

重要!
- センタリングユニットは、巻きズレの大きい物、ストレッチ素材等は、センタリングの効果が期待できない場合があります。必ず、テストプリントを行い、センタリングが有効に機能しているか確認してからご使用ください。
- メディアが蛇行する、地張り時にシワが入るなどの不具合が発生した場合は、センタリング機能は OFF にしてプリントしてください。



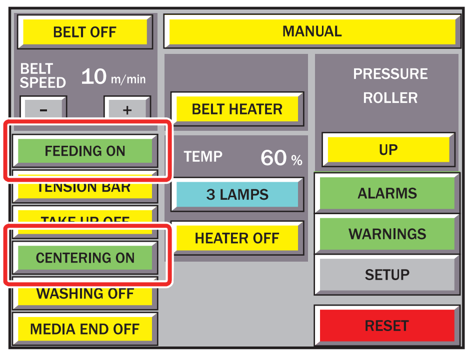
13 必要に応じて、テンションバーにウェイトをかけ、メディアに適度なテンションをかける

- テンションバーに取り付けるウェイトは、左右で同じ重さになるように調整してください。片側だけにウェイトをかけると、メディアがスキュー（斜行）したり、シワが発生してしまいます。
- 使用するメディア種、幅、前処理状態等により、適正なウェイトは変化します。目安としては、伸縮性のある布はテンションを弱く、厚手の伸びない布は強めにしてください。

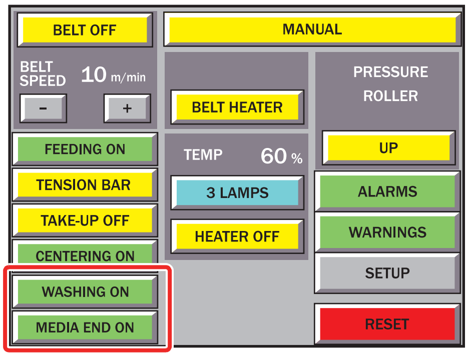


14 操作タッチパネルの[FEEDING OFF][CENTERING OFF] を押して [FEEDINGON][CENTERING ON] に切り替える

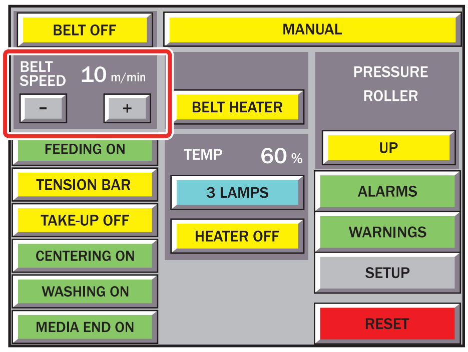
重要!
- [TAKE-UP OFF] は巻取装置にメディアがセットされていない状態では押さないでください。巻取り時の装置の破損やメディアの損傷を防止するためのワーニングエラー [PEELING ERROR] が不必要に発生する場合があります。
- [TAKE-UP ON] になっている場合は、[TAKE-UP OFF] に切り替えてください。



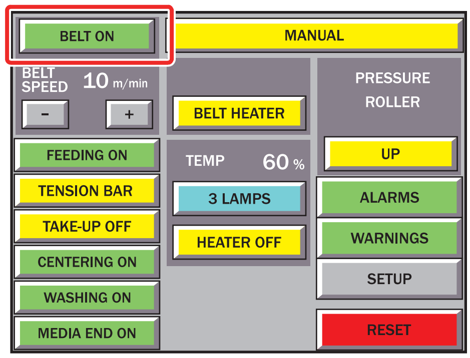
15 必要に応じて、**[WASHING OFF][MEDIA END OFF]** を押して **[WASHING ON][MEDIA END ON]** に切り替える



16 **BELT SPEED [-][+]**を押して**10m/min**程度の速度設定にする



17 **[BELT OFF]** を押して **[BELT ON]** に切り替えるとベルトが動作し、メディアを繰り出す



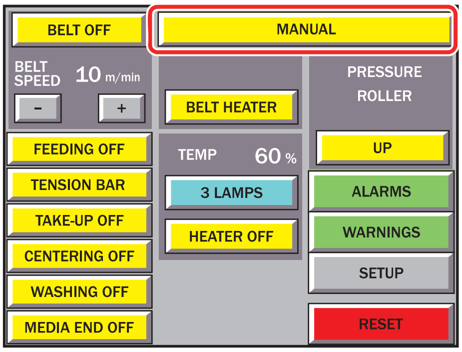
重 要！

- プリンタユニットのジョグキーにより、300mm 単位でのメディアのバックフィードは可能ですが、メディアのシワや折れの発生、ベルト洗浄水によるメディア汚染などの恐れがありますので出来る限り、バックフィードは行わないでください。
- やむをえずバックフィードを行う際は、巻取側メディアを十分弛ませる、繰出側メディアを巻取りながらキー操作を行うなどの処置を行った上でメディアの状態に注意しながら実施してください。
- バックフィードを行ったことによる、プリンタの破損、メディア損傷、プリント品質低下等の損害については、保障致しかねますのでご注意ください。
- メディアが正常に繰り出されない場合は、ワーニングエラー [DANCING BAR ANOMALY] が発生します。このときは、次のようにしてワーニングを解除してください。
  (1) 背面コントロールパネルの [FEEDING MANUAL] レバーを回し、浮動テンションバーが水平になるまで下げる
  (2) [FEEDING MANUAL] レバーの方向を確認し、メディアの繰出方向が適正になっているか確認する (P.2-20 手順 2 の表を参照して確認してください。)
- プリンタユニットのジョグキーにより、メディアのフィードを一定量以上行った場合、メディアがベルト下部に巻込まれるのを防止するため、ワーニングエラー [PEELING ERROR] が発生することがあります。このときは、メディアがベルトに巻込まれていないか確認し、問題なければタッチパネルの [WARNINGS][PEELING ERROR] を押してワーニングを解除してください。

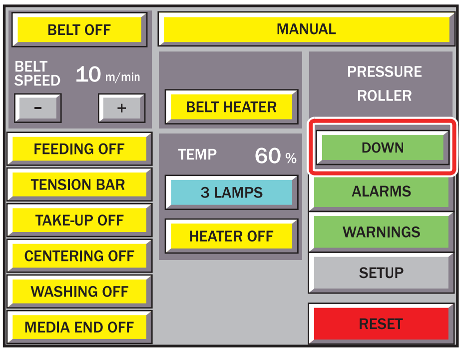
メディアを巻き取る

繰り出したメディアを空の紙管に巻き取ります。

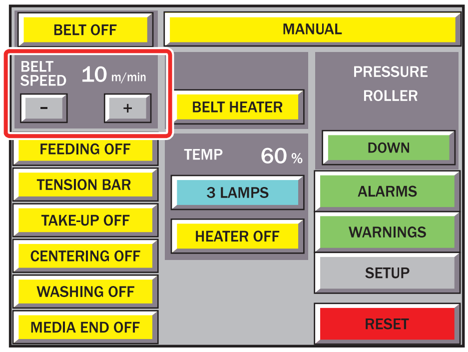
1 操作タッチパネルの **[AUTOMATIC]** を押して **[MANUAL]** にする



2 **PRESSURE ROLLER [UP]** を押して **[DOWN]** にする

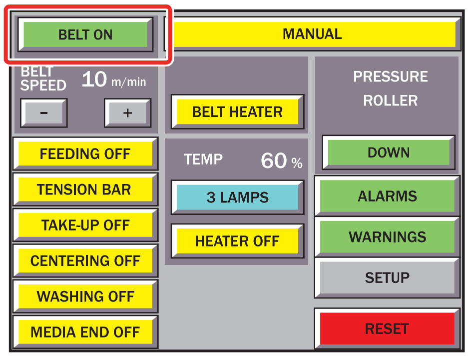


3 **BELT SPEED [-][+]を押して10m/min程度の速度設定にする**



4 **[BELT OFF]** を押して **[BELT ON]** にする

- ベルトが動作し、メディアを繰り出します。
- メディアを紙管に止めるのに十分な量のメディアを繰り出したら、[BELT ON] を押して [BELT OFF] に切り替えてください。



5 巻取装置に空紙管をセットする

- 繰出装置のロールシャフトのセットと同様に巻取装置に空の紙管をセットしてください。
- 空の紙管は、肉厚 5mm 以上の物を推奨します。
- 紙管の肉厚が薄いと巻取り途中で、紙管が折れる、たわむなどの影響により正常に巻取りができなくなる恐れがあります。

6 メディアを空紙管に固定する

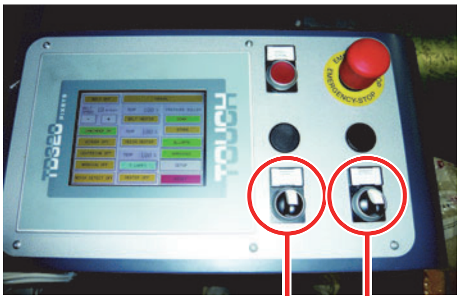
- 空紙管にかかるくらいまでメディアを繰り出し、粘着テープで紙管に固定します。



重 要！
- メディアを空紙管に固定するときは、巻き取り時に剥がれないように、なるべく 30cm 以上の間隔で固定してください。

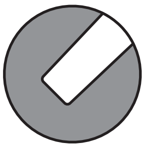
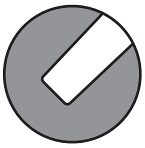
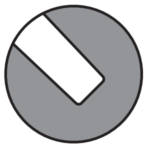
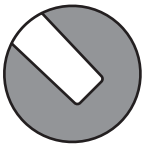
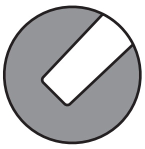
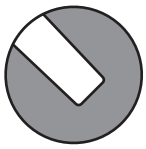
7 正面コントロールパネルの[TAKE-UP MANUAL]レバーと [TAKE-UP AUTOMATIC] レバーを操作して、メディアを巻き付ける

- [TAKE-UP MANUAL] レバーは [TAKE-UP AUTOMATIC] レバーの向きによって、回転方向が決まります。
- [FEEDING　AUTOMATIC]　レバーはプリント面が内巻きか外巻きかで向きが決まります。詳しくは、下の表をご参照ください。
- 最低 2 周以上は巻き付けて、紙管からのメディア落下を防止してください。



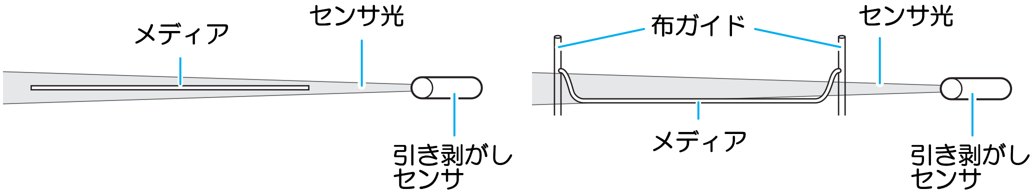
[TAKE-UP MANUAL] レバー

[TAKE-UP AUTOMATIC] レバー

プリント面	[TAKE-UP AUTOMATIC] レバー	[TAKE-UP MANUAL] レバー	
外巻き	時計方向に回す 	メディアを弛ませる時  時計方向に回す	メディアを巻き取る時  反時計方向に回す
内巻き	反時計方向に回す 	メディアを弛ませる時  時計方向に回す	メディアを巻き取る時  反時計方向に回す

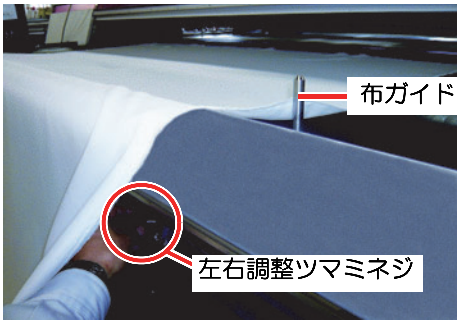
8 布ガイドを調整して、メディア端を傾かせる

- 本機は、引き剥がしセンサでメディアを検出することでメディアの位置を確認しています。
- 引き剥がしセンサは、センサから出る光をメディアが遮ることによってメディアを検出します。
- 腰の強いメディアや幅の狭いメディアを使用すると、センサからの光を遮る量が少なくなるためメディアを検出できない場合があります。腰の強いメディアや幅の狭いメディアを使用しているときにもメディアを検出しやすくするために、布ガイドで布端を傾かせることによってセンサ光を遮りやすくしてください。



- 幅の広い (1000mm 以上) メディアで、引き剥がし時にメディアにシワや弛みが発生するメディアは布ガイドを使用する必要はありません。

(1) 左右調整ツマミネジを緩め、左右に動かす
•布ガイドが左右に移動します。



(2) 写真の状態になるように、布ガイドの位置を合わせる

重 要！
- 布ガイドの布端への押しつけ量は、10mm 程度を目安にしてください。押しつけすぎると、布の端が折れた状態でロールに巻き取られる恐れがあります。



(3) 布左右端を同様に調整する

9 外部ヒータをセットする

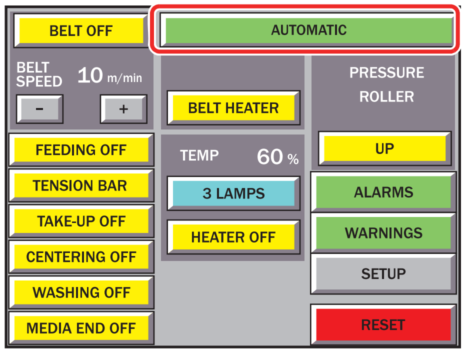
- 外部ヒータを使用する場合は、メディア正面に均等に熱が加わるように、ヒータの位置を調整して移動させてください。



注意

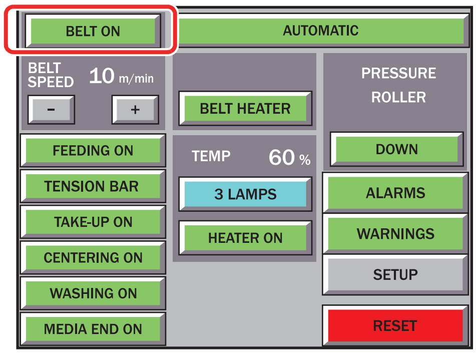
- 外部ヒータを使用するときは、ヒータ熱が、装置本体のカバーや、ヒータユニットケーブルなどに直接かかり、高温となってしまうことがあります。高温となりやすい箇所には注意ラベルを貼り付けてお知らせしていますが、ヒータの設置状態によっては、意図しない箇所が高温となってしまう可能性があります。外部ヒータは、メディア以外のヒータ熱のかかる箇所に十分注意して使用してください。
- 地張り剤の塗り替え作業時は、必ず OFF にしてください。

10 操作タッチパネルの **[MANUAL]** を押して **[AUTOMATIC]** にする



11 **[BELT OFF]** を押して **[BELT ON]** にする

- その他にも、必要な機能のボタンを "ON" にしてください。



12 Tx400 側を操作して、プリント可能な状態にする

- ヘッド高さ (☞ P.2-32)、メディア幅セット (☞ P.2-34) 等を実施してプリント可能な状態にしてください。

13 プリントデータの出力を行う

- メディア搬送システム、Tx400 のセットが完了したら、プリントデータを出力して、プリントを開始してください。

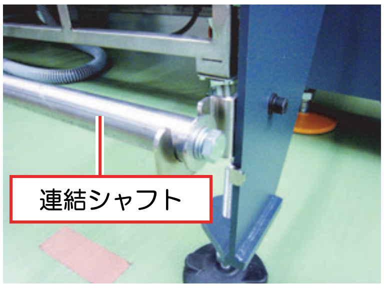
Rc210 インク使用時に間紙ロールをセットする

Rc210 インクをご使用になるときは、メディアを巻き取ったときの裏移り防止のため、間紙ロールをセットしてください。

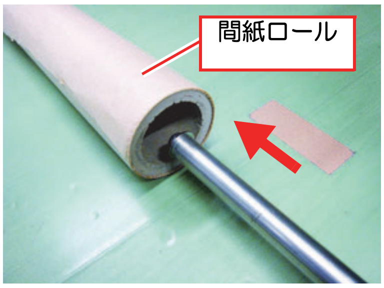
重 要!
- 間紙ロールは、外径が 160mm 以下のものをお使いください。
- プリント時、間紙には負荷がかかります。破れやすい間紙はご使用にならないでください。

1 間紙ロールセット用の連結シャフトを取り外す

- 巻取ユニットの下にある連結シャフトを取り外します。
- 連結シャフトの取り付け / 取り外しは必ず 2 人以上で行ってください。連結シャフトを落とすと、重みでケガをする恐れがあります。



2 間紙ロールに連結シャフトを通す



3 間紙ロールをセットした連結シャフトを軸ホルダに取り付ける

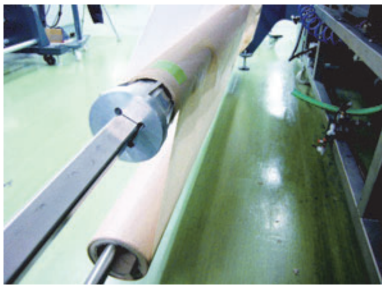
- 間紙ロールはセンター基準で取り付けてください。



4 P.2-20「メディアを繰り出す」の作業をして、装置前面の巻取側にメディアを繰り出す

5 P.2-26「メディアを巻き取る」手順 6 までの作業をして、メディアを紙管に固定する

6 間紙を引き出し、間紙の先端をメディアをテープ固定した紙管に固定する



- 粘着テープなどを使って間紙を固定します。

7 **P.2-26**「メディアを巻き取る」手順 **7** 以降の作業をして、メディアと間紙を紙管に巻き付ける

ヘッド高さを調整する

お使いになる布の厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

重要!

- お使いになる布の厚みに対してヘッドが適正な高さに設定されていないと、プリント品質の低下やヘッド破損の原因となります。ヘッドの高さ調整は布を交換する毎に行ってください。
- ヘッドの高さをプラテン面から 1.3mm(最小値) にした場合は、以下の点に注意してください。
  (1) シワや表面に凹凸のない布を使用してください。布とヘッドがこすれたり、布がヘッドに引っかかったまま押されて一カ所で詰まるジャムの原因になります。
  (2) ヘッド高さを 3mm にして使用してください。
- ヘッド高さ調整をした後は、必ずドット位置補正をしてください。（☞ P.4-22）

1 布をセットする

2 FUNCTION キーを押す

FUNCTION
セッテイ　　<ENT>

3 ▲▼を押して、**[** メンテナンス **]** を選ぶ

FUNCTION
メンテナンス　　<ENT>

4 ENTER キーを押す

メンテナンス
ステーション　　<ENT>

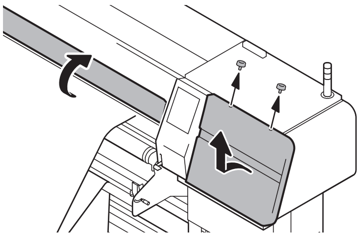
5 ▲▼を押して、**[** タカサチョウセイ **]** を選ぶ

メンテナンス
タカサ　チョウセイ　　<ENT>

6 ENTER キーを **2** 回押す

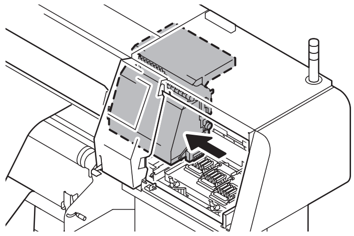
- キャリッジが移動します。

7 フロントカバーとメンテナンスカバー **R** を開ける



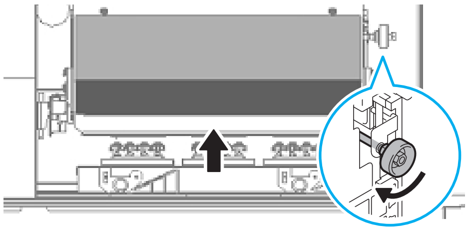
8 キャリッジを移動する

- ヘッド高さ調整棒がメディアの位置に来るまで、キャリッジを手で移動させます。
- キャリッジがスペーサや布押さえに当たる場合は、手順 9 を参照してヘッドの高さを上げてください。

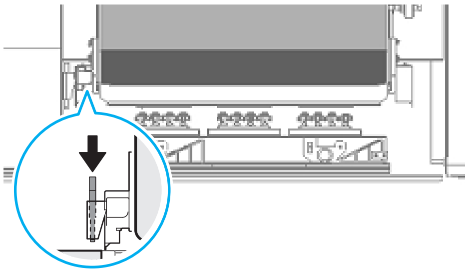


9 ヘッドの高さを調整する

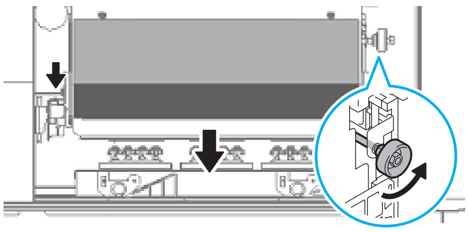
(1) 高さ調整ネジを時計回りにまわし、ヘッドを上げる



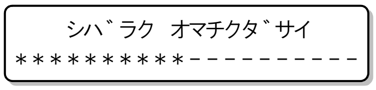
(2) ヘッド高さ調整棒を、上から押しても動かない位置まで押し込む
- 高さ調整棒の先端が布表面に付いてしまう場合は、ヘッドの高さを上げてください。



(3) ヘッド高さ調整棒を押したまま高さ調整ネジを反時計回りにまわし、ヘッドを下げる
- 棒の先端部分が使用する布の表面に触れる高さまでヘッドを下げます。
- この状態に調整することにより、ヘッド高さは約 3mm に設定されます。



10 フロントカバーを閉め、ENTER キーを押す



- ヘッド高さ調整は、高さ調整棒の先端が布の表面に触れる高さに調整すると、ヘッドと布印字面の距離が最適になります。
- ヘッドの高さを上げても、高さ調整棒の先端を布表面に触れる高さで調整した場合は、布印字面とヘッドの距離は変わりません。
- 布表面の毛羽立ちや布端エッジ部分のソリ、またはプリント中の布凹凸をさけたい場合は、ヘッドと布印字面の距離を広げて使用できます。
- ヘッドと布印字面の距離を広げた場合、印字品質は低下します。

重 要!
- ヘッド高さは 3mm 以下にしてお使いになることをおすすめします。3mm 以上にして使用した場合、プリント画像のボヤケやプリント経過での色味の変化・インクミストによるノズル抜けなどが起こる可能性があります。
- ヘッド高さを 3mm 以上で使用したことによるプリント品質について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

メディアを検出する

メディア検出は、プリントできるエリアを設定するための機能です。

1 メディア選択画面で [◀][▶] を押し、ロール / リーフを選択する

```
メテ゛ィア セット
ロール <          > リーフ
```

- “ リーフ “ を選択した場合は、手順 5 へ進みます。

2 [ENTER] キーを押す

```
メテ゛ィア ハ゜ス
カクニン             : e n t
```

3 [▲][▼] を押してメディア残量を入力し、[ENTER] キーを押す

```
メテ゛ィア セット
サ゛ンリョウ          = 1 1 0 m
```

- 設定したメディア残量は、P.3-38「装置の状態を確認する」で確認できます。

4 プリントエリアの幅を入力する

- Y 方向のプリントエリアを設定します。

プリント幅が予め分かっている場合

(1) [▲][▼] を押して数値を入力する

(2) [ENTER] キーを押す

- キャリッジが移動します。

```
フ゜リント エリア
ハハ゛         =  1 8 6 0 mm
```

重 要!

- [▲][▼] でプリント幅を入力した場合、手順 6 で設定する原点位置によってはメディア外に印刷をすることがあるのでお気をつけください。

プリント幅が分からない場合は

(1) [▲][▼] を押して “MANUAL” を選択する

(2) [ENTER] キーを押す

- キャリッジが移動します。

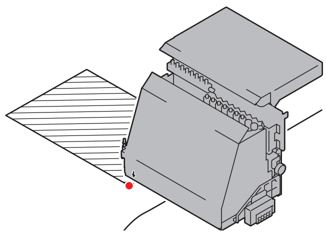
```
フ゜リント エリア
ハハ゛         =  M A N U A L
```

5 プリント原点を決定する

(1) [◀][▶] を押してプリント開始位置 (原点) までキャリッジを移動する

- キャリッジに付いている矢印マークを設定したい位置に合わせてください。

(2) [ENTER] キーを押す



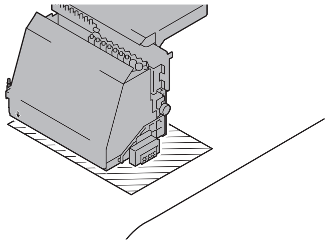
- 手順 5 で “MANUAL” に設定した場合は、手順 7 へ進みます。
- 手順 5 でプリント幅を数値入力した場合は、入力した数値に合わせて自動的にプリントエリアの左端が設定され、ローカルに戻ります。手順 7 の操作をする必要はありません。

6 プリントエリア幅を決定する

(1) [◀][▶]を押してプリントエリアの左端にキャリッジを移動する
- キャリッジに付いている矢印マークを設定したい位置に合わせてください。

(2) [ENTER]キーを押す

- キャッピング動作のあと、ローカルに戻ります。



- プリントエリアの設定を間違えた場合は、次の操作をしたあと手順 1 から検出し直してください。

(1) [ENTER]キーを押す
(2) [▲][▼]を押して、[メディアセット] を選ぶ
(3) [ENTER]キーを押す
(4) [▲][▼]を押して、“ リセット " を選ぶ
(5) [ENTER]キーを押す

原点を変更する場合は

1 ローカルで、[▲][▼][◀][▶]を押して、原点を変更したい位置へ合わせる

- [▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させて選びます。

```
ケ゛ンテン　セッテイ
X=****.*        Y=*****
```

原点位置（長さ）　原点位置（幅）

2 原点を決定したら、[ENTER]キーを押す

- 原点が変更されます。

```
ケ゛ンテン　セッテイ
**** ケ゛ンテン ****
```

テストプリントをする

テストプリントを行い、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

テストプリントを行う

重要!
- リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。
- ロールメディアを使用する場合、メディアにたわみがないか確認してください。

テストプリントの前に確認してください	• メディアをセットしているか P.2-14	• 原点位置をセットしているか
	• ヘッドギャップを調整しているか P.2-32	

1 ローカルで (TEST DRAW) キーを押す

ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
<ENT>

2 (ENTER) キーを押す

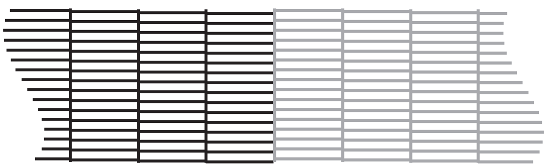
- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

** ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ **
** ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ **

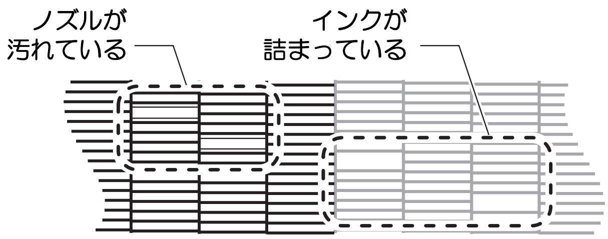
<ﾛｰｶﾙ.1> [#**]
ﾊﾊﾞ ****mm

3 テストプリントの結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（P.2-37）



正常なパターン



異常なパターン

ヘッドクリーニングを実行する

ヘッドクリーニングには、3 種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

ノーマル ：抜けがある時
ソフト ：カスレがある時
ハード ：ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

1 ローカルで (CLEANING) キーを押す

クリーニング゛
カラー :12345678

2 (◀)(▶)を押して、クリーニングするヘッドをブロックで選ぶ

- ヘッドは [1234] と [5678] のブロックに分かれます。

クリーニング゛
カラー :12345678

3 (▲)(▼)を押して、クリーニングの実行を選ぶ

- クリーニングを実行しない場合は、ディスプレイに [----] を表示します。

クリーニング゛
カラー :1234----

4 (ENTER)キーを押す

クリーニング゛
タイフ゜ :ノーマル

5 (▲)(▼)を押して、クリーニングタイプを選択する

クリーニング゛
タイフ゜ :ハート゛

6 (ENTER)キーを 2 回押す

- クリーニングの残り時間をディスプレイの下段に表示します。
- クリーニングが終わると、ローカルに戻ります。

＊＊ クリーニング゛ チュウ ＊＊
00:00:00

7 テストプリントを実行し、結果を確認する

- テストプリントの結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合
- ワイパとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.4-4、P.4-5)
- ヘッドノズルの洗浄をする (☞ P.4-8)
- 「ノズル詰まりが復旧しない場合 (インク充填)」を参照して画質不良を解消する (☞ P.4-24)

プリントを開始する

1 メディアをセットする (☞ P.2-14)

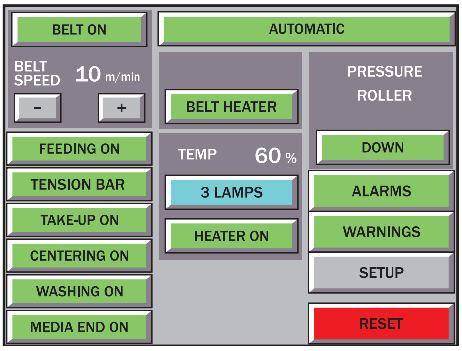
2 ユーザタイプ (1 ～ 4) を選ぶ (☞ P.2-2)

・お使いになるメディアに合わせてユーザタイプを選びます。

```
<ローカル.＊>            [#**]
              ハバ ****mm
```

3 メディア搬送システムをプリント可能な状態にする

操作タッチパネルで次の各項目を切り替えてください。
- [MANUAL] を押して、[AUTOMATIC] にする
- [BELT OFF] を押して、[BELT ON][FEEDING ON][TAKE-UP ON] にする
- PRESSURE ROLLER [UP] を押して、[DOWN] にする
- 補助機能(☞ P.2-9)を参照して、必要な機能をONにする。



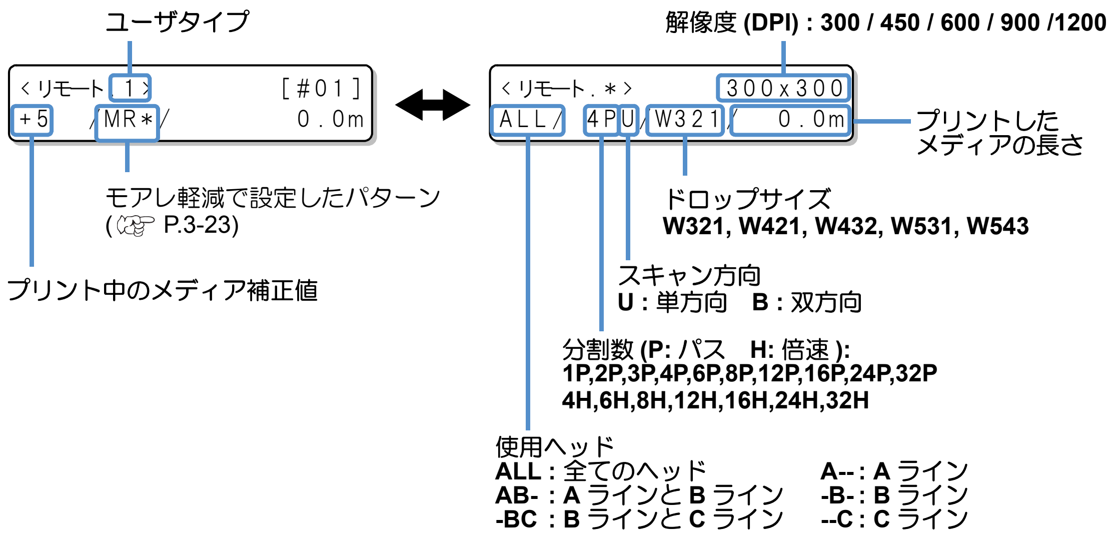
4 (REMOTE)キーを押す

・リモートになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

```
<リモート.＊>            [#**]
+5                    0.0m
```

5 コンピュータからプリントするデータを送信する

・プリントが始まります。
・ディスプレイに、実行中のプリント情報を表示します。(☞ P.1-25)



6 プリントが終了したら、(REMOTE)キーを押してローカルに戻す

- プリント中にコンピュータからのデータ送信が 30 秒以上とぎれると、右のメッセージを表示します。

```
<リモート.＊>            [#**]
   プリント データ マチ
```

プリントを中断する

プリントを途中で中断する場合、次の操作をしてください。

1 プリント中に、(REMOTE)キーを押す

- プリント動作を中断します。
- 再度 (REMOTE) キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

```
<ローカル.*>          [#**]
               ハバ:1272mm
```

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときはプリント動作を中断し、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルで、(DATA CLEAR)キーを押す

```
データ クリア
                    <ENT>
```

2 (ENTER)キーを押す

- 受信データを消去し、ローカルに戻ります。

```
  ** データ クリア **
```

プリント中に布の送り量を補正する

同じ種類の布を使ってプリントしても、糸の番手や織り方の違いによってメディア補正で設定した送り量ではきれいにプリントできない場合があります。
プリント中に画像に縞などが入る場合は、次の操作をして補正をしてください。

1 プリント中に (FEED COMP.)キーを押す

- 現在の補正値を表示します。

```
オクリ ホセイ             0
ホセイ カイシ          :ent
```

2 (ENTER)キーを押す

- 補正値入力画面を表示します。

```
オクリ ホセイ             5
ホセイチ           =      0
```

3 (▲)(▼)を押して、補正値を変更する

- プリント結果を見ながら補正を行ってください。
- 4 パスでプリントしている場合は 4 スキャン後、8 パスでプリントしている場合は8スキャン後のプリント結果で判断してください。

変更前の補正値

```
オクリ ホセイ             5
ホセイチ           =     -2
```

入力値 (現在の補正値)

4 (ENTER)を 2 回押す

- 新しい補正値を保存します。

第３章
応用機能

この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、 各種設定方法について説明しています。

ユーザタイプについて

プリント条件をまとめて登録する (タイプ登録)

本機では、タイプ（1~4）ごとにプリント条件を登録できます。
お使いになるメディアに合わせたプリント条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したとき、タイプを変更するだけで最適のプリント条件を設定できます。

タイプ登録の例

タイプ 1	ポンジ 1	タイプ 3	トロピカル
タイプ 2	ポンジ 2	タイプ 4	トロマット

タイプ登録のしかた

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              <ENT>
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
センタク           :タイプ゜1
```

3 (▲)(▼) を押してタイプ（1 ～ 4）を選び、(ENTER) キーを押す

4 設定機能一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は P.3-3「ユーザタイプ設定機能一覧表」に記載した参照ページをご覧ください。

ユーザタイプ設定機能一覧表

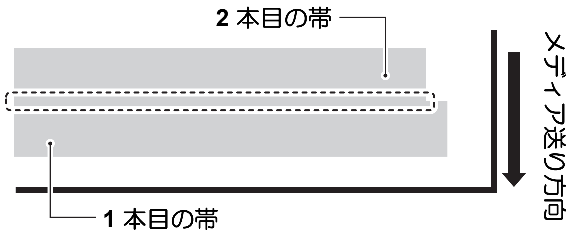
ユーザタイプに登録できる各設定機能の概要と設定値について説明します。
お買い上げ時は、下線の設定になっています。

<table>
<tr><th colspan="3">機能名称</th><th>設定値</th><th>概　要</th></tr>
<tr><td colspan="3">メディアホセイ (☞ P.3-4)</td><td>-500 ～ 0 ～ 500</td><td>メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">メディア
オクリ
(☞ P.3-6)</td><td colspan="2">オクリソクド</td><td>10 ～ 100%</td><td>メディアを搬送する速度を遅くすることができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ジョグソクド</td><td>10 ～ 100%</td><td>ジョグキーを使ってメディアを移動するときの速度を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ベルト
エンコーダ</td><td>ON</td><td></td><td rowspan="2">メディアの送り量を監視するベルトエンコーダの使用 / 不使用を設定します。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>ツナギホセイ (F/R) :
OFF/ レベル 0(補正弱) ～レベル 3(補正強)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ソフトネス</td><td>OFF/ レベル 0(補正弱) ～
レベル 3(補正強)</td><td>メディア補正の設定をしても送りムラが解消されないときに設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">プリントヒンシツ (☞ P.3-11)</td><td></td><td>プリント品質、プリント方向を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">カサネヌリ (☞ P.3-24)</td><td>1 ～ 9</td><td>インクの重ね塗り回数を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ユウセンジュンイ (☞ P.3-14)</td><td>ホスト / パネル</td><td>優先する設定 (パネル / ホスト) を決定します。
・メディアホセイ
・プリントヒンシツ
・カサネヌリ
・リフレッシュ
・シヨウヘッド
・カンソウジカン
・オクリソクド</td></tr>
<tr><td colspan="3">リフレッシュ (☞ P.3-24)</td><td>レベル0 (リフレッシュ間隔長い) ～ 1 ～ 3 (間隔短い)</td><td>プリント中に行う、インクヘッドのリフレッシュ間隔を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ミリ／インチ (☞ P.3-24)</td><td>ミリ / インチ</td><td>ディスプレイに表示する単位を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">オート
クリーニング
(☞ P.3-15)</td><td colspan="2">プリントマエ</td><td>ON / OFF</td><td rowspan="5">プリントごとに行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プリント
チュウ</td><td>ON</td><td>カラー　: 12345678, 1234----, ----5678
タイプ　: ノーマル / ソフト / ハード /Mix
カンカク : 1 ～ 250m
ユウセン : クギリ / キョリ</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">プリント
シュウリョウゴ</td><td>ON</td><td>タイプ　: ノーマル / ソフト / ハード
ジカン　: 1 ～ 60min</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">パワーオン</td><td>ON / OFF</td><td>電源 ON 時の自動クリーニングの設定を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">カラーパターン
(☞ P.3-21)</td><td>ON</td><td>スペース : 5 ～ 50mm</td><td>メディア右端にカラーパターンをプリントします。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">カンソウジカン (☞ P.3-22)</td><td>0.0 ～ 10.0 sec</td><td>インクの乾燥時間を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">モアレケイゲン</td><td>OFF、MR1 ～ MR5</td><td>プリント時にモアレ縞が出ているとき、縞の発生を軽減させるために設定します。</td></tr>
</table>

メディア補正の設定をする

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。
布の種類を交換したあと、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

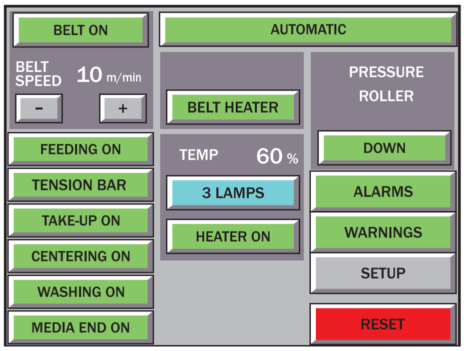
- 補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1 布をセットする (☞ **P.2-14**)

2 メディア搬送システムをプリント可能な状態にする

操作タッチパネルで次の各項目を切り替えてください。
- [MANUAL] を押して、[AUTOMATIC] にする
- [BELT OFF] を押して、[BELT ON][FEEDING ON][TAKE-UP ON] にする
- PRESSURE ROLLER [UP] を押して、[DOWN] にする
- 補助機能(☞ P.2-9)を参照して、必要な機能をONにする。



3 ローカルで (FEED COMP.) キーを押す

タイフ゜ 1
ケ゛ンテン セッテイ : ent

4 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、原点位置を設定する

5 (ENTER)キーを押す

タイフ゜ 1
フ゜リント : Y= 1800mm

6 手順 **1** でセットした布の幅を入力する

7 (ENTER)キーを押して、補正パターンをプリントする

＊＊ メテ゛ィア ホセイ ＊＊
＊＊ フ゜リント チュウ ＊＊

8 (▲)(▼)を押して、見やすい位置に補正パターンを移動する

タイフ゜ 1
ハ゜ターン チェック [▲]/[▼]

9 (ENTER)キーを押す

- 補正値の入力画面が表示されます。

10 補正パターンを確認し、補正値を入力する

タイプ° 1
ホセイチ = 0

- [▲][▼] を押して、補正値を入力します。
  " ＋ " に入力すると : 2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
  " － " に入力すると : 2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。

11 [ENTER] キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 3 ～ 9 の操作をして補正してください。

12 終了するとき、[END] キーを数回押す

- プリント時にここで設定した値を有効にするには、P.3-14「優先順位の設定をする」でメディア補正の優先順位を " パネル " に設定してください。

[FEED COMP.] を使わないでメディア補正をするには

[FEED COMP.] キーを押さなくても、ローカルから [FUNCTION] キーを使ってメディア補正を選ぶことができます。

ローカルで [FUNCTION] [ENTER] を押す	[▲][▼] を押して ユーザタイプを選ぶ	[ENTER] を 2 回押す ・ ローカルからキーを押したときと同じ状態になります。

3

応用機能

メディア送りの設定をする

送り速度の設定

プリント時にメディアをゆっくり搬送したいときに設定します。

1	ローカルで FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	ENTER キーを押す	セッテイ センタク :タイプ° 1
3	▲ ▼ を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、ENTER キーを押す	
4	▲ ▼ を押して、**[** メディアオクリ **]** を選ぶ	タイプ° 1 メデ゛ィア オクリ <ENT>
5	ENTER キーを **2** 回押す	タイプ° 1 オクリ ソクト゛ :100%
6	▲ ▼ を押して、搬送速度を選ぶ • 出荷時の搬送速度を 100%として、何%の速度でプリントするかを設定します。(出荷時の 90%の速度で搬送したい場合は、“90%” を選択） • 送り速度 ：10%～ 100%	タイプ° 1 オクリ ソクト゛ : 90%
7	ENTER キーを押す	タイプ° 1 オクリ ソクト゛ <ENT>
8	終了するとき、END キーを数回押す	

• プリント時にここで設定した値を有効にするには、P.3-14「優先順位の設定をする」でメディア送りの優先順位を “ パネル ” に設定してください。

ジョグ速度の設定

ジョグキーを使ってメディアを移動するときの速度を設定します。

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

2 (ENTER) キーを押す

セッテイ
センタク :タイフ゜1

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して、**[** メディアオクリ **]** を選ぶ

タイフ゜ 1
メテ゛ィア オクリ <ENT>

5 (ENTER) キーを押す

タイフ゜ 1
オクリ ソクト゛ <ENT>

6 (▲)(▼) を押して、**[** ジョグソクド **]** を選ぶ

タイフ゜ 1
シ゛ョク゛ ソクト゛ <ENT>

7 (ENTER) キーを押す

タイフ゜ 1
シ゛ョク゛ ソクト゛ :100%

8 (▲)(▼) を押して、速度を選ぶ

- 出荷時のジョグ速度を 100%として、何%の速度で移動するかを設定します。(出荷時の 90%の速度で移動したい場合は、“90%” を選択）
- ジョグ 速度：10%～ 100%

タイフ゜ 1
シ゛ョク゛ ソクト゛ : 90%

9 (ENTER) キーを押す

タイフ゜ 1
シ゛ョク゛ ソクト゛ <ENT>

10 終了するとき、(END) キーを数回押す

- ベルトの地張剤が弱くなってくると、メディアの張り付きが弱くなります。その際は送り速度、ジョグ速度を遅くすることで、張り付きを維持できる場合があります。

ベルトエンコーダの設定

プリント品質向上のため、ベルトエンコーダによる送り量監視機能を使用することができます。

重要!
- ベルトエンコーダの設定を "ON" にすると、プリント品質は向上しますが、"OFF" 設定時よりもプリント速度が遅くなります。
- ベルトのつなぎ目で送りムラが発生する場合は、ベルトエンコーダの設定を "OFF" にし、「ベルトツナギホセイ」を有効にしてください。(手順 10)
- 「ベルトツナギホセイ」の設定を有効にしたときは、「ソフトネス」の設定も有効にすることをお勧めします。「ソフトネス」の設定を有効にすると、送りムラ抑制の効果が上がります。

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
センタク             :タイフ°1
```

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して、**[** メディアオクリ **]** を選ぶ

```
タイフ° 1
メテ゛ィア オクリ        <ENT>
```

5 (ENTER) キーを押す

```
タイフ° 1
オクリ ソクト゛          <ENT>
```

6 (▲)(▼) を押して、**[** ベルトエンコーダ **]** を選ぶ

```
タイフ° 1
ヘ゛ルト エンコータ゛      <ENT>
```

7 (ENTER) キーを押す

```
タイフ° 1
ヘ゛ルト エンコータ゛      :ON
```

8 (▲)(▼) を押して、**"ON"** または **"OFF"** を選ぶ

```
タイフ° 1
ヘ゛ルト エンコータ゛      :OFF
```

ON ：ベルトエンコーダによる送り量監視を行います。
プリント速度は低下しますが、送りムラが低減します。

OFF：ベルトエンコーダによる送り量監視を行いません。
プリント速度は向上しますが、送り精度が低下する場合があります。

- ここで選んだ設定値によって設定方法が変わります。"ON" を選んだ場合は、手順 11 からの操作をしてください。
"OFF" を選んだ場合は、手順 10 へ進み [ベルトツナギホセイ] の設定をしてください。

9 [ENTER]キーを押す

```
ベ゛ルト ツナギ゛ ホセイ
F:OFF       R:OFF
```

10 [▲][▼][◀][▶]を押して、ベルトの繋ぎ補正を設定する

```
ベ゛ルト ツナギ゛ ホセイ
F:レベ゛ル1     R:レベ゛ル0
```

フロント **(F)** 側 / リア **(R)** 側の選択　**:** [◀][▶]を押して選択
補正値の設定　**:** [▲][▼]を押して選択

レベル **0** ～ **3** ：ツナギホセイが有効になります。
レベル 0 は補正量が少なく、レベル 3 が最も大きくなります。
フロント側は " レベル 1"、リア側は " レベル 0" に設定することを推奨します。

OFF ：ツナギホセイを行いません。

11 [ENTER]キーを押す

```
タイフ゜ 1
ベ゛ルト エンコータ゛      <ENT>
```

12 終了するとき、[END]キーを数回押す

3
応用機能

ソフトネスの設定

メディア補正 (☞ P.3-4) を行っても送りムラが解消できない場合は、“ ソフトネス ” を有効にしてください。

重 要!
- ソフトネスの設定を有効にすると、低パス (6 パス以下) でのプリントで画質が低下する場合があります。必ずプリントした画像を確認し、補正の有効 / 無効や補正レベルを設定してください。

手順	操作	表示
1	ローカルで FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	ENTER キーを押す	セッテイ センタク :タイプ゚1
3	▲ ▼ を押して、タイプ（**1 ～ 4**）を選び、ENTER キーを押す	
4	▲ ▼ を押して、**[** メディアオクリ **]** を選ぶ	タイプ゚ 1 メテ゛ィア オクリ <ENT>
5	ENTER キーを押す	タイプ゚ 1 オクリ ソクト゛ <ENT>
6	▲ ▼ を押して、**[** ソフトネス **]** を選ぶ	タイプ゚ 1 ソフトネス <ENT>
7	ENTER キーを押す	タイプ゚ 1 ソフトネス :OFF
8	▲ ▼ を押して、補正レベルを選ぶ レベル **0 ～ 3** : ソフトネス補正が有効になります。レベル 0 は補正量が少なく、レベル 3 が最も大きくなります。“ レベル 0” に設定することを推奨します。 **OFF** : ソフトネス補正を行いません。	タイプ゚ 1 ソフトネス :レヘ゛ル1
9	ENTER キーを押す	タイプ゚ 1 ソフトネス <ENT>
10	終了するとき、END キーを数回押す	

プリント品質の設定をする

プリント品質の設定では、プリントに関する次の各項目の設定をします。

設定項目	概　　要
スキャン方向 パス数	スキャン方向とパス数をセットします。 ソウホウコウ : キャリッジの往路および復路の両方でプリントします。短時間でプリントしたいときに設定してください。 タンホウコウ : キャリッジの往路のみでプリントします。よりきれいにプリントしたいときに設定してください。
高速スキャン	高速プリントの設定をします。
ドロップサイズ	L サイズ /M サイズ /S サイズそれぞれを構成するインク量を設定することにより、プリント時のインクの濃さを設定できます。
MAPS	メディア補正 (☞ P.3-4) をしても送りムラが解消できない場合 “MAPS (Mimaki Advanced Pass System) を有効にしてください。パスの境界を分散させることにより、送りムラが目立ちにくくなります。

重 要 !

- MAPS を設定する前に、必ずドット位置補正 (☞ P.4-22) を行って、インクの落下位置を補正しておいてください。
- MAPS の設定レベルを上げると、送りムラは目立ちにくくなりますが、トータルのプリント時間が長くなります。
- MAPS の設定を有効にすると、以下の条件で画質が低下する場合があります。
  必ず、プリントした画像を確認してから、MAPS のレベルを設定してください。
  (1)「モアレケイゲン」または「ソフトネス」機能を併用しているとき
  (2) 6 パス以下でプリントしたとき
- ノズルリカバリ設定時は、MAPS を有効にすることはできません。MAPS を有効にしたい場合は、ノズルリカバリ機能 (☞ P.4-38) を無効にしておいてください。

ノズルリカバリ設定可能条件

解像度 (dpi) (Y 解像度 xX 解像度)	スキャン速度	パス数					
		8 色			4 色		
		標準			標準		
300 x300	標準	2	4	8	1	2	4
300 x450 450 x 450 600 x 450 900 x 450	標準	3	6	12	3	6	12
	高速		6	12		6	12
300 x600 450 x 600 600 x 600 1200 x 600	標準	4	8	16	2	4	6
	高速		8	16		4	6
600 x900 900 x 900 1200 x 900	標準		12	24		6	12
	高速		12	24		6	12
1200 x 1200	標準	8	16	32	4	8	16
	高速		16	32		8	16

□が、ノズルリカバリ設定可能条件

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              <ENT>
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
センタク           :タイフ゜1
```

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（1 ～ 4）を選び、(ENTER) キーを押す

4 [▲][▼]を押して、**[プリントヒンシツ]** を選ぶ

```
タイフ゜ 1
フ゜リント ヒンシツ        <ENT>
```

5 [ENTER]キーを押す

```
タイフ゜ 1
DPI           :300x300
```

6 [▲][▼]を押して、プリント品質を変更したい解像度を選ぶ

```
タイフ゜ 1
DPI           :600x450
```

- 解像度 : 300x300, 300x450, 300x600, 450x450, 450x600, 600x300, 600x450, 600x600, 600x900, 900x450, 900x900, 1200x600, 1200x900, 1200x1200 (dpi)

7 [ENTER]キーを押す

```
タイフ゜ 1       :600x450
ハ゜ス         :ソウホウコウ  3P
```

8 [▲][▼]を押して、スキャン方向とパス数を選ぶ

```
タイフ゜ 1       :600x450
ハ゜ス         :ソウホウコウ 12P
```

- スキャン方向とパス数は、手順 6 で選択した解像度によって変わります。次ページの「設定可能な要素の組み合わせ」を参照してください。

9 [ENTER]キーを押す

```
タイフ゜ 1       :600x450
コウソク スキャン        :OFF
```

10 [▲][▼]を押して、設定内容を選ぶ

```
タイフ゜ 1       :600x450
コウソク スキャン        :ON
```

- 設定内容は手順 6、8 で選択した内容によって変わります。次ページの「設定可能な要素の組み合わせ」を参照してください。

11 [ENTER]キーを押す

```
タイフ゜ 1       :600x450
ト゛ロッフ゜ サイズ゛:L3 M2 S1
```

12 [▲][▼]を押して、ドロップサイズを選ぶ

```
タイフ゜ 1       :600x450
ト゛ロッフ゜ サイズ゛:L4 M2 S1
```

- 設定値 : L3M2S1、L4M2S1、L5M3S1、L4M3S2、L5M4S3
- 設定値は、上記の 5 種類の中から選択してください。[◀][▶]を押しても “M” や “S” の設定を個別に行うことはできません。

13 [ENTER]キーを押す

```
タイフ゜ 1       :600x450
MAPS           :OFF
```

14 [▲][▼]を押して、**MAPS** のレベルを選ぶ

```
タイフ゜ 1       :600x450
MAPS           :Level1
```

- 設定値 : OFF、Level1 ～ 9
- “OFF” に設定すると、MAPS による補正を行いません。

15 ENTER キーを押す

16 終了するとき、END キーを数回押す

- プリント時にここで設定した値を有効にするには、P.3-14「優先順位の設定をする」でプリント品質の優先順位を“パネル”に設定してください。ただし、MAPS 補正に関する設定については、優先順位を“ホスト”に設定していても、ここで設定した値が有効となります。

重 要!

- 高温環境下で、連続プリントを行うと使用しているインク、作図モードによっては、白スジ、/ カスレの発生する場合があります。(昇華染料インク、反応染料インクにて、白スジ / カスレが出やすい傾向になります。)
この場合は、使用 RIP での印刷モードのドロップサイズを「3,3,3」「4,4,4」「5,5,5」などのドットサイズのモードに切り替えて使用してください。作図中のヘッドメンテナンス周期を伸ばし、白スジ/カスレの発生を低減できます。

設定可能な要素の組み合わせ

ここでは、8 色インクセットでの組み合わせを記載します。4 色インクセットの場合は、パス数が半分になります。

解像度 (dpi)	ソウホウコウ		タンホウコウ	
	パス	高速スキャン	パス	高速スキャン
300x300 dpi	2	———	2	———
	4		4	
	8		8	
300x450[*1] dpi	3	———	3	———
	6		6	
	12		12	
300x600 dpi	4	———	4	———
	8		8	
	16		16	
450x450[*1] dpi	3	———	3	———
	6	ON / OFF	6	ON / OFF
	12		12	
450x600 dpi	4	———	4	———
	8	ON / OFF	8	ON / OFF
	16		16	
600x300 dpi	2	———	2	———
	4	ON / OFF	4	ON / OFF
	8		8	
600x450[*1] dpi	3	———	3	———
	6	ON / OFF	6	ON / OFF
	12		12	

解像度 (dpi)	ソウホウコウ		タンホウコウ	
	Pass	高速スキャン	Pass	高速スキャン
600x600 dpi	4	———	4	———
	8	ON / OFF	8	ON / OFF
	16		16	
600x900 dpi	6	———	6	———
	12	ON / OFF	12	ON / OFF
	24		24	
900x450[*1] dpi	3	———	3	———
	6	ON / OFF	6	ON / OFF
	12		12	
900x900 dpi	6	———	6	———
	12	ON / OFF	12	ON / OFF
	24		24	
1200x600 dpi	4	———	4	———
	8	ON / OFF	8	ON / OFF
	16		16	
1200x900 dpi	6	———	6	———
	12	ON / OFF	12	ON / OFF
	24		24	
1200x1200 dpi	8	———	8	———
	16	ON / OFF	16	ON / OFF
	32		32	

*1. 4 色インクセットを使っても、パス数は変わりません。

- 上の表の　部分が実用推奨モードです。
- 解像度やパス数の設定が実用推奨モードより低くなるほど画質が低下します。
- 使用するインクやメディア、前処理等によっても画質が低下します。実際にプリントをする前にテストプリント (☞ P.2-36) を行い、使用モードを選択してください。

3 応用機能

優先順位の設定をする

プリント時に、本機での設定(パネル)を優先するか、コンピュータでの設定(ホスト)を優先するかを選びます。

	概　要
ホスト	コンピュータでの設定 (ホスト) を優先します。
パネル	本機での設定 (パネル) を優先します。

選択する項目 : メディア補正 / プリント品質 / 重ね塗り / リフレッシュ / 使用ヘッド / 乾燥時間 / 送り速度

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

FUNCTION
セッテイ　　　　　　　<ENT>

2 (ENTER) キーを押す

セッテイ
センタク　　　　　　: タイフ゜1

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（1 ～ 4）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して、[ユウセンジュンイ] を選ぶ

タイフ゜　1
ユウセン　シ゛ュンイ　　<ENT>

5 (ENTER) キーを押す

タイフ゜　1
メテ゛ィア　ホセイ　　: ホスト

6 (▲)(▼) を押して、“ ホスト ” または “ パネル ” を選ぶ

タイフ゜　1
メテ゛ィア　ホセイ　　: ハ゜ネル

7 (ENTER) キーを押す

タイフ゜　1
フ゜リント　ヒンシツ　　: ホスト

8 手順 6、7 と同様の操作をして、他の項目も設定する

9 終了するとき、(END) キーを数回押す

- ホスト優先の設定で、ホストからの指定がない項目については、パネルの設定内容が有効となります。

オートクリーニングの設定をする

プリント前クリーニングの設定

プリントを始める前に、自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。
ヘッドの状態を常に良好に保つことで、安定したプリントが持続します。

設定項目	概　　要
ON	プリントを始める前にクリーニングを実行します。
OFF	プリント前クリーニングを実行しません。

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
センタク            :タイフ゜1
```

3 (▲)(▼)を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼)を押して、**[** オートクリーニング **]** を選ぶ

```
タイフ゜ 1
オート クリーニンク゛     <ENT>
```

5 (ENTER) キーを押す

```
タイフ゜ 1
フ゜リントマエ            <ENT>
```

6 (ENTER) キーを押す

```
タイフ゜ 1
フ゜リントマエ             :ON
```

7 (▲)(▼)を押して、**“ON”** または **“OFF”** を選ぶ

8 (ENTER) キーを押す

9 終了するとき、(END) キーを数回押す

- プリント前クリーニングは、リモートに切り替えて行うプリントの場合行われます。テストプリントや設定リストのプリントの前にはクリーニングを行いません。

プリント中クリーニングの設定

プリント中、自動的にヘッドのクリーニングを行うか設定します。
プリント中クリーニングでは、クリーニング間隔をプリントした長さで設定します。
設定した長さをプリントするごとにプリントを中断し、自動的にヘッドのクリーニングを行います。
クリーニングが終了すると、プリントを再開します。

設定項目	設定値	概　　要
タイプ	ノーマル／ソフト／ハード／ Mix	クリーニングタイプを選択します。
実行間隔	1 ~ 250m	クリーニングをするまでの間隔（プリント長）
優先	キョリ / クギリ	お使いになっている RIP のコピー機能を使って繰り返しプリントを行う場合のクリーニング方法を設定します。

注意

- ヘッドの破損防止のため、長時間プリントを行う場合は、必ずプリント中クリーニングを “ON” にしてお使いください。

重要！

- プリント中クリーニングをする場合、ヘッド及びワイパ周辺に付着したインクを落としてからプリントを開始してください。インクを落とさないままでクリーニングを行うと、ノズルの状態を悪化させる場合があります。
- 濡れ伸縮し易い布の場合は、クリーニング中に伸縮が進行し、プリント再開時にズレが生じ色味が変わることがあります。このような場合は設定を OFF にするか、クリーニングタイプを「ソフト」にしてください。

1 ローカルで FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ          <ENT>
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
センタク       :タイプ゜1
```

3 ▲ ▼ を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、ENTER キーを押す

4 ▲ ▼ を押して、[オートクリーニング] を選ぶ

```
タイプ゜ 1
オート クリーニング゛   <ENT>
```

5 ENTER キーを押す

```
タイプ゜ 1
プ゜リントマエ       <ENT>
```

6 ▲ ▼ を押して、[プリントチュウ] を選ぶ

```
タイプ゜ 1
プ゜リントチュウ      <ENT>
```

7 ENTER キーを押す

```
タイプ゜ 1
プ゜リントチュウ      :OFF
```

8 ▲ ▼ を押して、**“ON”** を選ぶ

- “OFF” を選んだ場合は、 手順 18 へ進んでください。

```
タイプ゜ 1
プ゜リントチュウ      :ON
```

9 ENTER キーを押す

タイプ゜ 1
カラー : 12345678

10 ◀ ▶ を押して、 クリーニングするヘッドをブロックで選ぶ

タイプ゜ 1
カラー : 12345678

- ヘッドは [1234] と [5678] のブロックに分かれます。

11 ▲ ▼ を押して、 クリーニングの実行を選ぶ

タイプ゜ 1
カラー : 1234----

- クリーニングを実行しない場合は、 ディスプレイに [----] を表示します。

12 ENTER キーを押す

タイプ゜ 1
タイプ゜ : ノーマル

13 ▲ ▼ を押して、 クリーニングタイプを選ぶ

タイプ゜ 1
タイプ゜ : ソフト

- 設定値 : ノーマル / ソフト / ハード /Mix
- “Mix” を選択した場合、 ヘッドの温度によりクリーニングタイプを組み合わせて実行します。

14 ENTER キーを押す

タイプ゜ 1
シ゛ッコウ カンカク : 10m

15 ▲ ▼ を押して、 クリーニングを実行するまでの間隔を選ぶ

タイプ゜ 1
シ゛ッコウ カンカク : 9m

- 設定値 : 1 ～ 250m

16 ENTER キーを押す

17 ▲ ▼ を押して、RIPのコピー機能を使ってプリントしたときのクリーニング方法を選ぶ

タイプ゜ 1
ユウセン : キョリ

- 次の 2 つから設定値を選んでください。
  クギリ ： プリントデータとプリントデータの切れ目でクリーニングを行う
  キョリ ： 手順 15 で設定したクリーニング間隔 (プリント長) でクリーニングを行う

重 要！
- ここで行う設定は、RIP のコピー機能を使ってプリントした場合のみ有効です。通常のプリントを行った場合のクリーニング間隔は、手順 15 で設定したクリーニング間隔 (プリント長) が適用されます。

18 ENTER キーを押す

19 終了するとき、 END キーを数回押す

プリント終了後クリーニングの設定

プリント終了後に、自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。
プリント中に発生した吐出不良や、ノズル面に付着したインクやホコリをそのままにしておくと、時間の経過と共に復旧が困難になっていきます。
無人運転を行うなど、プリント終了後すぐにヘッドのメンテナンスができない場合には、設定を “ON” にして、安定したプリントが行えるようにしてください。

設定項目	設定値	概　　要
タイプ	ノーマル／ソフト／ハード	クリーニングタイプを選択します。
時間	1 ~ 60min	プリントが終了してから自動でクリーニングを行うまでの時間を設定します。

重 要！

- 操作パネルでファンクション機能を設定、実行している最中は、クリーニングは実行されません。ローカルモードに戻った後、1 分後にクリーニングが開始されます。
- プリント終了後クリーニング実行前に、操作パネルからクリーニングを選択して実行した場合、プリント終了後クリーニングは実行されません。
- プリント終了後クリーニング実行前に新規のプリントが開始された場合、新規のプリント終了時から設定時間経過後にクリーニングが開始されます。

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

FUNCTION
セッテイ　<ENT>

2 (ENTER) キーを押す

セッテイ
センタク　: タイプ゜1

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（**1 ～ 4**）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して、**[** オートクリーニング **]** を選ぶ

タイプ゜ 1
オート　クリーニング゛　<ENT>

5 (ENTER) キーを押す

タイプ゜ 1
プ゜リントマエ　<ENT>

6 (▲)(▼) を押して、**[** プリントシュウリョウゴ **]** を選ぶ

タイプ゜ 1
プ゜リント　シュウリョウコ゛　<ENT>

7 (ENTER) キーを押す

タイプ゜ 1
プ゜リント　シュウリョウコ゛　: OFF

8 (▲)(▼) を押して、**“ON”** を選ぶ

- “OFF” を選んだ場合は、 手順 13 へ進んでください。

タイプ゜ 1
プ゜リント　シュウリョウコ゛　: ON

9 (ENTER) キーを押す

10 [▲][▼]を押して、 クリーニングタイプを選ぶ

- 設定値 : ノーマル / ソフト / ハード

```
タイプ゜ 1
タイプ゜          :ソフト
```

11 [ENTER]キーを押す

```
タイプ゜ 1
シ゛カン          : 1min
```

12 [▲][▼]を押して、 プリントが終了してからクリーニングを開始するまでの時間を選ぶ

- 設定値 : 1 ～ 60min

```
タイプ゜ 1
シ゛カン          : 10min
```

13 [ENTER]キーを押す

```
タイプ゜ 1
フ゜リント シュウリョウコ゛ <ENT>
```

14 終了するとき、[END]キーを数回押す

パワーオンクリーニングの設定

電源 ON 時に自動的にヘッドのクリーニングを行うか設定します。
クリーニングの種類は、電源 OFF 時間により異なります。

設定値	概　要
ON	電源 ON 時にヘッドクリーニングを実行します。
OFF	電源 ON 時にヘッドクリーニングを実行しません。

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
センタク              :タイプ°1
```

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して、**[** オートクリーニング **]** を選ぶ

```
タイプ°  1
オート クリーニング゛    <ENT>
```

5 (ENTER) キーを押す

```
タイプ°  1
フ°リントマエ            <ENT>
```

6 (▲)(▼) を押して、**[** パワーオン **]** を選ぶ

```
タイプ°  1
ハ°ワーオン              <ENT>
```

7 (ENTER) キーを押す

```
タイプ°  1
ハ°ワーオン              :OFF
```

8 (▲)(▼) を押して、**“ON”** または **“OFF”** を選ぶ

```
タイプ°  1
ハ°ワーオン              :ON
```

9 (ENTER) キーを押す

10 終了するとき、(END) キーを数回押す

カラーパターンの設定をする

プリントする画像の横にカラーパターンをプリントすることができます。

設定値		概　要
ON	スペース：5 ~ 50mm	ノズル抜けを確認するためのカラーパターンを画像の横にプリントできます。 また、画像とカラーパターンの距離を設定します。
OFF	――――	――――

1 ローカルで（FUNCTION）キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 （ENTER）キーを押す

```
セッテイ
センタク          :タイフ゜1
```

3 （▲）（▼）を押して、タイプ（**1** ～ **4**）を選び、（ENTER）キーを押す

4 （▲）（▼）を押して、**[** カラーパターン **]** を選ぶ

```
タイフ゜ 1
カラー ハ゜ターン        <ENT>
```

5 （ENTER）キーを押す

```
タイフ゜ 1
カラー ハ゜ターン        :OFF
```

6 （▲）（▼）を押して、**"ON"** を選ぶ

• "OFF" を選んだ場合は、 手順 9 へ進んでください。

```
タイフ゜ 1
カラー ハ゜ターン        :ON
```

7 （ENTER）キーを押す

```
タイフ゜ 1
スペ゜ース             :  8mm
```

8 （▲）（▼）を押して、画像からの距離を設定する

• 設定値：5 ～ 50mm

```
タイフ゜ 1
スペ゜ース             : 20mm
```

9 （ENTER）キーを押す

10 終了するとき、（END）キーを数回押す

3
応用機能

乾燥時間の設定をする

インクの乾燥時間について、次の各項目の設定をします。

設定項目	設定値	概　　要
スキャン	0.0 ~ 10.0 秒	スキャン毎のインク乾燥時間を設定します。 (双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
センタク             :タイプ°1
```

3 (▲)(▼) を押して、タイプ（**1** 〜 **4**）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して、[カンソウジカン] を選ぶ

```
タイプ°  1
カンソウ シ゛カン          <ENT>
```

5 (ENTER) キーを押す

```
タイプ°  1
スキャン               =10.0s
```

6 (▲)(▼) を押して、乾燥時間を設定する

- 設定値 : 0.0 〜 10.0(秒)

```
タイプ°  1
スキャン               =  5.0s
```

7 (ENTER) キーを押す

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

プリント中にモアレ縞が発生するときは

プリント中の画像にモアレ縞が発生するときは、プリントを中断して次の設定をしてください。

設定値	概　要
OFF	通常は設定を OFF にして使用します。
MR1 ～ MR5	プリント画像にモアレ縞が出ているときに設定します。 プリント画像を見ながら MR1 ～ MR5 までの設定を変更し、最もモアレ縞が軽減されているものを使用します。

1 プリント中の画像にモアレ縞が発生している場合、(REMOTE)キーを押してプリントを中断する

2 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              <ENT>
```

3 (ENTER)キーを押す

```
セッテイ
センタク            :タイフ゜1
```

4 (▲)(▼)を押して、タイプ（1 ～ 4）を選び、(ENTER)キーを押す

- 手順 1 でプリントしていたときに使用していたユーザタイプを選択します。

5 (▲)(▼)を押して、[モアレケイゲン] を選ぶ

```
タイフ゜ 1
モアレ ケイケ゛ン        <ENT>
```

6 (ENTER)キーを押す

```
タイフ゜ 1
センタク               :OFF
```

7 (▲)(▼)を押して [MR1] を選び、(ENTER)キーを押す

```
タイフ゜ 1
センタク               :MR1
```

8 (END)キーを数回押して、ローカルに戻す

9 (REMOTE)キーを押してプリントを再開し、モアレが軽減しているか確認する

- モアレ縞が軽減しているかの確認は、4 パスでプリントしている場合は 4 スキャン後、8 パスでプリントしている場合は 8 スキャン後のプリント結果で判断してください。

- モアレ縞が軽減している場合は、そのままプリントを継続してください。
- モアレ縞が軽減していない場合は、次のようにしてください。

(1) 再度 (REMOTE)キーを押してプリントを中断する
(2) 手順 2 からの操作をし、手順 7 で [MR1] 以外の値に設定する
(3) (END)キーを数回押してローカルに戻す
(4) (REMOTE)キーを押してプリントを再開し、モアレ縞を確認する
- モアレ縞の軽減が確認できるまで MR1 ～ MR5 の設定値を変更して確認してください。

重 要!

- MR1 ～ MR5 のすべての設定値で確認してもモアレ縞が残ってしまう場合があります。このときは、MR1 ～ MR5 のうち、最もモアレ縞が軽減されていた設定値を選択してください。
  また、解像度を変更することで、モアレ縞が軽減されることがあります。
- プリントする画像によって、モアレを軽減できる設定値は異なります。ここでモアレを軽減する値に設定しても、他の画像ではモアレが発生する場合があります。

その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                  <ENT>
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
センタク              :タイプ゜1
```

3 (▲)(▼)を押してタイプ（1 ～ 4）を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼)を押して設定する項目を選ぶ

- 「ユーザタイプ設定機能一覧表」 を参照して選んでください。 (☞ P.3-3)

5 (ENTER) キーを押す

6 (▲)(▼)を押して設定値を選ぶ

- 「ユーザタイプ設定機能一覧表」 を参照して選んでください。 (☞ P.3-3)

7 (ENTER) キーを押す

- 終了するとき、(END) キーを数回押します。

重 要！
- 設定した値は、電源を “OFF” にしても保持しています。

マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項　目		設定値	内　容
ショウヘッド		ALL, AB-, -BC A--, -B-, --C	ノズル詰まりなどのトラブルが解消しない場合、トラブルが発生していないヘッドを使用してプリントすることができます。
マシンメイショウ		01 ～ 99	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシン№) を設定します。
スタンプセッテイ		ON / OFF	プリント終了後に、プリント日時・プリント条件をプリントする設定を行います。
リスト			本機の設定内容や装置情報などをプリントします。
マシンジョウホウ			P.3-37「装置情報を確認する」を参照してください。
ワーニング		──────	P.3-29「ワーニングに関する設定をする」を参照してください。
ブランクデータ		ユウコウ / ムコウ	データの先頭に空白データが存在する場合の動作を設定します。
ヒータ セッテイ	カンソウ フィード	ON / OFF	プリント終了後の乾燥用フィードの設定をします。

使用するヘッドを切り替える

ノズル詰まりなどのトラブルが解消しない場合、トラブルが発生していないヘッドを使用してプリントすることができます。

例：C ラインのヘッドのノズル詰まりが解消しない場合→ “AB-” に設定します。

設定値	概　要	
A--/-B-/--C /AB-/-BC/ALL	A-- : A ラインのヘッドを使用 -B- : B ラインのヘッドを使用 --C : C ラインのヘッドを使用	AB- : A ラインと B ラインのヘッドを使用 -BC: B ラインと C ラインのヘッドを使用 ALL: すべてのヘッドを使用

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ          <ENT>
```

3 (ENTER)キーを 2 回押す

```
ショウ ヘッド゛
ヘッド゛ ライン          :ALL
```

4 (▲)(▼)を押して、設定値を選ぶ

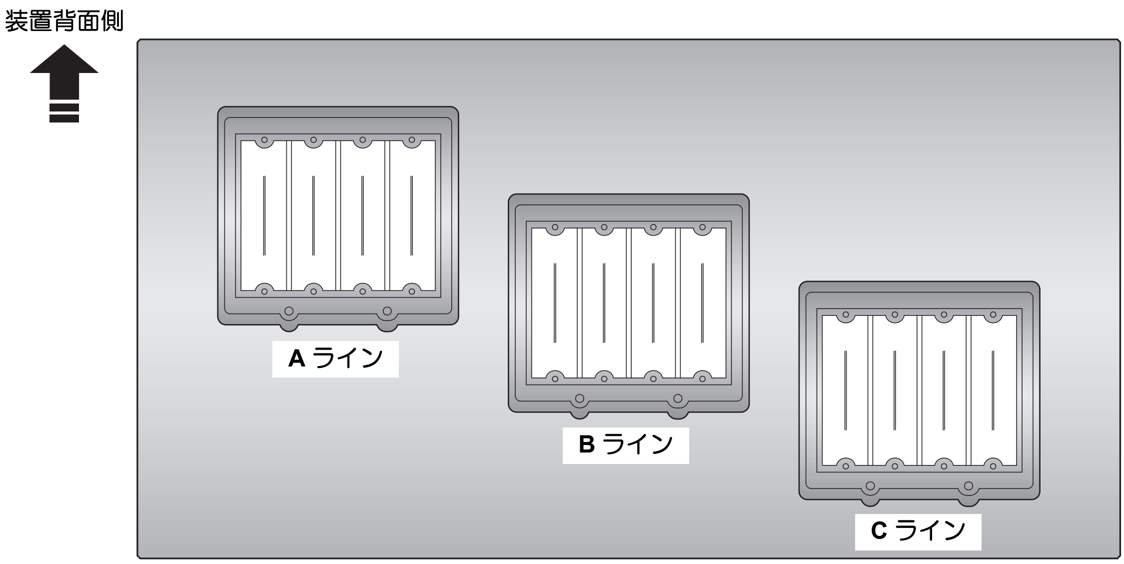
- 設定値 : A-- / -B-/--C/AB-/-BC/ALL

```
ショウ ヘッド゛
ヘッド゛ ライン          :-BC
```

5 (ENTER)キーを押す

```
マシン セッテイ
ショウ ヘッド゛          <ENT>
```

6 終了するとき、(END)キーを数回押す



マシン名称を設定する

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシン№) を設定します。

1	ローカルで FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ　　　　　　<ENT>
2	▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン　セッテイ　　<ENT>
3	ENTER キーを押す	マシン　セッテイ シヨウ　ヘッド゛　　<ENT>
4	▲ ▼ を押して、[マシンメイショウ] を選ぶ	マシン　セッテイ マシン　メイショウ　<ENT>
5	ENTER キーを押す	マシン　メイショウ Tx400-01
6	▲ ▼ を押して、マシン名称 **(01 ～ 99)** 選ぶ	マシン　メイショウ Tx400-10
7	ENTER キーを押す	マシン　セッテイ マシン　メイショウ　<ENT>
8	終了するとき、END キーを数回押す	

スタンプの設定をする

データをプリントするとき、画像データと一緒に、現在設定中の印刷条件 (解像度 / パス数など) を印刷するか設定します。

設定値	概　　要
ON	画像データと一緒に印刷条件をプリントします。
OFF	画像データのみプリントします。

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        <ENT>
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
シヨウ　ヘット゛        <ENT>
```

4 (▲)(▼)を押して、[スタンプセッテイ] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
スタンフ゜　セッテイ    <ENT>
```

5 (ENTER) キーを押す

```
スタンフ゜　セッテイ
スタンフ゜             :ON
```

6 (▲)(▼)を押して、設定値を選ぶ

- 設定値 : ON / OFF

```
スタンフ゜　セッテイ
スタンフ゜             :OFF
```

7 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
スタンフ゜　セッテイ    <ENT>
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

ワーニングに関する設定をする

ワーニングに関する設定を行います。設定できる項目は以下の項目になります。

項目	設定値	概　　要
ワイパクリーニング	ON/OFF	ワイパ清掃時期をお知らせするワーニングが表示されても、続けてプリントを行いたい場合に “OFF” に設定します。 “ON” に設定すると、ワーニング表示後はプリントできなくなります。
ミストファン	ON/OFF	ミストファンフィルタの交換時期の設定や、使用カウンタのクリアを行います。
ノズルリカバリ	ON/OFF	メンテナンス機能の「ノズルリカバリの登録」(☞ P.4-38) が有効になっているとき、プリント開始前に確認画面 (☞ P.5-12「ワーニングメッセージ」) を表示させたい場合に “ON” に設定します。 “OFF” に設定すると、プリント時に確認画面を表示しないでプリントします。
ジバリザイ	ON/OFF	ベルト地張り剤の塗り直し時期や、使用カウンタのクリアを行います。

ワイパクリーニングに関するワーニングの設定をする

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              <ENT>
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ       <ENT>
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン セッテイ
ショウ ヘット゛       <ENT>
```

4 (▲)(▼) を押して、[ワーニング] を選ぶ

```
マシン セッテイ
ワーニンク゛          <ENT>
```

5 (ENTER) キーを 2 回押す

```
ワイハ゜ クリーニンク゛
ト゛ウサ セイケ゛ン      :ON
```

6 (▲)(▼) を押して、設定値を選ぶ

- 設定値 : ON / OFF

```
ワイハ゜ クリーニンク゛
ト゛ウサ セイケ゛ン      :OFF
```

7 (ENTER) キーを押す

```
ワーニンク゛
ワイハ゜ クリーニンク゛  <ENT>
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

注意

- ワイパクリーニングが発生している状態で使用を続けると、ノズル状態の悪化やヘッド破損の原因となります。ワイパのお手入れはこまめに行ってください。

3 応用機能

ミストファンフィルタの交換時期 / ベルト地張り剤の塗り替え時期を設定する

1	ローカルで (FUNCTION) キーを押す	FUNCTION セッテイ　　　　<ENT>
2	(▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン　セッテイ　　<ENT>
3	(ENTER) キーを押す	マシン　セッテイ シヨウ　ヘット゛　　<ENT>
4	(▲)(▼)を押して、[ワーニング] を選ぶ	マシン　セッテイ ワーニンク゛　　　<ENT>
5	(ENTER) キーを押す	ワーニンク゛ ワイハ゜　クリーニンク゛　<ENT>
6	(▲)(▼)を押して、設定するワーニング項目を選ぶ • 項目 : ミストファン / ジバリザイ	ワーニンク゛ ミスト　ファン　　<ENT>
7	(ENTER) キーを **2** 回押す	ミスト　ファン リミット　セット　=　　0m
8	(▲)(▼)を押して、ワーニング表示までのプリント距離を設定する • 設定値 : 0 ～ 30000m • 設定値を “0m” にすると、ワーニングが表示されなくなります。	ミスト　ファン リミット　セット　=　100m
9	(ENTER) キーを押す	ミスト　ファン カウンタ　リミット　<ENT>
10	終了するとき、(END) キーを数回押す	

ミストファンフィルタ / ベルト地張り剤の使用カウンタをクリアする

重要!
- カウンタをクリアすると、次のワーニングが表示されなくなります。

! ミスト　ファン フィルタ　クリーニング゛	! ヘ゛ルト　シ゛ハ゛リサ゛イ ヌリナオシテ　クタ゛サイ

手順	操作	表示
1	ローカルで FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ　<ENT>
2	▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン　セッテイ　<ENT>
3	ENTER キーを押す	マシン　セッテイ シヨウ　ヘット゛　<ENT>
4	▲ ▼ を押して、[ワーニング] を選ぶ	マシン　セッテイ ワーニング゛　<ENT>
5	ENTER キーを押す	ワーニング゛ ワイハ゜　クリーニング゛　<ENT>
6	▲ ▼ を押して、設定するワーニング項目を選ぶ • 項目 : ミストファン / ジバリザイ	ワーニング゛ ミスト　ファン　<ENT>
7	ENTER キーを押す	ミスト　ファン カウンタ　リミット　<ENT>
8	▲ ▼ を押して、[カウンタリセット] を選ぶ	ミスト　ファン カウンタ　リセット　<ENT>
9	ENTER キーを 2 回押す • 使用カウンタがリセットされます。	
10	終了するとき、END キーを数回押す	

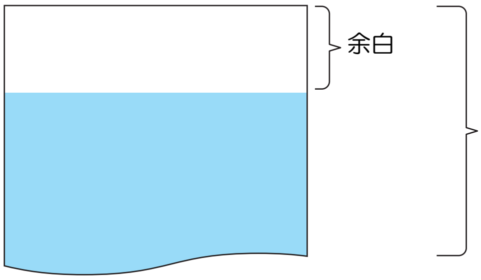
3
応用機能

ノズルリカバリに関するワーニングの設定をする

1	ローカルで FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ　　　　　　　<ENT>
2	▲▼を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン　セッテイ　　　<ENT>
3	ENTER キーを押す	マシン　セッテイ シヨウ　ヘッド゛　　　<ENT>
4	▲▼を押して、[ワーニング] を選ぶ	マシン　セッテイ ワーニング゛　　　　　<ENT>
5	ENTER キーを押す	ワーニング゛ ワイパ゜　クリーニング゛　<ENT>
6	▲▼を押して、[ノズルリカバリ] を選ぶ	ワーニング゛ ノス゛ル　リカバ゛リ　<ENT>
7	ENTER キーを押す	ノス゛ル　リカバ゛リ ト゛ウサ　セイケ゛ン　　:ON
8	▲▼を押して、設定値を選ぶ • 設定値 : ON / OFF	ノス゛ル　リカバ゛リ ト゛ウサ　セイケ゛ン　　:OFF
9	ENTER キーを押す	ワーニング゛ ノス゛ル　リカバ゛リ　<ENT>
10	終了するとき、END キーを数回押す	

ブランクデータの設定

プリントするデータの先頭に余白が存在する場合の動作を設定します。



設定値	概　　要
ユウコウ	余白部分をフィードしてプリントします。
ムコウ	余白部分を削除してプリントします。

1 ローカルで FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                <ENT>
```

2 ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ          <ENT>
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン セッテイ
シヨウ ヘット゛          <ENT>
```

4 ▲ ▼ を押して、[ブランクデータ] を選ぶ

```
マシン セッテイ
フ゛ランク テ゛ータ      <ENT>
```

5 ENTER キーを押す

```
フ゛ランク テ゛ータ
センタク             :ユウコウ
```

6 ▲ ▼ を押して、設定値を選ぶ

- 設定値 : ユウコウ / ムコウ

```
フ゛ランク テ゛ータ
センタク             :ムコウ
```

7 ENTER キーを押す

```
マシン セッテイ
フ゛ランク テ゛ータ      <ENT>
```

8 終了するとき、END キーを数回押す

MAIN ヒータを使ったメディア乾燥フィードの設定

乾燥フィードは、プリント終了位置から MAIN ヒータまでの、ヒータによる乾燥を行っていない部分を乾燥させるための機能です。
本機能を "ON" にすると、プリント終了後にあらかじめ設定した長さを自動的にフィードしてメディアの乾燥を行います。

重要!
- プリント終了時に次のプリントデータを受信している場合は、乾燥フィードは行いません。
- 乾燥フィードでは、プリント中と同様の乾燥効果を得るため、ジョグキーでメディアをフィードしたときと比べてフィード速度が遅くなります。
- 乾燥フィードを実行すると、手順 12 の " フィード長 " で設定した分だけ余白が発生します。ジョグキーを押してメディアを戻すことができますが、メディアがベルトに貼り付いたままベルト下側に潜り込んでしまう場合があります。
- また、メディアを戻した場合、繰出装置側のメディアが弛みます。プリントを行う際にテンションがかかっていることを確認してください。

設定項目	設定値	概　　要
フィード速度	AUTO、10 ～ 60mm/s	フィード速度を設定します。 AUTO　：フィード速度をプリント条件に合わせます。 数値入力：指定した速度でフィードを行います。
フィード長	10 ～ 2000mm	フィードする長さを設定します。

1 ローカルで (FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              <ENT>
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ       <ENT>
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン セッテイ
シヨウ ヘッド         <ENT>
```

4 (▲)(▼) を押して、[ヒータセッテイ] を選ぶ

```
マシン セッテイ
ヒータ セッテイ       <ENT>
```

5 (ENTER) キーを押す

```
ヒータ セッテイ
ヒータ                <ENT>
```

6 (▲)(▼) を押して、[カンソウフィード] を選ぶ

```
ヒータ セッテイ
カンソウ フィード     <ENT>
```

7 (ENTER) キーを押す

- 乾燥フィード機能の使用 / 不使用の選択画面が表示されます。

```
ヒータ セッテイ
カンソウ フィード     :OFF
```

8 (▲)(▼) を押して、乾燥フィード **"ON"** を選ぶ

- "OFF" を選んだ場合は、 手順 13 へ進んでください。

```
ヒータ セッテイ
カンソウ フィード     :ON
```

9 [ENTER] キーを押す

```
カンソウ　フィード
ソクド　　　　　　：AUTO
```

10 [▲][▼] を押して、フィード速度を設定する

- 設定値 : AUTO または 1 ～ 60mm/s
- 設定したプリント条件に合わせて、 自動的にフィード速度を設定する場合は “AUTO” にしてください。

```
カンソウ　フィード
ソクド　　　　　　：30　mm/s
```

11 [ENTER] キーを押す

```
カンソウ　フィード
フィード　チョウ　　：1000mm
```

12 [▲][▼] を押して、フィード長を設定する

- 設定値 : 10 ～ 2000mm

```
カンソウ　フィード
フィード　チョウ　　：1500mm
```

13 [ENTER] キーを押す

```
ヒータ　セッテイ
カンソウ　フィード　　　<ENT>
```

14 終了するとき、[END] キーを数回押す

3
応用機能

設定リストをプリントする

本機の設定内容や装置情報などをプリントできます。
メンテナンスの参考にしてください。

1	ローカルで (FUNCTION) キーを押す	FUNCTION セッテイ　　　　　<ENT>
2	(▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン　セッテイ　　<ENT>
3	(ENTER)キーを押す	マシン　セッテイ ショウ　ヘッド　　　<ENT>
4	(▲)(▼)を押して、[リスト] を選ぶ	マシン　セッテイ リスト　　　　　　<ENT>
5	(ENTER)キーを押す	リスト プリント　　　　　:ent
6	(ENTER)キーを押す • リストプリントを始めます。	＊＊　　リスト　　＊＊ ＊＊ プリント チュウ ＊＊

装置情報を確認する

本機の装置情報を確認できます。確認できる項目は以下の項目になります。

項　目	概　要
バージョン	装置のバージョン情報を表示します。
シリアル No.	シリアル No. を表示します。
ディーラ No.	ディーラ No. を表示します。

1 ローカルで (INFORMATION) キーを押す

```
マシン　シ゛ョウホウ
ハ゛ーシ゛ョン　　　　　<ENT>
```

2 (▲)(▼)を押して、表示する情報を選ぶ

- 表示項目　：バージョン情報、シリアル No.、ディーラ No.

```
マシン　シ゛ョウホウ
シリアル　No.　　　　　<ENT>
```

3 (ENTER) キーを押す

4 終了するとき、(END) キーを数回押す

(INFORMATION) を使わないで装置情報を確認するには

(INFORMATION) キーを押さなくても、ローカルから (FUNCTION) キーを使ってマシン情報の確認ができます。

ローカルで (FUNCTION) を押す → (▲)(▼)を押して [マシンセッテイ] を選び、(ENTER) を押す → (▲)(▼)を押して [マシンジョウホウ] を選び、(ENTER) を押す

- ローカルから (INFORMATION) キーを押したときと同じ状態になります。

3 応用機能

装置の状態を確認する

エラー情報やインク残量など、装置の状態を確認できます。

1 ローカルまたはリモートで ENTER キーを押す

エラー　ジョウホウ
エラー　ヒョウジ[∨]キー

2 ◀ ▶ を押して、確認したい情報を選ぶ

- ローカルまたはリモート表示に戻りたいときは、END キーを押してください。

項　目		内　容
エラー情報	エラー　ジョウホウ エラー　ヒョウジ　[∨]キー	エラーが発生している場合のみ表示します。 ▼を押すと、発生中のエラーを一覧で確認できます。
インク残量	インク　ザンリョウ 9999999999999999	全スロットのインクパック残量の目安を確認できます。 表示スロットの並び順　: 12345678ABCDEFGH 表示の意味　: [1] ～ [9]= 残量の目安 [0]= インクエンド [-]= エラー 重要! • 表示される残量は計算により算出した値です。実際のインク残量とは異なることがあります。 • インク残量をできるだけ正確に表示するため、同梱されているインクパックとインク IC は必ず同じスロットへ同時にセットしてください。
ロール メディア 残量	メディア ザンリョウ　:***.**m	ロールメディア残量の目安を確認できます。 重要! • 残量は、ロールメディア検出時に設定したメディア残量 (☞ P.2-34) とフィード量から算出した値です。実際のメディア残量とは異なる場合がありますので、あくまでも目安としてお使いください。
プリント エリア幅	メディア ハバ　:****mm	メディア検出時に設定したプリントエリアの幅を確認できます。
ヘッド高さ	ヘッド　タカサ *.*mm	ヘッド最下位置からのヘッド高さを確認できます。
充填インク セット	インク　タイプ　:Reac インク　カラー　:8	装置に充填したインクのインクタイプとカラーモードを確認できます。
マシン名称	Tx400-01 Ver.1.00　MRL-3	P.3-27 で設定した装置のマシン名称や、装置のバージョン情報を確認できます。
設定値	セッテイ　<タイプ1> ヒョウジ　[∧]/[∨]キー	▼を押すと、現在選択されているユーザタイプの設定値を一覧で確認できます。
カウンタ ログ	カウンタ　ログ ヒョウジ　[∧]/[∨]キー	▼を押すと、ミストファンやベルト地張り剤の使用カウンタを確認できます。
ノズル リカバリ	ノズル　リカバリ ヒョウジ　[∧]/[∨]キー	▼を押すと、現在プリントしている解像度および使用ヘッドのリカバリ可能なパスの情報が表示されます。 重要! • データ受信中でかつノズルリカバリの設定が有効になっているときのみ表示されます。

第４章
お手入れ

この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	• 本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。
	• 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
	• ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 • 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタ機構が故障する恐れがあります。 • メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。
	• 誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。

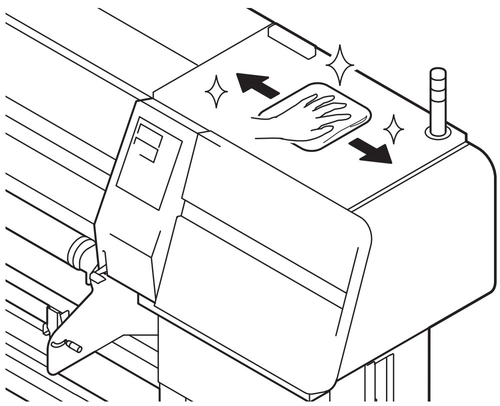
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
反応染料インク	SPC-0137　洗浄液ボトルキット A29 SPC-0631　水性洗浄液 2L パック
捺染顔料インク	
分散昇華染料インク	SPC-0701　Sb210 メンテナンス用洗浄液

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。



キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパのメンテナンスをします。
(ステーションメンテナンス)

- インクキャップやワイパが汚れたままでお使いになると、ノズル詰まりが発生しやすくなります。毎日の作業終了時や、ロールメディアの交換時などにインクキャップとワイパの清掃を実施してください。

インクキャップ / ワイパは、それぞれ次のような働きをしています。

- **ワイパ**　　　　：ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- **インクキャップ**：ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-37) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	• 洗浄液ボトルキット A29(品番 :SPC-0137)[別売品]	• スポイト
	• クリーンスティック (品番 :SPC-0527)	• 手袋

注 意

- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、ST.MAIN キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-4 手順 1 ～ 2)
- 誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。

4
お手入れ

インクキャップの清掃

画質不良が出た場合やクリーニング機能を実行してもノズル詰まりが直らない場合、および長期間使用しない場合にキャップをクリーニングしてください。

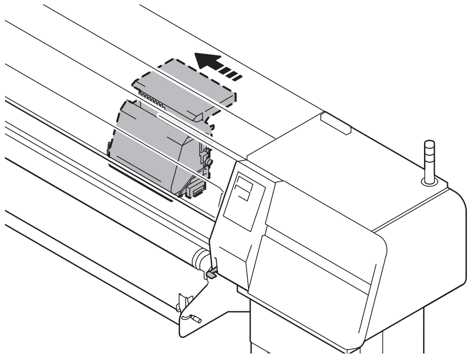
- インクキャップが汚れたままでお使いになると、ノズル詰まりが発生しやすくなります。
  毎日の作業終了時や、ロールメディアの交換時などにインクキャップの清掃を実施してください。

1 ローカルで ST.MAIN キーを押す

ステーション
センタク　　：キャリッシ゛　アウト

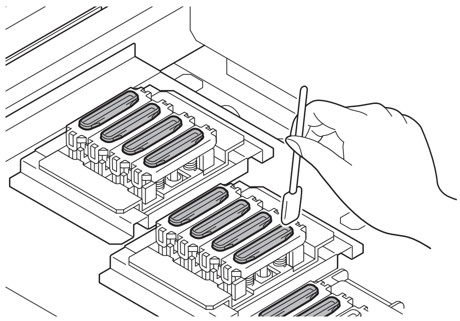
2 ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。



3 メンテナンスカバー **R** を開け、キャップゴムを清掃する

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



4 メンテナンスカバー **R** を閉め、ENTER キーを押す

- 初期動作後、メディア選択画面に戻ります。(☞ P.2-34)

シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
＊＊＊＊＊＊＊＊＊－－－－－－－－－－－

ST.MAIN を使わないでステーションメンテナンスをするには

ST.MAIN キーを押さなくても、ローカルから FUNCTION キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルで FUNCTION を押す	▲ ▼ を押して **[** メンテナンス **]** を選ぶ	ENTER を **2** 回押す • ローカルから ST.MAIN キーを押したときと同じ状態になります。

ワイパの清掃

ワイパには、ヘッドのノズルに付着したインクなどを拭き取る働きがあります。
定期的にワイパの清掃を行い、快適な状態でプリントをしてください。

- ワイパが汚れたままでお使いになると、ノズル詰まりが発生しやすくなります。
  毎日の作業終了時や、ロールメディアの交換時などにとワイパの清掃を実施してください。

重要!
- 新しいワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。
- ワイパやワイパクリーナ、ワイパ下のスポンジは定期的にメンテナンスを行ってください。ワイパなどをを汚れたままの状態で放置すると、吐出不良や装置の破損の原因になります。

● ワイパの清掃時期になると

ワイパの清掃時期になると、ディスプレイに右のメッセージを表示してお知らせします。
メッセージを表示したら、速やかにワイパの清掃を行ってください。

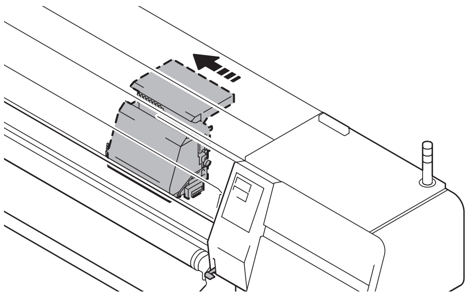
```
！ワイハ゜
ワイハ゜　クリーニンク゛
```

1 ローカルで ST.MAIN キーを押す

```
ステーション
センタク　　：ワイハ゜　クリーニンク゛
```

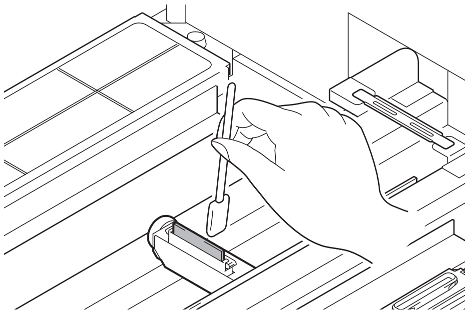
2 ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。



3 メンテナンスカバー R を開け、ワイパを清掃する

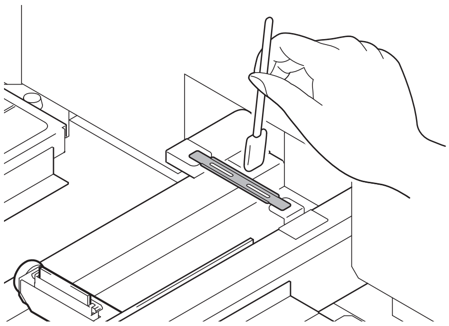
- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



4 ワイパクリーナを清掃する

- ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

注意
- ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



5 メンテナンスカバー R を閉め、ENTER キーを押す

- 初期動作後、メディア選択画面に戻ります。(☞ P.2-34)

```
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
＊＊＊＊＊＊＊＊＊－－－－－－－－－－－
```

4 お手入れ

[ワイパコウカン] を表示したら

ワイパは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパを交換するか、ワイパゴムを取り外し、未使用エッジとのローテーションをしてください。

```
！ワイハ゜
ワイハ゜ヲ　コウカン　シテクタ゛サイ
```

重要！

- クリーニングワイパ (SPA-0171) は別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- ワイパ交換時以外は、[ワイパコウカン] を選択しないでください。本機内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。

ワイパを交換する

1 ローカルで ST.MAIN キーを押す

```
ステーション
センタク　　　：キャリッシ゛　アウト
```

2 ▲▼を押して、[ワイパコウカン] を選ぶ

```
ステーション
センタク　　　：ワイハ゜　コウカン
```

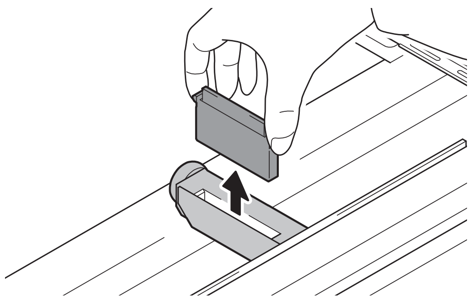
3 ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。

```
ワイハ゜　コウカン
シュウリョウ　　　　　　：ent
```

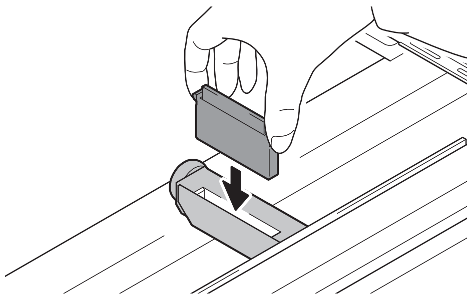
4 メンテナンスカバー R を開け、ワイパを取り出す

- ワイパ両端の突起を持ち、引き抜きます。



5 新しいワイパを差し込む

- ワイパ両端の突起を持ち、差し込みます。
- ワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因となります。
- ワイパは表面 / 裏面はありません。どちらを手前にしても差し込むことができます。

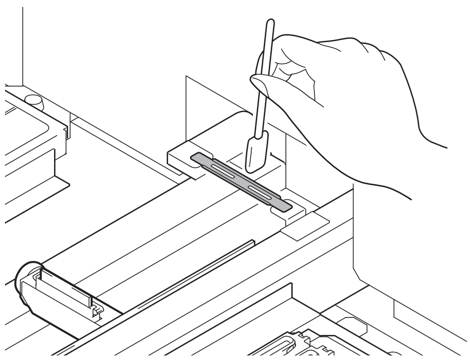


6 ワイパクリーナを清掃する

- ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

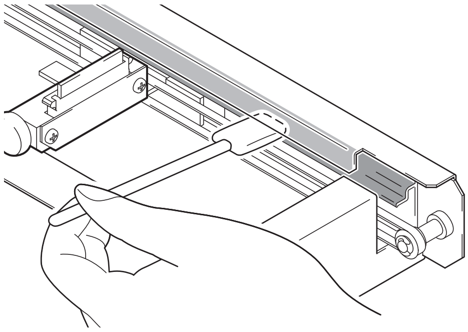
注意

- ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



7 ワイパのガイド溝を清掃する

- クリーンスティックまたは布で、ガイド溝を清掃します。
- 汚れが落ちにくい場合は、クリーンスティックなどを水で湿らせてから清掃してください。



8 ワイパ下のスポンジを洗浄する

(1) ワイパフレーム内のスポンジを取り出し水洗いする
(2) スポンジを乾燥させてから元の位置に戻す

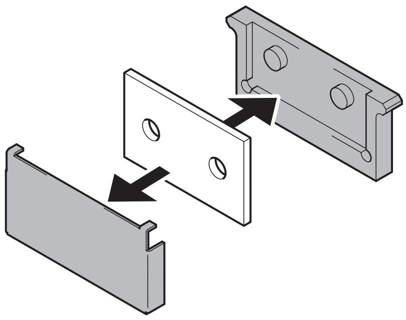
9 メンテナンスカバー **R** を閉め、ENTER キーを押す

- 初期動作後、メディア選択画面に戻ります。(☞ P.2-34)

シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
*********------------

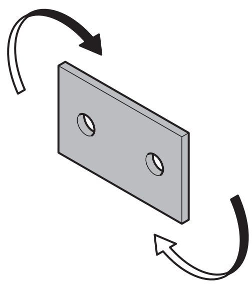
未使用エッジとのローテーションをする

1 ワイパカバーを取り外し、ワイパゴムを取り出す



2 ワイパゴムを上下に回転させる

- 未使用部分が上になるように回転させます。



3 ワイパカバーを元の状態に戻す

4
お手入れ

ヘッドノズルの洗浄

ノズル抜けが発生するとき、ヘッドノズルの洗浄を行ってください。

事前に確認してください	**[ニアエンド]、 [インクエンド] は表示していませんか？** ・ 洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。 このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 ・ インクが十分に残っているインクパックに交換してください。

1 ローカルで ST.MAIN キーを押す

ステーション
センタク　　　：キャリッジ　アウト　：

2 ▲▼を押して、[ノズルセンジョウ] を選ぶ

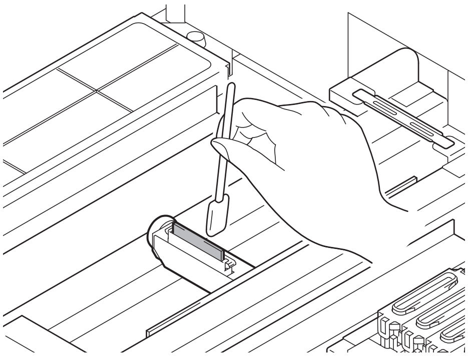
ステーション
センタク　　　：ノズル　センジョウ

3 ENTER キーを押す

• キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイパ　クリーニング
シュウリョウ　　　　　　：ent

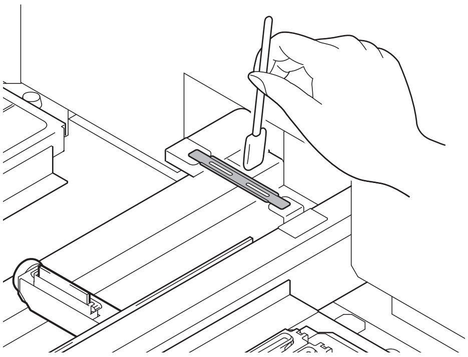
4 メンテナンスカバー R を開け、ワイパを清掃する



5 ワイパクリーナを清掃する

• ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

注意
• ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



6 ワイパ下のスポンジを洗浄する

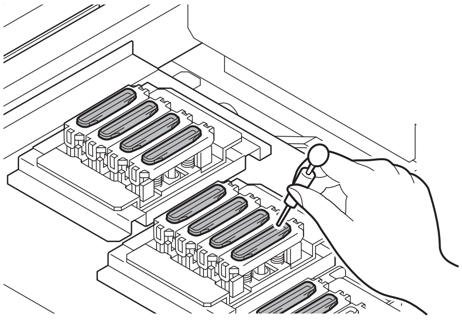
(1) ワイパフレーム内のスポンジを取り出し水洗いする
(2) スポンジを乾燥させてから元の位置に戻す

7 ENTER キーを押す

センジョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ　　　　　　：ent

8 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。
- ノズル抜けが発生しているヘッドにだけ、洗浄液を満たしてください。



9 メンテナンスカバー R を閉め、ENTER キーを押す

ノズ゛ル　センシ゛ョウ
ホウチ　シ゛カン　　　　= 1min

10 ▲ ▼ を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- 設定値：1 ～ 99 分　（1 分単位）

ノズ゛ル　センシ゛ョウ
ホウチ　シ゛カン　　　　: 2min

11 ENTER キーを押す

- 手順 10 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎるとキャップに満たした洗浄液を吸引し、クリーニングを行います。
- クリーニングが終わると、メディア選択画面に戻ります。(☞ P.2-34)

シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
*********------------

↓

ホウチ　チュウ
00:01:59

重 要!

- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、「ノズル詰まりが復旧しない場合 (インク充填)」(☞ P.4-24) を実行してください。それでも解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡してください。

ヘッドノズル面のメンテナンス

プリント中にヘッドのノズル面に付着したインクやホコリをそのまま放置しておくと、吐出不良やキャッピング不良の原因になります。作業終了後には必ずノズル面のメンテナンスを行い、ヘッドノズル面をきれいな状態に保ってください。

注意

- メンテナンスの際、絶対にインクヘッドのノズル部分をこすらないでください。画質不良などの原因となります。
- 誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。
- Sb210 メンテナンス用洗浄液は、Sb210 搭載機で「ノズルセンジョウ」(☞ P.4-8) または「ノズルセンジョウ 2」(☞ P.4-12) を行うときの専用洗浄液です。Sb210 搭載機以外には、Sb210 メンテナンス用洗浄液洗浄液を使用しないでください。吐出不良を起こす可能性があります。

メンテナンスに必要な道具	• メンテナンス洗浄液	• スポイト
	• クリーンスティック (品番 :SPC-0527)	• 手袋
	• メンテナンスクロス (品番 :SPC-0677)	• ウェス
	• ノズル洗浄ツール	

洗浄液について

ヘッドノズル面のメンテナンスを行うには、ご使用になっているインクに合わせたメンテナンス洗浄液が必要になります。

ご使用のインク	メンテナンス洗浄液
Sb210 インク	• Sb210 メンテナンス用洗浄液 (品番 :SPC-0701)[別売品] *1
Sb210 インク以外	• 水性洗浄液 2L パック (品番 :SPC-0631)[別売品]
	• 洗浄液ボトルキット A29(品番 :SPC-0137)[別売品]

*1. 「ノズルセンジョウ」「ノズルセンジョウ 2」以外のメンテナンスには使用しないでください。

- 「洗浄液ボトルキット A29(100cc 入り)」と「水性洗浄液 2L パック (2L 入り)」には同一の洗浄液が入っています。
- 「洗浄液ボトルキット A29」に比べ「水性洗浄液 2L パック」の方が、単価が安く経済的です。
- 「水性洗浄液 2L パック」をお使いになる場合は、洗浄液を「洗浄液詰め替え用ボトル (品番：SPC-0695)」に詰め替えてからお使いください。(詰め替え用ボトルは (1 リットルボトル 2 本入り)、繰り返し何度でも使用できます。)

●「洗浄液ボトルキット **A29**」について

メンテナンスを行う際は、ボトルに入っている洗浄液を使用します。
洗浄液を使い終わったら、新しい「洗浄液ボトルキット A29」または、「水性洗浄液 2L パックと洗浄液詰め替え用ボトル」をお買い求めください。

●「水性洗浄液 **2L** パック」について

メンテナンスを行う前に、洗浄液を「洗浄液詰め替え用ボトル」に詰め替えてください。

重 要 !

- 「水性洗浄液 2L パック」を開封したままの状態にしないでください。
洗浄液が劣化し、洗浄効果が弱くなります。

●「洗浄液詰め替え用ボトル」について

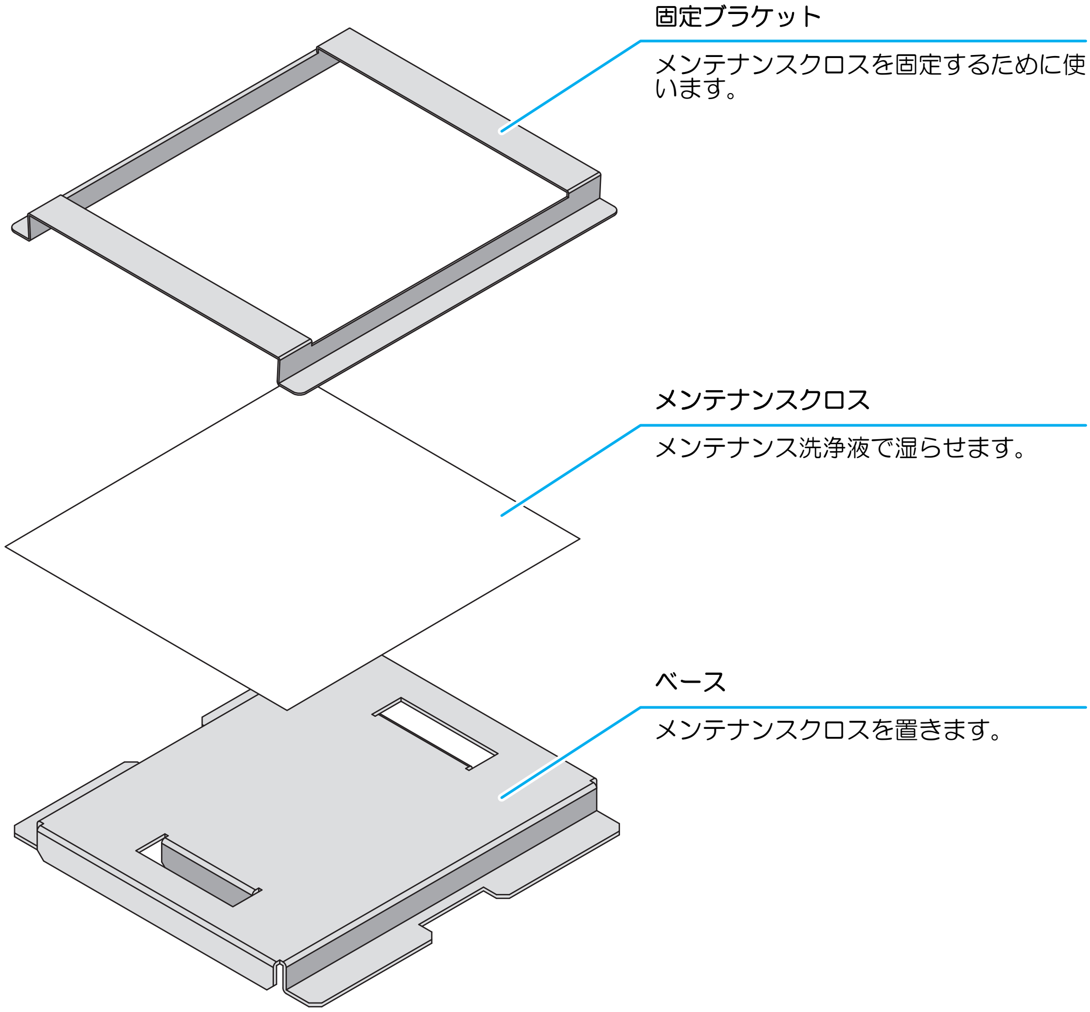
「水性洗浄液 2L パック」に入っている洗浄液 (2 リットル) をボトル (1 リットル x2 本) に詰め替えてください。
洗浄液を使用した後は、ボトルのキャップをしっかりと締めてください。

ノズル洗浄ツールについて

ノズル洗浄ツールはノズル面のメンテナンスを行う際に使用します。

注意

- ノズル洗浄ツールをお使いになるときは、ツールにインクやゴミなどが付着していないことを確認してください。ノズル洗浄ツールにインクやゴミなどが付着していると、メンテナンス効果の低減や装置の破損の原因になります。
- ノズル洗浄ツールを使用する際に板金保護フィルムを剥がして使用してください。



ヘッドノズル面のメンテナンスを行う

1 ローカルで ST.MAIN キーを押す

ステーション
センタク　　　:キャリッジ　アウト

2 ▲▼を押して、[ノズルセンジョウ 2] を選ぶ

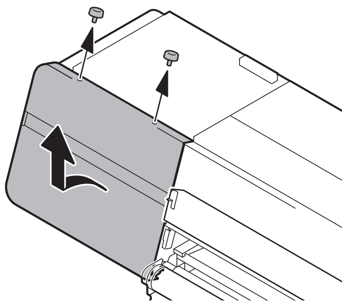
ステーション
センタク　　:ノズル　センジョウ2

3 ENTER キーを押す

- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

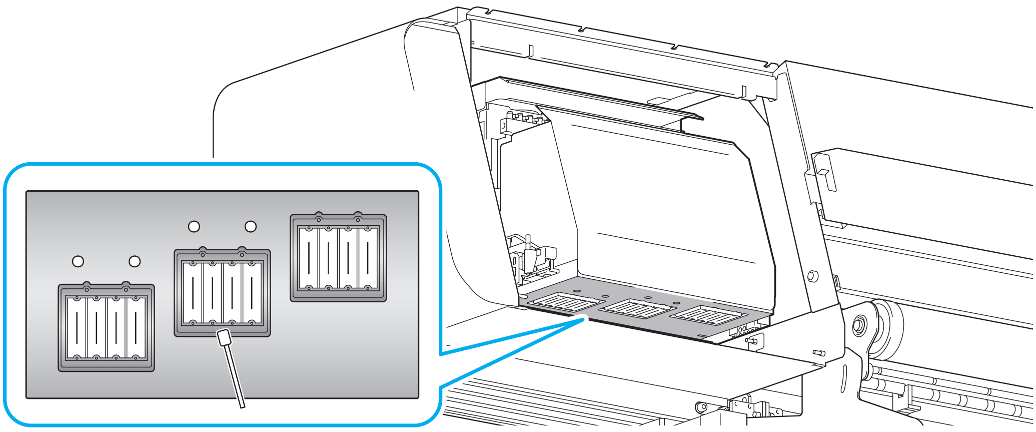
キャリッジ　メンテナンス
シュウリョウ　　　　　:ent

4 メンテナンスカバー L を外す



5 ヘッドの周辺に付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

重要!
- ノズル部分は、 絶対にこすらないでください。

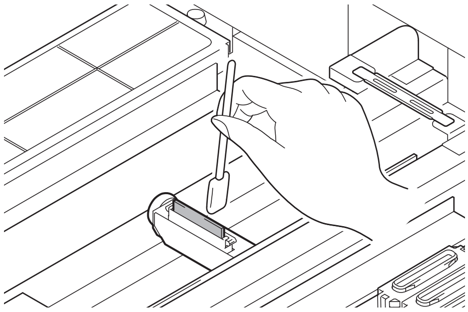


6 清掃が終了したら、メンテナンスカバー L を閉める

7 ENTER キーを押す

ワイパ　クリーニング
シュウリョウ　　　　　:ent

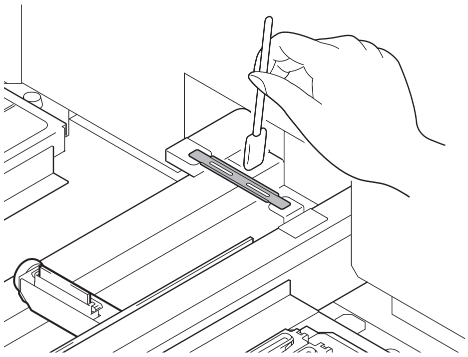
8 メンテナンスカバー R を開け、ワイパを清掃する



9 ワイパクリーナを清掃する

- ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

注意
- ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



10 ワイパ下のスポンジを洗浄する

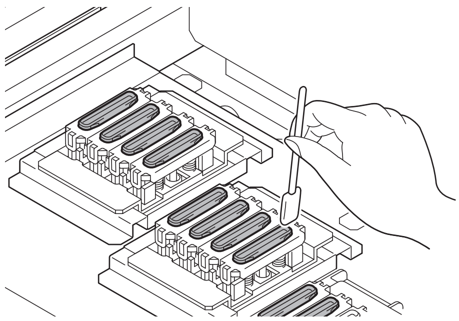
(1) ワイパフレーム内のスポンジを取り出し水洗いする
(2) スポンジを乾燥させてから元の位置に戻す

11 ENTER キーを押す

```
キャップ゜ クリーニング゛
シュウリョウ            :ent
```

12 メンテナンスカバー R を開け、キャップゴムを清掃する

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



13 キャップ内に残ったインクのかたまりなどのゴミを、ピンセットで取り除く

重要!
- スポンジがずれたり浮き上がったりした場合は、元の位置に戻してください。ずれたままにしておくと、ノズル面を傷つける恐れがあります。

14 ENTER キーを押す

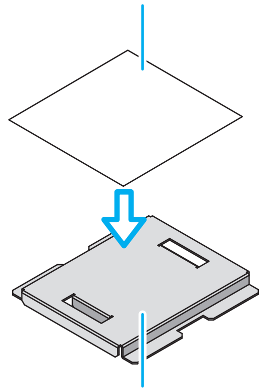
```
センシ゛ョウ ツール ヲ セット
シュウリョウ            :ent
```

15 ノズル洗浄ツールをキャップの上にセットする

(1) ノズル洗浄ツールに固着したインクやゴミを、洗浄液で湿らせたウェス等で拭き取る

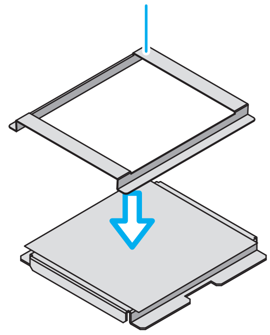
重 要!
- ノズル洗浄ツールのベース裏面はキャップと接するため、特に汚れの無い状態にしてください。

(2) ノズル洗浄ツールのベースに、メンテナンスクロスを 1 枚のせる



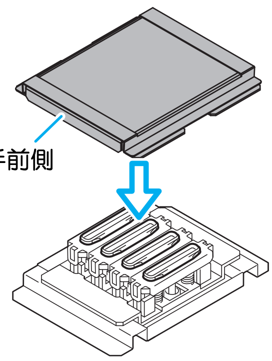
重 要! ヘッドの破損防止のため、メンテナンスクロス使用時は次の注意事項を守ってご使用ください。
- 汚れやホコリの付着したメンテナンスクロスは使用しない。
- 床に落としたメンテナンスクロスは使用しない。
- 一度使用したメンテナンスクロスを再利用しない。
- 汚れた手でメンテナンスクロスに触れない。
- メンテナンスクロスを袋から取り出すときは、袋の中にホコリ等が入らないように、速やかに袋を密閉する。
- メンテナンスクロスは必ず袋に入った状態で保管し、ホコリ等に触れないよう十分に注意する。

(3) ノズル洗浄ツールの固定ブラケットをセットし、メンテナンスクロスを固定する



注 意
- ベースと固定ブラケットが前後にずれないようにセットしてください。ずれた状態でメンテナンスを行うと、ノズル面を傷つけてしまいます。
- メンテナンスクロスにシワが入らないようにセットしてください。シワが入った状態でメンテナンスを行うと、メンテナンス効果が低減します。
- ベースと固定ブラケットはしっかりと密着させてください。ベースと固定ブラケットの間に隙間があると、装置の破損の原因になります。

(4) ノズル洗浄ツールをキャップの上にセットする



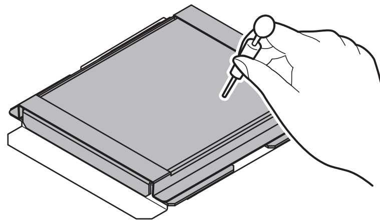
注 意
- ベース裏面が全てのキャップと密着するようにセットしてください。ノズル洗浄ツールとキャップの位置がずれていたり、ノズル洗浄ツールが傾いた状態でセットされていると、装置の破損の原因になります。
- ノズル洗浄ツールは右図のような向きでセットしてください。ノズル洗浄ツールの向きを間違えてセットすると、装置の破損の原因になります。

(5) 全てのヘッド (A ライン、B ライン、C ライン) に対して (1) ～ (4) までの作業を行う

16 ENTER キーを押す

```
センシ゛ョウエキ　ヲ　タラス
シュウリョウ　　　　　　:ent
```

17 ノズル洗浄ツールにセットしたメンテナンスクロスをメンテナンス洗浄液で湿らす



- スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、ノズル洗浄ツールにセットしたメンテナンスクロスに垂らします。
- メンテナンスクロスが十分に湿るよう、メンテナンス洗浄液は 3cc 以上垂らしてください。
- 全てのノズル洗浄ツール (A ライン、B ライン、C ライン) に対して、メンテナンスクロスをメンテナンス洗浄液で湿らせてください。

重 要 !
- メンテナンスクロスが十分に湿っていることを確認してください。
  乾いたままのメンテナンスクロスを使用してメンテナンスを行うと、ノズル面を傷つけてしまいます。

18 メンテナンスカバー R を閉める

19 ENTER キーを押す

```
ノズ゛ル  センシ゛ョウ2
ホウチ  シ゛カン        =10min
```

20 ▲▼を押して、放置時間を設定する

- 設定値 : 1 〜 30 分 （1 分単位）
- 推奨する放置時間は 10 分です。

```
ノズ゛ル  センシ゛ョウ2
ホウチ  シ゛カン        =11min
```

21 ENTER キーを押す

- 手順 20 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎるとワイピングを行います。

```
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
*********-----------
```
↓
```
ホウチ  チュウ
        00:01:59
```
↓
```
**  ワイヒ゜ンク゛  チュウ**
```
↓
```
センシ゛ョウツール  ヲ  ハス゛ス
シュウリョウ            :ent
```

- ワイピングが終了すると、センジョウツールを外すことを促すメッセージが表示されます。
- 右の画面表示中は、センジョウツールの取り忘れ防止のためにブザー音が鳴り続けます。

22 メンテナンスカバー R を開け、ノズル洗浄ツールを取り外す

重 要 !
- キャップからノズル洗浄ツールを持ち上げた後、すぐにウェスの上に乗せるなどして、ノズル洗浄ツールからメンテナンス洗浄液がこぼれ落ちないように十分に注意して取り外してください。
- 洗浄液にはインクが混ざっています。こぼれ落ちた洗浄液が床や装置に付着すると、付着した色が落ちない場合があります。

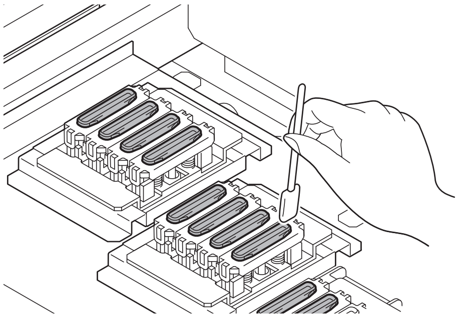
注 意
- ディスプレイに “ センジョウツールヲハズス ” のメッセージが表示されたら、速やかにノズル洗浄ツールを取り外してください。ノズル洗浄ツールを長時間キャップ上に乗せたままにしておくと、キャップとツールが固着する恐れがあります。また、ヘッドがキャッピングされていない状態が続くと、ノズルが乾燥し、吐出不良の原因になります。

23 ENTER キーを押す

```
キャップ゜　クリーニング゛
シュウリョウ　　　　　　　:ent
```

24 キャップゴムを清掃する

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



注意

- ノズル洗浄ツールのベースに付着していた細かなゴミや汚れがキャップに付着しています。必ずキャップゴムの清掃を行ってください。
- キャップゴムの清掃を行わないで、そのまま本機を使用すると、ノズル面が傷ついたり、キャッピング不良を起こす恐れがあります。

25 メンテナンスカバー **R** を閉め、ENTER キーを押す

- クリーニングを行います。
- クリーニングが終わると、メディア選択画面に戻ります。(☞ P.2-34)

```
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
*********-----------
```

↓

```
**　クリーニング゛　チュウ　**
00:00:00
```

使用後のノズル洗浄ツールの取り扱いについて

使用後のノズル洗浄ツールは、次回使用するときのために、きれいに清掃してからホコリ等が付着しないように袋に入れて保管しておいてください。

1 ベースから固定ブラケットを外し、メンテナンスクロスを取り外す

- 取り外したメンテナンスクロスは廃棄してください。

2 メンテナンス洗浄液でウェス等を湿らせ、ベースと固定ブラケットに付着したインクをきれいに取り除く

注意

- ベースと固定ブラケットは必ずきれいに清掃してください。付着したインクをそのまま放置すると、インクが固着してしまいます。
- ベース裏面に付着したインクが固まると、次回使用したときに装置を破損する原因となります。必ず、ベースの表面 / 裏面の両方の清掃を行ってください。

3 清掃したノズル洗浄ツールを袋に入れ保管する

- ノズル洗浄ツールにホコリ等が付かないよう注意してください。

インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的(1週間に1回程度)にインク排出路の洗浄をしてください。

1 ローカルで ST.MAIN キーを押す

ステーション
センタク　　　：キャリッシ゛　アウト

2 ▲ ▼ を押して、[ハイロセンジョウ] を選ぶ

ステーション
センタク　　　：ハイロ　センシ゛ョウ

3 ENTER キーを押す

- 廃インクタンクを確認し、状況に応じて廃インクを処分してください。

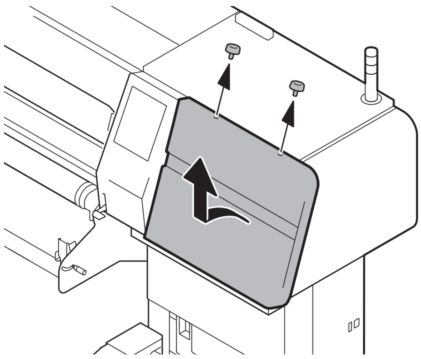
ハイ　インク　タンク　ヲ　カクニン
シュウリョウ　　　　　　　：ent

4 ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作（吸引を 10 秒、停止を 10 秒）を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

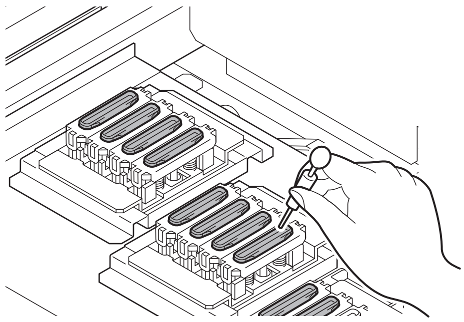
ハイロ　センシ゛ョウ
シュウリョウ　　　　　　　：ent

5 メンテナンスカバー R を開ける



6 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- 空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。
- 全てのキャップに対し、洗浄液を満たしてください。



7 メンテナンスカバー R を閉める

8 ENTER キーを押す

- 30 秒間空吸引を実行した後、メディア選択画面に戻ります。
(☞ P.2-34)

シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
*********-----------

↓

メデ゛ィア　セット
ロール　＜　　　　＞　リーフ

長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路を清掃してください。その後、本機を保管してください。

事前に確認してください	**[ニアエンド]、 [インクエンド] は表示していませんか？** • 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。 このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 • インクエンド等、未検出のインクパックに交換してください。

注意
• 本装置の制御の特性上、12 時間以上電源を切った状態にすると、キャップをした状態であっても、次第にヘッドノズル面よりインクが出てきてしまう恐れがあります。
ノズルからインクが出てきてしまった場合、同じヘッド内で隣り合うノズルとの間で、インクの色が混ざり合ってしまうことがあります。
ノズル内でインクが混ざり合ってしまうと、ヘッド内の再充填が必要となり、多くのインクを捨ててしまうことになります。
長期間使用しない場合でも、できる限り電源を切らないでください。

1 ローカルで (ST.MAIN) キーを押す

```
ステーション
センタク　　　：キャリッシ゛　アウト
```

2 (▲)(▼) を押して、[ホカンセンジョウ] を選ぶ

```
ステーション
センタク　　　：ホカン　センシ゛ョウ
```

3 (ENTER) キーを押す

• 廃インクタンクを確認し、状況に応じて廃インクを処分してください。

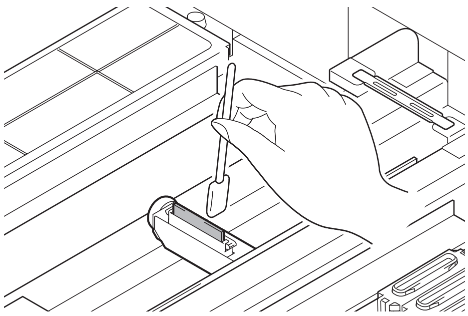
```
ハイ　インク　タンク　ヲ　カクニン
シュウリョウ　　　　　　　：ent
```

4 (ENTER) キーを押す

• キャリッジがプラテン上に移動します。

```
ワイハ゜　クリーニンク゛
シュウリョウ　　　　　　　：ent
```

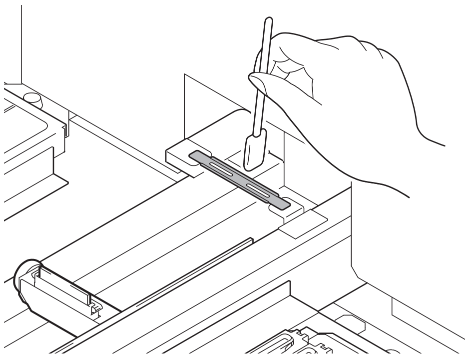
5 メンテナンスカバー R を開け、ワイパを清掃する



6 ワイパクリーナを清掃する

• ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

注意
• ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



4 お手入れ

7 ワイパ下のスポンジを洗浄する

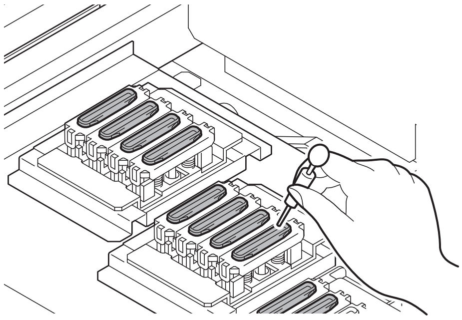
(1) ワイパフレーム内のスポンジを取り出し水洗いする
(2) スポンジを乾燥させてから元の位置に戻す

8 ENTER キーを押す

センシ゛ョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ :ent

9 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



10 メンテナンスカバー R を閉め、ENTER キーを押す

ノス゛ル センシ゛ョウ
ホウチ シ゛カン : 1min

11 ▲ ▼ を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- 設定値：1 ～ 99 分 （1 分単位）

ノス゛ル センシ゛ョウ
ホウチ シ゛カン : 2min

12 ENTER キーを押す

- 手順 11 で設定した放置時間が終了すると、洗浄液の吸引とクリーニングを実行します。
- クリーニングが終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
*********-----------

↓

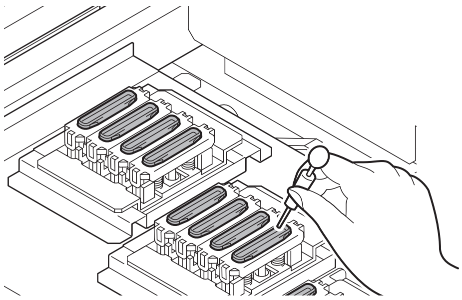
ホウチ チュウ
00:01:59

13 再度、ワイパとワイパクリーナを清掃し、ENTER キーを押す

ワイハ゜ クリーニンク゛
シュウリョウ :ent

14 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- 空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。
- 全てのキャップに対し、洗浄液を満たしてください。



15 メンテナンスカバー R を閉め、ENTER キーを押す

- 30 秒間空吸引を実行した後、メディア選択画面に戻ります。(☞ P.2-34)

シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
*********-----------

インクヘッド周辺の清掃

インクヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。
スライダ下部、インクヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、インクヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	• 洗浄液ボトルキット A29(品番 :SPC-0137)[別売品]	
	• クリーンスティック (品番 :SPC-0527)	• 手袋

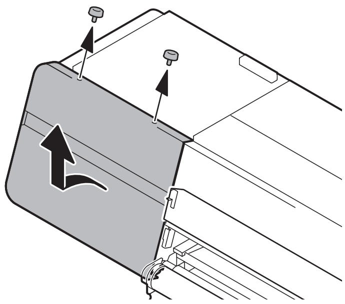
注 意

• 誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。

1 メンテナンスメニューの [キャリッジ] を選ぶ

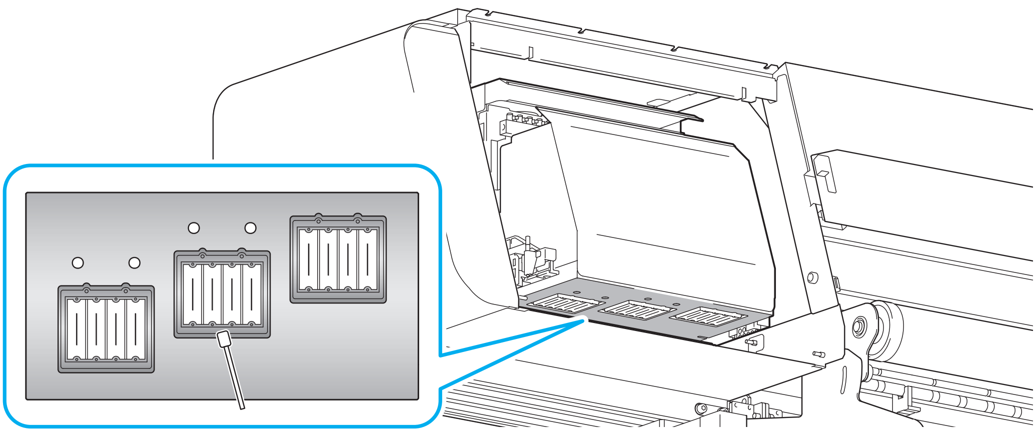
(1) FUNCTION キーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲▼を押して [キャリッジ] を選び、ENTER キーを押す
(4) ENTER キーを押す
• キャリッジが、本機の左端まで移動します。

2 メンテナンスカバー L を外す



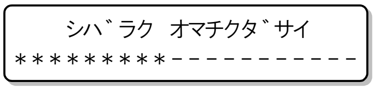
3 ヘッドの周辺に付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

重 要 !　• ノズル部分は、 絶対にこすらないでください。



4 清掃が終了したら、メンテナンスカバー L を閉める

5 ENTER キーを押す



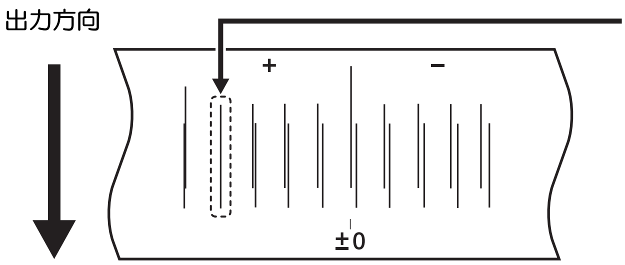
• 初期動作後、メディア選択画面に戻ります。(P.2-34)

4
お手入れ

ドットの位置がずれたら

ご使用になるメディアの厚みやヘッドの高さ、インクの種類が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

パターンプリント例



プラス方向に **0** 位置から **4** 本目が、直線で表示されています。
この場合のドット位置補正値は **4.0** です。

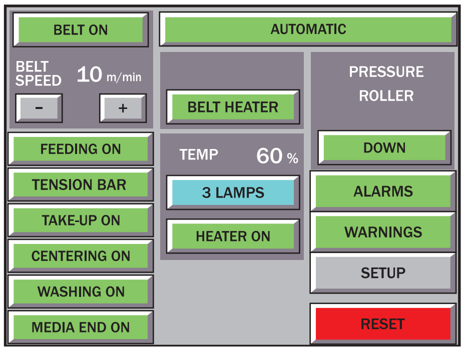
---

1 メディアをセットする (☞ **P.2-14)**

• パターンプリントをするには、幅 600mm 以上の大きさのメディアが必要です。

---

2 メディア搬送システムをプリント可能な状態にする



操作タッチパネルで次の各項目を切り替えてください。
• [MANUAL] を押して、[AUTOMATIC] にする
• [BELT OFF] を押して、[BELT ON][FEEDING ON][TAKE-UP ON] にする
• PRESSURE ROLLER [UP] を押して、[DOWN] にする
• 補助機能(☞ P.2-9)を参照して、必要な機能をONにする。

---

3 メンテナンスメニューの **[** ドットイチホセイ **]** を選ぶ

(1) FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ドットイチホセイ] を選び、ENTER キーを押す

---

4 ▲ ▼ を押して、補正をする解像度を選択する

```
ド゛ットイチ　ホセイ
センタク　　　　　:　300dpi
```

• 解像度：300dpi, 450dpi, 450dpiH, 600dpi, 600dpiH, 900dpi, 900dpiH, 1200dpi, 1200dpiH

---

5 ENTER キーを押す

---

6 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、原点位置を設定する

---

7 ENTER キーを押す

8 ENTER キーを押して、パターンプリントを開始する

- 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3 と呼ぶ)

```
** ドットイチ ホセイ **
** プリント チュウ **
```

9 ▲ ▼ を押して、見やすい位置に補正パターンを移動する

```
ドットイチ ホセイ
パターン チェック [▲]/[▼]
```

10 ENTER キーを押す

- 補正値の入力画面が表示されます。

11 ▲ ▼ を押して、パターン 1 のドット位置を補正する

```
ドットイチ ホセイ
パターン1 : 0.0
```

- 補正値:-40.0 〜 40.0
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40.0 〜 40.0 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。

12 ENTER キーを押す

13 手順 **10** と同様にして、パターン **2~** のドット位置を補正し、ENTER キーを押す

14 終了するとき、END キーを数回押す

インク充填を行う

「ヘッドクリーニングを実行する」(P.2-37) や「ヘッドノズルの洗浄」(P.4-8) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、インク充填を行います。
インク充填には次の 3 種類があります。ノズル詰まりの症状に合わせて選択してください。

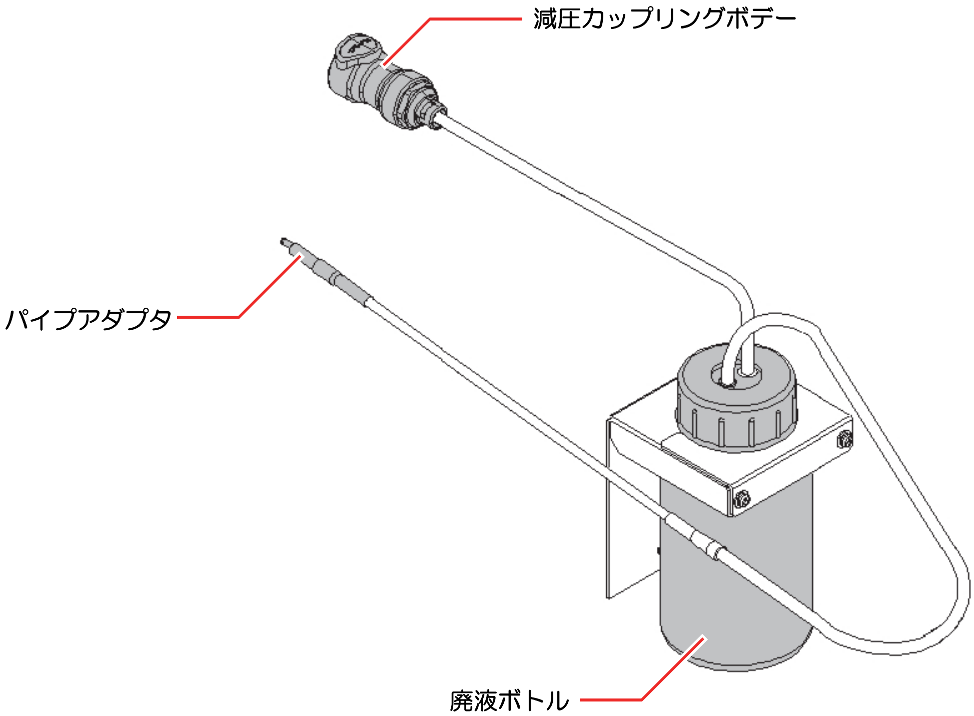
設定値	概　要
ソフト	「ヘッドクリーニングを実行する」(P.2-37) や「ヘッドノズルの洗浄」(P.4-8) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合に選択します。
ノーマル	“ ソフト ” でインク充填をしてもノズル詰まりが解消されないときに選択します。 充填が終わったら、「充填の状況を確認する(充填チェック)」(P.4-34)で状況を確認してください。
ハード	“ ノーマル ” でインク充填をしてもノズル詰まりが解消されないときに選択します。 充填が終わったら、「充填の状況を確認する(充填チェック)」(P.4-34)で状況を確認してください。

- 新しくインクを装填した場合、インク充填の操作をしなくても自動的にインク充填を行います。

インク充填 (ノーマル / ハード) に必要な道具	• 手袋	• インクポート排出治具
	• ウェス	• 洗浄液ボトルキット A29(品番 :SPC-0137)[別売品]

インクポート排出治具について

インクポート排出治具は、インクポートの洗浄およびインク充填時に使用します。必ず、ボトルを空にしてからご使用ください。



● インク充填 " ソフト "

1 メンテナンスメニューの [インクジュウテン] を選ぶ

(1) FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [インクジュウテン] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、インク充填をするヘッドを選ぶ

```
インク　シ゛ュウテン
カラー　　　　　　　：12■-5678
```

ヘッドの選択 ：◀ ▶ を押して選択
充填の実行　 ：▲ ▼ を押して選択

- インク充填を行わない場合は、ディスプレイに " ― " を表示します。

3 ENTER キーを押す

```
インク　シ゛ュウテン
タイプ゜　　　　　　　：ソフト
```

4 ENTER キーを押す

- 自動的にインク充填を開始します。
- インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

```
シ゛ュウテン　チュウ
00：00：00
```

↓

```
メンテナンス
インク　シ゛ュウテン　　　　<ENT>
```

5 終了するとき、END キーを数回押す

● インク充填 “ ノーマル ”

1 メンテナンスメニューの [インクジュウテン] を選ぶ

(1) (FUNCTION) キーを押す
(2) (▲)(▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
(3) (▲)(▼) を押して [インクジュウテン] を選ぶ
(4) (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して、インク充填をするヘッドを選ぶ

```
インク シ゛ュウテン
カラー            : 12--5678
```

ヘッドの選択: (◀)(▶) を押して選択
充填の実行: (▲)(▼) を押して選択

• インク充填を行わない場合は、ディスプレイに “ − ” を表示します。

3 (ENTER) キーを押す

```
インク シ゛ュウテン
タイフ゜            : ソフト
```

4 (▲)(▼) を押して、“ ノーマル ” を選ぶ

```
インク シ゛ュウテン
タイフ゜            : ノーマル
```

5 (ENTER) キーを 2 回押す

• 自動的にインク充填を開始します。

• インク充填が終わると、右の画面を表示します。

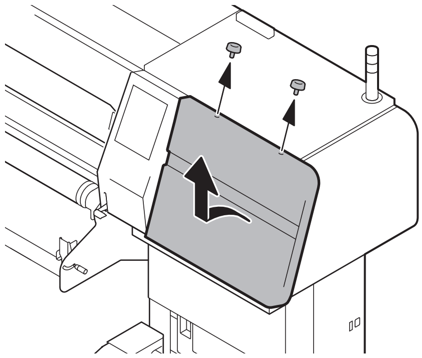
```
シ゛ュウテン チュウ   1/2
            00:00:00
```

↓

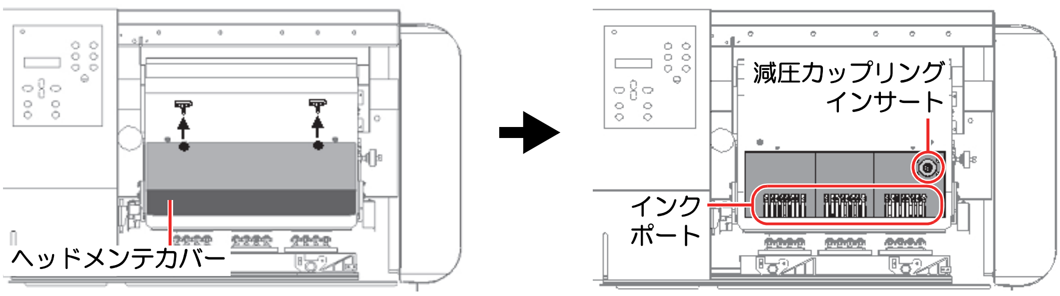
```
インクホ゜ート シ゛ュウテン
シュウリョウ          : ent
```

6 メンテナンスカバー R を開け、ヘッドメンテカバーを取り外す

(1) メンテナンスカバー R を開ける



(2) ヘッドメンテカバーを取り外す



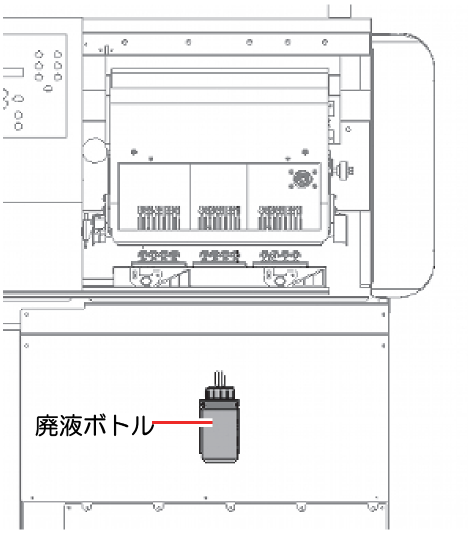
7 インクポート排出治具を取り付ける

- Tx400 にインクポート排出治具を取り付けます。

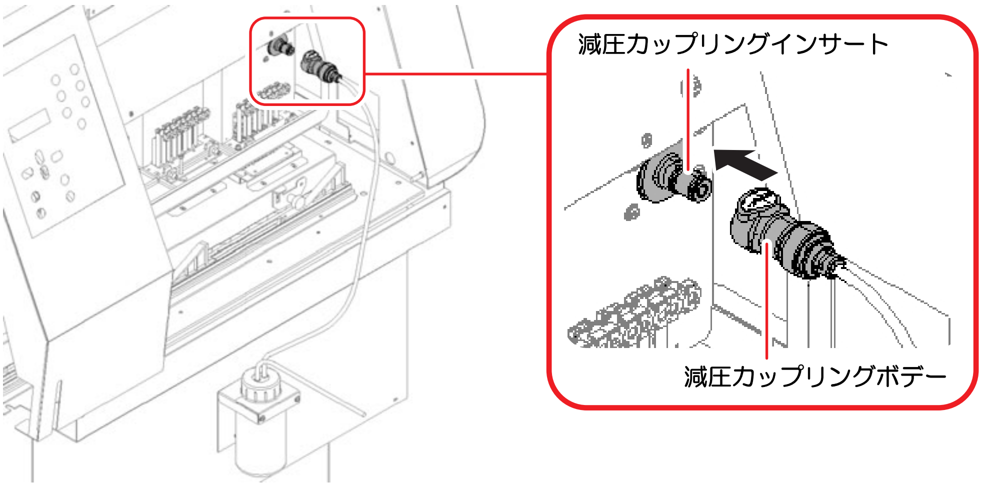
(1) インクポート排出治具の廃液ボトルを空にする

(2) 廃液ボトルを右図の位置に貼り付ける
- 廃液ボトルに付いているマグネットを使って、メンテナンスカバー R の下に廃液ボトルを貼り付けます。
- 廃液ボトルを貼り付けるときは、地面に対して垂直になるようにしてください。

注意
- 廃液ボトルが傾いた状態でインク交換を行うと、装置破損の原因となります。廃液ボトルは、必ず地面に対して垂直になるように貼り付けてください。



(3) キャリッジ内部の右側にある減圧カップリングインサートに、インクポート排出治具の減圧カップリングボデーを差し込む
- 「カチッ」 と音がするまで差し込んでください。

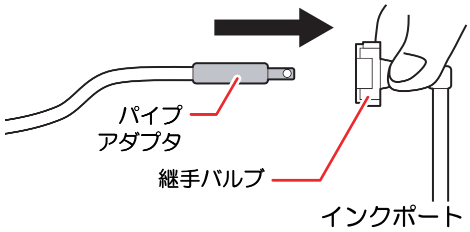


注意
- 減圧カップリングボデーを差し込んだときに「カチッ」と音がしなかった場合は、レリースボタンを押してカップリングボデーを外し、再度音がするまで差し込んでください。
- 減圧カップリングボデーの接続が不完全なままでインク排出作業を行うと、ヘッド内にエアーが逆流して、ヘッドのインク充填不良が発生します。減圧カップリングボデーは「カチッ」音がするまで確実に接続してください。

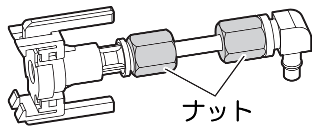
8 インクポート排出治具のパイプアダプタの汚れを落とす

- 洗浄液で湿らせたウェスなどで、パイプアダプタの汚れを拭き取ってください。

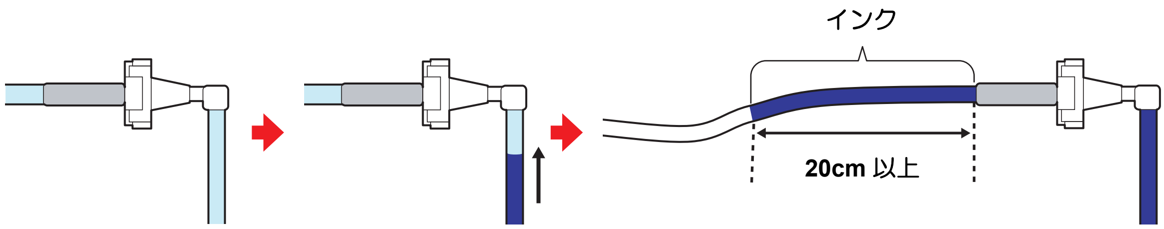
9 インクポート排出治具のパイプアダプタを、インクポートの継ぎ手バルブに差し込む



- パイプアダプタを抜き差しするときは、インクポートの継ぎ手バルブを指で押さえながら差し込んでください。インクポート継ぎ手バルブが破損し、インクが漏れ出す恐れがあります。
- 継ぎ手バルブのナットに緩みの無いことを確認してください。ナットが緩んでいるとインクポートに空気が混入し、正常に吐出できなくなります。



10 インク排出治具のチューブにインクが 20cm 以上出ていることを確認する

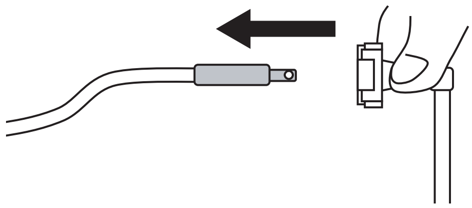


重要！

- パイプアダプタを差し込むと、インクポートからインクが流れ続けます。パイプアダプタを取り付けた状態で目を離したり、その場を離れたりしないでください。必要以上にインクを排出してしまいます。

11 パイプアダプタをインクポートの継ぎ手バルブから取り外す

- 取り外したパイプアダプタを洗浄液で湿らせたウェスなどで拭き、汚れを落とします。



重要！

- パイプアダプタを取り外したら、必ずメンテナンス洗浄液できれいに洗浄してください。アダプタにインクが付着したまま他のインクポートに取り付けると、インクの混色の原因となります。

12 洗浄液ボトルにパイプアダプタを入れ、インクポート排出治具のチューブを洗浄する

- 洗浄液ボトルにパイプアダプタを入れると、ボトル内の洗浄液が吸い上げられ、インクポート排出治具のチューブが洗浄されます。

13 廃液ボトルを確認する

• 廃液がボトルに半分以上たまったら、次の手順でボトルを空にしてください。

(1) インクポート排出治具を取り外す
- 減圧カップリングボデーのレリースボタンを押しながら、 手前に引き抜きます。
- Tx400 に貼り付けている廃液ボトルを取り外してください。

(2) 廃液ボトルのキャップを取り外し、中の廃液を処分する
(3) 廃液ボトルのキャップをする
(4) Tx400 にインクポート排出治具を取り付ける
- 手順 7 を参照して、 インクポート排出治具を取り付けてください。

注意
- 廃液を処分するときは、必ずインクポート排出治具を本体から取り外してから作業を行ってください。
- 廃液ボトルのキャップは、緩みがないようにしっかり締めてください。

14 選択した全てのインクポートに対して、手順 **8** ～ **13** までを行う

15 インクポート排出治具を取り外す

注意
- インクポート排出治具は必ず取り外してください。インクポート排出治具を取り付けたまま次の手順からの操作を行うと、装置破損の原因となります。

16 ヘッドメンテカバーを取り付け、メンテナンスカバー **R** を閉める

17 ENTER キーを押す

• 自動的にインク充填を開始します。

• インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

```
シ゛ュウテン チュウ 2/2
00:00:00
```

↓

```
メンテナンス
インク シ゛ュウテン <ENT>
```

18 終了するとき、END キーを数回押す

4 お手入れ

● インク充填 “ ハード ”

1 メンテナンスメニューの [インクジュウテン] を選ぶ

(1) (FUNCTION) キーを押す
(2) (▲)(▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
(3) (▲)(▼) を押して [インクジュウテン] を選ぶ
(4) (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して、インク充填をするヘッドを選ぶ

```
インク　シ゛ュウテン
カラー　　　　　　　：12■-5678
```

ヘッドの選択 ：(◀)(▶) を押して選択
充填の実行 ：(▲)(▼) を押して選択

• インク充填を行わない場合は、ディスプレイに “ ー ” を表示します。

3 (ENTER) キーを押す

```
インク　シ゛ュウテン
タイフ゜　　　　　　　：ソフト
```

4 (▲)(▼) を押して、“ ハード ” を選ぶ

```
インク　シ゛ュウテン
タイフ゜　　　　　　　：ハート゛
```

5 (ENTER) キーを **2** 回押す

• 自動的にインク充填を開始します。

• インク充填が終わると、右の画面を表示します。

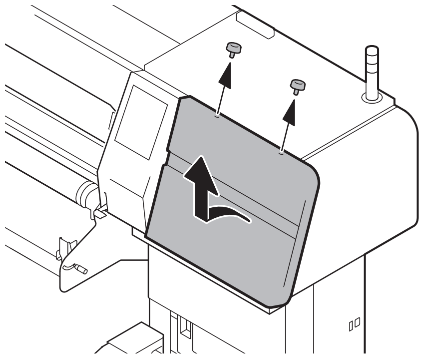
```
シ゛ュウテン　チュウ　1/3
　　　　　00:00:00
```

↓

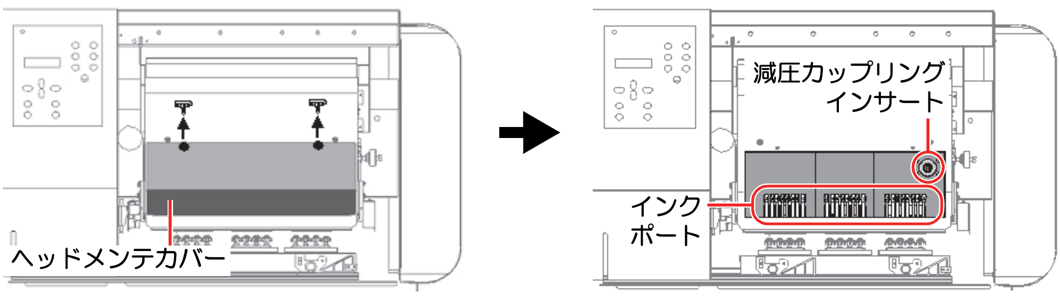
```
インクホ゜ート　シ゛ュウテン
シュウリョウ　　　　　：ent
```

6 メンテナンスカバー **R** を開け、ヘッドメンテカバーを取り外す

(1) メンテナンスカバー R を開ける



(2) ヘッドメンテカバーを取り外す



7 インクポート排出治具を取り付ける

• Tx400 にインクポート排出治具を取り付けます。

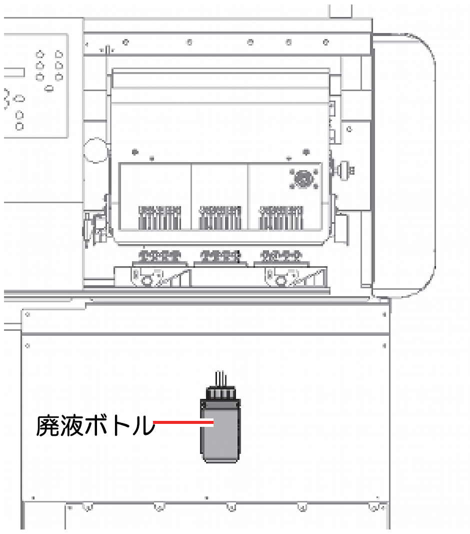
(1) インクポート排出治具の廃液ボトルを空にする

(2) 廃液ボトルを右図の位置に貼り付ける

- 廃液ボトルに付いているマグネットを使って、メンテナンスカバー R の下に廃液ボトルを貼り付けます。
- 廃液ボトルを貼り付けるときは、地面に対して垂直になるようにしてください。

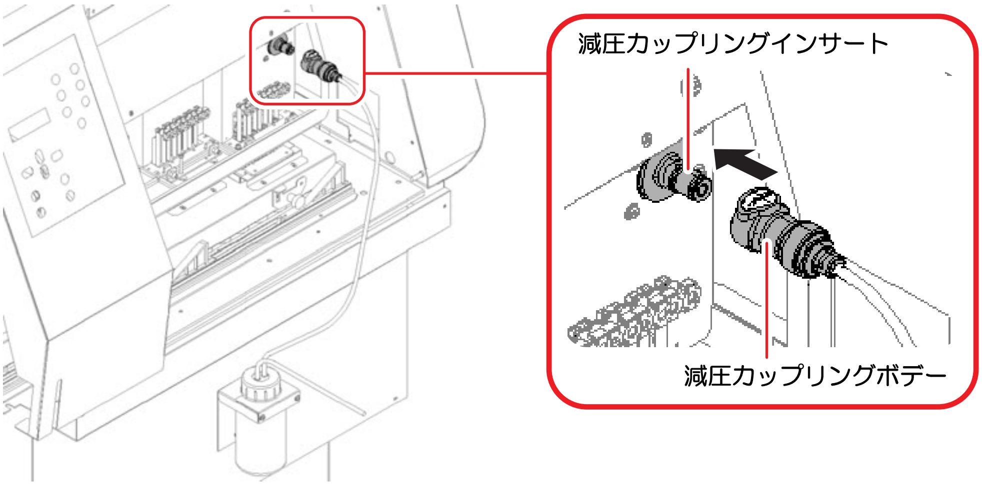
注意

- 廃液ボトルが傾いた状態でインク交換を行うと、装置破損の原因となります。廃液ボトルは、必ず地面に対して垂直になるように貼り付けてください。



(3) キャリッジ内部の右側にある減圧カップリングインサートに、インクポート排出治具の減圧カップリングボデーを差し込む

- 「カチッ」 と音がするまで差し込んでください。



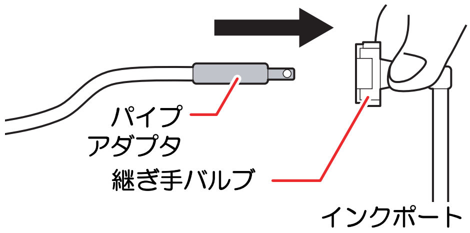
注意

- 減圧カップリングボデーを差し込んだときに「カチッ」と音がしなかった場合は、レリースボタンを押してカップリングボデーを外し、再度音がするまで差し込んでください。
- 減圧カップリングボデーの接続が不完全なままでインク排出作業を行うと、ヘッド内にエアーが逆流して、ヘッドのインク充填不良が発生します。減圧カップリングボデーは「カチッ」音がするまで確実に接続してください。

8 インクポート排出治具のパイプアダプタの汚れを落とす

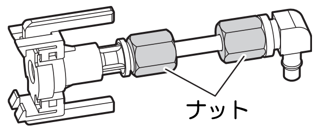
• 洗浄液で湿らせたウェスなどで、パイプアダプタの汚れを拭き取ってください。

9 インクポート排出治具のパイプアダプタを、インクポートの継ぎ手バルブに差し込む

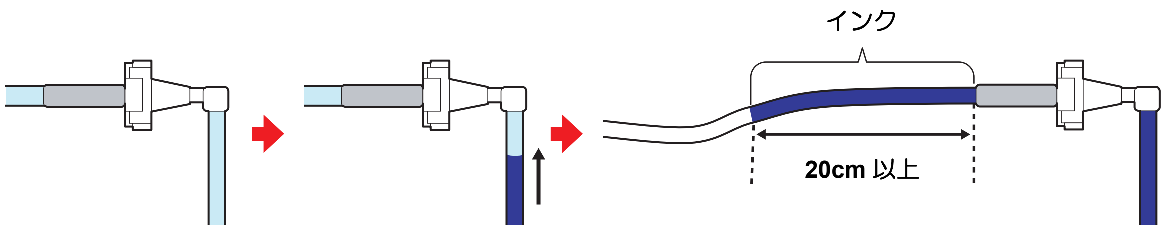


注意

- パイプアダプタを抜き差しするときは、インクポートの継ぎ手バルブを指で押さえながら差し込んでください。インクポート継ぎ手バルブが破損し、インクが漏れ出す恐れがあります。
- 継ぎ手バルブのナットに緩みの無いことを確認してください。ナットが緩んでいるとインクポートに空気が混入し、正常に吐出できなくなります。



10 インク排出治具のチューブにインクが **20cm** 以上出ていることを確認する

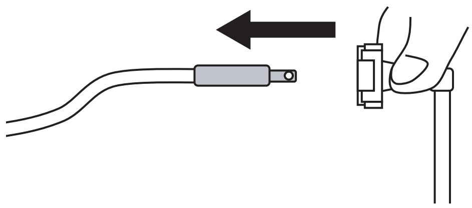


重要!

- パイプアダプタを差し込むと、インクポートからインクが流れ続けます。パイプアダプタを取り付けた状態で目を離したり、その場を離れたりしないでください。必要以上にインクを排出してしまいます。

11 パイプアダプタをインクポートの継ぎ手バルブから取り外す

- 取り外したパイプアダプタを洗浄液で湿らせたウェスなどで拭き、汚れを落とします。



重要!

- パイプアダプタを取り外したら、必ずメンテナンス洗浄液できれいに洗浄してください。アダプタにインクが付着したまま他のインクポートに取り付けると、インクの混色の原因となります。

12 洗浄液ボトルにパイプアダプタを入れ、インクポート排出治具のチューブを洗浄する

- 洗浄液ボトルにパイプアダプタを入れると、ボトル内の洗浄液が吸い上げられ、インクポート排出治具のチューブが洗浄されます。

13 廃液ボトルを確認する

• 廃液がボトルに半分以上たまったら、次の手順でボトルを空にしてください。

(1) インクポート排出治具を取り外す
- 減圧カップリングボデーのレリースボタンを押しながら、 手前に引き抜きます。
- Tx400 に貼り付けている廃液ボトルを取り外してください。

(2) 廃液ボトルのキャップを取り外し、中の廃液を処分する
(3) 廃液ボトルのキャップをする
(4) Tx400 にインクポート排出治具を取り付ける
- 手順 7 を参照して、 インクポート排出治具を取り付けてください。

注意
- 廃液を処分するときは、必ずインクポート排出治具を本体から取り外してから作業を行ってください。
- 廃液ボトルのキャップは、緩みがないようにしっかり締めてください。

14 選択した全てのインクポートに対して、手順 **8** ～ **13** までを行う

15 インクポート排出治具を取り外す

注意
- インクポート排出治具は必ず取り外してください。インクポート排出治具を取り付けたまま次の手順からの操作を行うと、装置破損の原因となります。

16 ヘッドメンテカバーを取り付け、メンテナンスカバー **R** を閉める

17 (ENTER) キーを押す

• 自動的にインク充填を開始します。

• インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

```
シ゛ュウテン  チュウ    2/3
             00:00:00
```

↓

```
インクホ゜ート  シ゛ュウテン
シュウリョウ            :ent
```

18 再度、手順 **6** ～ **17** までの作業を行う

19 終了するとき、(END) キーを数回押す

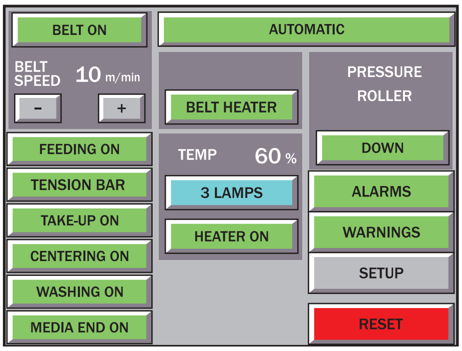
充填の状況を確認する (充填チェック)

インクが正常に充填されたかを確認するパターンをプリントします。

1 メディア搬送システムをプリント可能な状態にする

操作タッチパネルで次の各項目を切り替えてください。

- [MANUAL] を押して、[AUTOMATIC] にする
- [BELT OFF] を押して、[BELT ON][FEEDING ON][TAKE-UP ON] にする
- PRESSURE ROLLER [UP] を押して、[DOWN] にする
- 補助機能(☞ P.2-9)を参照して、必要な機能をONにする。



2 メンテナンスメニューの [ジュウテンチェック] を選ぶ

(1) (FUNCTION) キーを押す
(2) (▲)(▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
(3) (▲)(▼) を押して [ジュウテンチェック] を選ぶ
(4) (ENTER) キーを押す

3 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して、パターンをプリントするヘッドを選ぶ

```
シ゛ュウテン　チェック
カラー　　　　　　　　：12■-5678
```

ヘッドの選択:　(◀)(▶) を押して選択
プリントの実行: (▲)(▼) を押して選択

- パターンプリントを行わない場合は、ディスプレイに " － " を表示します。

4 (ENTER) キーを押す

```
シ゛ュウテン　チェック
ケ゛ンテン　セッテイ　　　　：ent
```

5 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して、原点位置を設定する

6 (ENTER) キーを押す

```
シ゛ュウテン　チェック
フ゜リント　　　　：Y＝　＊＊＊＊mm
```

7 (▲)(▼) を押して、プリント幅を入力する

```
シ゛ュウテン　チェック
フ゜リント　　　　：Y＝　1000mm
```

- プリント幅はできるだけ大きくしてください。プリント幅が小さいと十分に確認できない可能性があります。

8 (ENTER) キーを押す

```
＊＊　シ゛ュウテン　チェック　＊＊
＊＊　　フ゜リント　チュウ　　＊＊
```

↓

```
メンテナンス
シ゛ュウテン　チェック　　　＜ENT＞
```

- パターンプリントを行います。

- プリントが終わると、右の画面を表示します。
- パターンの途中からノズル抜けがひどくなる場合には、インク充填の " ノーマル " または " ハード " を実行してください。
(☞ P.4-26、P.4-30)

9 終了するとき、END キーを数回押す



定期制御を設定する

電源オンの状態での定期的な各種動作を実施することで、インク詰まりなどのトラブルを防止します (定期制御)。定期制御には、以下の項目があります。

設定項目	設定値		概　　要
フラッシング	ON	0 時間 01 分～ 24 時間 00 分	一定時間が経過すると、自動的にフラッシング動作を行いたいとき、“ON” に設定し、フラッシング動作を行う間隔を設定します。
	OFF		自動的にフラッシング動作は行いません。
クリーニング	ON	0 時間 01 分～ 24 時間 00 分	一定時間が経過すると、自動的にクリーニング動作を行いたいとき、“ON” に設定し、クリーニング動作を行う間隔を設定します。
	OFF		自動的にクリーニング動作は行いません。

フラッシング動作を設定する

ノズル詰まりの防止のため、定期的にフラッシング動作を行うことができます。

1 メンテナンスメニューの [テイキセイギョ] を選ぶ

(1) (FUNCTION) キーを押す
(2) (▲)(▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
(3) (▲)(▼) を押して [テイキセイギョ] を選ぶ

2 (ENTER) キーを 2 回押す

```
テイキ　セイキ゛ョ
フラッシンク゛　　　　　:ON
```

3 (▲)(▼) を押して、“ON” を選ぶ

- “OFF” を選んだ場合は、 手順 6 へ進んでください。

4 (ENTER) キーを押す

```
テイキ　フラッシンク゛
シ゛ッコウ　カンカク　　=　0h　1m
```

5 フラッシング動作の実行間隔(0時間01分～24時間00分)を選ぶ

カーソルの移動　:(◀)(▶) を押して選択
時分の設定　　　:(▲)(▼) を押して選択

```
テイキ　フラッシンク゛
シ゛ッコウ　カンカク　　=　1h　0m
```

6 (ENTER) キーを押す

```
テイキ　セイキ゛ョ
フラッシンク゛　　　　&lt;ENT&gt;
```

7 終了するとき、(END) キーを数回押す

クリーニング動作を設定する

ノズル詰まりの防止のため、定期的にクリーニング動作を行うことができます。

1 メンテナンスメニューの [テイキセイギョ] を選ぶ

(1) FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [テイキセイギョ] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
テイキ セイキ゛ョ
フラッシンク゛          <ENT>
```

3 ▲ ▼ を押して、[クリーニング] を選ぶ

```
テイキ セイキ゛ョ
クリーニンク゛          <ENT>
```

4 ENTER キーを押す

```
テイキ セイキ゛ョ
クリーニンク゛          :OFF
```

5 ▲ ▼ を押して、**“ON”** を選ぶ

• “OFF” を選んだ場合は、 手順 8 へ進んでください。

6 ENTER キーを押す

```
テイキ クリーニンク゛
シ゛ッコウ カンカク    = 0h 1m
```

7 クリーニング動作の実行間隔(0時間01分～24時間00分)を選ぶ

```
テイキ クリーニンク゛
シ゛ッコウ カンカク    = 8h 0m
```

カーソルの移動 ：◀ ▶ を押して選択
時分の設定 ：▲ ▼ を押して選択

8 ENTER キーを押す

```
テイキ セイキ゛ョ
クリーニンク゛          <ENT>
```

9 終了するとき、END キーを数回押す

ノズル抜けが直らないとき

特定のノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルを代わりに使用 (ノズルリカバリ) して作図することができます。

ノズルリカバリでは、次の各項目を設定できます。

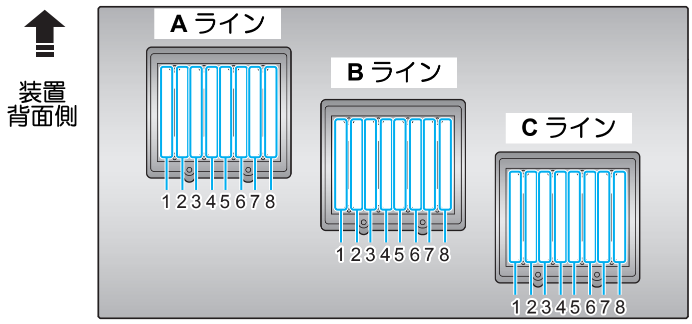
設定項目	概要
トウロク	リカバリするノズルを設定 / 削除できます。確認パターンをプリントして、ノズルリカバリを指定してください。
リカバリ	ノズルリカバリ機能を、ノズル列単位で有効 / 無効に設定できます。
カクニン	ノズルリカバリの有効 / 無効を解像度単位で確認することができます。 確認結果は、ディスプレイに表示されます。
リスト	ノズルリカバリを設定したノズルと、リカバリが可能な条件を確認できます。

ノズルリカバリ機能の設定 / 削除を登録する

リカバリするノズルを設定 / 削除できます。確認パターンをプリントして、ノズルリカバリを指定してください。

ノズルリカバリ機能の登録

本機のヘッドは右のように構成されています。ノズルリカバリ機能では、A ライン、B ライン、C ラインそれぞれのノズル列 (1 ～ 8) を指定して、リカバリの設定をすることができます。



1 メンテナンスメニューの [ノズルリカバリ] を選ぶ

(1) (FUNCTION) キーを押す
(2) (▲)(▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
(3) (▲)(▼) を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ

2 (ENTER) キーを **2** 回押す

```
ノズ゛ルリカバ゛リ　トウロク
クリア<                  >プ゜リント
```

3 (▶) を押して " プリント " を選ぶ

- プリントを選ぶと、自動的に原点設定画面に移行します。

```
ノズ゛ルリカバ゛リ　トウロク
ゲ゛ンテン　セッテイ        :ent
```

4 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して原点位置を選ぶ

5 (ENTER) キーを押す

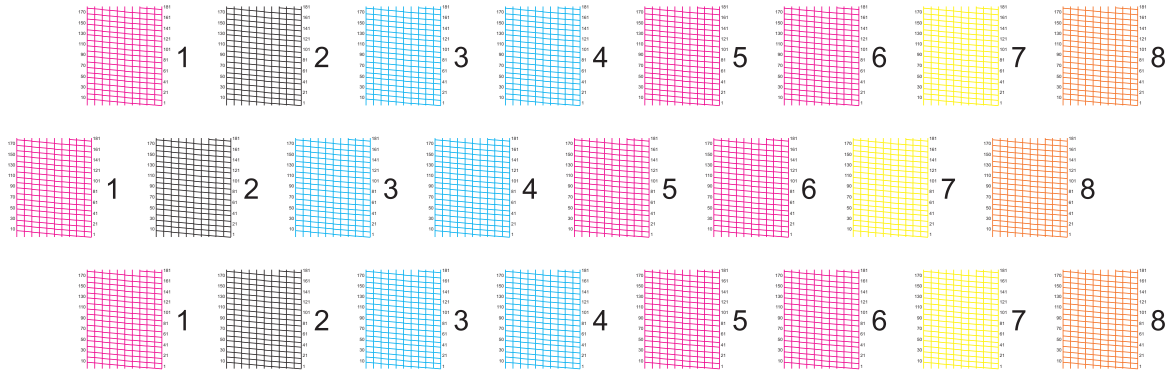
```
ノズ゛ルリカバ゛リ　トウロク
プ゜リント                  :ent
```

6 ENTER キーを押す

```
＊＊　ノス゛ル　リカハ゛リ　＊＊
＊＊　フ゜リント　チュウ　　＊＊
```

- プリントが始まります。

ノズルパターン



7 ▲▼ を押してメディアをフィードする

```
ノス゛ルリカハ゛リ　トウロク
ハ゜ターン　チェック　　　[∧]/[∨]
```

- プリントしたパターンを確認できる位置まで、メディアをフィードしてください。

8 ENTER キーを押す

```
ノス゛ルリカハ゛リ　トウロク
ノス゛ル　センタク　　　:LineA-1
```

- ノズル選択画面が表示されます。

9 ▲▼◀▶ を押して、ノズルリカバリ機能を登録するノズル列を選ぶ

```
ノス゛ルリカハ゛リ　トウロク
ノス゛ル　センタク　　　:LineA-1
```

- ◀▶ ：ヘッド (A ライン、B ライン、C ライン) を選択
- ▲▼ ：ノズル列 (1 ～ 8) を選択

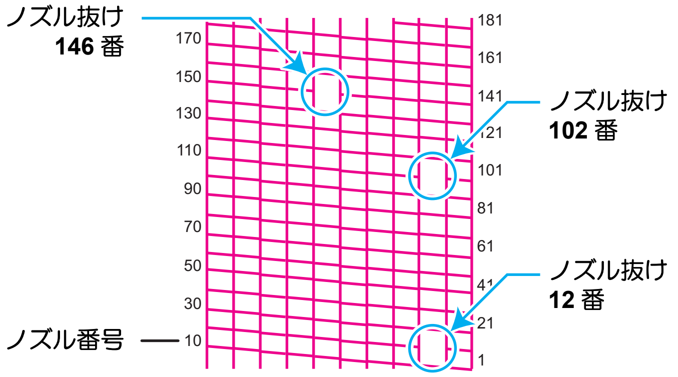
10 ENTER キーを押す

```
ノス゛ルリカハ゛リ　トウロク
LineA-1　　　　NG1:OFF
```

11 ▲▼ を押して、ノズルリカバリ機能を有効にするノズル番号を選ぶ

```
ノス゛ルリカハ゛リ　トウロク
LineA-1　　　　NG1:012
```

リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	12	ノズルリカバリする
2	102	ノズルリカバリする
3	146	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

12 (ENTER)キーを押す

- 次のノズル番号登録画面が表示されます。

```
ノズ゛ルリカバ゛リ　トウロク
LineA-1        NG2:OFF
```

13 手順 **11** ～ **12** の操作をして、**NG5** まで登録する

- ノズルリカバリ機能を有効にするノズルがない場合は、"OFF" を選んでください。
- すべてのノズル番号の登録が終わると、手順 8 の画面が表示されます。手順 9 からの操作をして、他のノズル列の登録を行ってください。

14 終了するとき、(END)キーを数回押す

重 要！

- 1 ノズル列あたり 5 個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- プリントモードの最低パス数では、ノズルリカバリ機能は無効になります。

ノズルリカバリ機能の削除

1 メンテナンスメニューの **[** ノズルリカバリ **]** を選ぶ

(1) (FUNCTION)キーを押す
(2) (▲)(▼)を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER)キーを押す
(3) (▲)(▼)を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ

2 (ENTER)キーを **2** 回押す

```
ノズ゛ルリカバ゛リ　トウロク
クリア<           >プ゜リント
```

3 (◀)を押して " クリア " を選ぶ

```
ノズ゛ルリカバ゛リ　トウロク
クリア          :ALL
```

4 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、設定を削除するノズル列を選ぶ

```
ノズ゛ルリカバ゛リ　トウロク
クリア          :LineA-1
```

- (◀)(▶) ：ヘッド (A ライン、B ライン、C ライン) を選択
- (▲)(▼) ：ノズル列 (1 ～ 8) を選択
- "ALL" を選択すると、すべてのラインのノズル列に設定した内容を削除します。

5 (ENTER)キーを押す

- 次のノズル列の選択画面が表示されます。手順 6 の操作をして、設定を削除するノズル列を選択します。

6 終了するとき、(END)キーを数回押す

ノズルリカバリ機能を列単位で設定する

ノズルリカバリ機能を列単位で設定することができます。

1 メンテナンスメニューの [ノズルリカバリ] を選ぶ

(1) (FUNCTION) キーを押す
(2) (▲)(▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
(3) (▲)(▼) を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ

2 (ENTER) キーを押す

```
ノズ゛ル リカハ゛リ
            : トウロク
```

3 (▲)(▼) を押して " リカバリ " を選ぶ

```
ノズ゛ル リカハ゛リ
            : リカハ゛リ
```

4 (ENTER) キーを押す

```
ノズ゛ル リカハ゛リ
リカハ゛リ      : 12-45-78
```

5 (▲)(▼)(◀)(▶) を押してノズル列ごとの設定を選ぶ

```
ノズ゛ル リカハ゛リ
リカハ゛リ      : 1--45-78
```

(1) (◀)(▶) を押してノズル列を選択する
(2) (▲)(▼) を押して ON(ヘッド番号を表示)/OFF(" ー " を表示) を選択する

6 (ENTER) キーを押す

7 終了するとき、(END) キーを数回押す

ノズルリカバリ機能の有効 / 無効を確認する

ノズルリカバリ機能の設定内容をディスプレイで確認できます。ディスプレイには、ノズルリカバリの有効 / 無効が解像度毎で表示されます。

1 メンテナンスメニューの **[** ノズルリカバリ **]** を選ぶ

(1) (FUNCTION) キーを押す
(2) (▲)(▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す
(3) (▲)(▼) を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ

2 (ENTER) キーを押す

```
ノズ゛ル　リカハ゛リ
　　　　　　　　：トウロク
```

3 (▲)(▼) を押して " カクニン " を選ぶ

```
ノズ゛ル　リカハ゛リ
　　　　　　　　：カクニン
```

4 (ENTER) キーを押す

```
ノズ゛ルリカハ゛リ　カクニン
DPI：　　　　1200x1200
```

5 (▲)(▼) を押して解像度を選ぶ

```
ノズ゛ルリカハ゛リ　カクニン
DPI：　　　　　600x 600
```

6 (ENTER) キーを押す

```
リカハ゛リ　ユウコウ　：X234_67X
16PHi　　フカ　　：12__6___
```

7 (▲)(▼) を押してパスを選ぶ

ノズルリカバリ機能の登録で設定した内容を表示
数字 **:** リカバリ有効
X **:** リカバリ無効
_ **:** 設定ナシ

```
リカハ゛リ　ユウコウ　：X234_67X
　8pHi　　フカ　　：12__6___
```

パス数によるリカバリの可 / 不可を表示
数字 **:** リカバリ可能
_ **:** リカバリ無効
設定ナシ

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

ノズルリカバリの設定リストをプリントする

ノズルリカバリを設定したノズルと、リカバリが可能な条件を確認できます。

1 メンテナンスメニューの [ノズルリカバリ] を選ぶ

(1) FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
ノズ゛ル リカバ゛リ
        : トウロク
```

3 ▲ ▼ を押して " リスト " を選ぶ

```
ノズ゛ル リカバ゛リ
        : リスト
```

4 ENTER キーを押す

```
ノズ゛ルリカバ゛リ リスト
セッテイ<        > カクニン
```

5 ◀ ▶ を押してプリントするリストを選ぶ

- リストを選ぶと、自動的に原点設定画面に移行します。

```
ノズ゛ルリカバ゛リ リスト
ゲ゛ンテン セッテイ    : ent
```

6 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して原点位置を選ぶ

7 ENTER キーを押す

```
ノズ゛ルリカバ゛リ リスト
プ゜リント         : ent
```

8 ENTER キーを押す

- プリントが始まります。

```
** ノズ゛ル リカバ゛リ **
** プ゜リント チュウ  **
```

廃インクタンクがいっぱいになったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは廃インクタンクに溜まります。廃インクタンクがいっぱいになったら、廃インクタンク内の廃インクを処分してください。

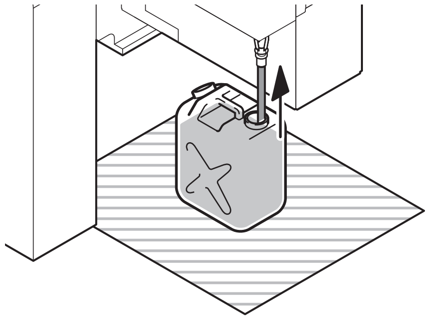
- 予備の廃インクタンクをお求めの際は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- あらかじめ、廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。

注意

- 廃インクを処分するときは、必ず付属の手袋を着用して作業を行ってください。
- インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。
- インク排出中の場合は、排出が終了してから廃インクの処分をしてください。

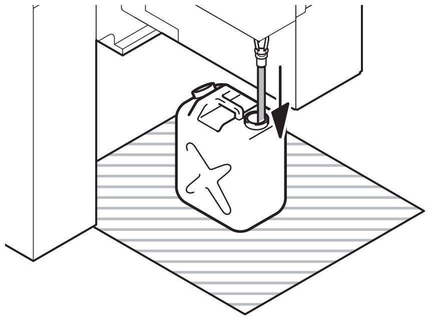
1 廃インクタンクからホースを引き抜く

- ホースを引き出すときに廃インクが飛ばないよう、ホースの口をウェスなどで押さえながらゆっくり引き出してください。
- 廃インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから作業を行うことをおすすめします。



2 廃インクを別のポリエチレンタンクに移す

3 空にした廃インクタンクを本機にセットする



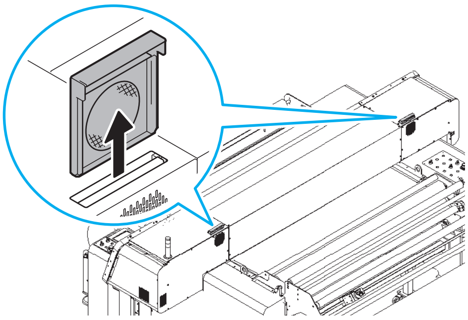
重要!

- ポリエチレンタンクに移した廃インクは、地域の条例に従って処分してください。

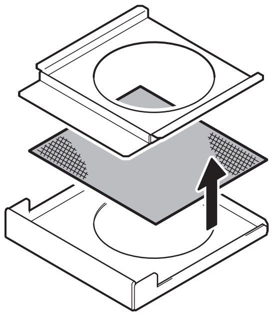
ミストファンフィルタのクリーニング

ミストファンフィルタは毎日クリーニングしてください。

1 ミストファンフィルタユニットを引き抜く



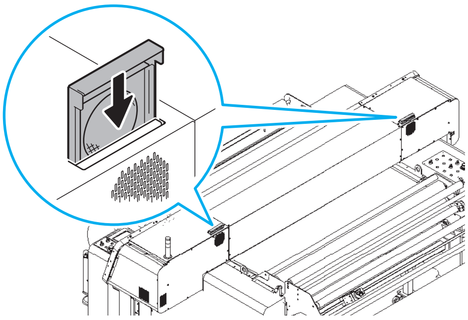
2 ミストファンフィルタを取り出す



3 ミストファンフィルタをクリーニングする

- 取り出したミストファンフィルタを水洗いし、乾燥させます。

4 ミストファンフィルタユニットを元の状態に戻す



5 ミストファンフィルタの使用カウンタをクリアする

- 「ミストファンフィルタの交換時期 / ベルト地張り剤の塗り替え時期を設定する」(☞ P.3-30) を参照して、使用カウンタをクリアしてください。

負圧異常が発生したら

使用環境や経年変化により、本機で管理している圧力が制御範囲を超えてしまう場合があります。
圧力の異常によるエラーには、異常の程度により 2 種類の表示があります。

エラー表示		概要
(1)*1	! フアツ　チョウセイ	圧力が制御範囲を超えそうなときに表示します。 左の画面を表示中は、圧力が制御範囲内にあるため、印刷やクリーニングなどの動作は通常通り行えます。 しかし、そのまま放置していると制御範囲を超えてしまい、(2) の画面が表示されます。
(2)	! フアツ　イシ゛ョウ （＊＊）	圧力が制御範囲を超えました。 印刷やクリーニングなどの動作はできなくなります。

*1. ファームウェアのバージョン 1.40 以降で表示されます。

重 要 !
- エラー表示 (1) を表示したら、速やかに次の手順で圧力を調整し、正常な値に戻してください。
- 負圧調整はプリントの一時停止中でも調整できます。

1 メンテナンスメニューの [フアツチョウセイ] を選ぶ

(1) FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [フアツチョウセイ] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

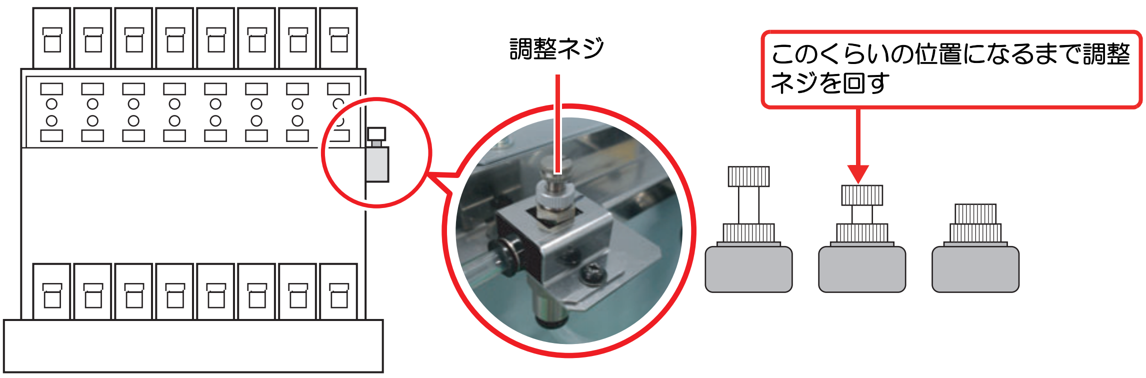
フアツ　チョウセイ
カイシ　　　　　　　: e n t

3 ENTER キーを押す

スロットル　ハ゛ルフ゛　カイホウ
シュウリョウ　　　　　: e n t

4 スロットルバルブの調整ネジを回し、空気が流れるように開放する

- スロットルバルブは、インク供給ユニットの右側にあります。スロットルバルブの調整ネジが中間地点に来るまで回してください。



5 ENTER キーを押す

- センサの調整が始まります。

＊＊　センサ　チョウセイ　チュウ　＊＊
シハ゛ラクオマチクタ゛サイ

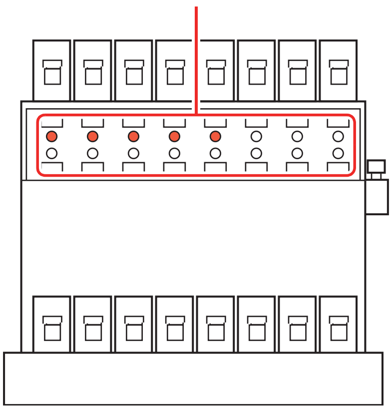
6 スロットルバルブ調整ネジを回して、圧力が **-3.40kPa** になるように調整する

```
スロットル ハ゛ルフ゛ ヲ チョウセイ
アツリョク        = －3．40kPa
```

• ±0.1 ～ 0.2kPa の範囲で変動するため、中間値が目標の圧力になるように調整してください。

• 圧力はディスプレイ表示以外にも、ブザーとインクスロットルランプでお知らせします。

インクスロットルランプ
負圧調整中は圧力値の目安を表示します。



各圧力値でのランプとブザーの状態

圧力		インクスロットルランプ	ブザー
高い	～ -2.75	●○○○○○○○ ○○○○○○○○	鳴動
	-2.76 ～ -2.85	●●○○○○○○ ○○○○○○○○	
	-2.86 ～ -2.95	●●●○○○○○ ○○○○○○○○	
	-2.96 ～ -3.05	●●●●○○○○ ○○○○○○○○	
	-3.06 ～ -3.15	●●●●●○○○ ○○○○○○○○	
	-3.16 ～ -3.25	●●●●●●○○ ○○○○○○○○	
	-3.26 ～ -3.35	●●●●●●●○ ○○○○○○○○	停止
適正値	-3.36 ～ -3.45	●●●●●●●● ○○○○○○○○	停止
低い	-3.46 ～ -3.55	●●●●●●●● ●○○○○○○○	停止
	-3.56 ～ -3.65	●●●●●●●● ●●○○○○○○	鳴動
	-3.66 ～ -3.75	●●●●●●●● ●●●○○○○○	
	-3.76 ～ -3.85	●●●●●●●● ●●●●○○○○	
	-3.86 ～ -3.95	●●●●●●●● ●●●●●○○○	
	-3.96 ～ -4.05	●●●●●●●● ●●●●●●○○	
	-4.06 ～ -4.15	●●●●●●●● ●●●●●●●○	
	-4.16 ～	●●●●●●●● ●●●●●●●●	

7 ENTER キーを押す

• エラーが解除され、負圧制御が始まります。

引き剥がしセンサのクリーニング

汚れによる引き剥がしセンサの誤動作を防止するため、定期的(1週間に1回程度)に引き剥がしセンサのクリーニングを行ってください。

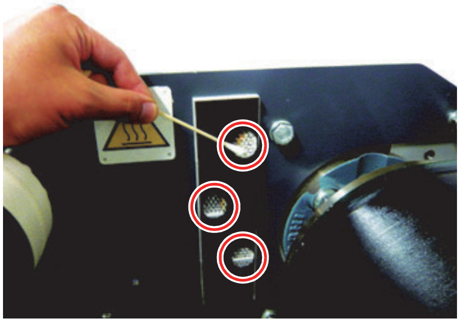
重 要!
- 引き剥がしセンサは、プリント時に発生するインクミストや、布を乾燥するときに発生する蒸気などの影響で汚れます。

また、以下の症状が発生した場合にも、クリーニングを行ってください。

- 布が引き剥がれずにアラームが鳴る。
- 布がベルトに巻き込まれていないのにアラームが鳴る。

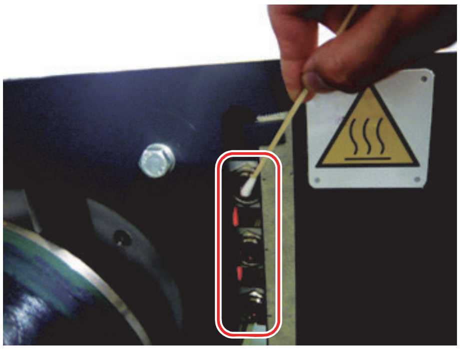
1 綿棒に洗浄液をしみこませ、反射板にある**3**つの円の内側を拭く

2 手順 **1** で拭いた円を、乾いた綿棒で拭き取る



3 洗浄液のしみこんだ綿棒で、引き剥がしセンサのレンズ (**3** つ) を拭く

4 手順 **3** で拭いたレンズを、乾いた綿棒で拭き取る



第５章
困ったときは

この章では ...

故障かな？と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現　　象	原　　因	対処方法
電源が入らない	電源ケーブルを確実に接続していない	電源ケーブルを本装置と電源コンセントに確実に接続する。
	電源が入っていない	電源を入れる。
	乾燥ユニットが接続されていない	乾燥ユニットを接続する。
プリントできない	インターフェイスケーブルを確実に接続していない	インターフェイスケーブルを確実に接続する。
	ご使用のインターフェイスケーブルが合っていない	USB2.0 Hi-Speed に対応したケーブルを使用する。
	ディスプレイにエラーメッセージを表示している	P.5-5 を参照し、エラーを取り除く。
	ホストコンピュータ側の設定で、機種名等の設定が違っている	ホストコンピュータ側の設定を確認する。
	USB ドライバをインストールしていない	付属のUSB ドライバをインストールする。
	リモートになっていない	ローカルで (REMOTE) を押して、リモートに切り替える。
布が斜行する 布にシワが発生する 布が汚れる	使用するインクにあった前処理済みの布を使用していない	インクに合った前処理済みの布を使用する。
	布にシワが入っていたり、左右端が折れ曲がっている	シワが入っている布や、左右端が折れ曲がっている布は使用しない。
	水分で伸縮しやすい布を使用している	濡れによる伸縮の激しい布やストレッチ素材の布は使用しない。 (伸縮しにくい前処理済みの布をお使いください)
	ストレッチ素材の布を使用している	
	ロールメディア幅端面の巻ズレが大きい	巻ズレの大きなロールメディアは使用しない。
	使用するメディアに合ったメディア経路になっていない	メディアに合った経路にセットし直す。☞ P.2-15
	テンションバーのウェイトが使用するメディアに合っていない	テンションバーのウェイトを調整する。☞ P.2-24
ミストが大量に発生する	ヘッド高さが高い	ヘッド高さを 3mm 以内にしてください。☞ P.2-32
	ミストファンフィルタの吸引が悪い	ミストファンフィルタのクリーニングを行ってください。☞ P.4-45

画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現　　象	対処方法
白スジ / カスレが発生する （ヘッド移動方向）	**(1)** ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-37 **(2)** ステーション内部のメンテナンスをしてください。☞ P.4-3 **(3)**「メディア補正」機能を実行してください。☞ P.3-4 **(4)** RIP の作図モードを変更してください。☞ P.3-11
往復印字でズレが発生する	**(1)**「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.4-22
色ごとにインクが重ならない	**(1)**「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.4-22 **(2)** ヘッド高さが高すぎます。3mm 以内にして使用してください。☞ P.2-32
斜めの濃淡縞 (モアレ縞) が発生する	**(1)**「メディア補正」機能を実行してください。☞ P.3-4 **(2)**「モアレ軽減」機能を実行してください。☞ P.3-23
送りムラが発生する	**(1)** ベルトエンコーダの設定を “OFF” に、「ベルトツナギホセイ」を有効にしてください。☞ P.3-8 **(2)** ソフトネス機能を有効にしてください。☞ P.3-10

2L インクパックやインク IC に異常が発生したら

2L インクパックやインク IC に異常が発生したら、ワーニングメッセージを表示します。
プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクパックに交換してください。

重要!

- 異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。
- インクスロットは、2L インクパックを抜いた状態で放置しないでください。コネクタに付着したインクが凝固し、インクを供給できなくなります。

2L インクパック / インク IC 異常の詳細を表示する

次の操作をして、カートリッジ異常の内容を確認できます。(☞ P.5-5)

1 ローカルで、(ENTER)キーを押す

```
エラー　シ゛ョウホウ
エラー　ヒョウシ゛　[∨]　キー
```

2 (▼)キーを押して発生している異常を順番に表示させる

- (END)キーを押すと、ローカルに戻ります。

複数のワーニングがある場合、反転してお知らせ

```
!インク　ハ゜ック
12345678ABCDEFGH
```

インク漏れの確認方法

インクパックのコネクタ異常などの原因でインク漏れが発生すると、インク供給ユニット内部のトレイにインクが溜まります。(ディスプレイに ERROR142 インクモレを表示)
ディスプレイに “ インクモレ ” が表示されたら、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
また、次のようにしてインクが漏れを確認してください。

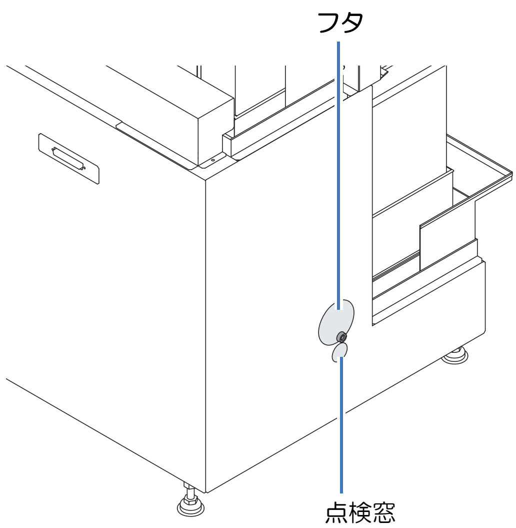
1 インク供給ユニット左側面にある点検窓のフタを開く

(1) ツマミネジを緩める
(2) 点検窓のフタを回転させる

2 インク漏れを確認する

- インク供給ユニット内部にあるトレイを確認します。
- インクが漏れていると、トレイ上にインク溜まりが確認できます。
- インク供給ユニット内部が暗くて確認できない場合は、懐中電灯等の照明を使って確認してください。

3 セットしているインクを全て外し、サービスまたは販売店にサービスコールをする



メッセージと対処方法

表示	原因	対処方法
！ｼﾞｭｳﾃﾝ	インクが充填されていない。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
！ｲﾝｸ ｴﾝﾄﾞ 12345678	インクがなくなった。	表示しているカラー番号に対応した 2L インクパックを交換してください。(☞ P.1-23)
！ｲﾝｸ ﾆｱ ｴﾝﾄﾞ 12345678	インクの残量が少なくなった。	
！ｲﾝｸ ﾊﾟｯｸ 12345678ABCDEFGH	2Lインクパックがセットされていない。	表示している番号の 2L インクパックをセットしてください。
！ｲﾝｸ ｴﾝﾄﾞ （ｲﾝｸ ﾊﾟｯｸ） 12345678ABCDEFGH	2Lインクパック内のインクが無くなった。	表示している番号の 2L インクパックを交換してください。(☞ P.1-23)
！ｲﾝｸ ｶﾗｰ ｴﾗｰ 12345678ABCDEFGH	セットしたインクの色が初期充填時と異なっている。	表示している番号のインクICが､2Lインクパックに付属していたものか確認してください。 その後、表示している番号の 2L インクパックの色を確認してください。
！ｲﾝｸ ﾀｲﾌﾟ ｴﾗｰ 12345678ABCDEFGH	セットしたインクの種類が初期充填時と異なっている。	
！ｲﾝｸ IC ｴﾗｰ 12345678ABCDEFGH	インク IC が正常に読み取れない。	表示している番号のインク IC を再挿入してください。 再度表示する場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
！ｲﾝｸ ｶｳﾝﾄ ｴﾗｰ 12345678ABCDEFGH	インク交換時にインクICを交換しなかったため、2L インクパックのインク使用量が異常になっている。	インク IC を交換してください。
！ｲﾝｸ IC ﾅｼ 12345678ABCDEFGH	インク IC がセットされていない。	インク IC をセットしてください。
！ｲﾝｸ ｷｹﾞﾝ 12345678ABCDEFGH	インクの有効期限が切れている。	表示している番号のインクICが､2Lインクパックに付属していたものか確認してください。 その後、表示している番号の 2L インクパックの有効期限を確認してください。
！ｲﾝｸ ﾊﾟｯｸ ｺﾈｸﾀ 12345678ABCDEFGH	2Lインクパックのコネクタ部分の寿命。	そのまま使い続けるとインク漏れの原因になります。 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
！ｻﾌﾞﾀﾝｸ ｻﾞﾝﾘｮｳ 12345678	サブタンク内のインク消費状態が異常。(吐出不良の可能性がある)	クリーニングを実行してください。 (☞ P.2-37)

メディア搬送システムのエラーでプリントが停止したら

プリント中にメディア搬送システムでワーニングエラーが発生すると、ワーニングメッセージを表示します。メディア搬送システムの状態を確認の上、ワーニングを解除し、プリントを再開してください。

重 要!

- 通常、メディア搬送システムでワーニングエラーが発生すると、操作タッチパネルの [WARNINGS] が赤色点灯し、Tx400 のディスプレイに下のワーニングが表示されます。
- 状況により、エラー状態が継続されているのに操作タッチパネルの [WARNINGS] 表示が緑色点灯に切り替わることがあります。
- プリントが停止した場合は、必ず Tx400 のディスプレイを確認してください。下のワーニングを表示している場合は、P.5-17「ワーニングリスト」を参照してワーニングを解除してください。

表示	概要
!ベ゛ルト　エンコーダ゛ ＜FUNC＞　ヲ　オシテクダ゛サイ	ベルトエンコーダがベルトの移動を検出できない。
!Xユニット ＜FUNC＞　ヲ　オシテクダ゛サイ	メディア搬送システムでワーニングが発生した。
!メデ゛ィア　エント゛ ＜FUNC＞　ヲ　オシテクダ゛サイ	メディア搬送システムでメディアエンドを検出した。

“! ベルトエンコーダ ” が表示されたときのワーニング解除方法

ベルトエンコーダのワーニングが表示しているとき

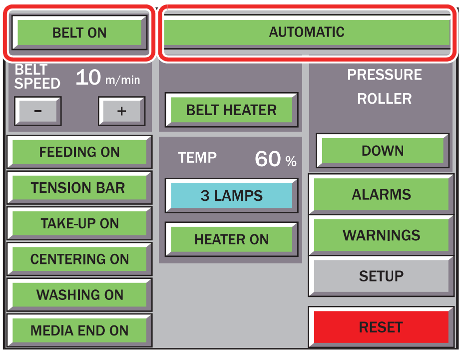
!ベ゛ルト　エンコーダ゛
＜FUNC＞　ヲ　オシテクダ゛サイ

1 **Tx400** 操作パネルの (FUNCTION) を押す

!ベ゛ルト　エンコーダ゛
カクニン　　　　：ent

2 メディア搬送システムの操作タッチパネルが **[AUTOMATIC][BELT ON]** になっているか確認する

- 操作タッチパネルの表示が右のようになっているか、確認してください。
- 右の表示になっていない場合は、プリント時にベルトが動作しません。
- 右の表示になっていない場合は、[BELT OFF] と [MANUAL] を押して、[BELT ON]/[AUTOMATIC] に切り替えてください。ボタンが黄色から緑色に変わります。
- 操作タッチパネルを [BELT ON]/[AUTOMATIC] に切り替えると、自動的に [FEED ON]/[TAKE-UP ON] に切り替わります。



3 操作パネルの (ENTER) キーを押して、ローカル画面を表示させる

＜ローカル．1＞　　　[#01]
ハバ゛：1800

4 (REMOTE) キーを押して、プリントを再開する

＜リモート．1＞　　　[#01]
ALL/ 8PU/W321/ 0.0m

“!X ユニット ” が表示されたときのワーニング解除方法

X ユニットのワーニングが表示しているとき

！Xユニット
＜FUNC＞　ヲ　オシテクダ゛サイ

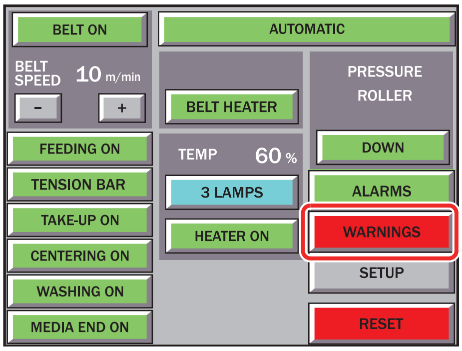
1 **Tx400 操作パネルの FUNCTION を押す**

！Xユニット
カクニン　　　　　　　　：ent

2 メディア搬送システムの操作タッチパネルの **[WARNINGS]** を確認する

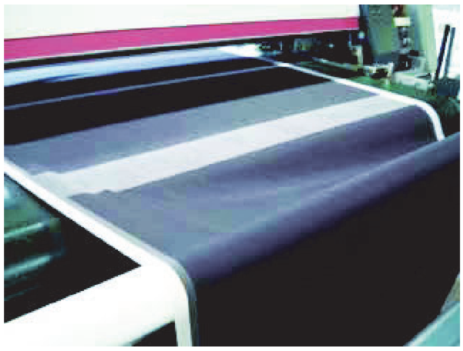
[WARNINGS] が赤色点灯している場合

- ワーニングリスト(P.5-17)を確認して発生しているエラーを解除してください。
- ワーニングを解除したら、手順 3 へ進んでください。



[WARNINGS] が緑色点灯している場合

- 引き剥がしセンサ付近のメディアの状態を確認してください。
- 引き剥がしセンサ付近のメディアのたるみが左右で極端に違っていないか、布ガイドが正しくセットされているかを確認してください。(P.2-14「メディアをセットする」)
- メディアが正しくセットされていることを確認したら、手順 3 へ進んでください。



3 操作パネルの ENTER キーを押して、ローカル画面を表示させる

＜ローカル．1＞　　　　　［#01］
　　　　　　　　　ハハ゛：1800

4 REMOTE キーを押して、プリントを再開する

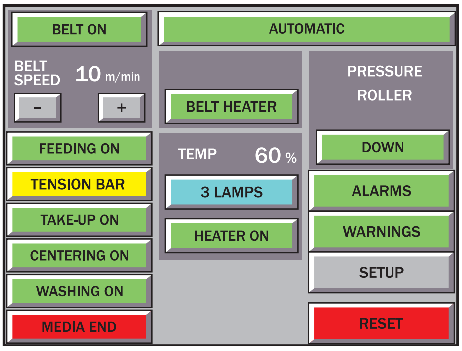
＜リモート．1＞　　　　　［#01］
ALL／　8PU/W321／　0.0m

“! メディアエンド ” が表示されたときのワーニング解除方法

メディアエンドの検出方法には、次の 2 通りの方法があります。
(1) メディアエンドセンサによるメディアエンドの検出
(2) テンションバーの変化によるメディアエンドの検出

● メディアエンドセンサによりメディアエンドを検出した場合

メディアエンドセンサによりメディアエンドを検出した場合は、操作タッチパネルの [MEDIA END] が赤色に点灯し、エラーをお知らせするブザーが鳴ります。



メディアエンドのワーニングが表示しているとき

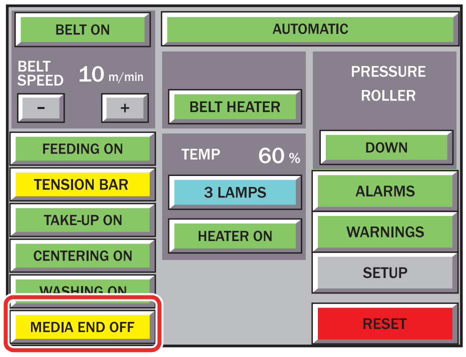
```
！メテ゛ィア　エント゛
＜FUNC＞　ヲ　オシテクタ゛サイ
```

1 **Tx400 操作パネルの FUNCTION を押す**

```
！メテ゛ィア　エント゛
カクニン　　　　　　：ent
```

2 **メディア搬送システムの操作タッチパネルの [MEDIA END] を押して [MEDIA END OFF] にする**

- メディアエンドワーニングが解除されました。



3 操作パネルの ENTER キーを押して、ローカル画面を表示させる

```
＜ローカル．1＞　　　　［＃01］
　　　　　　　　　ハハ゛：1800
```

4 プリントの再開または終了を選択する

- プリントを再開する場合は、REMOTE キーを押してプリントを再開します。

```
＜リモート．1＞　　　　［＃01］
 ALL/　8PU/W321/　0.0m
```

- プリントを終了する場合は、DATA CLEAR キーを押してプリントデータを削除してください。

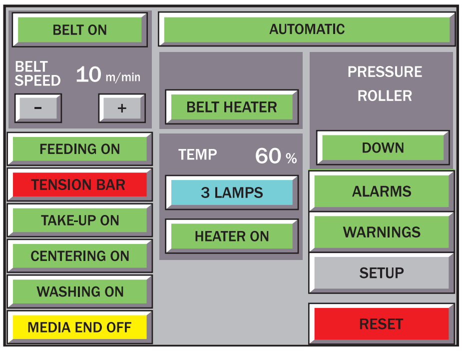
```
　＊＊　テ゛ータ　クリア　＊＊
```

重 要 !

- メディア搬送システムが [MEDIA END OFF] の状態になったままで印刷をすると、メディアエンドを検出しなくなります。必ず、メディア残量などを確認しながらプリントしてください。メディアが無い状態でプリントをすると、ベルトにプリントしてしまう可能性があります。

● テンションバーの変化によりメディアエンドを検出した場合

テンションバーの変化によりメディアエンドを検出した場合は、操作タッチパネルの [TENSION BAR] が赤色に点灯し、エラーをお知らせするブザーが鳴ります。



重 要！

- プリントが停止すると、[TENSION BAR] が赤色点灯から緑色点灯に変わりますが、必ず、下の作業をしてください。そのままプリントを再開すると、再度ワーニングが表示されます。

メディアエンドのワーニングが表示しているとき

！メテ゛ィア　エント゛
<FUNC>　ヲ　オシテクタ゛サイ

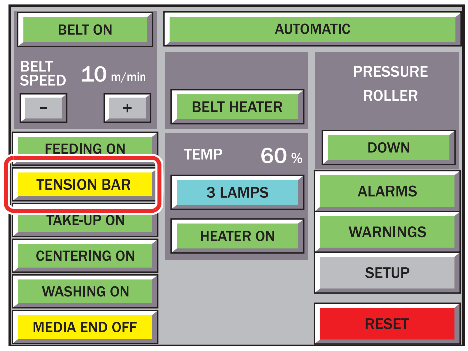
1 Tx400 操作パネルの (FUNCTION) を押す

！メテ゛ィア　エント゛
カクニン　　　　　：ent

2 メディアの状態を確認し、ワーニングを解除する

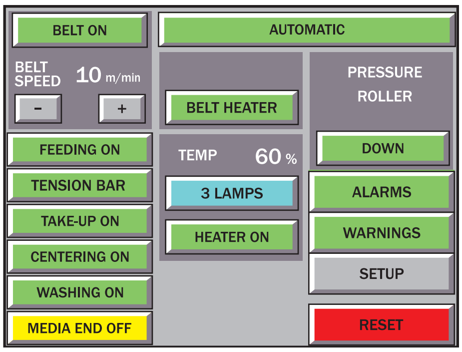
メディアが紙管から離れている場合

- [TENSION BAR] を押して、黄色点灯の状態にしてください。



ロールホルダがしっかりと固定されていないため、メディアを搬送していない場合

- 紙管が動かないように、ロールホルダを再度固定してください。(☞ P.2-20)
- [TENSION　BAR] は緑色点灯のまま変更しないでください。



3 操作パネルの (ENTER) キーを押して、ローカル画面を表示させる

<ローカル．1>　　　[#01]
ハハ゛：1800

5
困ったときは

4 プリントの再開または終了を選択する

- プリントを再開する場合は、(REMOTE) キーを押してプリンプリントを再開する場合は、(REMOTE) キーを押してプリントを再開します。

```
<リモート.1>          [#01]
 ALL/ 8PU/W321/ 0.0m
```

- プリントを終了する場合は、(DATA CLEAR) キーを押してプリントデータを削除してください。

```
  ** データ クリア **
```

重要！

- メディア搬送システムが [MEDIA END OFF] の状態になったままで印刷をすると、メディアエンドを検出しなくなります。必ず、メディア残量などを確認しながらプリントしてください。メディアが無い状態でプリントをすると、ベルトにプリントしてしまう可能性があります。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

- 複数の異常が発生している場合、ディスプレイの［！］が反転してお知らせします。[▼]キーを押して異常の内容を確認してください。

```
!ｲﾝｸ ﾊﾟｯｸ
12345678ABCDEFGH
```

ワーニングメッセージ

表示	原因	対処方法
!ﾌｱﾂ ﾁｮｳｾｲ	インクタンク内の圧力調整が適正範囲を超えそうになっている。	負圧調整を行ってください。(☞ P.4-46)
!ﾌｱﾂ ｲｼﾞｮｳ (＊＊)	インクタンク内の圧力が適正範囲外になっている。	負圧調整を行ってください。(☞ P.4-46)
!ｷｭｳｲﾝ 12345678	ヘッドの周辺やインクキャップ周辺が汚れているため、インクを吸引できなかった。	キャッピングステーション及びノズル面の清掃をおこなってください。(☞ P.4-12)
!ﾜｲﾊﾟ ﾜｲﾊﾟ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ワイパのクリーニング時期	ワイパをクリーニングしてください。 (☞ P.4-5)
!ﾜｲﾊﾟ ﾜｲﾊﾟｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ワイパ交換時期	ワイパを交換してください。(☞ P.4-6)
!ﾒﾝﾃ ｶﾊﾞｰ ｶﾊﾞｰ ｦｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	メンテナンスカバーが開いている。	メンテナンスカバーを閉めてください。
!ﾍｯﾄﾞ ﾀｶｻ ﾀｶｻ ｦｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ヘッドの高さが適当ではない、または、布が浮き上がっている(ヘッド保護センサーが異常を検出)	ヘッド高さ、またはセットした布の状態を確認してください。
!ｵﾝﾄﾞ ｶﾝｷｮｳ ｵﾝﾄﾞ ﾋｸｲ !ｵﾝﾄﾞ ｶﾝｷｮｳ ｵﾝﾄﾞ ﾀｶｲ	環境温度がプリント可能温度範囲から外れている 温度範囲　：15°C ～ 30°C 59°F ～ 86°F	設置環境の温度が15°C (59°F)から30°C (86°F)の間になるよう調整してください。
!ﾃｲｵﾝ ﾋﾄﾞｳｻ ｵﾝﾄﾞ	環境温度が動作可能温度　(4°C (39°F)) 以下になっている。	設置環境の温度が4°C (39°F)以上になるよう調整してください。
!ﾊﾞｯﾃﾘ ｺｳｶﾝ	電池が切れている。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!ｻﾞﾝﾘｮｳ ﾌｿｸ 12345678	クリーニングやインクを初期充填するためのインクが足りない。	表示しているカラー番号に対応したインクパックを交換してください。
!ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾓｰﾀ OFF	モータ励磁が切られている。	**(1)** カバーを閉め、クランプレバーを下げる **(2)** [ENTER] キーを押し、初期動作を実行する
!ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾒﾃﾞｨｱ ﾐｹﾝｼｭﾂ	メディア幅が不明	メディア検出を実行してください。
!ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｴﾘｱ ﾌｿｸ	プリントするデータよりも小さいメディアをセットしている。	プリントをするのに十分な大きさのメディアをセットしてください。

表示	原因	対処方法
!X モータ X モータ ヲ コウカン シテクタ゛サイ	X モータの交換時期。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!Y モータ Y モータ ヲ コウカン シテクタ゛サイ	Y モータの交換時期。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!ミスト ファン フィルタ クリーニンク゛	ミストファンフィルタの交換時期。	P.4-45を参照してミストファンフィルタを交換してください。
!ノス゛ル リカハ゛リ 1_3_ _ _ _ _ シュウリョウ< >ケイソ゛ク	ノズルリカバリの動作制限 ON でかつ、現在のプリントモードがノズルリカバリ不可の場合	プリントを中止する場合は、“ シュウリョウ ” そのままプリントする場合は ” ケイゾク ” を選択してください。
!X ユニット ワーニンク゛ ヲ カクニンシテクタ゛サイ	メディア搬送システムにワーニングが発生している。	メディア搬送システムのパネルから、ワーニング内容を確認してください。
!X ユニット アラーム ヲ カクニンシテクタ゛サイ	メディア搬送システムにアラームが発生している。	メディア搬送システムのパネルから、アラーム内容を確認してください。
!X ユニット リンク アッフ゜	メディア搬送システムがリンクアップされていない。	メディア搬送システムの [RESET ALARM] ボタンを押して、リンクアップを行ってください。
!ヘ゛ルト シ゛ハ゛リサ゛イ ヌリナオシテ クタ゛サイ	ベルト地張り剤の塗り直し時期。	P.5-18を参照して地張り剤を塗り直してください。
!ヘ゛ルト エンコータ゛ <FUNC> ヲ オシテクタ゛サイ	プリント時など、搬送ベルトが動く時にベルトが動作していない。	P.5-6「“! ベルトエンコーダ ” が表示されたときのワーニング解除方法」を参照してワーニングを解除してください。
!X ユニット <FUNC> ヲ オシテクタ゛サイ	プリント中にメディア搬送システムでワーニングが発生した。	P.5-7「“!X ユニット ” が表示されたときのワーニング解除方法」を参照してワーニングを解除してください。
!メテ゛ィア エント゛ <FUNC> ヲ オシテクタ゛サイ	プリント中にメディア搬送システムでメディアエンドを検出した。	P.5-8「“! メディアエンド ” が表示されたときのワーニング解除方法」を参照してワーニングを解除してください。
!タンク センサ クリーニンク゛ 12345678	サブタンクセンサのクリーニング時期が近付いている。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!インク キケ゛ン エラー 12345678ABCDEFGH	インクの有効期限から 1 カ月以上経過した。	そのままお使いになると、吐出不良の原因となります。新しいインクと交換してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 01 MAIN ROM	制御 ROM に異常が発生した。 (F-ROM)	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 02 MAIN RAM	制御 RAM に異常が発生した。 (S-RAM)	
ERROR 03 POWER +5V	電源電圧に異常が発生した。 (電源電圧 +5V)	
ERROR 03 POWER +35V	電源電圧に異常が発生した。 (電源電圧 +35V)	
ERROR 04 F-ROM ss	制御 ROM に異常が発生した。 (各種パラメーター)	
ERROR 05 FPGA nn	FPGAのコンフィグレーションに異常が発生した。	
ERROR 06 UHC ss nnnn	UHC に異常が発生した。	
ERROR 07 DFC ss	DFC に異常が発生した。	
ERROR 07 ﾍｯﾄﾞﾃﾞﾝｱﾂ (nnn)	ヘッドの電圧異常を検出した。 (nnn: ヘッドライン)	
ERROR 07 ｵﾝﾄﾞ nnnnnn	ヘッドの温度異常を検出した。 (nnn：エラー発生ノズル)	
ERROR 08 ﾘﾆｱ ｴﾝｺｰﾀﾞ	リニアエンコーダーの検出で異常が発生した。	
ERROR 10 ｺﾏﾝﾄﾞ ｴﾗｰ	コマンドデータ以外のデータを受信した。	インターフェイルケーブルを確実に接続してください。
ERROR 11 ﾊﾟﾗﾒｰﾀ ｴﾗｰ	数値範囲外のパラメーターを受信した。	ホストコンピュータの出力設定を確認してください。
ERROR 12 ｵﾌｽｹｰﾙ	プリント有効範囲外のデータを受け取った。	プリント範囲を確認してください。
ERROR 14 ｶﾗｰ ｺﾏﾝﾄﾞ	未対応の色指定データを受け取った。	ホストコンピュータの出力設定を確認してください。
ERROR 16 MRL ｺﾏﾝﾄﾞ	受信データが、装置で設定したコマンド体系と異なる。	本装置に対応したアプリケーションを使用しコマンド体系のデータを送信してください。
ERROR 20 I/F ﾎﾞｰﾄﾞ	I/F ボードとメイン基板の通信で異常が発生した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 21 I/F ﾅｼ	I/Fボードが装着されていない。	

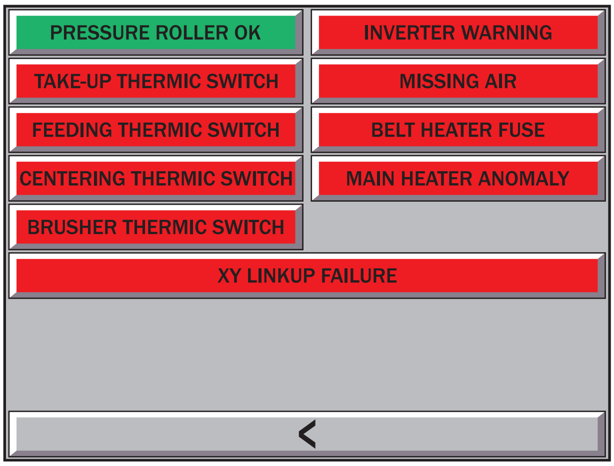
エラーメッセージ	原　因	対処方法
ERROR 21 I/F ナシ	I/Fボードが装着されていない。	
ERROR 23 ホスト I/F	ホストコンピュータとの通信でタイムアウトエラーが発生した。	インターフェイルケーブルを確実に接続してください。 ホストコンピュータでエラーが発生していないか確認してください。
ERROR 24 I/F イニシャル	I/F ボードの初期化で異常が発生した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 25 FULL-SPEED	USB2.0 接続でホストコンピュータと本機との通信にエラーが発生した。(Full-Speed モード接続)	ホストコンピュータが USB2.0 インタフェイスに対応しているか確認してください。 (そのまま使用できますが、Hi-Speed モード接続を推奨します。)
ERROR 25 パ゜ケットサイズ゛ オーバ゛ー	USB2.0 接続でホストコンピュータと本機との通信にエラーが発生した。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
ERROR 25 USB プ゜ロトコル		
ERROR 25 USB カンキョウ		
ERROR 25 USB デ゛ータ		
ERROR 34 プ゜リント デ゛ータ アリ	プリント未完了のデータがあるのに、ファンクション機能の設定変更や、動作できない機能を実施した。	受信済みのデータを全てプリントするか、データクリアを実行してから、再度、実施してください。
ERROR 41 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 43 Y オーバ゛ーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 44 スキャン ハンイ	スキャン範囲外にスキャンをしようとした。	
ERROR 45 CAPPING	キャッピング制御に異常が発生した。	
ERROR 46 WIPING	ワイパー制御に異常が発生した。	
ERROR 47 STATION	ステーション制御に異常が発生した。	
ERROR 50 メデ゛ィア ケンシュツ	メディア幅を検出できなかった。	次のいずれかの理由が考えられます。 ・セットしたメディアの左右端の位置が不適切 ・巻取テンションバーの位置が不適切 ・繰出テンションバーの位置が不適切 装置を適正な状態にしてもエラーを表示する場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

エラーメッセージ	原　因	対処方法
ERROR 51 ケ゛ンテン ケンシュツ Y	Y 原点を検出ができなかった。	一度、電源を OFF にしてしばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 60 FLUSHING nnnn	フラッシング実行タイムアウトエラーが発生した。	
ERROR 90 F/W ss	ファームウェアに異常が発生した。	
ERROR 140 タンク センサ nnnnnnnn	サブタンクセンサの異常を検出した。	
ERROR 140 インク オーハ゛フロー	インクがオーバーフローした。	
ERROR 142 インク モレ	インク漏れを検出した。	全ての 2L エコケースをスロットから取り外したあと、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 143 インク スロット ソレノイト゛	インクスロットのバルブソレノイド電圧異常を検出した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 147 インク キョウキュウ (n)	2L インクパックからインクの供給ができなかった。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 148 キュウイン nnnnnnnn	インクを吸引できなかった。	P.4-4「インクキャップの清掃」の作業をしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 200 ヘット゛メモリ nnn	ヘッド内蔵の EEPROM で異常を検出した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 204 シリアライサ゛	ヘッド－ UHC 基板間のデータ通信エラーが発生した。	
ERROR 130 ヘ゛ルト ケ゛ンテン	ベルト原点検出時に制御異常が発生した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 131 ヘ゛ルト エンコータ゛	ベルトエンコーダ制御異常が発生した。	
ERROR 170 X LINK-UP nnnn	メディア搬送システムとのリンクアップに失敗した。	
ERROR 171 X UNIT nnnn	メディア搬送システムのシステム異常を検出した。	

メディア搬送システムのアラーム表示 / ワーニング表示について

アラームリスト

アラームリストにアクセスするには、操作タッチパネルの [Alarm] を押します。アラームが検出されると、1 つまたは複数のアラームが発令され、対応する項目が赤色に変わります。エラーを解除するには、まず該当するユニットでそれを修正し、表示されたアラームを押して緑色に戻します。

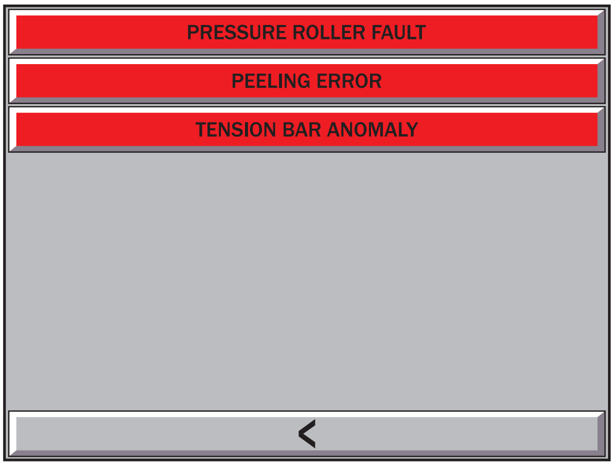


アラーム	
PRESSURE ROLLER FAULT	加圧ローラがベルトと正常に接していません。
TAKE-UP THERMIC SWITCH	巻取装置で電気的問題があります。
FEEDING THERMIC SWITCH	繰出装置で電気的問題があります。
CENTERING THERMIC SWITCH	センタリングユニットで、電気的問題があります。
BRUSHER THERMIC SWITCH	洗浄ユニットのブラシモータにて、電気的問題があります。
INVERTER WARNING	ベルトを動かすメインモータに、電気的問題があります。
MISSING AIR	空気圧が 6 バール未満で、十分ではありません。
BELT HEATER FUSE	ベルトヒータにて、ヒューズの不良があります。
MAIN HEATER ANOMALY	メインヒータにて、ヒューズの不良があります。
XY LINKUP FAILURE	本機と Y ユニットのリンクアップに失敗しました。

- アラームを解除できない場合は、販売店または弊社営業所までご連絡ください。

ワーニングリスト

ワーニングリストにアクセスするためには、操作タッチパネルの [WARNINGS] を押します。ワーニングが検出されると、1 つまたは複数のワーニングが発令され、対応する項目が赤色に変わります。エラーを解除するには、まず該当する ユニットでそれを修正し、発令されたワーニングを押して緑色に戻します。



<table>
<tr><th colspan="2">ワーニング</th></tr>
<tr><td>PEELING ERROR</td><td>布の引き剥がしや、センサの検出が正常に行われていない場合にワーニングが発生します。
下記の内容を確認してください。
<table>
<tr><th>原因</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>布端ガイドを使用していない。</td><td rowspan="2">布端ガイドを使用し、調整を行ってください。</td></tr>
<tr><td>布端ガイドによるメディア端の傾きが少ない。</td></tr>
<tr><td>地張り剤の粘着力バランスが崩れている。
• 布セット時に布の左右の弛みを均一にしても、地張り剤の粘着力バランスが崩れているため、布の引き剥がし位置 (高さ) が左右で大きくずれてしまうためにワーニングが発生することがあります。</td><td>地張り剤を塗り直す、または、布のセット位置を変更してください。</td></tr>
<tr><td>印字率が高く、ヒータによる蒸気の発生が多い。
• 発生した蒸気により、地張り剤の粘着力が弱まるためにワーニングが発生することがあります。</td><td>巻取ユニットの右上か左下から扇風機などで引き剥がしセンサの光軸ラインに風を送ってください。(微風でも効果があります。)</td></tr>
<tr><td>巻取装置にメディアがセットされていないが、TAKE-UP が ON になっている。
• センサの破損を検出するため、一定時間のベルト動作に連動して、引き剥がしセンサの変化を監視しています。
メディアが巻取装置にセットされていない状態で印刷や、JOG 動作を行うと、引き剥がしセンサに変化が無いため、ワーニングが発生します。</td><td>印刷を行う場合や、プリントユニットのキーボードを使用して JOG 動作を行う場合は、必ずメディアを巻取装置にセットしてから行ってください。
メディアをセットする場合は、MANUAL モードにした上で、BELT ON/OFF を操作してください。
☞ P.2-20「メディアを繰り出す」</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>DANCING BAR ANOMALY</td><td>繰出ユニットの回転方向が適切でない場合や、メディアエンド時に紙管からメディアが外れなかった場合に、浮動テンションバーがリミット位置まで上がり、ワーニングが発生します。
メディアが正常にセットされているにも関わらず、頻繁にワーニングが発生する場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所までご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>RPESSURE ROLLER</td><td>加圧ローラが正常に下がっていません。落下防止ピンが押し込まれていないか確認してください。</td></tr>
</table>

• ワーニングを解除できない場合は、販売店または弊社営業所までご連絡ください。

地張り剤の接着力が弱くなったら

地張り剤の接着力が弱くなった場合は、地張り剤を塗り直す必要があります。本装置は工場出荷時に地張り剤を塗布してありますが、インク、糸くず、ほこりなどで接着力が低下した場合は地張り剤の塗り替えが必要です。出荷時に塗布してある地張り剤を剥離する場合は、本装置に添付の地張りリムーバーを使用して、地張り剤を取り除いてください。(特別な地張り剤を使用しているため、灯油や軽油では剥離できません。)
以下は弊社純正の地張り剤（ポリックスレジン SX）を使用する例を説明します。

● 古い地張り剤を剥がす..............接着力が低下した地張り剤を剥がします。

● 新しい地張り剤を塗る..............地張り剤を新しく塗布します。

塗り替えの目安

次のような場合は、地張り剤の塗り替え時期です。

- プリントした布が正面カバーから出てきた時点で地張りに浮きが発生している場合
- 地張りの左右で接着強度が違ってきている場合
- 地張り剤が部分的に剥がれたなどでベルト表面が平滑でなくなり、洗浄水が洗浄ユニットのワイパでは取りきれず、ベルト上面まで水滴が残ってしまう状態となった場合
- 引き剥がしローラ上で、メディアの自重によりメディアが剥がれていくことで巻取り装置が動作できず、メディアが床に垂れてしまう状態となった場合

● 純正の地張り剤ポリックスレジン SX を塗布した場合

弊社純正地張り剤、ポリックスレジン SX を 1 リットル塗布した場合に使用可能なプリント長さは、おおよそ、2500 ～ 3000m になります。
地張り接着力が落ちてきたら、メディア搬送システム背面にある調整ダイヤルを回してエアー圧力を 0bar 側に下げてください。加圧ローラの圧力が上がります。（MAX：0bar 時）
また、地張り接着力が強過ぎる場合は、調整ダイヤル回してエアー圧力を上げてください。加圧ローラの圧力が下がります。

- 地張り剤の塗り替え目安時期を設定すると、塗り替え時期を気にせず作業をすることができます。
（☞ P.3-30「ミストファンフィルタの交換時期 / ベルト地張り剤の塗り替え時期を設定する」）
- 目安時期になると、ディスプレイに右のようなメッセージを表示してお知らせします。

```
！ベ゛ルト　シ゛ハ゛リサ゛イ
ヌリナオシテ　クダ゛サイ
```

重 要！

- 弊社純正の地張り剤は、溶剤系の地張り剤です。必ず有機溶剤用保護マスク、ゴーグル、手袋を着用して、地張り剤の塗り替えを行ってください。
- 地張り剤塗り替え作業時は火気厳禁とし、ベルトヒータ・メインヒータは必ず OFF としてください。また、ヒータ OFF 後、1 時間以上経過してから作業を開始してください。
- 塗り替え時に使用する手袋は、必ず耐薬品性（耐灯油性）のあるものを使用してください。
- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で地張り剤の塗り替えを行う場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 地張り剤を使用する場合、有機溶剤中毒予防規則を遵守してください。また地張り剤の塗り替えを行う場合は、有機溶剤作業主任者技能講習を終了した方、または有機溶剤作業主任者が選任されている下で、作業を行ってください。
- 布が使用前からたるんでいて、搬送ベルトに張り付けする（加圧ローラを通過した）時点で浮き、たるみが発生する場合は、地張り剤が原因ではありません。また、その布は使用できません。
（☞ P.1-18「メディアについて」）

地張り剤を塗り直す前に必ずご確認ください

搬送ベルト上の地張り剤は、地張り剤の種類・使用経過時間・メディア種類や厚さ・気温や湿度などにより地張り力が異なります。
地張り剤の種類やその他の条件に合わせて、メディア搬送システムの加圧ローラの設定値を調整する必要があります。

重要!
- 搬送用ベルトはポリウレタン製です。ポリウレタンを膨潤させる溶剤を使用している地張り剤は使用できません。お手持ちの地張り剤が使用できるかを、地張り剤メーカーにお問い合わせください。

注意
地張り剤塗り替え時のご注意
- 地張り剤を取り扱う方は、付属の静電気除去リストバンドを装着の上、作業してください。
- 地張り剤塗り替え作業時は火気厳禁とし、ベルトヒータ・メインヒータは必ず OFF としてください。また、ヒータ OFF 後、1 時間以上経過してから作業を開始してください。
- 地張り剤の塗り替え作業時は、必ず換気を行ってください。
- 地張り剤塗り直し作業時は、ヒータガードトレイ（黄色）を必ず装着してください。
- 誤ってベルト左右の外側に地張り剤やリムーバーを垂らしてしまった場合は、ヒータガードトレイを取り外し、垂れた地張り剤やリムーバーを取り除いた上で再装着してください。
- ヒータガードトレイを取り外す場合は、トレイ内に垂れた地張り剤やリムーバーをこぼさないようにしてください。
- ヒータガードトレイを装着せずに地張り剤やリムーバーを垂らしてしまった場合や、トレイ内に地張り剤やリムーバーが溜まったまま垂らしてしまった場合は、床にこぼれてしまいます。(☞ P.5-21)

地張り剤の種類

使用環境や用途に合わせて、塗り替える地張り剤を選んでください。

タイプ	長　所	短　所
溶剤型地張り剤 (弊社推奨タイプ)	**(1)** 長寿命 **(2)** 塗布後、使用可能となるまでの乾燥・硬化時間が短時間で済む。	**(1)** 有機溶剤を使用しているため、中毒防止対策や火気対策が必要。 **(2)** 地張り剤を剥がすときに、有機溶剤が必要となる。
水性エマルジョン型 地張り剤	**(1)** 地張り剤を水やアルコールで薄めることができる。 **(2)** 有機溶剤の中毒の恐れがない。	**(1)** 寿命が短い。 **(2)** 塗布後の乾燥・硬化時間が長い。
スプレー式地張り剤	**(1)** 塗布後の乾燥・硬化時間が不要。	**(1)** 寿命が極端に短いため、臨時での使用しかできない。

地張り接着力を設定する

加圧ローラの圧力を調整して、地張り力を変更することができます。
本装置が以下の状態になるように、地張り接着力を調整してください。

● 地張り力設定の目安

(1) プリント時にキャリッジ動作範囲でメディアやメディアのエッジで浮き上がりがないこと。
(2) プリント時に巻取が開始されるまではメディアがベルトにしっかりと貼り付いていて、巻取が開始されたらスムーズにベルトがメディアが引き剥がされること。

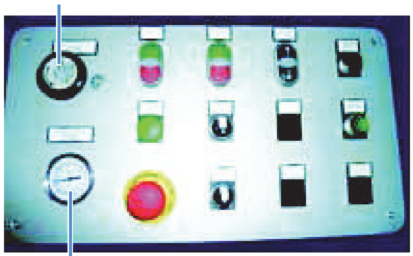
1 メディアをセットする (**P.2-14**)

2 ベルトヒータを **“ON”** にする (**P.2-11**)

3 プリントを開始する (**P.2-38**)

4 ベルトとメディアの貼り付き具合を確認して、加圧ローラの圧力を調整する

- 加圧ローラの圧力を下げたい場合 :
  調整ダイヤルを右方向に回し、圧力計の表示を高くする。



キャリッジ動作範囲でメディアが浮き上がっているときは
- 加圧ローラの圧力を上げてください。

巻取が開始される前にメディアがベルトから離れている場合は
- 加圧ローラの圧力を上げてください。

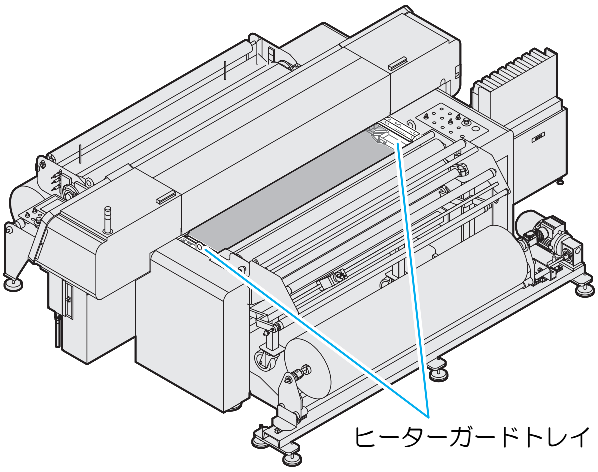
巻取が開始しても、メディアがベルトからスムーズに剥がれない場合
- 加圧ローラの圧力を下げてください。

注 意
- 圧力計の表示は 2bar 以上にしないでください。

重 要 !
- 加圧ローラの調整をしても接着力が上がらない場合は地張り剤の寿命です。次ページからの作業をして、寿命となった地張り剤を剥がし、新しい地張り剤を塗布してください。

ヒータガードトレイを取り付ける

ヒータガードトレイは本体背面、ベルトの下に取り付けます。

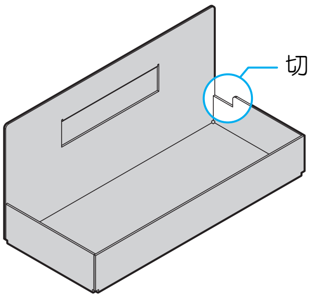


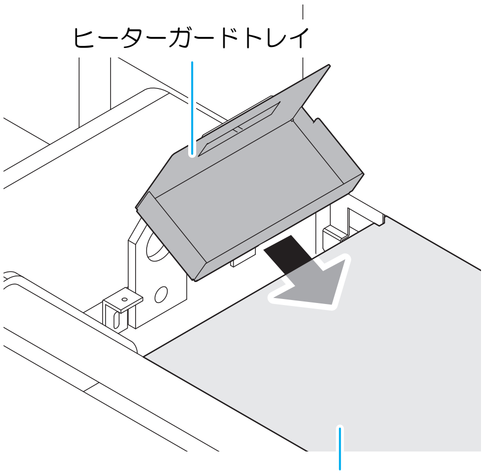
注意

- 地張り剤の塗り直し作業をするときは、必ず、ヒータガードトレイを取り付けてください。
- ヒータガードトレイを取り付けないまま地張り剤の塗り直し作業をすると、ベルトに塗布した地張り剤が床に落ち、床を傷つける恐れがあります。
- ヒータガードトレイは定期的に確認してください。
  トレイ内に地張り剤やリムーバーが溢れ、床を傷つける恐れがあります。

1 ヒータガードトレイを側板とベルトの間に斜めに差し込む

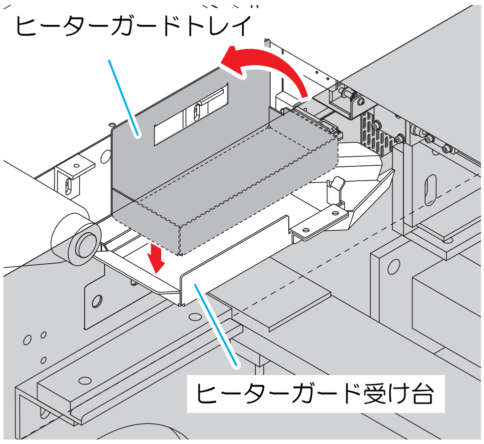
- ヒータガードトレイは、右側 / 左側それぞれ専用のトレイになっています。下図のように切り欠き部分を正面側に向けて取り付けてください。





2 図のようにヒータガードトレイを回転させるようにして、ヒータガード受け台に乗せる

- ヒータガードトレイは左右にあります。必ず両方のヒータガードトレイを取り付けてください。



- ヒータガードトレイを取り外すときは、取り付けと逆の手順で行ってください。
  トレイ内に地張り剤やリムーバーが入っているときは、こぼさないように注意してください。

弱くなった地張り剤を剥がす

地張り剤を剥がす際には以下の物が必要です。

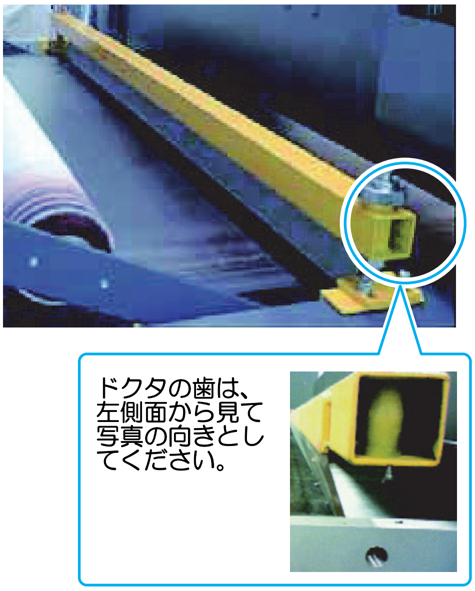
重要!
- 本装置出荷時に塗布してある地張り剤を剥離させるには、添付品の地張りリムーバーを使用してください。特別な地張り剤を使用しているため、軽油や灯油では地張り剤を取り除くことはできません。

注意
地張り剤剥離作業時のご注意
- リムーバーを取り扱う方は、付属の静電気除去リストバンドを装着の上、作業してください。
- リムーバー、灯油、軽油、エタノールは揮発性の危険物です。使い切れなかった場合は、フタをした上で冷暗所危険物保管庫に保管してください。
- 地張り剤剥離作業時は火気厳禁とし、ベルトヒータ・メインヒータは必ず OFF としてください。また、ヒータ OFF 後、1 時間以上経過してから作業を開始してください。
- 地張り剤剥離作業時は、必ず換気を行ってください。

使用する物	ご用意していただく物
ドクタ 手袋 プラスチックコマ（本装置付属） リムーバー	ウェス 灯油または、軽油　約　1 リットル エタノール　約 1 リットル 布切れ（2m x 2m 程度の長さの物） A4 サイズ程度の樹脂板(端面にシャープエッジの無い 1.0～3.0mm 程度の板） エタノール、リムーバーで膨潤しない物であることが必要です。（素材例：PVC、PP）

1 ドクタサポートに、ドクタを図のようにセットする

重要!
- ドクタは重量物です。持ち運びやドクタサポートへセットする時は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。

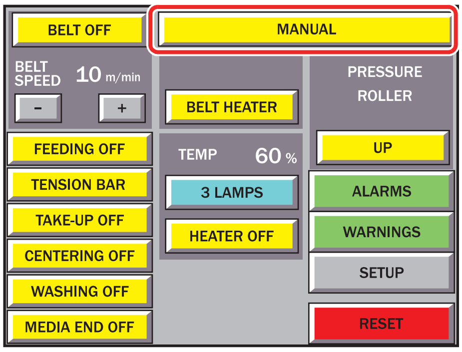


2 ドクタが、ベルトに均等に当たる位置に来るまで、ドクタ下の六角ナットを調整する

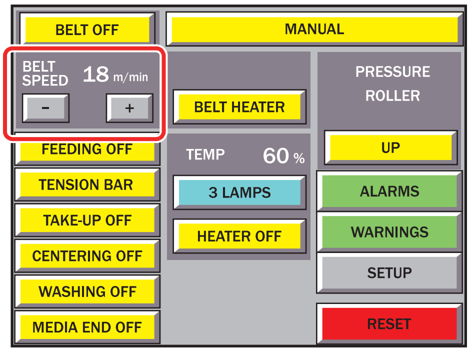
重要!
- ドクタとベルトとの間にスキマが出来ないように注意してください。スキマがあるとそこから、リムーバーが大量に漏れてしまい、他の部品を汚してしまう恐れがあります。

3 ドクタを固定するため、調整ネジ部の丸形ナットを手で固定する

4 操作タッチパネルの **[AUTOMATIC]** を押して **[MANUAL]** にする



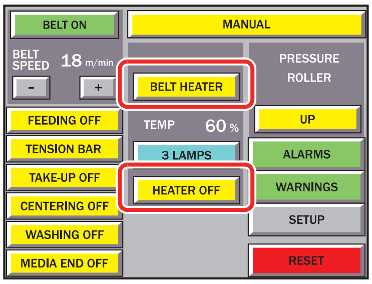
5 **BELT SPEED[-][+]** キーを押し、**16～18**m/**min** に調整する

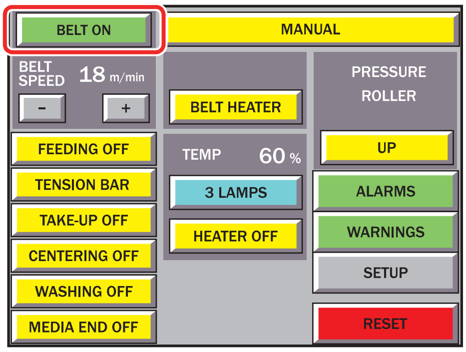


6 搬送ベルト上に布、その他の物がないことを確認してから **[BELT OFF]** を押してベルトを動作させる

- [BELT ON] に切り替えるとベルトが動き出します。

重 要 !
- ベルトヒータとメインヒータが OFF(黄色) になっていることを確認してください。





7 灯油（軽油）を均等に染み込ませるため、ドクタの灯油（軽油）塗布側に準備した布切れをセットする



8 布切れにまんべんなくリムーバーが行き渡るように、ベルト上に注ぐ

重要！

- リムーバーは、ベルトが 1 周する間に滴が床面にたれない程度に注いでください。リムーバーが洗浄ユニット等、他の部材に付着すると、地張り剤にリムーバーが再付着し、地張り不良の原因になります。
- 本装置右側（前面、背面 計 2 箇所）にあるベルトエンコーダローラに、灯油（軽油）が付着しないように注意してください。
- 標準添付しているリムーバーの場合、使用量は約 5 リットルになります。ポリックスレジン SX に対する灯油（軽油）の場合約 1 リットルを目安としてください。
- リムーバーがベルトからたれた場合はウェス等でよく拭き取ってください。リムーバーがしみこんだウェスは、乾燥させた後に廃棄してください。
- ベルトヒータ、メインヒータにリムーバーがかかった場合は、すぐに電源を OFF し、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。





9 地張り剤が柔らかく、ゲル状になるまで、ベルトを回転させる

10 ドクタを取り外し、 リムーバーを染み込ませたウエスで、 ドクタに付着した地張り剤を取り除く

- 地張り剤塗布のための清掃です。剥離した地張り剤が再硬化する前にする前に行ってください。



11 用意した樹脂板を用いて、 ベルトから地張り剤を剥ぎ取る



12 樹脂板で、 できる限り地張り剤を取り除いたら、エチルアルコールとウエスを用いてベルト表面に残った地張り剤を取り除く



重 要!

- 上記の作業が終了したら、地張り剤の取り残しや大きなホコリなどが無いか再度確認してください。ベルト表面に地張り剤の取り残しなどがある状態で新しく地張り剤を塗布すると、その部分に凹凸ができ、プリントに影響が出ます。
- ベルト表面が乾燥したら、新しい地張り剤を塗布してください。(次ページ)
- 剥離したリムーバーを含むゲル状液体はウェス等にしみこませ、乾燥させた後で廃棄してください。

新しい地張り剤を塗布する

地張り剤を塗布する際には以下の物が必要です。

使用する物	ご用意していただく物
ドクタ 手袋 プラスチックコマ（本装置付属）	地張り剤（ポリックスレジン SX1000cc (別売品)) 灯油または、軽油　約　少々（ドクタに付着した地張り剤の除去用） ウェス 水（霧吹き器）

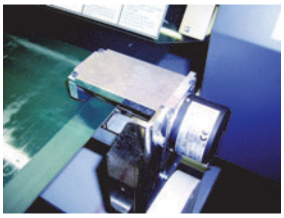
注意

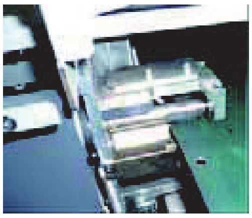
地張り剤塗布作業時のご注意

- 地張り剤を取り扱う方は、付属の静電気除去リストバンドを装着の上、作業してください。
- 地張り剤塗布作業時は火気厳禁とし、ベルトヒータ・メインヒータは必ず OFF としてください。また、ヒータ OFF 後、1 時間以上経過してから作業を開始してください。
- 地張り剤、灯油、軽油は揮発性の危険物です。使い切れなかった場合は、フタをした上で冷暗所危険物保管庫に保管してください。
- 地張り剤剥離作業時は、必ず換気を行ってください。換気の悪い部屋、または密閉された部屋で地張り剤の塗り替えを行う場合は、必ず換気装置を設けてください。

重要！

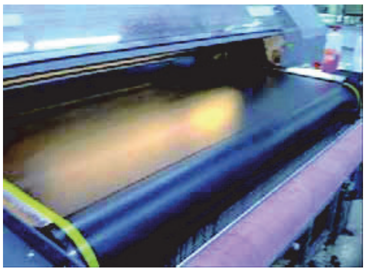
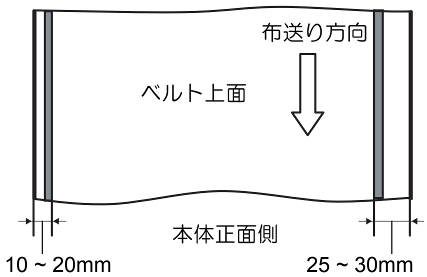
- 弊社純正の地張り剤は、溶剤系の地張り剤です。必ず有機溶剤用保護マスク、ゴーグル、手袋を着用して、地張り剤の塗り替えを行ってください。
- 塗り替え時に使用する手袋は、必ず耐薬品性（耐灯油性）のあるものを使用してください。
- 地張り剤を使用する場合、有機溶剤中毒予防規則を遵守してください。また地張り剤の塗り替えを行う場合は、有機溶剤作業主任者技能講習を終了した方。または有機溶剤作業主任者が選任されている下で、作業を行ってください。
- 市販の地張り剤を使用する場合は、その溶剤成分と本装置のベルト材質との相性を必ず確認してください。使用する場合は、弊社代理店または各営業所にご相談ください。
- 地張り剤の重ね塗り（前の地張り剤の上に新しい地張り剤を塗布する）をする場合は、前の地張り剤表面の凹凸やほこり、糸くず等の付着により、きれいに塗布できない場合があります。
- 本装置右側（前面、背面 計 2 箇所）にあるベルトエンコーダローラの接触エリアとベルトの原点穴近辺には地張り剤が付着しないように注意してください。装置が正常に動作しなくなります。



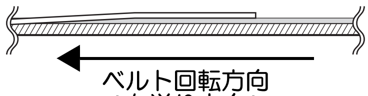


1 粘着テープ（表面の滑りの良い物）をベルト表面に貼り付ける

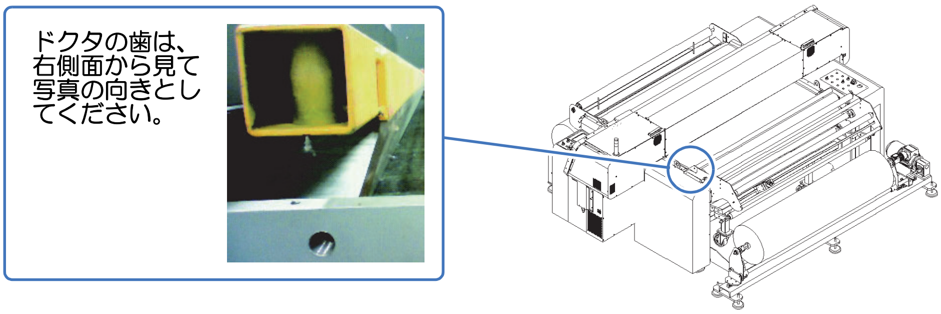
• 図のように、ベルト左右端からの位置に粘着テープを貼り付けます。

重 要！
• 粘着テープは、使用する前に地張り剤との相性の確認を行ってください。（地張り剤でテープが溶けないことを確認する）
• 粘着テープは、ベルトが一周してもドクタによって剥がされないよう右図のように貼り付けてください。

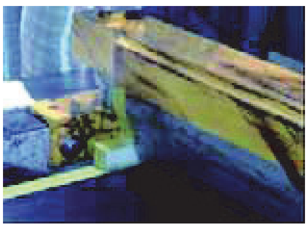
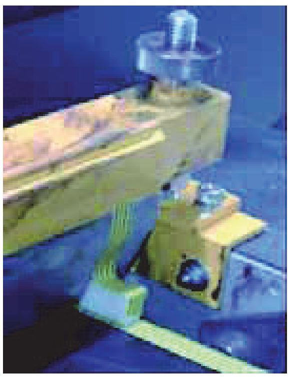


2 「弱くなった地張り剤を剥がす」手順 **2** ～ **3** を参照してベルト上にドクタをセットする

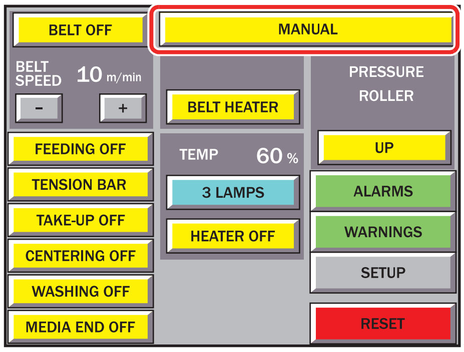


3 ドクタに本装置添付のプラスチックコマ (**2** 個) を粘着テープで固定する

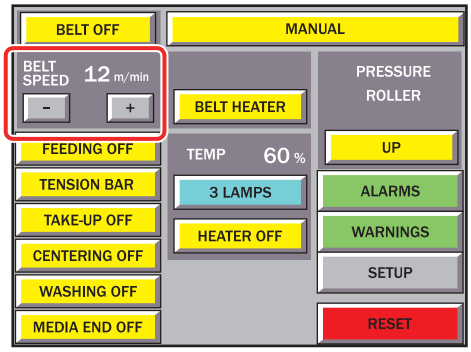
• プラスチックコマは、ベルトに貼り付けた粘着テープ上で、ドクタの地張り剤塗布側に左右 1 個づつ貼り付けてください。

4 操作タッチパネルの **[AUTOMATIC]** を押して **[MANUAL]** にする



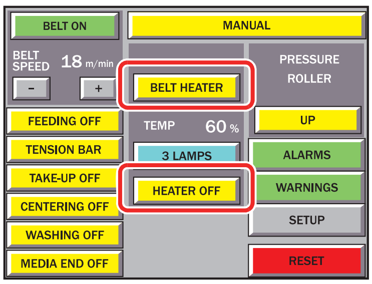
5 **BELT SPEED[-][+]** キーを押し、**10**～**12**m/**min** に調整する

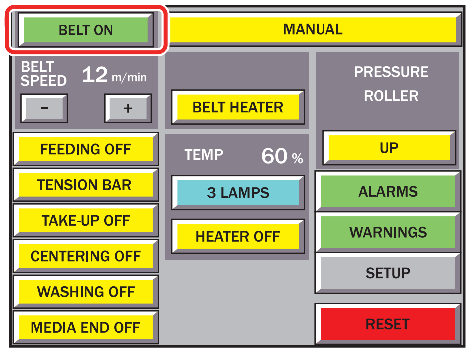


6 搬送ベルト上に布、その他の物がないことを確認してから **[BELT OFF]** を押してベルトを動作させる

• [BELT ON] に切り替えるとベルトが動き出します。

重要! • ベルトヒータとメインヒータが OFF(黄色) になっていることを確認してください。





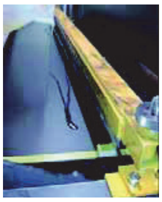
7 地張り剤をベルト上に幅方向に均等に注ぐ

• 地張り剤がベルト 1 周する間にわずかずつ乾燥して重ね塗りされていくので、地張り剤が少なくなってきたところに地張り剤を補充しながら、ベルト全面に塗布します。

重 要!

- 地張り剤を 1 度に多量に流し込むと、地張り剤が左右から溢れ出したり、床にたれる場合があります。
- 溢れた地張り剤が直下のベルトヒータにたれると、火災の危険があります。
  (1)地張り剤は一気に流し込まないでください。
  (2)ベルトヒータ・メインヒータは、必ず OFF にしておいてください。





- ベルトヒータ、メインヒータに地張り剤がかかった場合は、すぐに電源を OFF し、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
- 地張り剤が床にたれた場合、樹脂の床材や塗装を溶かす場合があります。
- 地張り剤がベルトからたれた場合は、ウェス等でよく拭き取り、本機を 12 時間以上放置してからご使用ください。地張り剤がしみこんだウェスは、乾燥させた後に廃棄してください。

8 全ての地張り剤をベルト上に注ぎ終えたら、ドクタに地張りが溜まっている状態の内に、霧吹き器で水をドクタ幅全体にスプレーする

• 水をスプレーすることで、地張り剤がドクタから無くなった状態になった時の、地張り剤に入るスジを低減することができます。



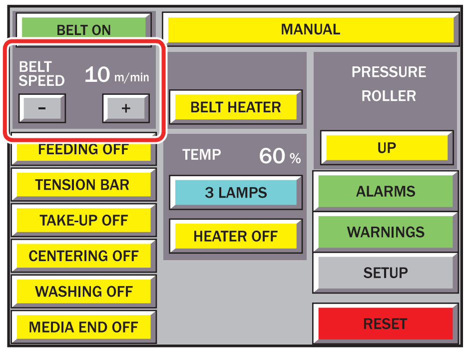
9 ドクタに地張り剤が無くなったところで、 ドクタを取り外し、 ドクタに付着した地張り剤を灯油 （軽油） を染み込ませたウエスでふき取る

重 要!

- ドクタを取り外す際に、ドクタに地張り剤が残っていないか確認してください。地張り剤が残った状態でドクタを取り外すと、ドクタに付いた地張り剤がベルト上に垂れ、凹凸の原因になります。

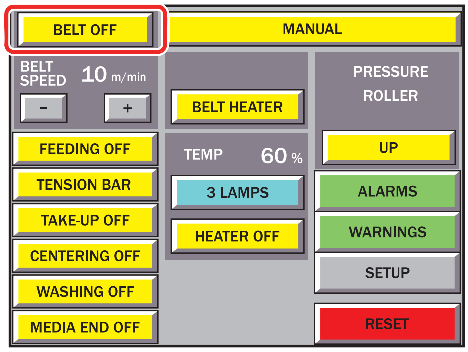
10 BELT SPEED を変更する

• BELT SPEED[-][+] キーを押し、5 ～ 10m/min に調整してください。
• 地張り剤を乾燥させるため、そのまま 2 ～ 3 時間放置してください。(放置している間も、ベルトヒータ・メインヒータ共に OFF のままにしておいてください。)



5 困ったときは

11 [BELT OFF] に切り替え、 ベルトを停止させる



第6章
付録

この章では ...

本機の仕様一覧表や、 機能の一覧表を記載しています。

本体仕様

項　目		Tx400-1800B
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	12 ヘッド (4 x 3 列 スタガ配列)
プリント分解能		300, 450, 600, 900, 1200 dpi
プリントモード	8 色モード	300 x 300 dpi : 2 / 4 / 8 pass，双方向 / 単方向 300 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 300 x 600 dpi : 4 / 8 / 16 pass，双方向 / 単方向 450 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 450 x 600 dpi : 4 / 8 / 16 pass，双方向 / 単方向 600 x 300 dpi : 2 / 4 / 8 pass，双方向 / 単方向 600 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 600 x 600 dpi : 4 / 8 / 16 pass，双方向 / 単方向 600 x 900 dpi : 6 / 12 / 24 pass，双方向 / 単方向 900 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 900 x 900 dpi : 6 / 12 / 24 pass，双方向 / 単方向 1200 x 600 dpi : 4 / 8 / 16 pass，双方向 / 単方向 1200 x 900 dpi : 6 / 12 / 24 pass，双方向 / 単方向 1200 x 1200 dpi : 8 / 16 / 32 pass，双方向 / 単方向
	4 色モード	300 x 300 dpi : 1 / 2 / 4 pass，双方向 / 単方向 300 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 300 x 600 dpi : 2 / 4 / 8 pass，双方向 / 単方向 450 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 450 x 600 dpi : 2 / 4 / 8 pass，双方向 / 単方向 600 x 300 dpi : 1 / 2 / 4 pass，双方向 / 単方向 600 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 600 x 600 dpi : 2 / 4 / 8 pass，双方向 / 単方向 600 x 900 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 900 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 900 x 900 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 1200 x 600 dpi : 2 / 4 / 8 pass，双方向 / 単方向 1200 x 900 dpi : 3 / 6 / 12 pass，双方向 / 単方向 1200 x 1200 dpi : 4 / 8 / 16 pass，双方向 / 単方向
使用可能インク	酸性染料インク	後日発売
	反応染料インク	K,C,M,Y,Lc,Lm,Lk,Bl,R,Or
	昇華染料インク	K,C,M,Y,Lc,Lm,Bl,Lbl
	分散染料インク	後日発売
	捺染顔料インク	K,C,M,Y,Lc,Lm,Bl,Or
インクセット	8 色モード	1 色あたり 2 インクパック
	4 色モード	1 色あたり 4 インクパック
インク供給		2 インクパックセットによるトグル切替供給 インクパック交換方式
インク容量		8 色インクセット (捺染顔料インクを除く) 2L インクパック各色 2 本　4L/ 色 4 色インクセット 2L インクパック各色 4 本　8L/ 色
使用可能メディア		綿、 絹、 ニット、 ポリエステル、 ストレッチなど
最大プリント幅		1850mm
ロールメディアサイズ	最大幅	1860mm
	最小幅	210mm
	厚さ	7.0mm 以下
	ロール外径	Φ400mm 以下
	ロール重量	44kg 以下
	紙管内径	2 ～ 3 インチ
	プリント面	内巻き / 外巻き不問
	巻終わり処理	紙管へテープ止めまたは弱接着
プリントマージン		巻取装置セットまでの前端 : 1.7m 繰出装置紙管外れ後端 : 3.2m

項　目		Tx400-1800B
距離精度	絶対精度	± 0.5 ㎜または指定距離の ± 0.3 % の大きい方 ただし、 繰出、 巻取装置に依存する
	再現性	
直角精度		± 0.5 ㎜ / 1000 ㎜
メディアスキュー		5 ㎜以下 / 10 m(布セットに曲がりの無い場合)
ヘッド高さ調整		メディア下面より 1.3mm ～ 7mm 可変
廃インクタンク		ボトル式　10 リットル
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL- Ⅲ （ミマキオリジナルコマンド）
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, UL 60950-1, CE マーキング (EMC 指令、 低電圧指令） , CB レポート , RoHS 対応 , 中国 RoHS
電源仕様	プリンタ部	単相 AC200 ～ 240±10%　7.5A 以下　 50/60Hz±1Hz
	搬送ベルト部	3ΦY380-420V ±10%　36A 以下
消費電力		23500 VA 以下
設置環境	使用可能温度	15 °C ～ 30 °C　(59°F ～ 86°F)
	相対湿度	35 ～ 65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ～ 25 °C　(68°F ～ 77°F)
	温度勾配	±10 °C (18°F) / h 以下
	粉塵	オフィス相当
重量		2300kg 以下
外形寸法		4300mm(W) x 2930mm(D) x 1650mm(H) (インクステーション ・ 突起部を含む)

インク仕様

項　目		
形態		専用インクパック
色	酸性染料インク	後日発売
	反応染料インク	ブラック／シアン／マゼンタ／イエロー／ライトシアン／ライトマゼンタ／ライトブラック／ブルー／レッド／オレンジ
	昇華染料インク	ブラック／シアン／マゼンタ／イエロー／ライトシアン／ライトマゼンタ／ブルー／ライトブルー
	分散染料インク	後日発売
	捺染顔料インク	ブラック／シアン／マゼンタ／イエロー／ライトシアン／ライトマゼンタ／ブルー／オレンジ
インク容量		2 リットル
有効期限		インクパックに記載 開封から 6ヶ月以内または、 インクパック記載の有効期間内
保存温度	保存時	0 ～ 40°C (32°F ～ 104°F) (40°C (104°F) の場合は 1ヶ月以内)
	輸送時	0 ～ 60°C (32°F ～ 140°F) (60°C (140°F) の場合は 120 時間以内　40°C (104°F) の場合は 1ヶ月以内)

重 要!

- インクパックを分解したり、インクを詰め替えないでください。
- インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
- 万一インクが凍結したときは、室温 (25 °C (77°F)) で 1 日以上かけて解凍してから使用してください。

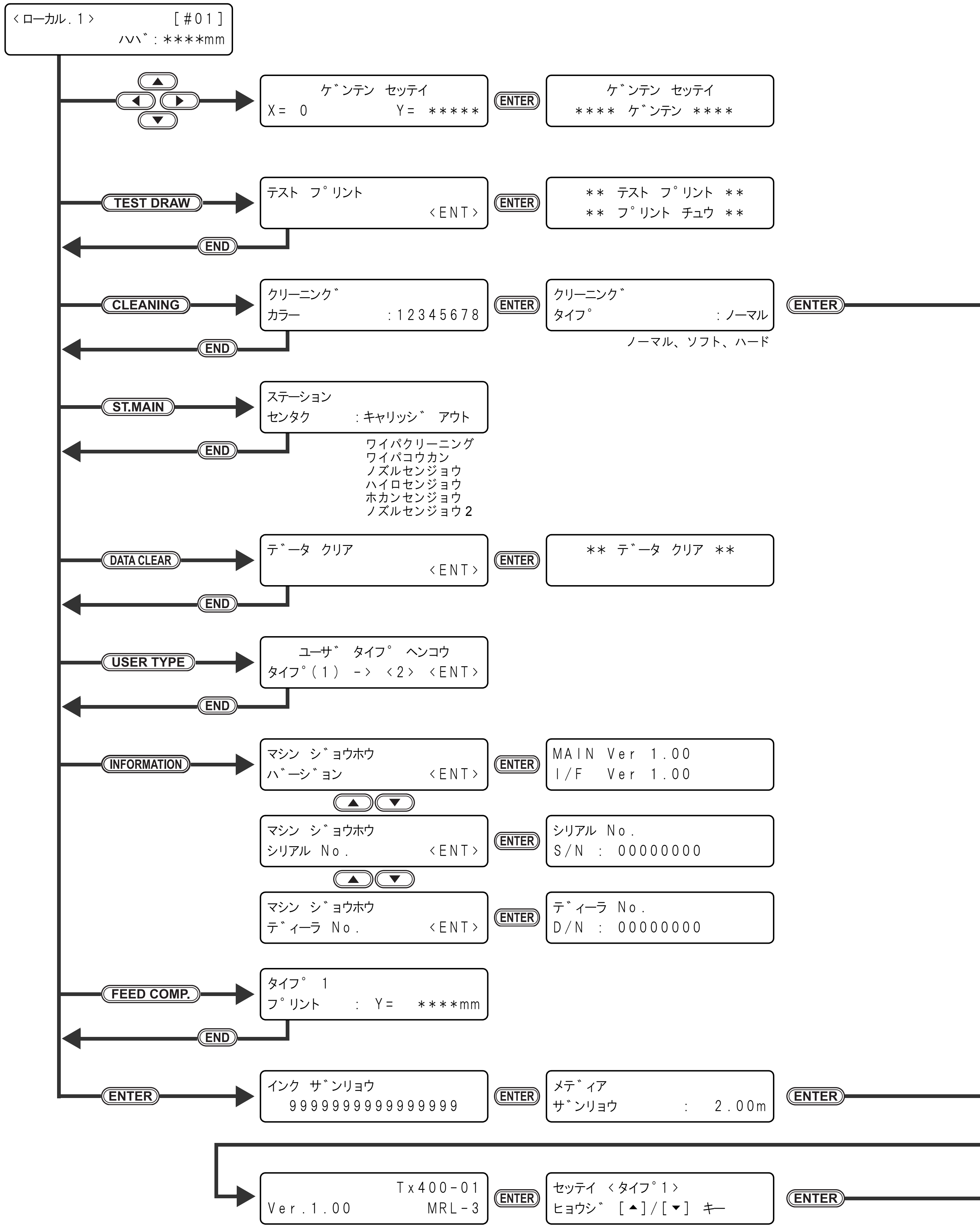
お問い合わせシート

プリンタの故障、 異常動作については、 このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、 弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの **OS**	
マシン情報*1	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 第 3 章 応用機能の「装置情報を確認する」(☞ P.3-37) をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。

機能フローチャート



＜ローカル.1＞　[#01]
ハバ：＊＊＊＊mm
ゲンテン　セッテイ
X＝　0　Y＝　＊＊＊＊＊
ENTER
ゲンテン　セッテイ
＊＊＊＊　ゲンテン　＊＊＊＊
TEST DRAW
テスト　プリント
＜ENT＞
＊＊　テスト　プリント　＊＊
＊＊　プリント　チュウ　＊＊
END
CLEANING
クリーニング
カラー　：12345678
クリーニング
タイプ　：ノーマル
ノーマル、ソフト、ハード
ST.MAIN
ステーション
センタク　：キャリッジ　アウト
ワイパクリーニング
ワイパコウカン
ノズルセンジョウ
ハイロセンジョウ
ホカンセンジョウ
ノズルセンジョウ2
DATA CLEAR
データ　クリア
＜ENT＞
＊＊　データ　クリア　＊＊
USER TYPE
ユーザ　タイプ　ヘンコウ
タイプ（1）　－＞　＜2＞　＜ENT＞
INFORMATION
マシン　ジョウホウ
バージョン　＜ENT＞
MAIN　Ver　1.00
I/F　Ver　1.00
マシン　ジョウホウ
シリアル　No.　＜ENT＞
シリアル　No.
S/N　：　00000000
マシン　ジョウホウ
ディーラ　No.　＜ENT＞
ディーラ　No.
D/N　：　00000000
FEED COMP.
タイプ　1
プリント　：　Y＝　＊＊＊＊mm
インク　ザンリョウ
999999999999999
メディア
ザンリョウ　：　2.00m
Tx400-01
Ver.1.00　MRL-3
セッテイ　＜タイプ1＞
ヒョウシ　[▲]/[▼]　キー

クリーニンク゛
クリーニンク゛　カイシ　　　:ent

ENTER

＊＊　クリーニンク゛　チュウ　＊＊
00:01:59

メテ゛ィア
ハハ゛　　　:1860mm

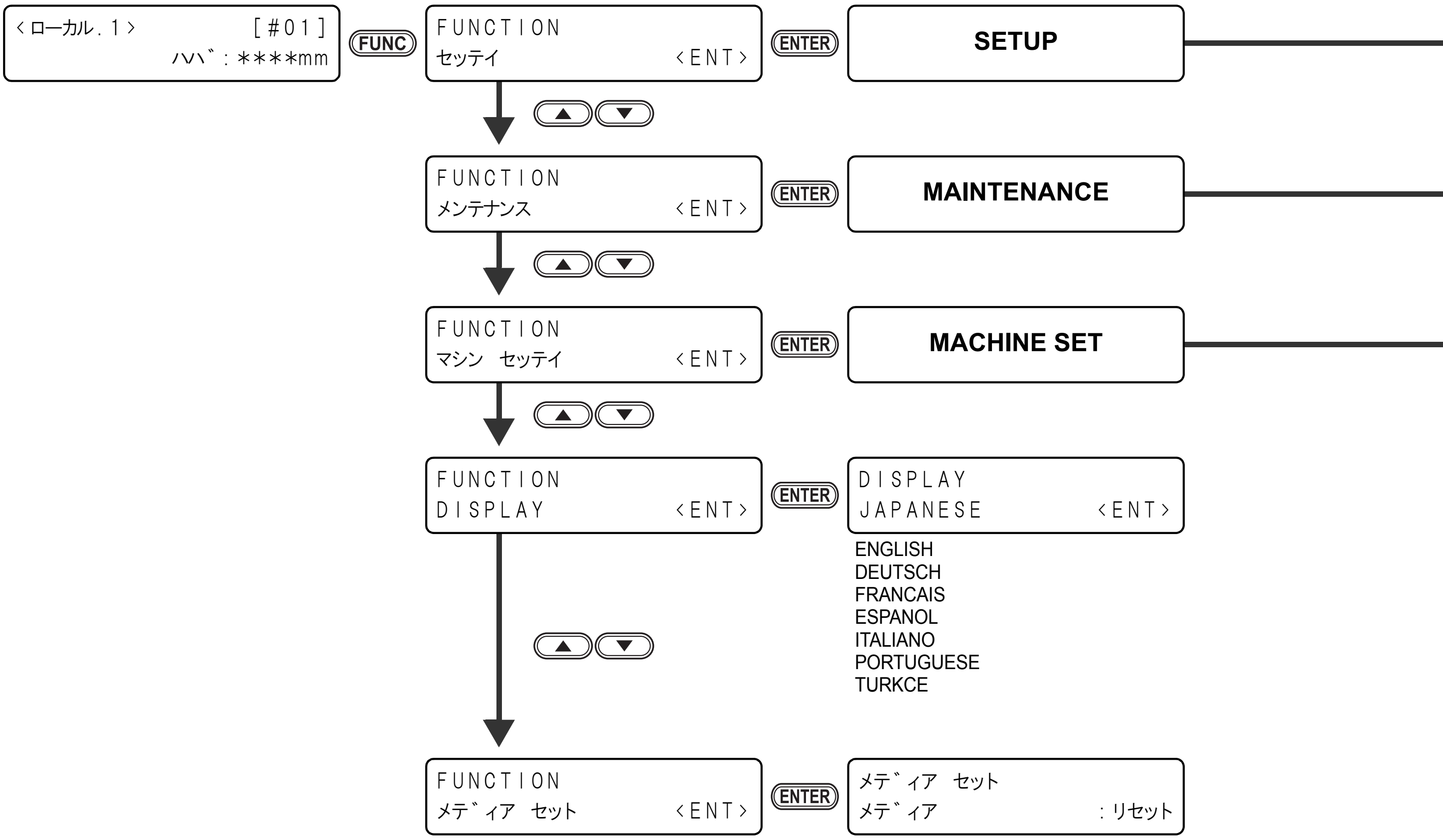
ENTER

ヘット゛　タカサ
0.0mm

ENTER

インク　タイフ゜　　:Reac
インク　カラー　　　:8

カウンタ　ロク゛
ヒョウシ゛　[▲]/[▼]　キー



＜ローカル.1＞ [#01]
ハハ゛：****mm
FUNC
FUNCTION
セッテイ ＜ENT＞
ENTER
SETUP
FUNCTION
メンテナンス ＜ENT＞
ENTER
MAINTENANCE
FUNCTION
マシン セッテイ ＜ENT＞
ENTER
MACHINE SET
FUNCTION
DISPLAY ＜ENT＞
ENTER
DISPLAY
JAPANESE ＜ENT＞
ENGLISH
DEUTSCH
FRANCAIS
ESPANOL
ITALIANO
PORTUGUESE
TURKCE
FUNCTION
メテ゛ィア セット ＜ENT＞
ENTER
メテ゛ィア セット
メテ゛ィア ：リセット

P.6-10 へ進む

P.6-14 へ進む

P.6-20 へ進む

SETUP

セッテイ
センタク　　　　　：タイフ゜　1

[ENTER]

タイフ゜　1
メテ゛ィア　ホセイ　　　＜ENT＞

[ENTER]

タイフ゜　1
ゲ゛ンテン　セッテイ　　　：ent

[ENTER]

[▲][▼]

タイフ゜　1
メテ゛ィア　オクリ　　　＜ENT＞

[ENTER]

タイフ゜　1
オクリ　ソクト゛　　　＜ENT＞

[ENTER]

[▲][▼]

タイフ゜　1
シ゛ョク゛　ソクト゛　　　＜ENT＞

[ENTER]

[▲][▼]

タイフ゜　1
ヘ゛ルト　エンコータ゛　　　＜ENT＞

[ENTER]

[▲][▼]

タイフ゜　1
ソフトネス　　　＜ENT＞

[ENTER]

[▲][▼]

タイフ゜　1
フ゜リント　ヒンシツ　　　＜ENT＞

[ENTER]

タイフ゜　1
DPI　　　：300x300

[ENTER]

300x300, 300x450, 300x600, 450x450, 450x600
600x300, 600x450, 600x600, 600x900, 900x450
900x900, 1200x600, 1200x900, 1200x1200 dpi

[▲][▼]

タイフ゜　1
カサネヌリ　　　＜ENT＞

[ENTER]

タイフ゜　1
カサネヌリ　　　：1カイ

1～9回

[▲][▼]

タイフ゜　1
ユウセン　シ゛ュンイ　　　＜ENT＞

[ENTER]

タイフ゜　1
メテ゛ィア　ホセイ　　　：ホスト

[ENTER]

ホスト、パネル

[▲][▼]

P.6-12 へ

タイプ° 1
プ°リント　：　Y＝　****mm

[ENTER]

**　メデ゛ィア　ホセイ　**
**　フ°リント　チュウ　**

タイプ° 1
ハ°ターン　チェック　[▲]/[▼]

[ENTER]

タイプ° 1
ホセイチ　＝　0

-500 ～ 500

タイプ° 1
オクリ　ソクト゛　：100%

10 ～ 100%

タイプ° 1
シ゛ョク゛　ソクト゛　：100%

10 ～ 100%

タイプ° 1
ヘ゛ルト　エンコータ゛　：OFF

ON、OFF

[ENTER]

OFF 選択時

ヘ゛ルト　ツナキ゛　ホセイ
F：レヘ゛ル1　R：OFF

OFF、レベル 0 ～ 3

タイプ° 1
ソフトネス　：レヘ゛ル　1

レベル 1 ～ 3

タイプ° 1　：300x300
ハ°ス　：ソウホウコウ　4P

[ENTER]

タイプ° 1　：300x300
コウソク　スキャン　：OFF

ON、OFF

[ENTER]

タイプ° 1　：300x300
ト゛ロッフ°　サイス゛：L4　M2　S1

L4 M2 S1, L5 M3 S1

[ENTER]

タイプ° 1　：300x300
MAPS　：Level1

OFF、Level1 ～ 9

タイプ° 1
フ°リント　ヒンシツ　：ホスト

ホスト、パネル

[ENTER]

タイプ° 1
カサネヌリ　：ホスト

ホスト、パネル

[ENTER]

タイプ° 1
リフレッシュ　：ホスト

ホスト、パネル

[ENTER]

タイプ° 1
シヨウ　ヘット゛　：ホスト

ホスト、パネル

[ENTER]

タイプ° 1
カンソウ　シ゛カン　：ホスト

ホスト、パネ

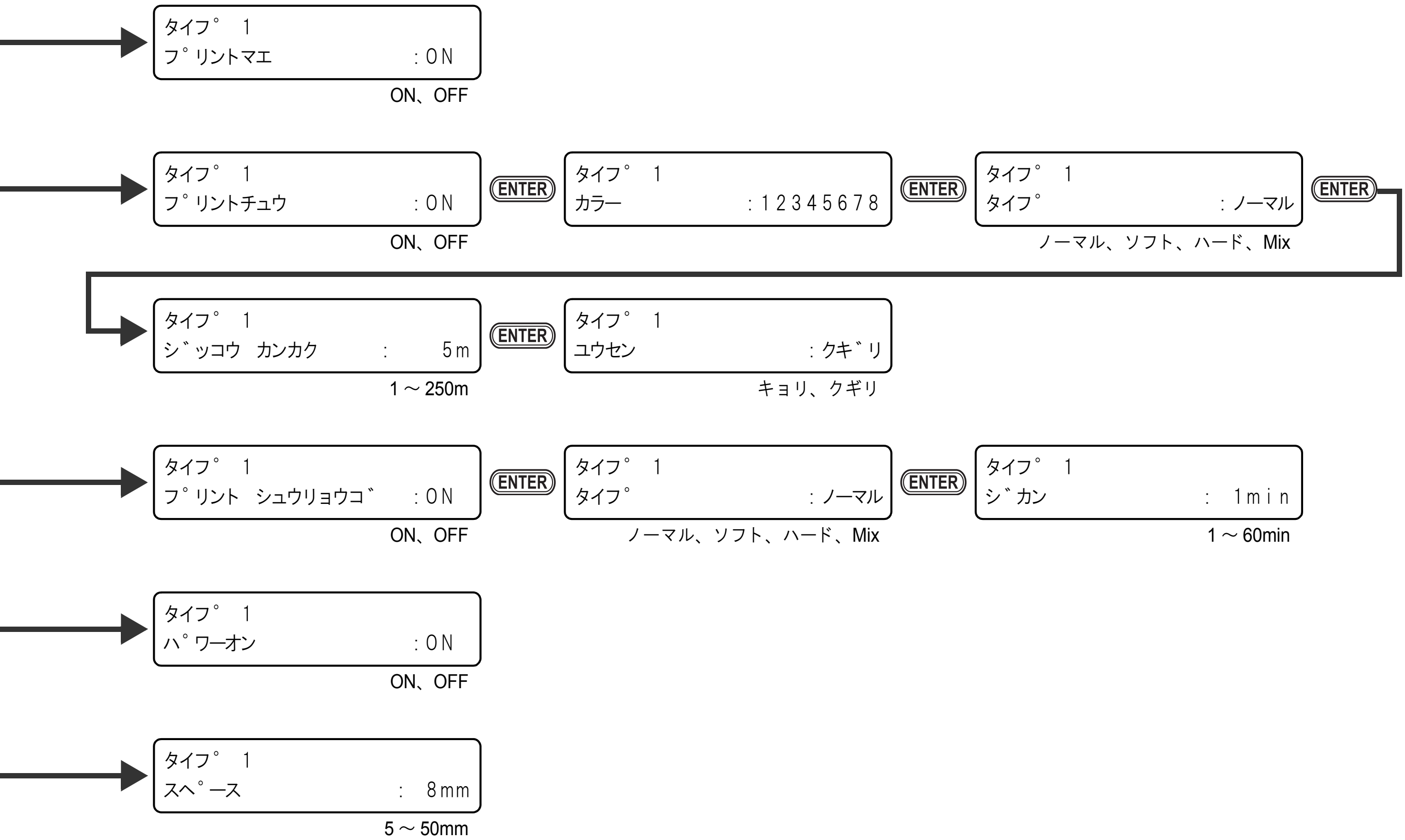
[ENTER]

タイプ° 1
オクリ　ソクト゛　：ホスト

ホスト、パネル

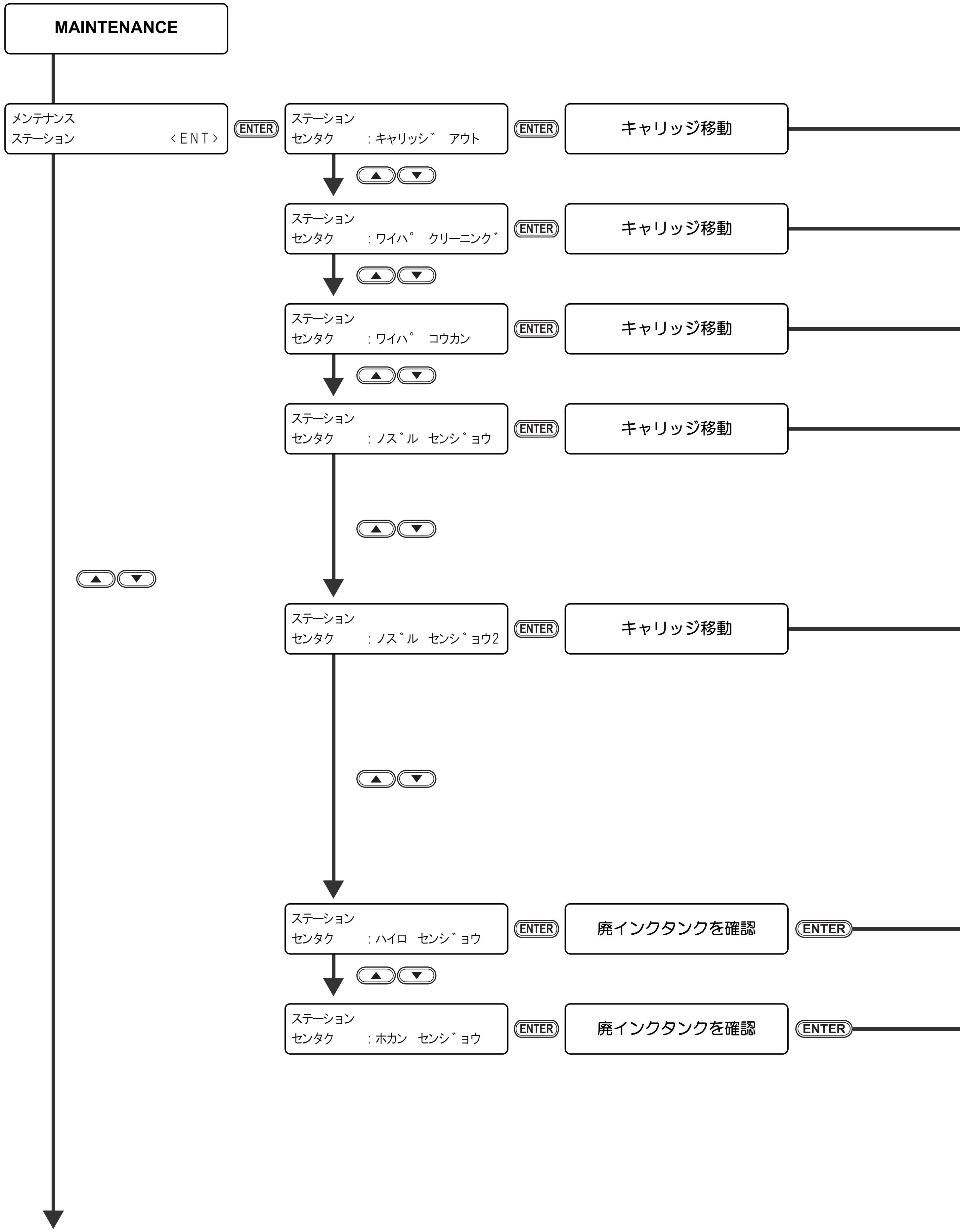
P.6-10 から

画面		画面 (ENTER)		
タイフ゜ 1 リフレッシュ <ENT>	ENTER	タイフ゜ 1 リフレッシュ :レヘ゛ル 1		
タイフ゜ 1 ミリ/インチ <ENT>	ENTER	タイフ゜ 1 ミリ/インチ :ミリ ミリ、インチ		
タイフ゜ 1 オート クリーニンク゛ <ENT>	ENTER	タイフ゜ 1 フ゜リントマエ <ENT>	ENTER	→
		タイフ゜ 1 フ゜リントチュウ <ENT>	ENTER	→
		タイフ゜ 1 フ゜リント シュウリョウコ゛ <ENT>	ENTER	→
		タイフ゜ 1 ハ゜ワーオン <ENT>	ENTER	→
タイフ゜ 1 カラー ハ゜ターン <ENT>	ENTER	タイフ゜ 1 カラー ハ゜ターン :ON ON、OFF	ENTER	→
タイフ゜ 1 カンソウ シ゛カン <ENT>	ENTER	タイフ゜ 1 スキャン = 0.0s 0.0 ～ 10.0 s		
タイフ゜ 1 モアレ ケイケ゛ン <ENT>	ENTER	タイフ゜ 1 センタク :OFF OFF、MR1、MR2、MR3、MR4、MR5		
タイフ゜ 1 セッテイ リセット <ENT>	ENTER	タイフ゜ 1 リセット :ent		

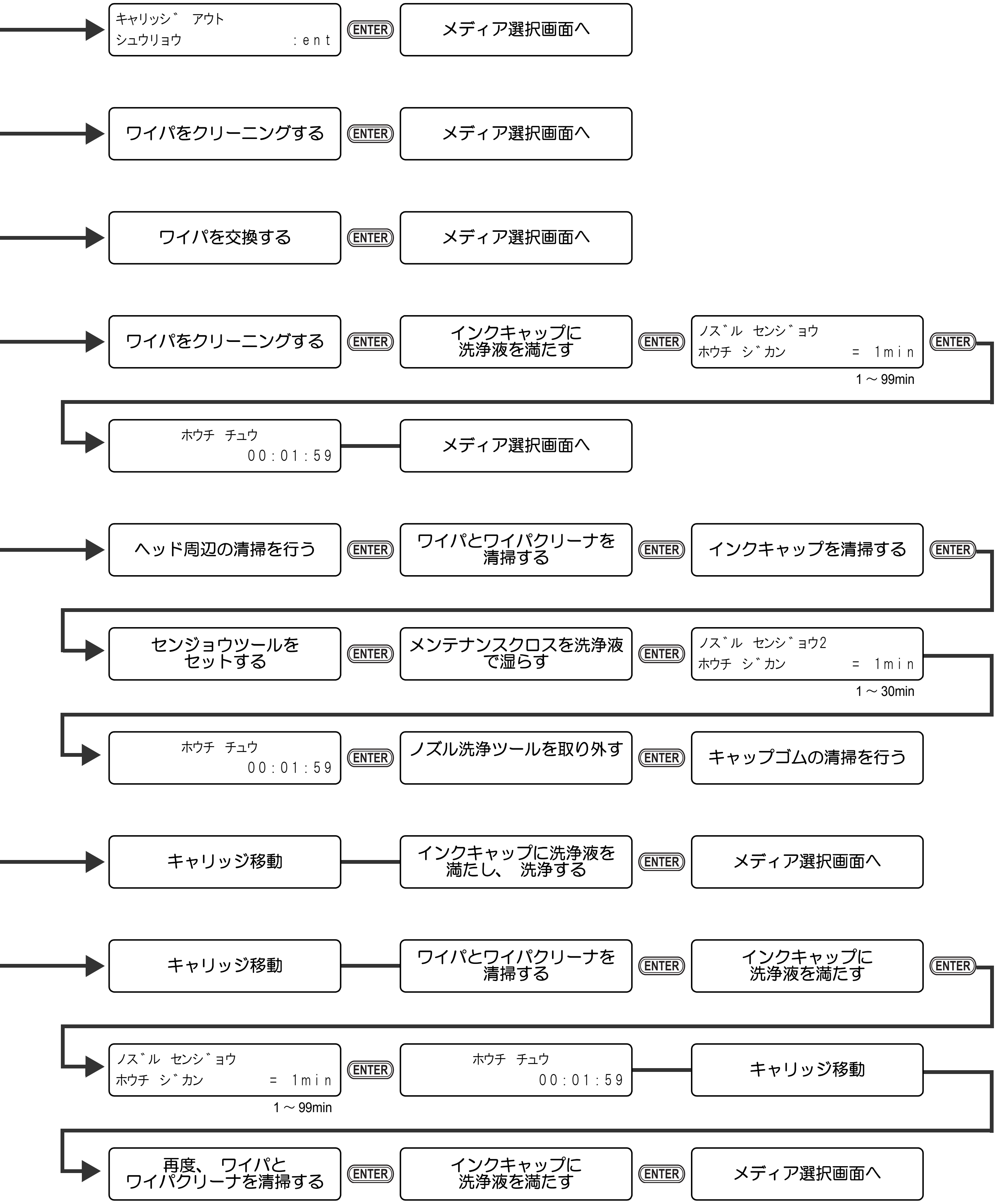

タイフ゜ 1
フ゜リントマエ : ON
ON、OFF
タイフ゜ 1
フ゜リントチュウ : ON
ON、OFF
ENTER
タイフ゜ 1
カラー : 12345678
ENTER
タイフ゜ 1
タイフ゜ : ノーマル
ノーマル、ソフト、ハード、Mix
ENTER
タイフ゜ 1
シ゛ッコウ カンカク : 5m
1～250m
ENTER
タイフ゜ 1
ユウセン : クキ゛リ
キョリ、クギリ
タイフ゜ 1
フ゜リント シュウリョウコ゛ : ON
ON、OFF
ENTER
タイフ゜ 1
タイフ゜ : ノーマル
ノーマル、ソフト、ハード、Mix
ENTER
タイフ゜ 1
シ゛カン : 1min
1～60min
タイフ゜ 1
ハ゜ワーオン : ON
ON、OFF
タイフ゜ 1
スペ゜ース : 8mm
5～50mm

付録

6


MAINTENANCE
メンテナンス
ステーション <ENT>
ENTER
ステーション
センタク : キャリッシ゛ アウト
キャリッジ移動
ステーション
センタク : ワイハ゜ クリーニンク゛
キャリッジ移動
ステーション
センタク : ワイハ゜ コウカン
キャリッジ移動
ステーション
センタク : ノス゛ル センシ゛ョウ
キャリッジ移動
ステーション
センタク : ノス゛ル センシ゛ョウ2
キャリッジ移動
ステーション
センタク : ハイロ センシ゛ョウ
廃インクタンクを確認
ENTER
ステーション
センタク : ホカン センシ゛ョウ
廃インクタンクを確認
ENTER

P.6-16 へ


キャリッシ゛ アウト
シュウリョウ :ent
ENTER
メディア選択画面へ
ワイパをクリーニングする
ENTER
メディア選択画面へ
ワイパを交換する
ENTER
メディア選択画面へ
ワイパをクリーニングする
ENTER
インクキャップに洗浄液を満たす
ENTER
ノズ゛ル センシ゛ョウ
ホウチ シ゛カン = 1min
1～99min
ENTER
ホウチ チュウ
00:01:59
メディア選択画面へ
ヘッド周辺の清掃を行う
ENTER
ワイパとワイパクリーナを清掃する
ENTER
インクキャップを清掃する
ENTER
センジョウツールをセットする
ENTER
メンテナンスクロスを洗浄液で湿らす
ENTER
ノズ゛ル センシ゛ョウ2
ホウチ シ゛カン = 1min
1～30min
ホウチ チュウ
00:01:59
ENTER
ノズル洗浄ツールを取り外す
ENTER
キャップゴムの清掃を行う
キャリッジ移動
インクキャップに洗浄液を満たし、洗浄する
ENTER
メディア選択画面へ
キャリッジ移動
ワイパとワイパクリーナを清掃する
ENTER
インクキャップに洗浄液を満たす
ENTER
ノズ゛ル センシ゛ョウ
ホウチ シ゛カン = 1min
1～99min
ENTER
ホウチ チュウ
00:01:59
キャリッジ移動
再度、ワイパとワイパクリーナを清掃する
ENTER
インクキャップに洗浄液を満たす
ENTER
メディア選択画面へ

付録

6

P.6-14 から

メンテナンス
キャリッジ ＜ENT＞

ENTER

キャリッジ メンテナンス
センタク ：キャリッジ アウト

ENTER

キャリッジ移動

▲ ▼

メンテナンス
タカサ チョウセイ ＜ENT＞

ENTER

タカサ チョウセイ
キャリッジ アウト ：ent

ENTER

ヘッド高さを調整する

ENTER

▲ ▼

メンテナンス
ドットイチ ホセイ ＜ENT＞

ENTER

ドットイチ ホセイ
センタク ：300dpi

300dpi, 450dpi, 450dpiH, 600dpi, 600dpiH, 900dpi, 900dpiH, 1200dpi, 1200dpiH

ENTER

ドットイチ ホセイ
ゲンテン セッテイ ：ent

ENTER

▲ ▼

メンテナンス
インク ジュウテン ＜ENT＞

ENTER

インク ジュウテン
カラー ：12345678

インク ジュウテン
タイプ ：ソフト

ENTER

▲ ▼

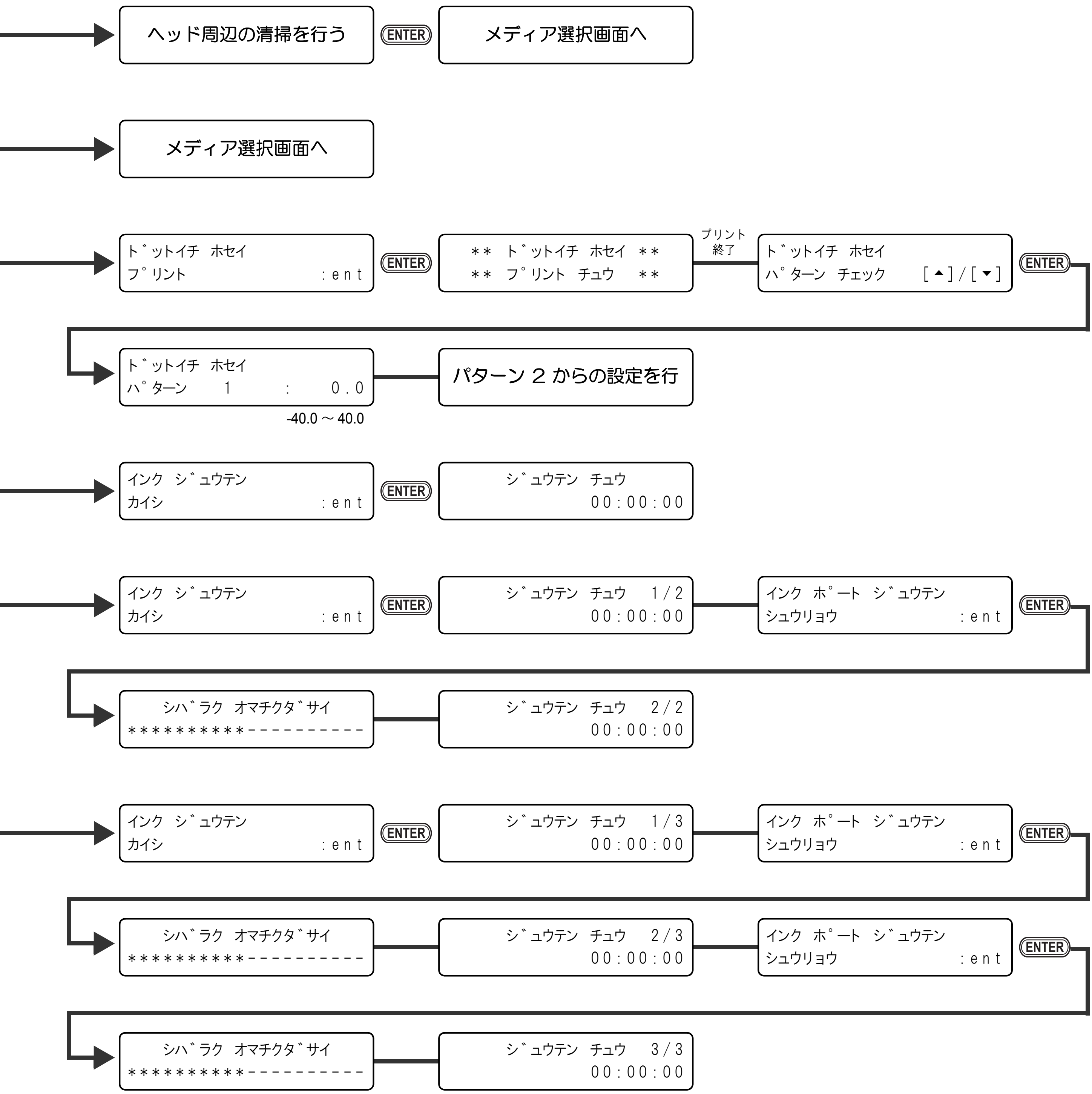
インク ジュウテン
タイプ ：ノーマル

▲ ▼

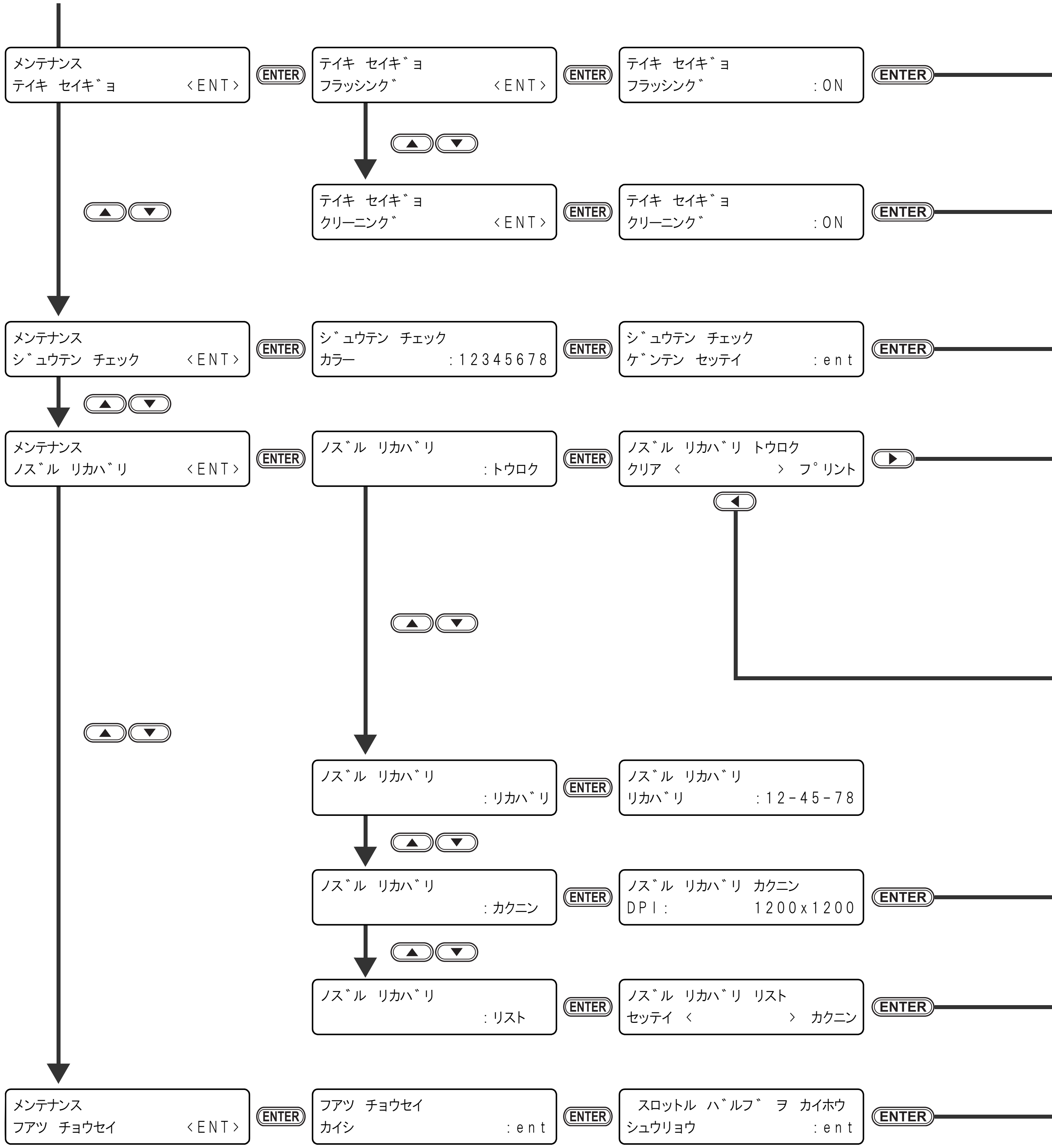
インク ジュウテン
タイプ ：ハード

▲ ▼

P.6-18 へ


ヘッド周辺の清掃を行う
ENTER
メディア選択画面へ
メディア選択画面へ
ト゛ットイチ ホセイ
フ゜リント :ent
ENTER
** ト゛ットイチ ホセイ **
** フ゜リント チュウ **
プリント 終了
ト゛ットイチ ホセイ
ハ゜ターン チェック [▲]/[▼]
ENTER
ト゛ットイチ ホセイ
ハ゜ターン 1 : 0.0
-40.0 ～ 40.0
パターン 2 からの設定を行
インク シ゛ュウテン
カイシ :ent
ENTER
シ゛ュウテン チュウ
00:00:00
インク シ゛ュウテン
カイシ :ent
ENTER
シ゛ュウテン チュウ 1/2
00:00:00
インク ホ゜ート シ゛ュウテン
シュウリョウ :ent
ENTER
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
*********----------
シ゛ュウテン チュウ 2/2
00:00:00
インク シ゛ュウテン
カイシ :ent
ENTER
シ゛ュウテン チュウ 1/3
00:00:00
インク ホ゜ート シ゛ュウテン
シュウリョウ :ent
ENTER
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
*********----------
シ゛ュウテン チュウ 2/3
00:00:00
インク ホ゜ート シ゛ュウテン
シュウリョウ :ent
ENTER
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
*********----------
シ゛ュウテン チュウ 3/3
00:00:00

P.6-16 から



メンテナンス
テイキ セイキ゛ョ <ENT>
ENTER
テイキ セイキ゛ョ
フラッシンク゛ <ENT>
ENTER
テイキ セイキ゛ョ
フラッシンク゛ :ON
ENTER
テイキ セイキ゛ョ
クリーニンク゛ <ENT>
ENTER
テイキ セイキ゛ョ
クリーニンク゛ :ON
ENTER
メンテナンス
シ゛ュウテン チェック <ENT>
ENTER
シ゛ュウテン チェック
カラー :12345678
ENTER
シ゛ュウテン チェック
ケ゛ンテン セッテイ :ent
ENTER
メンテナンス
ノス゛ル リカハ゛リ <ENT>
ENTER
ノス゛ル リカハ゛リ
:トウロク
ENTER
ノス゛ル リカハ゛リ トウロク
クリア < > フ゜リント
ノス゛ル リカハ゛リ
:リカハ゛リ
ENTER
ノス゛ル リカハ゛リ
リカハ゛リ :12-45-78
ノス゛ル リカハ゛リ
:カクニン
ENTER
ノス゛ル リカハ゛リ カクニン
DPI: 1200x1200
ENTER
ノス゛ル リカハ゛リ
:リスト
ENTER
ノス゛ル リカハ゛リ リスト
セッテイ < > カクニン
ENTER
メンテナンス
フアツ チョウセイ <ENT>
ENTER
フアツ チョウセイ
カイシ :ent
ENTER
スロットル ハ゛ルフ゛ ヲ カイホウ
シュウリョウ :ent
ENTER

テイキ　フラッシング゛
シ゛ッコウ　カンカク　　＝　0h　0m

時間　：0～24h
分　：0～59m
▲▼：設定値の変更
◀▶：設定項目の選択

テイキ　クリーニング゛
シ゛ッコウ　カンカク　　＝　0h　0m

時間　：0～72h
分　：0～59m
▲▼：設定値の変更
◀▶：設定項目の選択

シ゛ュウテン　チェック
フ゜リント　　　：Y＝　****mm
→ ENTER →
**　シ゛ュウテン　チェック　**
**　　フ゜リント　チュウ　　**

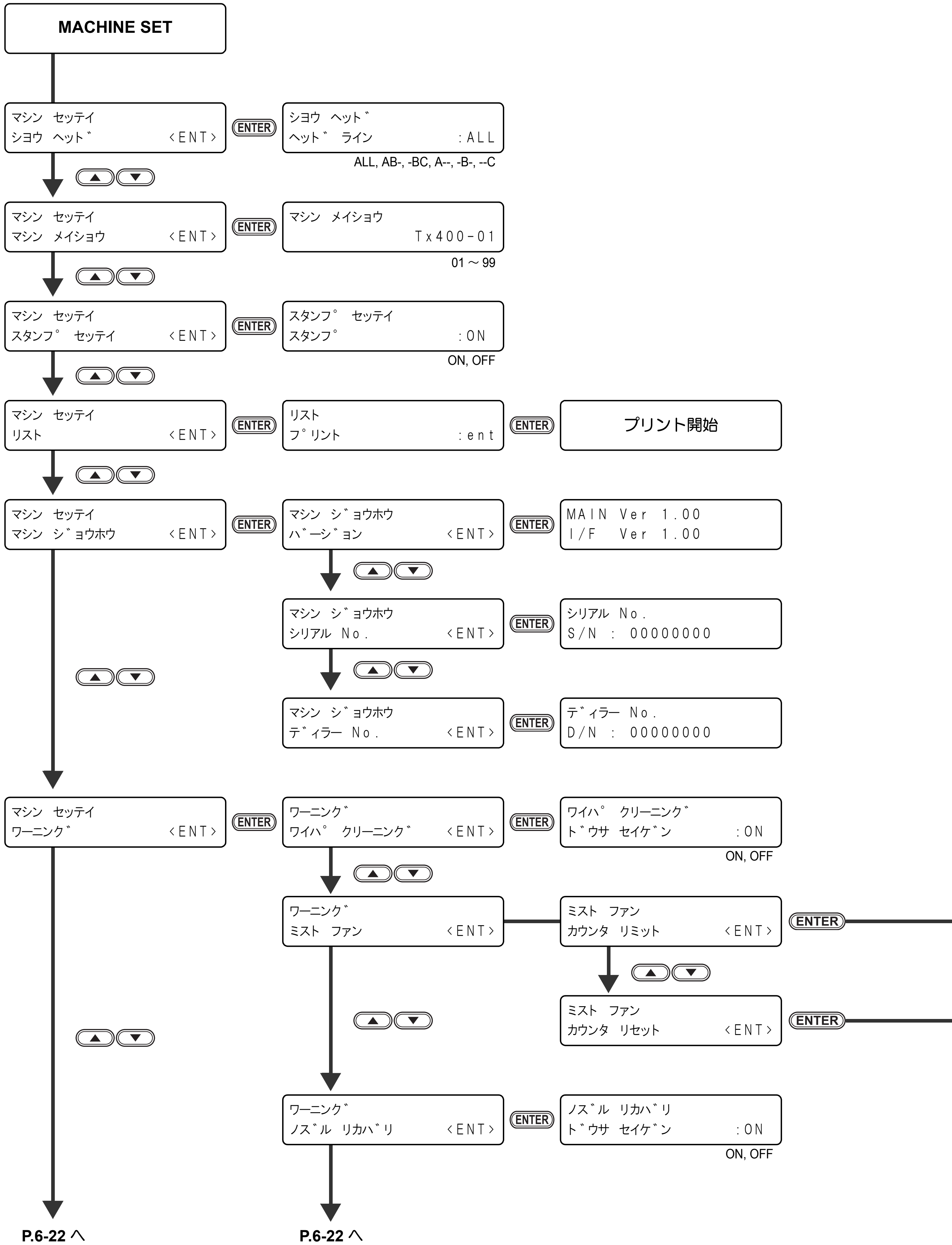
ノス゛ル　リカハ゛リ　トウロク
ケ゛ンテン　セッテイ　　　：ent
→ ENTER →
ノス゛ル　リカハ゛リ　トウロク
フ゜リント　　　　　　：ent
→ ENTER →
**　ノス゛ル　リカハ゛リ　**
**　フ゜リント　チュウ　　**
→
ノス゛ル　リカハ゛リ　トウロク
ハ゜ターン　チェック　　[▲]/[▼]
→ ENTER →
ノス゛ル　リカハ゛リ　トウロク
ノス゛ルセンタク　　　：LineA-1
→ ENTER →
ノス゛ル　リカハ゛リ　トウロク
LineA-1　　　　NG1：143

ノス゛ル　リカハ゛リ　トウロク
クリア　　　　　：LineA-1

リカハ゛リ　　ユウコウ：X234_67X
16PHi　　　フカ：12___6__

ノス゛ル　リカハ゛リ　リスト
ケ゛ンテン　セッテイ　　　：ent
→ ENTER →
ノス゛ル　リカハ゛リ　リスト
フ゜リント　　　　　　：ent
→ ENTER →
**　ノス゛ル　リカハ゛リ　**
**　フ゜リント　チュウ　　**

センサの調整を行う
→
スロットル　ハ゛ルフ゛　ヲ　チョウセイ
アツリョク　　＝　**.**kPa


MACHINE SET
マシン セッテイ
ショウ ヘット゛ <ENT>
ENTER
ショウ ヘット゛
ヘット゛ ライン :ALL
ALL, AB-, -BC, A--, -B-, --C
マシン セッテイ
マシン メイショウ <ENT>
マシン メイショウ
Tx400-01
01 ～ 99
マシン セッテイ
スタンプ゜ セッテイ <ENT>
スタンプ゜ セッテイ
スタンプ゜ :ON
ON, OFF
マシン セッテイ
リスト <ENT>
リスト
フ゜リント :ent
プリント開始
マシン セッテイ
マシン シ゛ョウホウ <ENT>
マシン シ゛ョウホウ
ハ゛ーシ゛ョン <ENT>
MAIN Ver 1.00
I/F Ver 1.00
マシン シ゛ョウホウ
シリアル No. <ENT>
シリアル No.
S/N : 00000000
マシン シ゛ョウホウ
テ゛ィラー No. <ENT>
テ゛ィラー No.
D/N : 00000000
マシン セッテイ
ワーニング゛ <ENT>
ワーニング゛
ワイハ゜ クリーニング゛ <ENT>
ワイハ゜ クリーニング゛
ト゛ウサ セイケ゛ン :ON
ON, OFF
ワーニング゛
ミスト ファン <ENT>
ミスト ファン
カウンタ リミット <ENT>
ミスト ファン
カウンタ リセット <ENT>
ワーニング゛
ノズ゛ル リカハ゛リ <ENT>
ノズ゛ル リカハ゛リ
ト゛ウサ セイケ゛ン :ON
ON, OFF
P.6-22 へ
P.6-22 へ

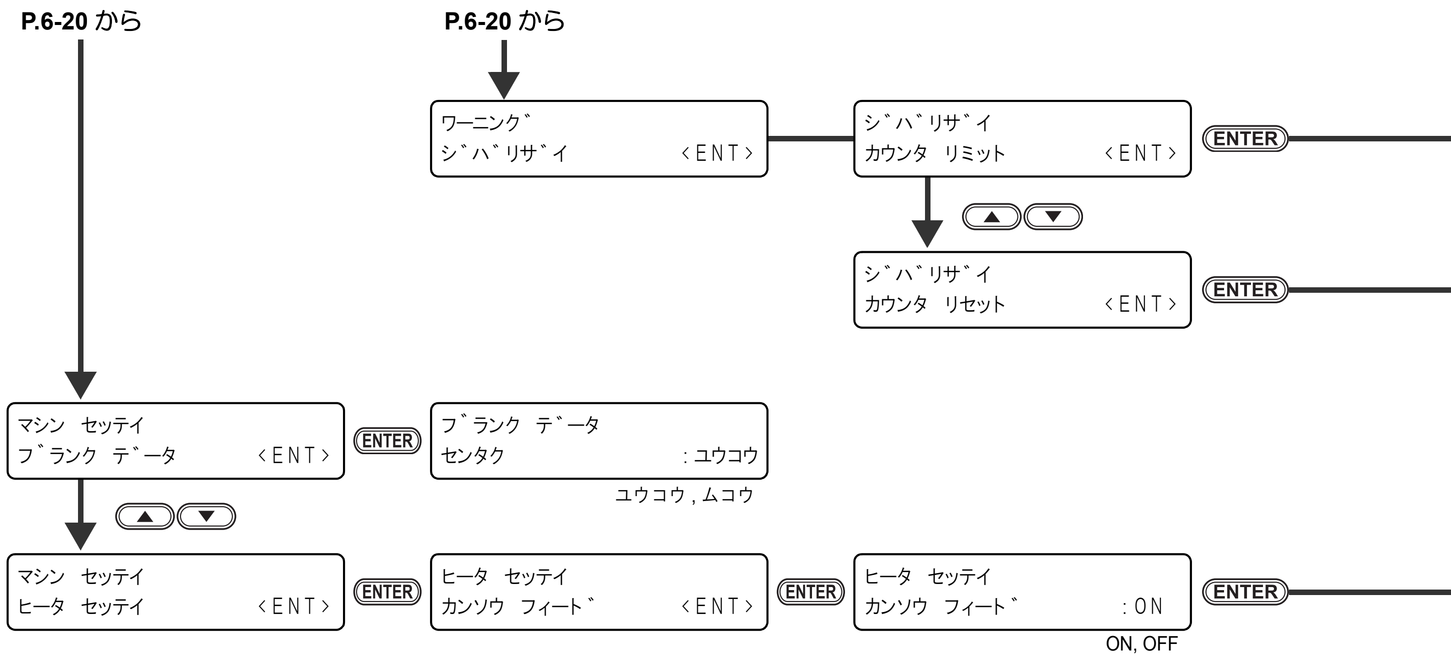
ミスト　ファン
リミット　セット　　=　　　　0m

0 ～ 30000m

ミスト　ファン
リセット　　　　　　　:ent

付録

6


P.6-20 から
P.6-20 から
ワーニング゛
シ゛ハ゛リサ゛イ <ENT>
シ゛ハ゛リサ゛イ
カウンタ リミット <ENT>
ENTER
シ゛ハ゛リサ゛イ
カウンタ リセット <ENT>
ENTER
マシン セッテイ
フ゛ランク テ゛ータ <ENT>
ENTER
フ゛ランク テ゛ータ
センタク : ユウコウ
ユウコウ , ムコウ
マシン セッテイ
ヒータ セッテイ <ENT>
ENTER
ヒータ セッテイ
カンソウ フィード゛ <ENT>
ENTER
ヒータ セッテイ
カンソウ フィード゛ : ON
ON, OFF
ENTER

シ゛ハ゛リサ゛イ
リミット　セット　　=　　　　0m

0 ～ 30000m

シ゛ハ゛リサ゛イ
リセット　　　　　　　: e n t

カンソウ　フィート゛
ソクト゛　　　　　: A U T O

ENTER

カンソウ　フィート゛
フィート゛チョウ　　: 1 0 0 0mm

AUTO, 1 ～ 60mm/s

10 ～ 2000mm

索引

た

ち

つ

て

と

に

の

は

ふ

へ

ほ

ま

み

め

ゆ

よ

り

ろ

わ

Tx400-1800B 取扱説明書

2014 年 10 月

発行者　　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D202079-16-20102014

NH

FW : 2.5